

福岡市の水道に関する
お客さまアンケート調査
報告書

令和6年3月

福岡市水道局

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の性格	1
4 調査結果利用上の注意	2
5 標本特性	3
II 調査結果	6
1 節水に関する意識について	6
(1) 節水意識	6
(2) 節水に心がけている理由	8
(3) 節水方法	10
(4) 節水に心がけていない理由	12
(5) 使用している節水機器の種類	14
(6) 昭和53年・平成6年の給水制限について	16
(7) 給水制限の認知経路	18
2 水道水に関する意識について	20
(1) 水道水の安全性	20
(2) 安心と思う理由	22
(3) 不安と思う理由	24
(4) 安心感を得るために必要な情報	26
3 家庭で使用している飲用水について	28
(1) 飲用水の飲用方法	28
(2) 水道水に浄水器やウォーターサーバーを利用して飲用している理由	32
(3) 市販のボトル水やくんできた天然水を飲用する理由	34
(4) 水道水を飲むきっかけになると思うこと	36
4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて	38
(1) 塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていることについて	38
(2) 国の基準より厳しい独自の水質目標を設定していることについて	40
(3) 安全でおいしい水道水プロジェクトについて	42
(4) 安全でおいしい水道水プロジェクトの具体的な取組みについて	44
(5) 水道水に対する満足度	46
5 水道料金について	50
(1) 水道料金と下水道使用料の合算支払いについて	50
(2) 水道料金等の請求が2か月ごとであることについて	52
(3) 水道料金等の把握状況	54
(4) 水道料金が全国一律でないことについて	56

(5) 水道料金が全国一律でない理由	58
(6) 水道料金が全国一律でないことの認知経路	60
6 水道局の取組みについて	62
(1) 給水方法	62
(2) 給水方法の認知経路	64
(3) 貯水槽の清掃・点検	66
(4) 福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること	68
(5) 市域外に頼っていることの認知経路	70
(6) 水源地域での森林の保全活動や交流事業について	72
(7) 森林の保全活動や交流事業への参加経験	74
(8) 飲む海水について	76
(9) 水道局お客さまセンターに電話した経験	78
(10) 水道局お客さまセンターの電話対応満足度	80
(11) 水道局お客さまセンターの電話対応が不満な理由	82
(12) 国際貢献の取組みについて	84
(13) 引き続き力を入れて取り組んでほしいこと	86
(14) 水道局の取組みに関する情報の周知方法	88
(15) 特に知りたい水道に関する情報	90
7 水道行政への評価について	92
(1) 水道行政の総合的満足度	92
(2) 各種取組みに対する満足度	94
(3) 今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと	96
8 福岡市の水道行政に対する意見・要望	98
Ⅲ アンケート調査の結果について	103
1 節水に関する意識について	103
2 水道水に関する意識について	106
3 家庭で使用している飲用水について	108
4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて	110
5 水道料金について	112
6 水道局の取組みについて	114
7 水道行政の評価について	123
Ⅳ 調査票	125

I 調査概要

1 調査目的

水に関する意識や行動及び多様化する市民ニーズを調査・分析することで今後の水道事業を進めていくための基礎資料とする。

2 調査項目

- (1)節水に関する意識について
- (2)水道水に関する意識について
- (3)家庭で使用している飲用水について
- (4)安全でおいしい水道水プロジェクトについて
- (5)水道料金について
- (6)水道局の取組みについて
- (7)水道行政への評価について

3 調査の性格

- (1)調査地域 福岡市全域
- (2)調査対象者 福岡市に居住する満18歳以上の男女3,000人
- (3)有効回収数 1,620(有効回答率54.0%)
 - ※令和元年度調査 1,579(有効回収率52.6%)
 - 平成27年度調査 1,650(有効回収率55.0%)
 - 平成25年度調査 1,353(有効回収率45.1%)
- (4)抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (5)調査方法 郵送法とWEB調査併用
- (6)調査期間 令和5年11月3日～11月17日

4 調査結果利用上の注意

(1)集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

(2)2つ以上の回答を要する質問(複数回答)の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。同様に、2つ以上の回答を要する質問(複数回答)の場合、その回答数の合計は数表上の「全体」の値と異なる場合がある。

(3)数表、図表、文中に示すNは、比率計算上の基数(標本数)である。

N: 標本全数

n: 該当数(その質問に回答しなくてよい人を除いた数)

(4)文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合などは『』としている。

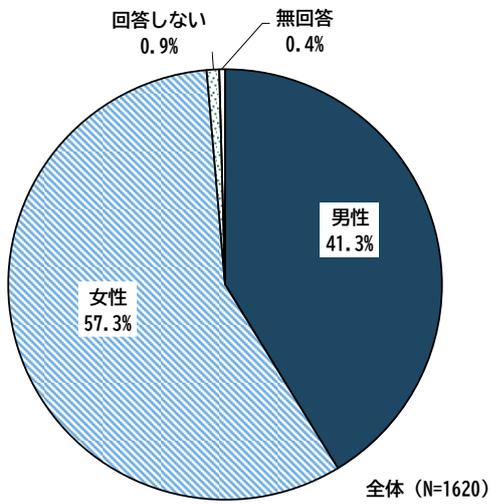
(5)属性別の分析等において、基数(標本数)が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。

(6)以下のとおり水道局のこれまでに実施した過去の調査と比較分析を行っている。前回、前々回の調査結果の記載がない質問は、今回調査での新規の質問である。

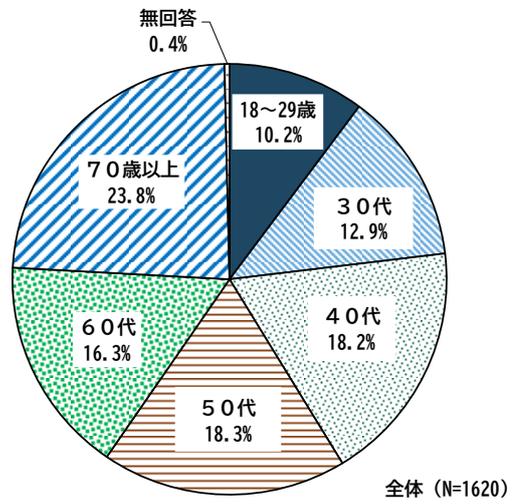
- ・令和 元年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート
- ・平成27年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート
- ・平成25年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート

5 標本特性

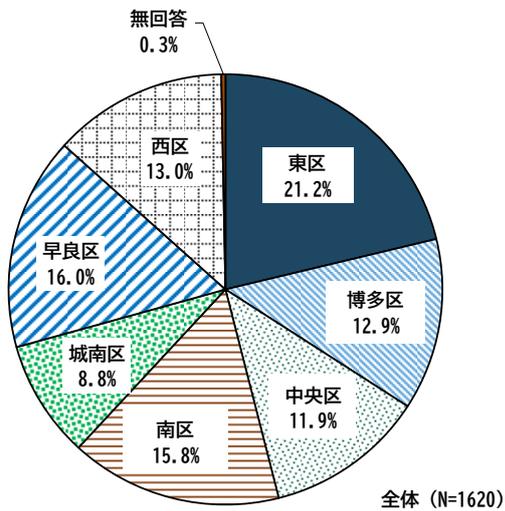
(1) 性別



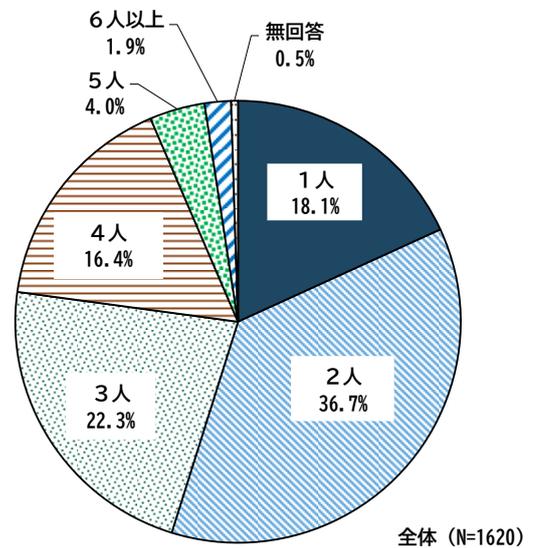
(2) 年代



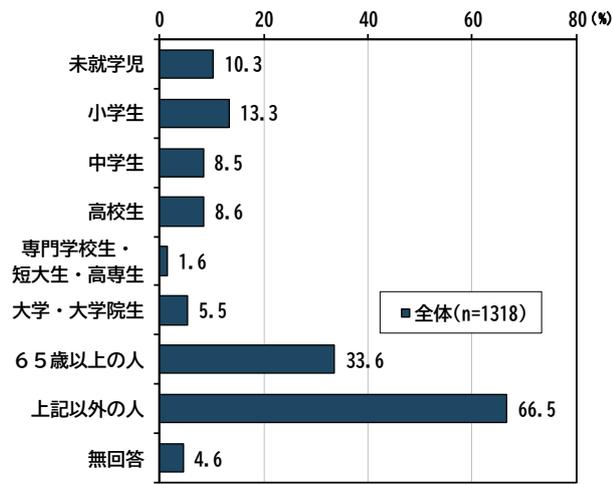
(3) 居住区



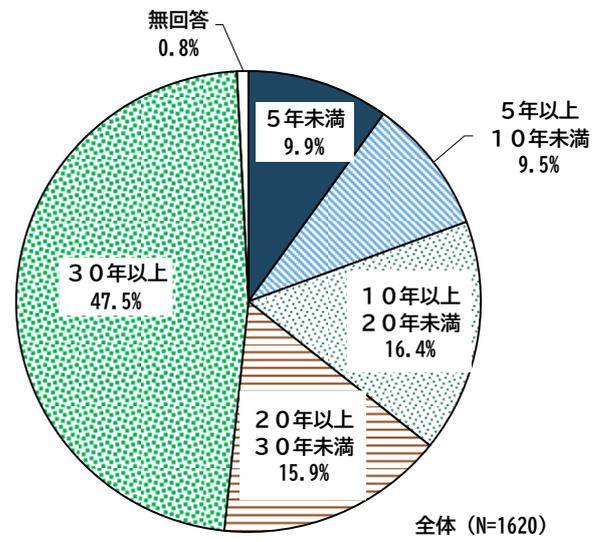
(4) 同居人数



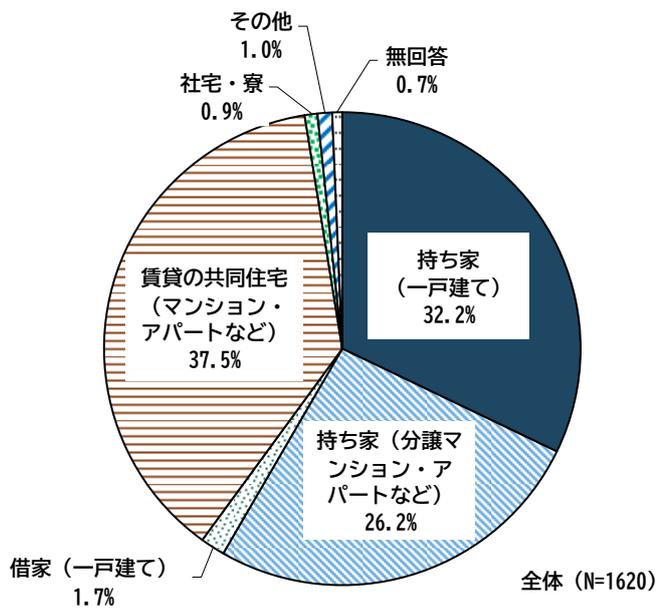
(4-2) 居住家族



(5) 居住年数



(6) 住居形態



II 調査結果

1 節水に関する意識について

(1) 節水意識

問1 あなたは、節水についてどのような意識をお持ちですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

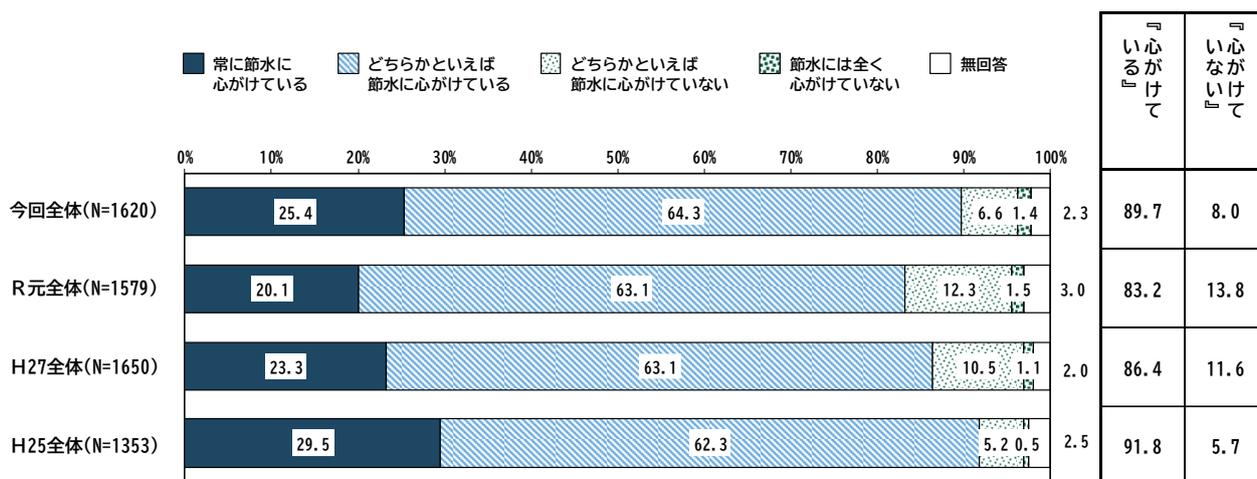
■全体結果

節水についての意識としては、「常に節水に心がけている」が25.4%、「どちらかといえば節水に心がけている」が64.3%、両者を合計した『心がけている』は89.7%となっている。一方、『心がけていない』は8.0%（「どちらかといえば節水に心がけていない」6.6%+「節水には全く心がけていない」1.4%）となっている。

■経年推移

『心がけている』は、平成25年度では91.8%であったが、平成27年度は86.4%、令和元年度は83.2%にまで減少したが、今回は89.7%と、前回よりも6.5ポイント増加している。

【全体結果と経年推移】

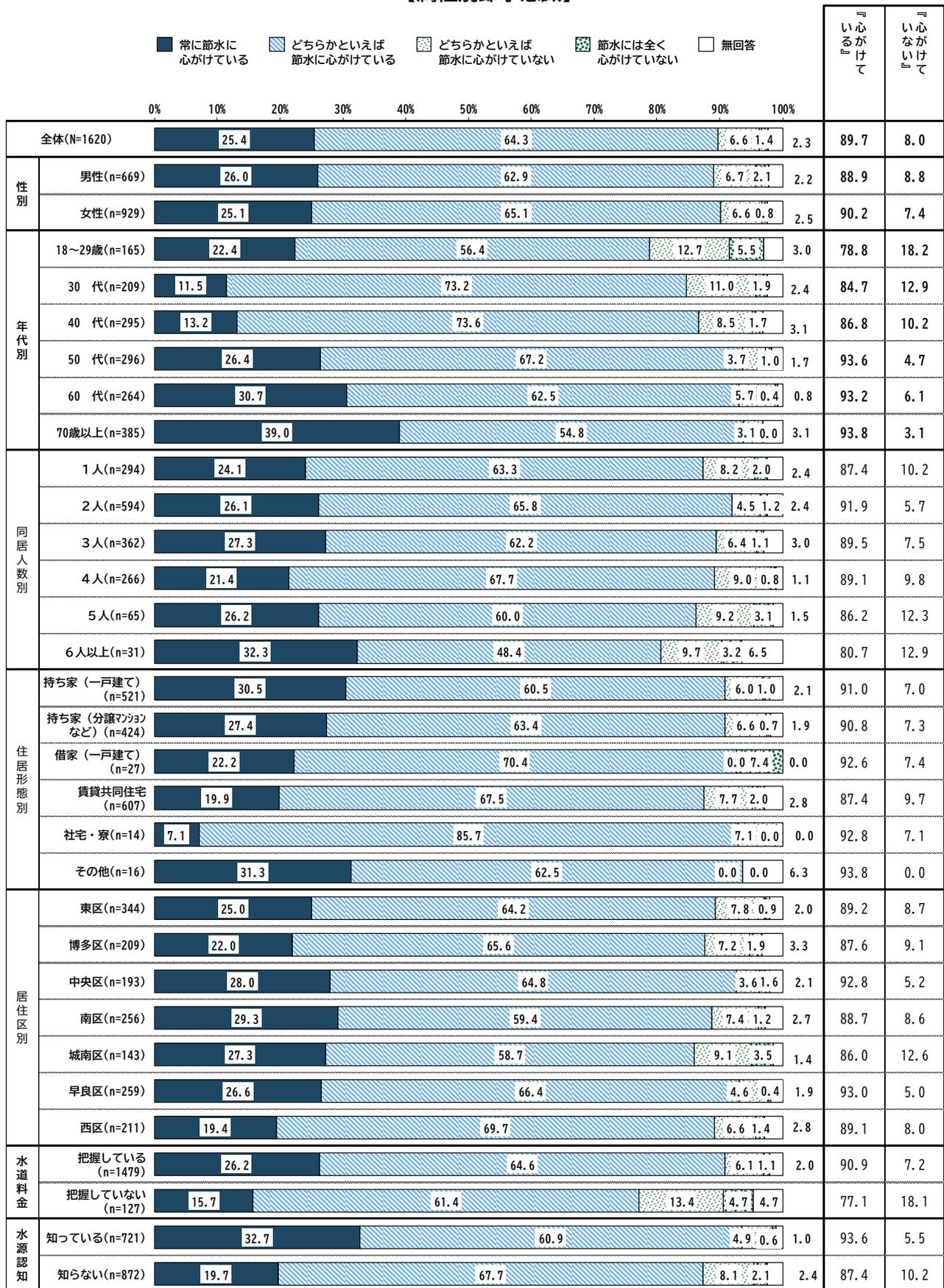


■属性別特徴

- 性別でみると、大きな差はみられない。
- 年代別でみると、年代が上がるほど『心がけている』が高くなる傾向にある。ただ、「常に節水に心がけている」は、30・40代では1割台と、18～29歳と比べても低くなっている。
- 同居人数別でみると、『心がけている』は、2人世帯で91.9%と最も高く、6人以上世帯で80.7%と最も低くなっている。ただし、6人以上世帯では「常に節水に心がけている」が32.3%と最も高くなっている。
- 住居形態別でみると、『心がけている』は賃貸共同住宅で8割台と低くなっているものの、持ち家、借家、社宅・寮では大きな差はみられない。ただ、「常に節水に心がけている」は持ち家（一戸建て）で最も高くなっており、差がみられる。
- 水道料金の把握状況別でみると、『把握している』では、『心がけている』が『把握していない』より13.8ポイント高くなっている。
- 水源（福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること）認知別でみると、「知っている」では、

『心がけている』が「知らない」より、6.2ポイント高くなっている。

【属性別节水意識】



(2) 節水に心がけている理由

問2 問1で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。あなたが、節水に心がけている理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

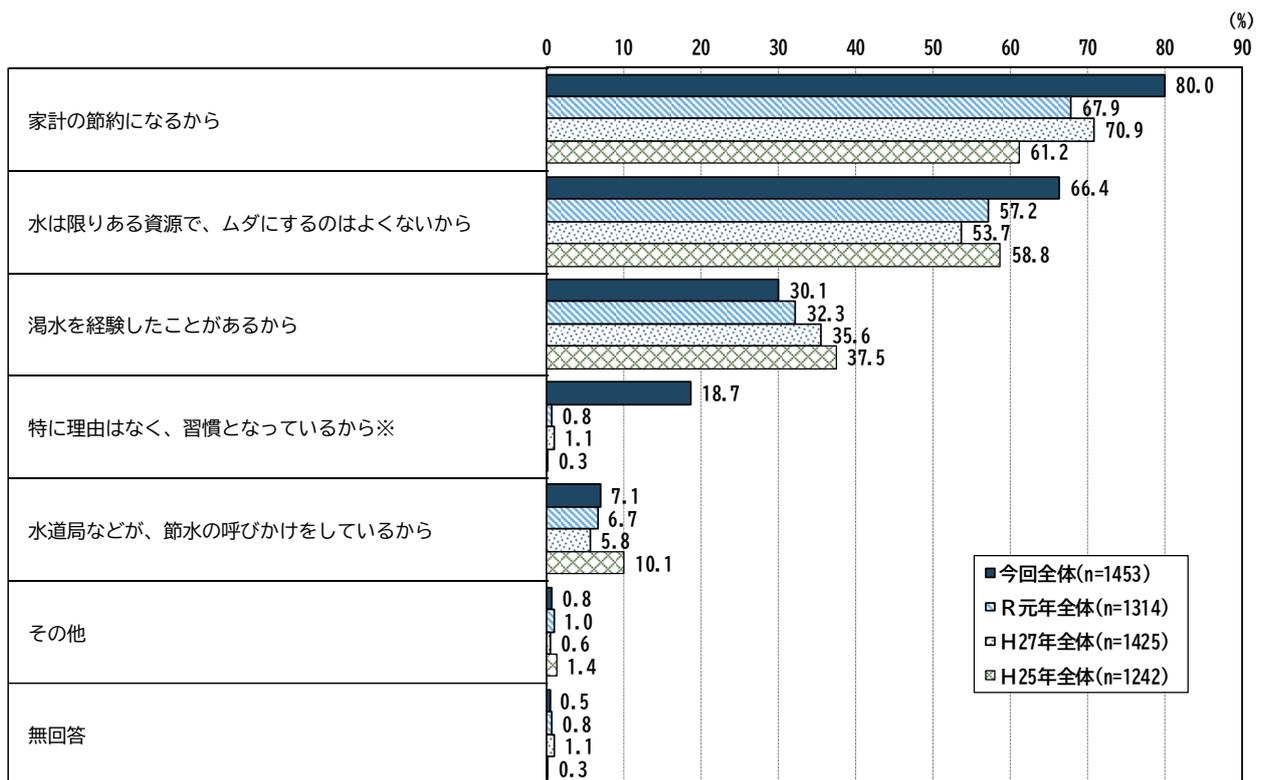
■全体結果

節水に心がけている理由としては、「家計の節約になるから」が80.0%と最も高くなっている。次いで「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」(66.4%)、「湧水を経験したことがあるから」(30.1%)、「特に理由はなく、習慣となっているから」(18.7%)となっている。

■経年推移

「家計の節約になるから」、「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」は増加傾向にあり、「湧水を経験したことがあるから」は減少傾向にあるものの、上位3項目の順位に変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



※ 令和元年度までは「特に理由はない」

■属性別特徴

- 性別で見ると、「家計の節約になるから」は女性が82.2%、男性が76.8%で、女性の方が5.4ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「湧水を経験したことがあるから」は高くなっている。
- 同居人数別で見ると、同居人数が多くなるほど「家計の節約になるから」は高くなる傾向にある。

- 住居形態別で見ると、持ち家(分譲マンションなど)では「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」が73.0%と高くなっている。
- 居住区別で見ると、各区とも「家計の節約になるから」が最も高いが、城南区では「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」も73.2%と高くなっている。

【属性別節水に心がけている理由】

(単位：%)

	サンプル数	家計の節約になるから	水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから	か湯水を経験したことがある	特に理由はなく、習慣となつていているから	水道局などが、節水の呼びかけをしているから	その他	無回答	
全体	1453	80.0	66.4	30.1	18.7	7.1	0.8	0.5	
性別	男性	595	76.8	63.7	29.9	20.5	7.6	0.8	0.7
	女性	838	82.2	68.6	30.4	17.4	6.9	0.6	0.4
年代別	18～29歳	130	80.8	49.2	2.3	29.2	3.1	-	-
	30代	177	88.7	57.1	7.3	16.9	4.5	0.6	-
	40代	256	84.4	69.9	15.6	11.7	6.6	0.4	0.8
	50代	277	75.5	64.6	37.2	17.0	6.1	1.1	1.1
	60代	246	80.9	72.8	42.7	18.3	8.1	1.6	0.4
	70歳以上	361	75.3	72.0	47.9	22.2	10.2	0.6	0.3
同居人数別	1人	257	70.4	60.7	24.1	26.1	7.0	0.4	-
	2人	546	79.7	69.8	40.5	18.5	8.2	0.5	0.5
	3人	324	82.4	69.1	28.7	17.0	6.5	1.5	0.9
	4人	237	86.1	63.3	20.3	13.9	5.1	0.8	0.4
	5人	56	85.7	55.4	8.9	23.2	8.9	-	-
	6人以上	25	88.0	84.0	28.0	4.0	4.0	-	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	474	79.7	68.8	38.8	18.8	7.0	1.3	0.8
	持ち家(分譲マンションなど)	385	81.6	73.0	31.7	19.2	9.6	0.8	0.3
	借家(一戸建て)	25	80.0	52.0	40.0	20.0	4.0	-	-
	賃貸の共同住宅	531	79.3	60.8	21.3	17.3	5.5	0.4	0.4
	社宅・寮	13	69.2	61.5	-	38.5	-	-	-
	その他	15	93.3	66.7	40.0	20.0	20.0	-	-
居住区別	東区	307	85.3	69.4	32.6	18.9	8.1	-	-
	博多区	183	82.5	58.5	26.2	24.0	6.6	1.1	-
	中央区	179	75.4	69.3	25.7	20.7	2.2	0.6	0.6
	南区	227	79.3	63.9	29.5	17.2	8.4	1.8	0.4
	城南区	123	82.1	73.2	30.9	14.6	8.1	2.4	-
	早良区	241	76.8	65.6	35.7	18.3	8.3	0.4	0.8
	西区	188	77.1	66.5	27.7	16.0	6.9	-	1.6

(3) 節水方法

問3 問1で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。あなたが、日頃心がけている節水方法は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

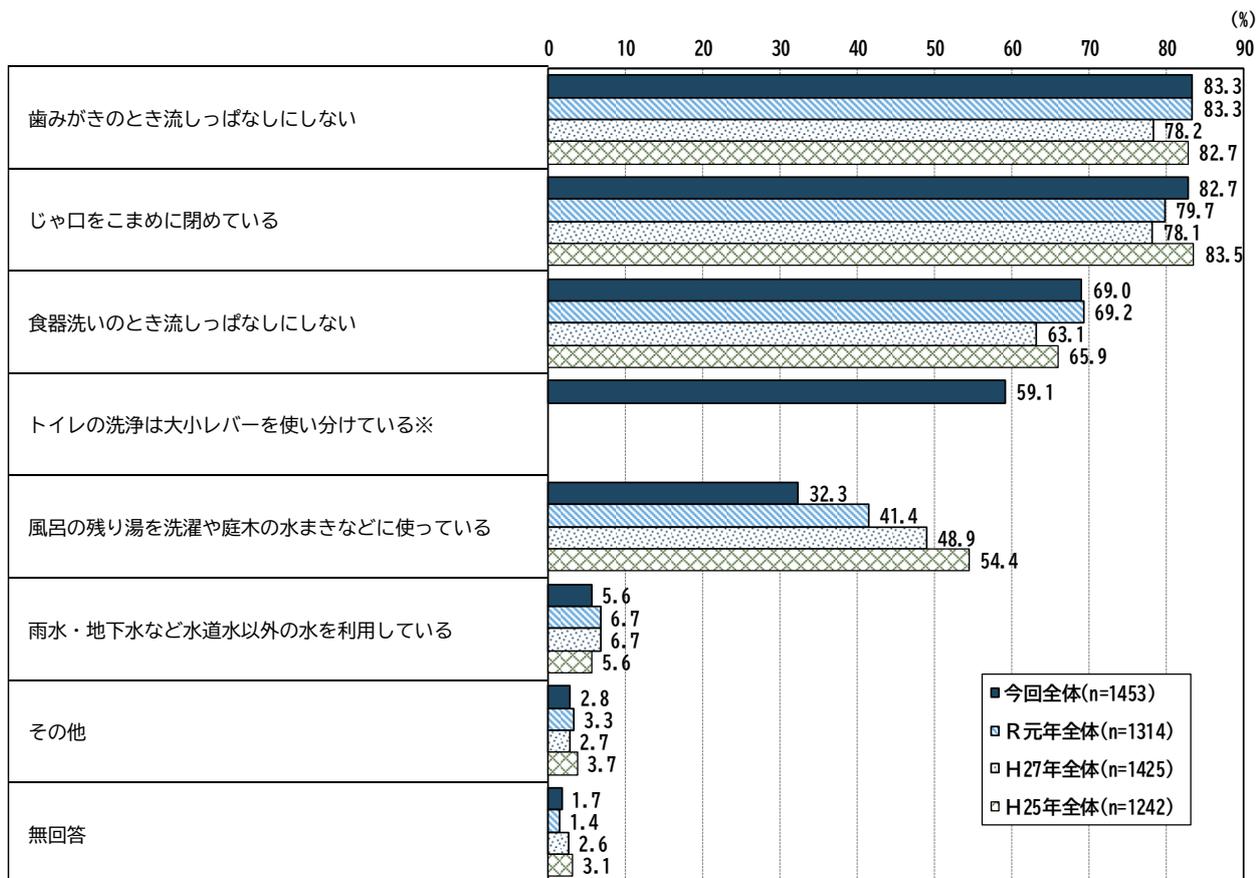
■全体結果

日頃心がけている節水方法としては、「歯みがきのとき流しっぱなしにしない」(83.3%)と「じゃ口をこまめに閉めている」(82.7%)が8割台と高くなっている。次いで「食器洗いのとき流しっぱなしにしない」(69.0%)、「トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている」(59.1%)となっている。

■経年推移

- 平成 25 年度以降、上位3項目に大きな変化はみられない。
- 「風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている」は平成 25 年度の 54.4%から減少傾向にあり、今回は 32.3%となり、平成 25 年度よりも 22.1 ポイント減少している。それに変わって、今回追加した「トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている」が4番目に高くなっている。

【全体結果と経年推移】



※ 今回追加した選択肢

■属性別特徴

- 性別でみると、「歯みがきのとき流しっぱなしにしない」(男性 77.6%－女性 87.6%)、「食器洗いのとき流しっぱなしにしない」(男性 62.0%－女性 74.0%)で差が大きくなっている。
- 年代別でみると、60 代以上では「トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている」、「風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている」が他の年代に比べて高くなっている。
- 同居人数別でみると、6人以上世帯では「食器洗いのとき流しっぱなしにしない」が 76.0%と高くなっているが、「トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている」は 48.0%と低くなっている。
- 住居形態別でみると、持ち家(一戸建て)では「風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている」が 41.4%と高くなっている。
- 居住区別でみると、大きな差はみられない。

【属性別節水方法】

(単位：%)

		サンプル数	歯みがきのとき流しっぱなしにしない	じゃ口をこまめに閉めている	食器洗いのとき流しっぱなしにしない	トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている	風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている	外雨水・地下水など水道水以外の水を利用している	その他	無回答
全体		1453	83.3	82.7	69.0	59.1	32.3	5.6	2.8	1.7
性別	男性	595	77.6	80.7	62.0	61.7	31.4	4.9	3.2	2.2
	女性	838	87.6	84.5	74.0	57.2	33.2	6.1	2.5	1.4
年代別	18～29歳	130	86.9	85.4	63.8	56.9	17.7	0.8	1.5	1.5
	30代	177	90.4	83.1	73.4	58.8	16.9	0.6	2.8	1.7
	40代	256	81.6	82.0	71.5	57.0	28.9	2.3	2.0	1.6
	50代	277	82.7	82.7	70.4	52.0	28.9	4.3	2.9	2.2
	60代	246	85.8	85.4	71.1	62.6	35.0	6.5	3.7	0.4
	70歳以上	361	78.7	80.1	64.5	64.8	48.2	12.5	3.0	2.5
同居人数別	1人	257	82.5	80.9	66.1	55.3	18.3	1.6	4.3	2.3
	2人	546	84.2	83.2	69.6	59.0	36.4	7.5	2.6	1.5
	3人	324	83.6	85.5	66.4	61.4	34.0	7.1	2.2	2.2
	4人	237	84.0	81.4	73.4	60.3	35.0	3.4	2.5	1.3
	5人	56	76.8	78.6	69.6	66.1	30.4	3.6	3.6	-
	6人以上	25	80.0	76.0	76.0	48.0	44.0	12.0	-	4.0
住居形態別	持ち家(一戸建て)	474	81.2	83.3	67.3	61.8	41.4	14.3	2.3	2.1
	持ち家(分譲マンションなど)	385	84.2	84.2	67.5	64.4	34.5	1.6	3.1	1.6
	借家(一戸建て)	25	84.0	92.0	76.0	56.0	36.0	16.0	4.0	-
	賃貸の共同住宅	531	84.9	80.8	71.8	53.7	23.2	0.6	3.2	1.7
	社宅・寮	13	76.9	100.0	61.5	38.5	7.7	-	-	-
	その他	15	80.0	66.7	60.0	60.0	33.3	-	-	-
居住区別	東区	307	82.4	83.4	67.4	59.3	31.9	5.5	3.6	1.0
	博多区	183	84.2	78.7	68.9	54.1	26.8	4.9	3.3	2.2
	中央区	179	83.2	82.7	72.6	54.7	25.1	1.1	2.8	2.8
	南区	227	87.7	84.1	68.7	62.6	37.0	6.2	0.4	0.9
	城南区	123	82.1	81.3	69.1	55.3	35.0	7.3	7.3	1.6
	早良区	241	82.6	84.6	72.2	61.4	36.9	5.4	2.5	2.1
	西区	188	81.4	81.9	64.9	64.4	31.9	9.0	1.6	2.1

(4) 節水に心がけていない理由

問4 問1で「3. どちらかといえば節水に心がけていない」「4. 節水には全く心がけていない」と回答した方におたずねします。あなたが、節水に心がけていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

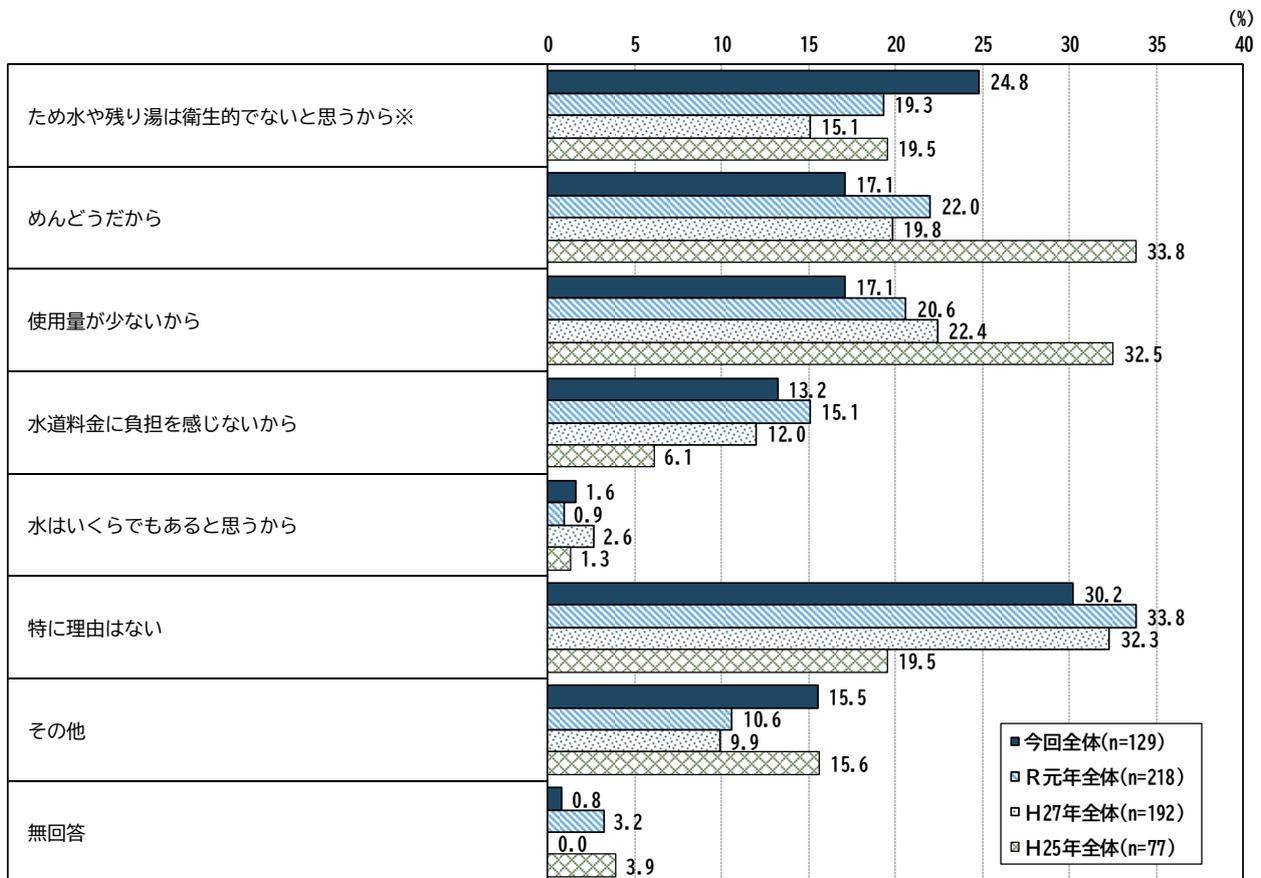
■全体結果

節水に心がけていない理由としては、「特に理由はない」が30.2%と最も高くなっているが、具体的な理由としては、「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」(24.8%)、「めんどうだから」(17.1%)、「使用量が少ないから」(17.1%)、「水道料金に負担を感じないから」(13.2%)となっている。

■経年推移

- 平成27年度以降、「特に理由はない」が最も高くなっている。
- 具体的な理由としては、「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」が増加傾向にあり、「使用量が少ないから」が減少傾向にあるなどの変化もみられるが、上位項目としては大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



※ 令和元年度以前は「非衛生的だから」

■属性別特徴

- 性別でみると、「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」(男性 20.3%－女性 29.4%)、「使用量が少ないから」(男性 25.4%－女性 10.3%)、「特に理由はない」(男性 37.3%－女性 23.5%)で差が大きくなっている。
- 年代別でみると、18～29 歳では「めんどうだから」、「特に理由はない」、30・60 代では「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」、40・50 代及び 70 歳以上では「特に理由はない」が最も高くなっている。
- 同居人数別でみると、2人以下の世帯では「使用量が少ないから」、4・5人世帯では「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」が他の世帯に比べて高くなっている。また、ほぼ全ての世帯において、「特に理由はない」も高くなっている。

【属性別節水に心がけていない理由】

(単位：%)

	サンプル数	ため水や残り湯は衛生的でないと思うから	めんどうだから	使用量が少ないから	水道料金に負担を感じないから	水はいくらでもあると思うから	特に理由はない	その他	無回答	
全体	129	24.8	17.1	17.1	13.2	1.6	30.2	15.5	0.8	
性別	男性	59	20.3	15.3	25.4	10.2	3.4	37.3	6.8	-
	女性	68	29.4	19.1	10.3	14.7	-	23.5	23.5	1.5
年代別	18～29歳	30	13.3	33.3	10.0	26.7	3.3	33.3	6.7	3.3
	30代	27	33.3	7.4	22.2	3.7	-	18.5	25.9	-
	40代	30	23.3	10.0	16.7	20.0	-	30.0	13.3	-
	50代	14	28.6	28.6	21.4	-	7.1	35.7	21.4	-
	60代	16	37.5	12.5	31.3	6.3	-	25.0	6.3	-
	70歳以上	12	16.7	8.3	-	8.3	-	50.0	25.0	-
同居人数別	1人	30	26.7	20.0	23.3	26.7	-	30.0	13.3	-
	2人	34	20.6	8.8	26.5	11.8	2.9	35.3	11.8	2.9
	3人	27	18.5	18.5	18.5	7.4	-	25.9	25.9	-
	4人	26	30.8	26.9	3.8	7.7	3.8	26.9	11.5	-
	5人	8	37.5	12.5	-	-	-	37.5	12.5	-
	6人以上	4	25.0	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-
住居形態別	持ち家（一戸建て）	36	27.8	13.9	5.6	11.1	-	30.6	19.4	-
	持ち家（分譲マンションなど）	31	29.0	12.9	12.9	12.9	3.2	38.7	9.7	-
	借家（一戸建て）	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	賃貸の共同住宅	59	22.0	22.0	25.4	15.3	1.7	25.4	15.3	1.7
	社宅・寮	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	東区	30	20.0	16.7	13.3	10.0	3.3	50.0	6.7	-
	博多区	19	15.8	21.1	10.5	21.1	-	36.8	15.8	-
	中央区	10	10.0	10.0	30.0	20.0	-	20.0	20.0	-
	南区	22	31.8	9.1	13.6	13.6	-	27.3	18.2	-
	城南区	18	22.2	16.7	27.8	5.6	-	16.7	22.2	-
	早良区	13	38.5	46.2	30.8	23.1	7.7	-	15.4	-
	西区	17	35.3	5.9	5.9	5.9	-	35.3	17.6	5.9

(5) 使用している節水機器の種類

問5 あなたのご家庭で使用している節水機器は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

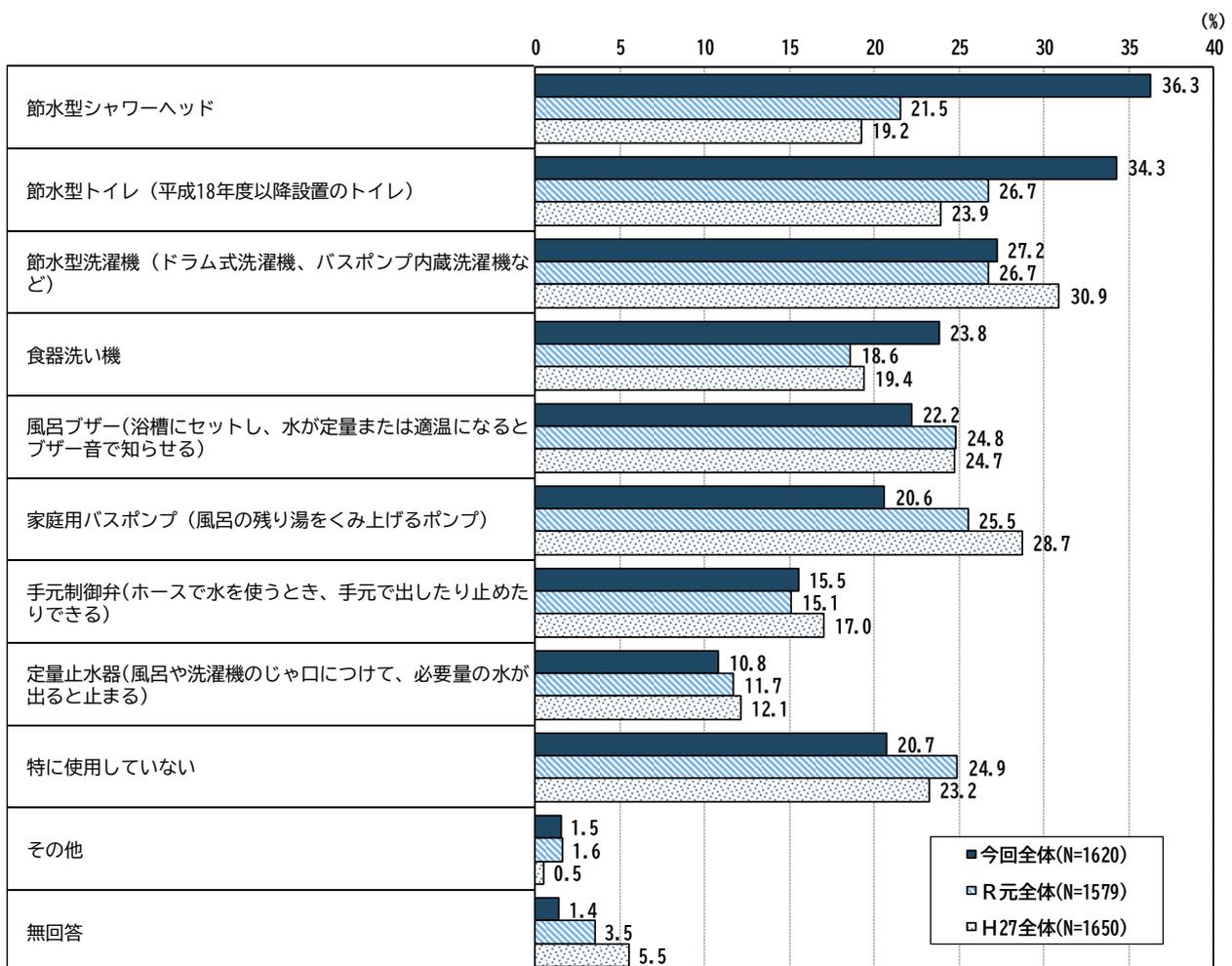
■全体結果

家庭で使用している節水機器としては、「節水型シャワーヘッド」が36.3%と最も高くなっている。次いで「節水型トイレ(平成18年度以降設置のトイレ)」(34.3%)、「節水型洗濯機(ドラム式洗濯機、バスポンプ内蔵洗濯機など)」(27.2%)となっている。

■経年推移

平成27年度と令和元年度の1位であった、「節水型洗濯機」が今回3位となっており、平成27年度の2位、令和元年度の3位の「家庭用バスポンプ」、平成27年度の3位「風呂ブザー」は、今回上位3位に入らず、減少傾向である。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別でみると、大きな差はみられない。
- 年代別でみると、18～29 歳では「特に使用していない」、60 代以上では「風呂ブザー(浴槽にセットし、水が定量または適温になるとブザー音で知らせる)」が他の年代に比べて高くなっている。
- 同居人数別でみると、3人以上の世帯で節水機器の利用率が高くなっている。
- 住居形態別でみると、一戸建て、分譲マンションを問わず持ち家で節水機器の利用率が高くなっている。
- 居住区別でみると、博多区、中央区では「特に使用していない」、城南区では「節水型シャワーヘッド」、
「食器洗い機」が他の居住区に比べて高くなっている。

【属性別使用している節水機器の種類】

(単位：%)

	サンプル数	節水型シャワーヘッド	節水型トイレ(平成18年度以降設置のトイレ)	節水型洗濯機(ドラム式洗濯機)	食器洗い機	風呂ブザー(浴槽にセットし、水が定量または適温になるとブザー音で知らせる)	家庭用バスポンプ(風呂の残り湯をくみ上げるポンプ)	手元制御弁(ホースで水を止めたりできる)	定量止水器(風呂や洗濯機の水が止まると必要量の水が出る)	特に使用していない	その他	無回答	
全体	1620	36.3	34.3	27.2	23.8	22.2	20.6	15.5	10.8	20.7	1.5	1.4	
性別	男性	669	38.9	33.3	27.7	24.2	22.1	19.1	13.5	10.0	20.9	1.6	1.5
	女性	929	34.3	35.4	27.1	23.8	22.4	22.2	17.0	11.6	20.5	1.3	1.2
年代別	18～29歳	165	35.2	23.6	20.0	20.6	18.2	12.1	9.1	4.8	32.1	0.6	0.6
	30代	209	42.1	32.1	26.8	26.3	11.0	12.9	7.2	4.3	27.8	-	0.5
	40代	295	47.8	38.3	31.9	33.6	17.6	21.0	15.6	5.4	16.3	0.7	0.7
	50代	296	38.2	29.7	29.4	27.7	18.6	19.6	17.9	15.5	20.6	0.7	1.0
	60代	264	36.7	38.3	29.2	21.6	30.7	24.6	16.3	15.2	16.7	1.5	1.9
	70歳以上	385	23.4	37.9	23.9	15.3	30.4	26.0	20.3	14.5	18.2	3.6	2.6
同居人数別	1人	294	21.1	19.7	10.2	3.4	11.2	8.8	5.1	4.1	46.6	1.7	2.4
	2人	594	34.5	35.9	28.6	20.0	26.1	23.1	17.8	14.3	17.5	2.0	1.7
	3人	362	42.0	37.8	32.3	31.5	21.3	20.2	16.6	12.2	15.5	1.1	1.1
	4人	266	44.7	41.4	32.7	40.2	24.8	25.6	19.5	9.0	10.2	0.4	0.4
	5人	65	55.4	40.0	33.8	40.0	26.2	30.8	13.8	4.6	9.2	-	-
	6人以上	31	41.9	32.3	38.7	25.8	32.3	25.8	25.8	19.4	9.7	3.2	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	521	36.5	49.7	34.5	37.8	26.9	27.6	30.9	15.2	8.4	1.5	1.5
	持ち家(分譲マンションなど)	424	43.6	43.4	34.0	33.5	28.8	21.7	10.8	12.5	11.3	2.1	0.9
	借家(一戸建て)	27	37.0	7.4	33.3	18.5	33.3	29.6	11.1	3.7	14.8	-	-
	賃貸の共同住宅	607	31.5	16.5	16.3	6.1	12.9	14.2	6.1	6.1	37.4	0.8	1.5
	社宅・寮	14	42.9	21.4	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	21.4	21.4	-	-
	その他	16	31.3	31.3	18.8	18.8	37.5	6.3	18.8	6.3	37.5	6.3	-
居住区別	東区	344	36.6	38.1	28.5	22.7	22.7	18.0	16.0	11.6	18.6	1.5	2.0
	博多区	209	36.8	20.6	18.2	12.9	16.7	14.8	5.7	7.2	31.6	1.4	1.4
	中央区	193	32.6	33.2	29.5	22.3	23.3	17.1	10.4	8.8	28.5	1.6	0.5
	南区	256	34.8	37.9	28.5	26.2	23.0	23.0	18.0	12.9	18.0	1.2	2.0
	城南区	143	42.0	34.3	25.2	30.8	21.7	20.3	15.4	11.2	21.0	1.4	-
	早良区	259	37.1	35.1	27.0	25.1	20.1	24.3	20.8	12.4	15.8	2.7	1.9
	西区	211	36.0	37.9	31.8	29.4	28.0	26.5	19.9	10.4	15.2	-	0.5

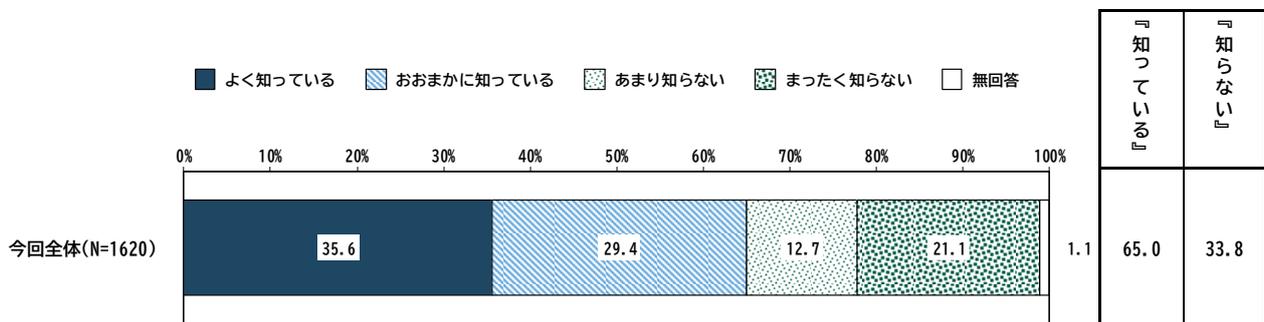
(6) 昭和 53 年・平成 6 年の給水制限について

問6 あなたは、昭和 53 年と平成 6 年に、福岡市で大湯水となり長期間の給水制限があったことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

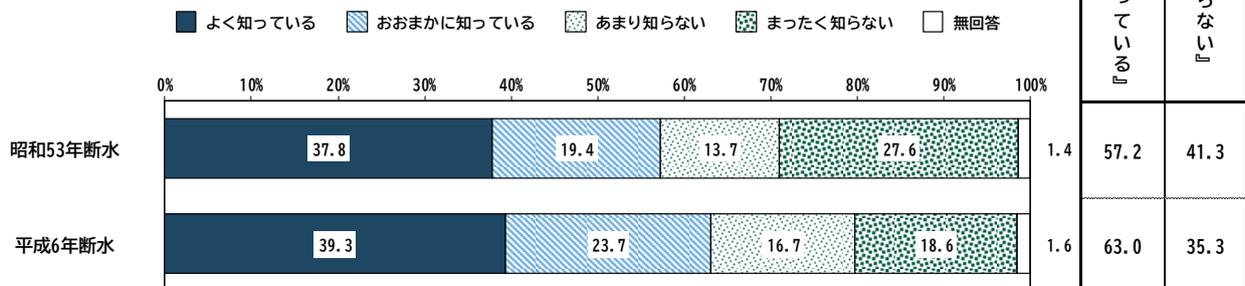
■全体結果

昭和 53 年と平成 6 年の給水制限については、「よく知っている」が 35.6%、「おおまかに知っている」が 29.4%、両者を合計した『知っている』は 65.0%となっている。一方、『知らない』は 33.8%（「まったく知らない」21.1%+「あまり知らない」12.7%）となっている。

【全体結果】



《参考：令和元年度調査における昭和 53 年・平成 6 年断水の認知状況》



■属性別特徴

- 性別でみると、『知っている』は、男性では 69.1%、女性では 62.2%で、男性の方が 6.9 ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、年代が上がるほど『知っている』が高くなっており、特に 50 代以上では8割を超えているが、40 代で 46.8%と半数を割り、30 代で 29.2%、18～29 歳では 18.2%と低くなっている。
- 同居人数別でみると、『知っている』は、2人世帯で 76.0%と最も高く、5人世帯で 49.2%と低くなっている。
- 住居形態別でみると、『知っている』は賃貸の共同住宅で 48.8%と低くなっている。
- 居住区別でみると、『知っている』は、早良区で 70.7%と最も高く、博多区で 58.9%と最も低くなっている。

【属性別昭和 53 年・平成 6 年の給水制限】

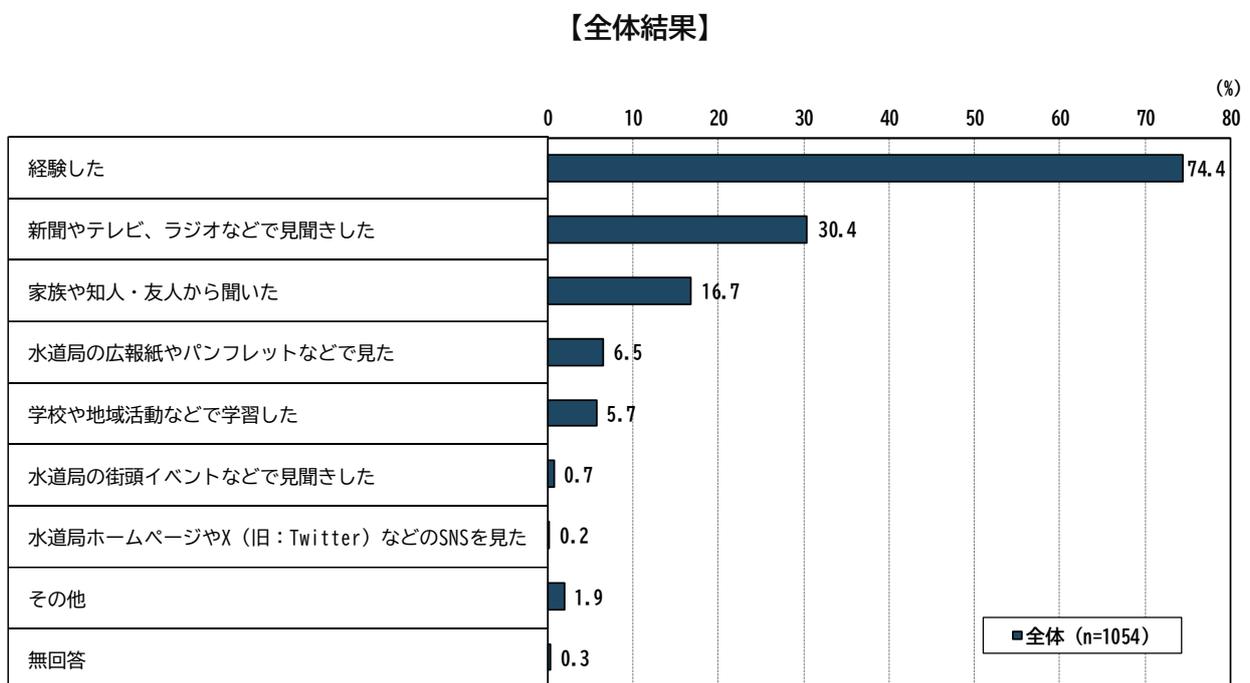
		 よく知っている おおまかに知っている あまり知らない まったく知らない 無回答					『知っている』	『知らない』						
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%		
全体(N=1620)													65.0	33.8
性別	男性(n=669)												69.1	29.7
	女性(n=929)												62.2	36.7
年代別	18~29歳(n=165)												18.2	80.0
	30代(n=209)												29.2	69.4
	40代(n=295)												46.8	52.5
	50代(n=296)												80.7	18.6
	60代(n=264)												87.5	12.1
	70歳以上(n=385)												90.7	7.5
同居人数別	1人(n=294)												50.7	47.2
	2人(n=594)												76.0	22.9
	3人(n=362)												67.2	32.3
	4人(n=266)												56.8	42.4
	5人(n=65)												49.2	50.8
	6人以上(n=31)												67.7	29.0
住居形態別	持ち家(一戸建て)(n=521)												78.9	19.6
	持ち家(分譲マンションなど)(n=424)												71.2	28.3
	借家(一戸建て)(n=27)												74.0	25.9
	賃貸の共同住宅(n=607)												48.8	49.9
	社宅・寮(n=14)												28.6	71.4
	その他(n=16)												75.1	25.0
居住区別	東区(n=344)												63.4	35.5
	博多区(n=209)												58.9	40.2
	中央区(n=193)												63.7	34.2
	南区(n=256)												68.3	30.9
	城南区(n=143)												65.8	33.6
	早良区(n=259)												70.7	27.8
	西区(n=211)												63.5	36.0
節水意識	節水に心がけている派(n=1453)												67.5	31.8
	節水に心がけていない派(n=129)												43.4	56.6

(7) 給水制限の認知経路

問7 問6で「1. よく知っている」「2. おおまかに知っている」と答えた方におたずねします。あなたは、2度の大渇水による給水制限があったことをどのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

2度の大渇水による給水制限があったことの認知経路としては、「経験した」が74.4%と最も高くなっている。次いで「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」(30.4%)、「家族や知人・友人から聞いた」(16.7%)となっている。



■属性別特徴

- 性別で見ると、「経験した」(男性 70.8%－女性 77.2%)、「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」(男性 33.5%－女性 27.7%)で差が大きくなっている。
- 年代別で見ると、50代以上では「経験した」、40代では「家族や知人・友人から聞いた」が高くなっている。
- 同居人数別で見ると、2人世帯、6人以上世帯で「経験した」が8割台と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、大きな差はみられない。
- 居住区別で見ると、大きな差はみられない。

【属性別給水制限の認知経路】

(単位：%)

	サンプル数	経験した	新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした	家族や知人・友人から聞いた	水道局の広報紙やパンフレットなどで見た	学校や地域活動などで学習した	水道局の街頭イベントなどで見聞きした	水道局ホームページやX(旧：Twitter)などのSNSを見た	その他	無回答	
全体	1054	74.4	30.4	16.7	6.5	5.7	0.7	0.2	1.9	0.3	
性別	男性	462	70.8	33.5	16.7	8.2	4.8	0.6	0.2	1.7	0.4
	女性	578	77.2	27.7	17.1	5.0	6.2	0.7	0.2	1.9	0.2
年代別	18～29歳	30	10.0	26.7	46.7	3.3	40.0	-	-	3.3	-
	30代	61	45.9	34.4	41.0	3.3	16.4	-	1.6	3.3	-
	40代	138	62.3	29.7	33.3	5.8	10.1	1.4	-	1.4	-
	50代	239	80.3	23.0	13.8	5.0	2.9	0.4	-	1.7	-
	60代	231	81.4	31.6	9.1	6.1	3.0	-	-	0.9	1.3
	70歳以上	349	80.8	34.7	10.3	8.9	2.9	1.1	0.3	2.6	-
同居人数別	1人	149	65.1	38.3	18.8	4.7	4.0	1.3	-	2.0	-
	2人	451	81.8	29.7	10.9	8.0	3.8	0.4	0.4	1.8	0.7
	3人	243	71.6	27.6	21.4	7.4	9.9	0.4	-	2.9	-
	4人	151	66.2	29.8	24.5	2.6	6.0	-	-	1.3	-
	5人	32	65.6	28.1	25.0	3.1	6.3	3.1	-	-	-
	6人以上	21	85.7	38.1	9.5	9.5	4.8	-	-	-	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	411	78.3	28.5	14.8	7.3	7.1	0.5	0.2	2.2	0.2
	持ち家(分譲マンションなど)	302	73.8	32.5	17.5	7.6	3.3	0.3	-	1.7	0.3
	借家(一戸建て)	20	75.0	20.0	20.0	5.0	10.0	-	-	-	-
	賃貸の共同住宅	296	68.6	31.4	18.9	4.7	6.1	1.4	0.3	2.0	0.3
	社宅・寮	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	12	100.0	25.0	8.3	-	8.3	-	-	-	-
居住区別	東区	218	75.7	35.3	14.7	6.4	5.5	0.9	-	1.8	-
	博多区	123	74.0	30.1	15.4	4.9	5.7	0.8	0.8	3.3	-
	中央区	123	72.4	27.6	16.3	3.3	5.7	1.6	0.8	3.3	-
	南区	175	68.6	31.4	20.0	8.0	5.7	1.1	-	0.6	0.6
	城南区	94	76.6	26.6	11.7	9.6	5.3	-	-	1.1	-
	早良区	183	77.0	25.7	19.1	5.5	7.7	-	-	2.2	0.5
	西区	134	76.1	33.6	17.9	8.2	3.7	-	-	1.5	0.7

2 水道水に関する意識について

(1) 水道水の安全性

問8 福岡市の水道水の安全性について、あなたの考えに近いものをお答えください。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

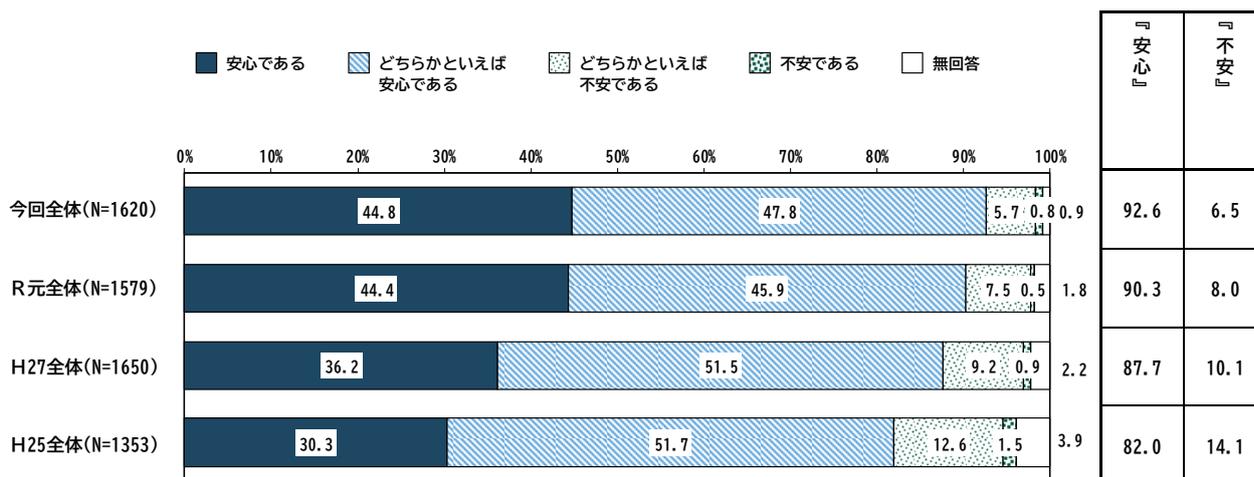
■全体結果

福岡市の水道水の安全性については、「安心である」が44.8%、「どちらかといえば安心である」が47.8%、両者を合計した『安心』は92.6%となっている。一方、『不安』は6.5%（「どちらかといえば不安である」5.7% + 「不安である」0.8%）と少なくなっている。

■経年推移

平成25年度の82.0%以降、『安心』は増加傾向にあり、今回は92.6%と、平成25年度に比べて10.6ポイント増加している。

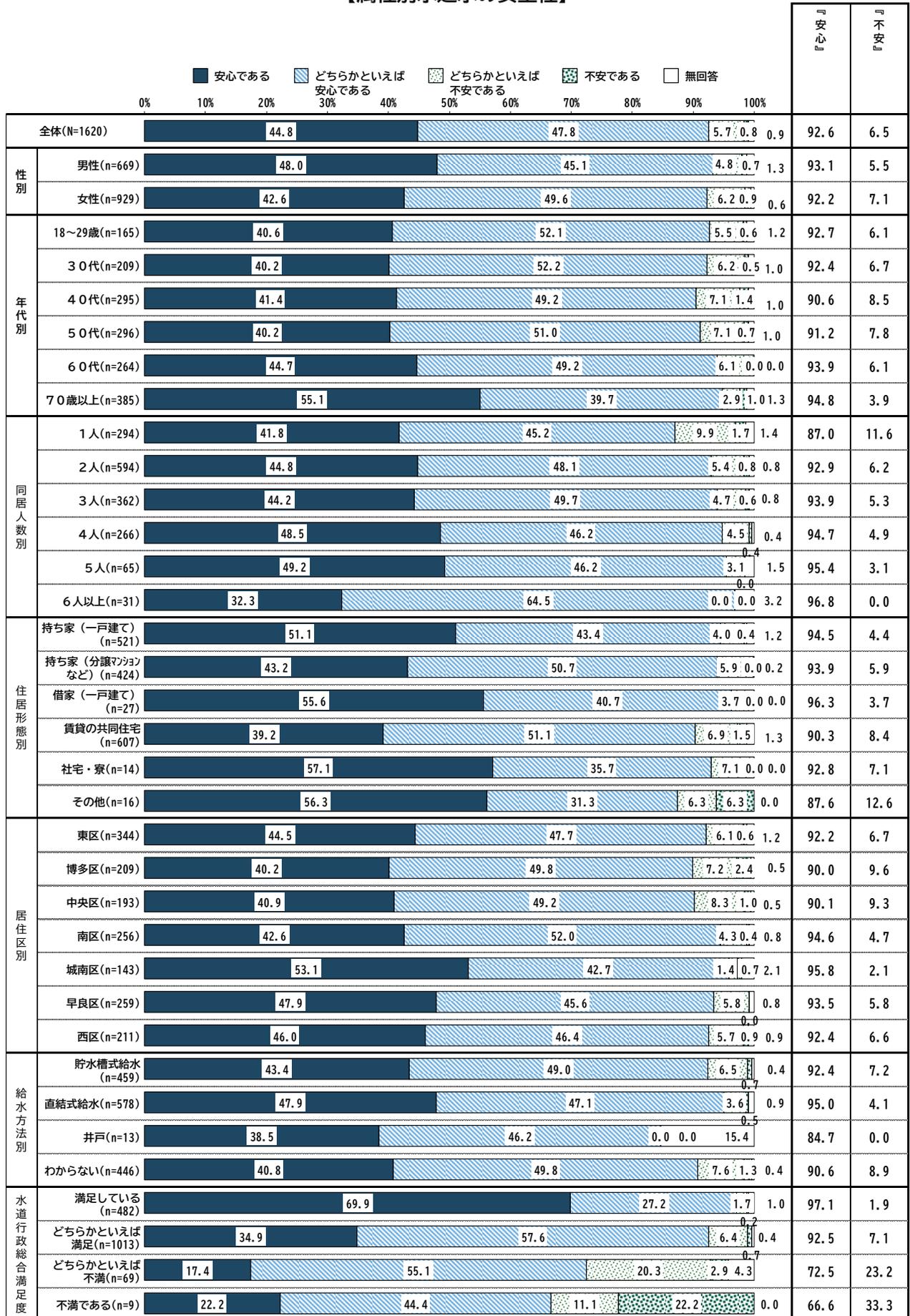
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、70歳以上では「安心である」が55.1%と半数を超えている。
- 同居人数別で見ると、6人以上世帯で「安心である」が32.3%と低くなっている。
- 住居形態別で見ると、賃貸の共同住宅、持ち家(分譲マンションなど)で「安心である」が半数を下回っている。
- 居住区別で見ると、『安心』の割合では大きな差はみられないが、「安心である」が半数を超えているのは城南区のみである。
- 給水方法別で見ると、『安心』の割合では大きな差は見られない。
- 水道行政総合満足度別で見ると、「満足している」ほど、『安心』の割合が高くなっている。

【属性別水道水の安全性】



(2) 安心と思う理由

問9 問8で「1. 安心である」「2. どちらかといえば安心である」と回答した方におたずねします。あなたが、安心と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

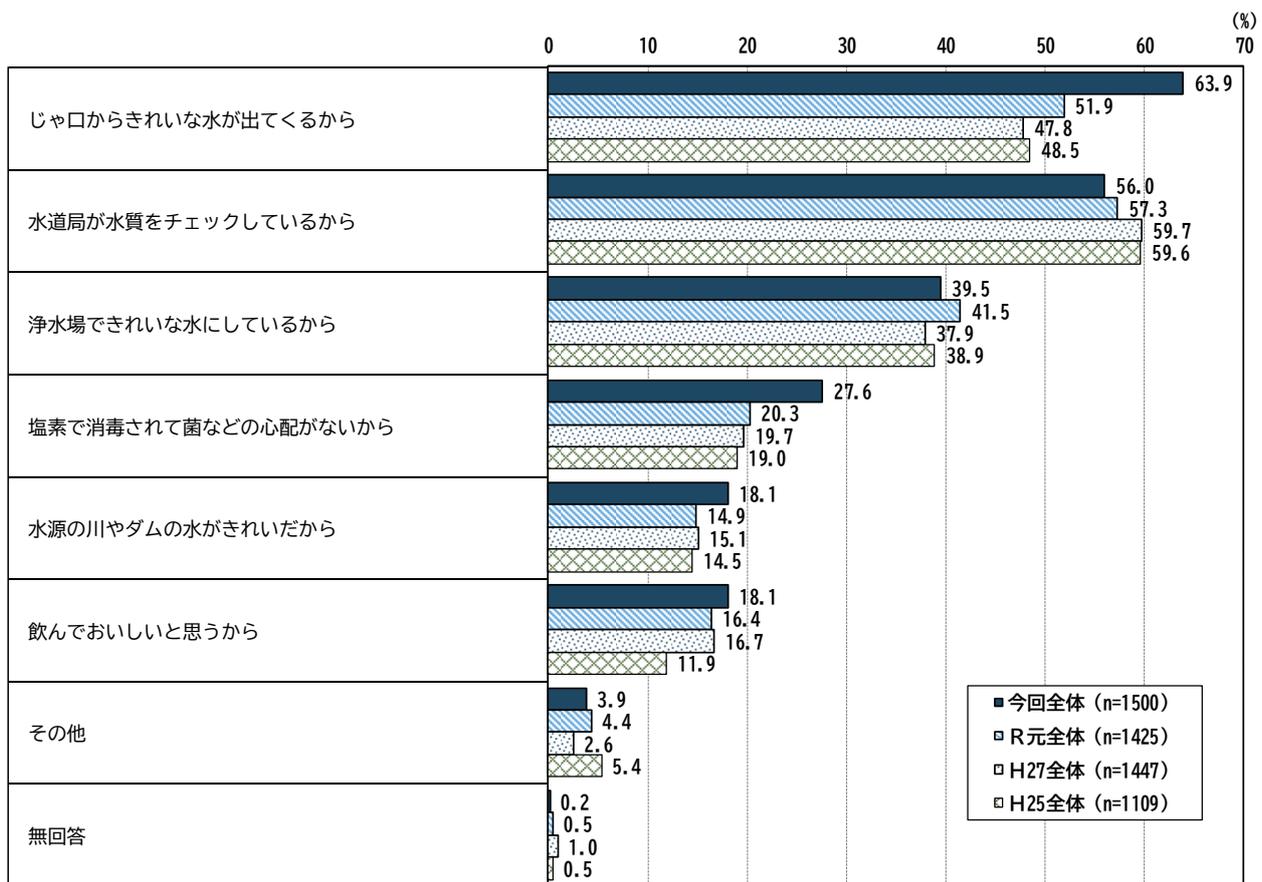
■全体結果

水道水が安心と思う理由としては、「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が63.9%と最も高くなっている。次いで「水道局が水質をチェックしているから」(56.0%)、「浄水場できれいな水にしているから」(39.5%)、「塩素で消毒されて菌などの心配がないから」(27.6%)となっている。

■経年推移

「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が増加傾向にあり、減少傾向にある「水道局が水質をチェックしているから」を抜いて最も高くなっている。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「水道局が水質をチェックしているから」、「塩素で消毒されて菌などの心配がないから」が高くなっている。
- 同居人数別で見ると、2人世帯では「水道局が水質をチェックしているから」が最も高くなっている。

- 住居形態別でみると、持ち家では、一戸建て、分譲マンションなどにかかわらず、「水道局が水質をチェックしているから」が6割台と高くなっている。
- 居住区別でみると、大きな差はみられない。
- 給水方法別でみると、「貯水槽式給水」では「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が最も高く、「直結式給水」では「水道局が水質をチェックしているから」が最も高くなっている。

【属性別安心と思う理由】

(単位：%)

		サンプル数	じゃ口からきれいな水が出てくるから	水道局が水質をチェックしているから	浄水場できれいな水にしているから	塩素で消毒されて菌などの心配がないから	水源の川やダムの水がきれいだから	飲んでおいしいと思うから	その他	無回答
全体		1500	63.9	56.0	39.5	27.6	18.1	18.1	3.9	0.2
性別	男性	623	63.9	54.4	41.3	29.9	21.2	20.9	2.2	0.3
	女性	857	64.4	57.3	38.5	25.8	15.8	16.5	4.9	0.1
年代別	18～29歳	153	66.0	35.9	25.5	12.4	4.6	19.0	3.3	-
	30代	193	71.0	37.8	29.5	18.1	14.5	14.0	4.1	-
	40代	267	68.9	50.2	41.9	18.4	17.2	15.4	5.6	0.4
	50代	270	64.1	58.5	36.7	25.2	20.0	20.7	5.2	-
	60代	248	56.5	66.5	46.8	33.5	17.7	19.0	2.0	0.4
	70歳以上	365	60.8	69.0	46.0	43.6	24.9	19.7	3.0	0.3
同居人数別	1人	256	64.8	51.6	30.5	19.9	13.7	19.9	5.9	0.8
	2人	552	60.9	65.9	43.1	33.0	20.1	19.2	3.3	0.2
	3人	340	64.4	52.4	41.5	30.3	20.3	16.2	5.9	-
	4人	252	67.9	47.2	36.1	22.6	15.5	18.7	1.6	-
	5人	62	72.6	51.6	45.2	21.0	16.1	12.9	-	-
	6人以上	30	63.3	36.7	43.3	23.3	16.7	13.3	3.3	-
住居形態別	持ち家（一戸建て）	492	63.0	62.2	46.7	36.4	19.3	18.5	3.3	-
	持ち家（分譲マンションなど）	398	63.3	60.8	39.7	26.6	20.1	17.8	4.5	0.3
	借家（一戸建て）	26	65.4	50.0	34.6	7.7	26.9	23.1	-	-
	賃貸の共同住宅	548	66.1	46.7	33.2	21.5	15.0	17.2	4.0	0.4
	社宅・寮	13	53.8	53.8	38.5	-	-	30.8	15.4	-
	その他	14	50.0	64.3	28.6	50.0	28.6	35.7	-	-
居住区別	東区	317	65.0	56.2	42.6	29.7	17.4	20.5	4.1	0.6
	博多区	188	66.0	48.9	35.6	25.0	16.0	15.4	5.3	-
	中央区	174	64.9	58.6	35.1	23.6	13.8	14.4	4.6	-
	南区	242	62.8	57.9	38.8	26.0	17.4	19.0	4.5	-
	城南区	137	62.8	55.5	38.0	27.0	16.8	16.8	5.1	-
	早良区	242	64.0	56.2	41.3	28.9	21.1	21.5	2.5	0.4
	西区	195	61.5	57.9	42.1	31.3	23.1	16.4	1.5	-
給水方法別	貯水槽式給水	424	65.1	55.7	35.4	25.5	19.6	19.8	4.5	-
	直結式給水	549	61.4	64.1	48.5	37.2	19.1	19.7	4.2	0.2
	井戸	11	18.2	54.5	45.5	27.3	27.3	27.3	9.1	-
	わからない	404	68.8	44.6	31.2	16.3	13.1	14.9	3.0	0.2

(3) 不安と思う理由

問10 問8で「3. どちらかといえば不安である」「4. 不安である」と回答した方におたずねします。あなたが、不安と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

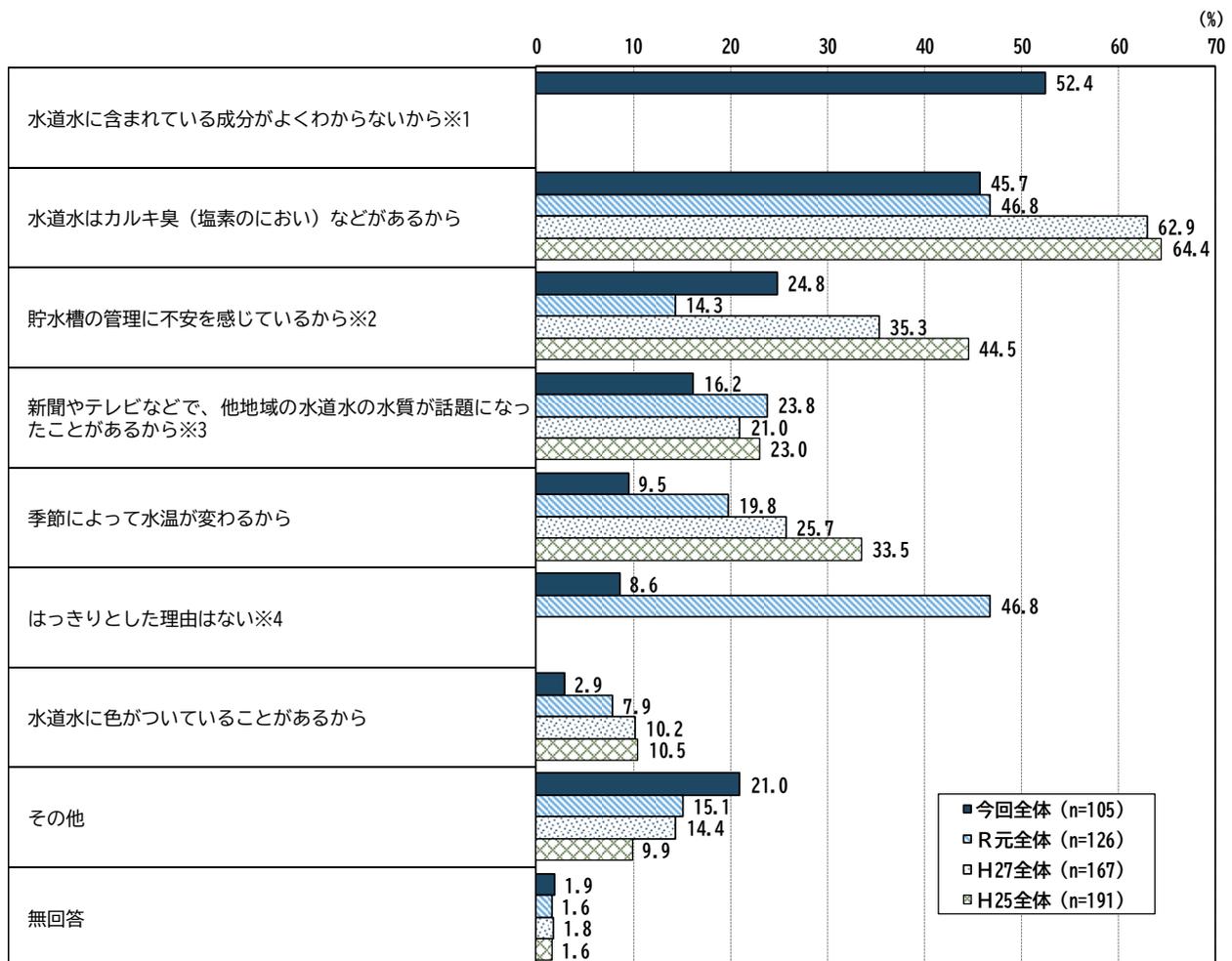
■全体結果

水道水が不安と思う理由としては、「水道水に含まれている成分がよくわからないから」が52.4%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(45.7%)、「貯水槽の管理に不安を感じているから」(24.8%)、「新聞やテレビなどで、他地域の水道水の水質が話題になったことがあるから」(16.2%)となっている。

■経年推移

「はっきりとした理由はない」が、前回(令和元年度)から大幅に減少しているが、これは前回この選択肢を選んだ回答者の一部が、今回新しく追加した「水道水に含まれている成分がよくわからないから」という選択肢を選んだことによるものと考えられる。

【全体結果と経年推移】



※1 今回追加した選択肢

※2 令和元年度以前は「貯水槽の管理が不十分で心配だから(定期的な清掃をしていないなど)」

※3 今回「他地域の」を追加

※4 令和元年度は、「はっきりとした理由はないが、漠然と不安を感じるから」

■属性別特徴

- 性別でみると、「水道水に含まれている成分がよくわからないから」(男性 43.2%－女性 57.6%)や「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(男性 32.4%－女性 51.5%)で差が大きくなっている。
- 年代別でみると、18～29 歳では「水道水に含まれている成分がよくわからないから」、「新聞やテレビなどで、他地域の水道水の水質が話題になったことがあるから」、「はっきりとした理由はない」、30 代では「季節によって水温が変わるから」、60 代では「水道水に含まれている成分がよくわからないから」などが他の年代に比べて高くなっている。
- 住居形態別でみると、持ち家(分譲マンションなど)では「水道水に含まれている成分がよくわからないから」が72.0%と高くなっている。
- 給水方法別でみると、「直結式給水」、「わからない」で「水道水に含まれている成分がよくわからないから」や「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」が5割台と高くなっている。

【属性別不安と思う理由】

		サンプル数	水道水に含まれている成分がよくわからないから	水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから	貯水槽の管理に不安を感じているから	新聞やテレビなどで、他地域の水道水の水質が話題になったことがあるから	季節によって水温が変わるから	はっきりとした理由はない	水道水の色がついていることがあるから	その他	無回答
全体		105	52.4	45.7	24.8	16.2	9.5	8.6	2.9	21.0	1.9
性別	男性	37	43.2	32.4	24.3	13.5	13.5	13.5	-	21.6	5.4
	女性	66	57.6	51.5	24.2	16.7	7.6	6.1	4.5	21.2	-
年代別	18～29歳	10	60.0	40.0	10.0	40.0	-	30.0	-	-	-
	30代	14	42.9	50.0	28.6	7.1	28.6	-	-	28.6	-
	40代	25	56.0	60.0	24.0	16.0	4.0	4.0	4.0	20.0	4.0
	50代	23	43.5	43.5	26.1	17.4	8.7	13.0	-	26.1	4.3
	60代	16	62.5	37.5	25.0	12.5	6.3	6.3	-	18.8	-
	70歳以上	15	46.7	40.0	26.7	13.3	13.3	6.7	6.7	20.0	-
同居人数別	1人	34	50.0	41.2	20.6	23.5	11.8	5.9	2.9	26.5	-
	2人	37	59.5	48.6	32.4	8.1	13.5	10.8	2.7	21.6	-
	3人	19	31.6	57.9	21.1	10.5	5.3	10.5	5.3	15.8	5.3
	4人	13	69.2	30.8	23.1	23.1	-	7.7	-	7.7	7.7
	5人	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-
	6人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	23	52.2	43.5	8.7	26.1	8.7	13.0	-	17.4	4.3
	持ち家(分譲マンションなど)	25	72.0	44.0	28.0	8.0	4.0	8.0	4.0	12.0	-
	借家(一戸建て)	1	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-
	賃貸の共同住宅	51	45.1	49.0	33.3	17.6	13.7	5.9	2.0	23.5	-
	社宅・寮	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-
居住区別	東区	23	60.9	43.5	26.1	30.4	13.0	8.7	4.3	13.0	-
	博多区	20	55.0	45.0	25.0	5.0	10.0	15.0	-	25.0	-
	中央区	18	44.4	44.4	27.8	5.6	16.7	11.1	-	27.8	-
	南区	12	33.3	50.0	16.7	-	-	8.3	8.3	25.0	8.3
	城南区	3	33.3	33.3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-
	早良区	15	73.3	46.7	13.3	33.3	6.7	-	-	20.0	-
	西区	14	42.9	50.0	28.6	21.4	7.1	-	7.1	14.3	7.1
給水方法別	貯水槽式給水	33	48.5	33.3	42.4	15.2	6.1	3.0	3.0	21.2	-
	直結式給水	24	58.3	58.3	12.5	16.7	12.5	4.2	-	25.0	4.2
	井戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	40	52.5	52.5	17.5	17.5	12.5	15.0	5.0	20.0	-

(4) 安心感を得るために必要な情報

問 11 水道水に、より安心感を得るため、どのような情報の充実を望まれますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

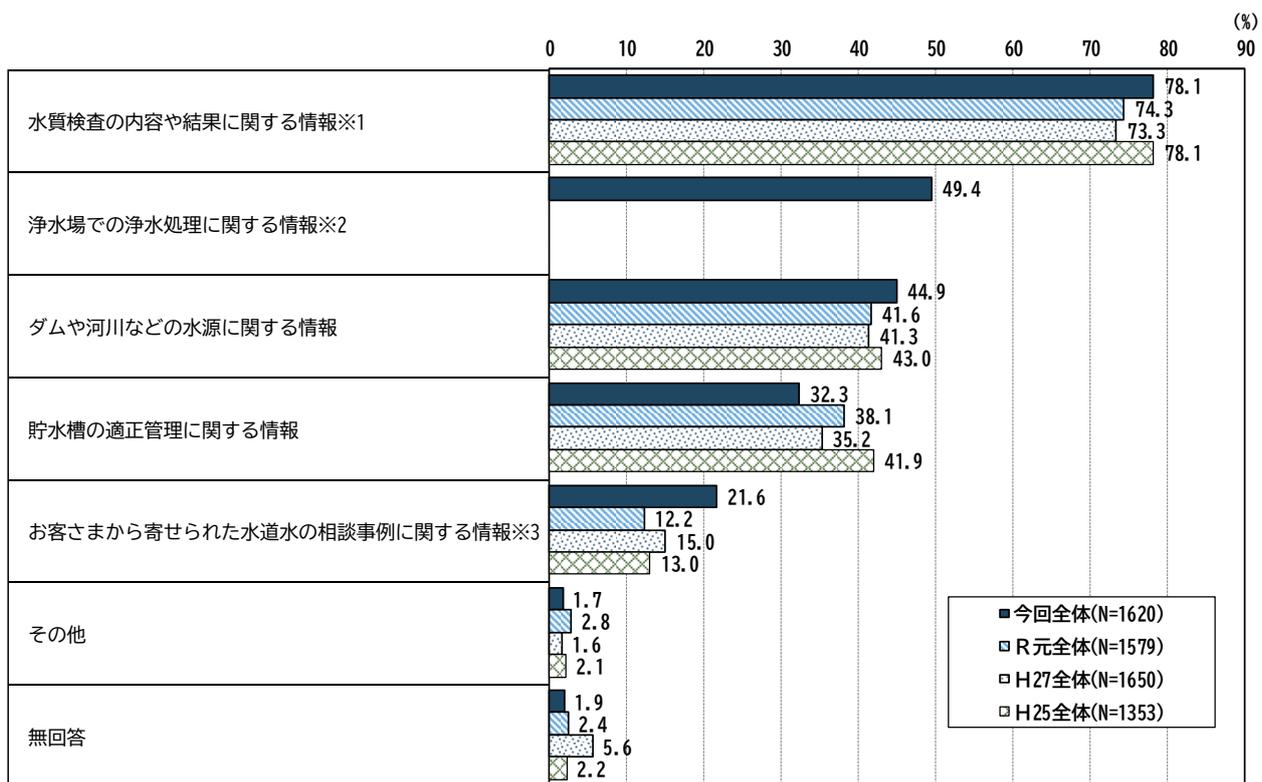
■全体結果

水道水に、より安心感を得るための情報としては、「水質検査の内容や結果に関する情報」が 78.1%と最も高くなっている。次いで「浄水場での浄水処理に関する情報」(49.4%)、「ダムや河川などの水源に関する情報」(44.9%)、「貯水槽の適正管理に関する情報」(32.3%)、「お客さまから寄せられた水道水の相談事例に関する情報」(21.6%)となっている。

■経年推移

今回追加した「浄水場での浄水処理に関する情報」が 49.4%で2番目に高くなったが、これを除くと、平成25年度以降の大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



※1 令和元年度以前は「福岡市が実施している水質検査の結果に関する情報」
 ※2 今回から追加
 ※3 令和元年度以前は「過去にお客さまから寄せられた水道水に関する相談事例」

■属性別特徴

- 性別で見ると、「浄水場での浄水処理に関する情報」は、男性では 46.2%、女性では 51.9%と、女性の方が 5.7 ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、「浄水場での浄水処理に関する情報」は 60 代以上、「ダムや河川などの水源に関する情報」は 50 代以上で5割台と高くなっている。

- 同居人数別、住居形態別、居住区別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 給水方法別でみると、「貯水槽式給水」と「直結式給水」のいずれも「水質検査の内容や結果に関する情報」が最も高くなっている。

【属性別安心感を得るために必要な情報】

(単位：%)

		サンプル数	水質検査の内容や結果に関する情報	浄水場での浄水処理に関する情報	ダムや河川などの水源に関する情報	貯水槽の適正管理に関する情報	お客さまから寄せられた水質検査に関する情報	その他	無回答
全体		1620	78.1	49.4	44.9	32.3	21.6	1.7	1.9
性別	男性	669	77.1	46.2	47.1	30.6	18.5	1.9	2.1
	女性	929	78.7	51.9	43.9	33.8	23.7	1.3	1.8
年代別	18～29歳	165	70.3	43.0	30.9	30.3	18.8	1.2	0.6
	30代	209	75.1	44.0	31.6	33.0	30.6	1.4	1.0
	40代	295	81.7	46.1	37.6	32.2	23.1	1.0	1.4
	50代	296	81.1	45.9	51.0	34.8	23.6	3.4	0.7
	60代	264	77.3	57.6	53.0	35.2	20.1	1.1	1.5
	70歳以上	385	78.7	54.5	54.0	29.6	16.1	1.6	4.7
同居人数別	1人	294	71.1	44.9	41.5	36.4	18.7	1.4	1.4
	2人	594	81.1	53.2	49.7	34.2	19.4	1.9	2.4
	3人	362	78.7	47.5	47.0	30.7	24.0	2.2	2.2
	4人	266	76.7	49.6	39.8	27.8	24.4	1.1	1.1
	5人	65	80.0	44.6	35.4	29.2	30.8	-	1.5
	6人以上	31	87.1	48.4	35.5	32.3	22.6	3.2	3.2
住居形態別	持ち家（一戸建て）	521	82.5	55.3	47.8	15.4	20.7	2.3	3.1
	持ち家（分譲マンションなど）	424	80.4	50.5	50.7	43.9	22.2	1.4	1.9
	借家（一戸建て）	27	77.8	29.6	44.4	11.1	18.5	3.7	-
	賃貸の共同住宅	607	72.7	44.5	38.6	40.0	21.3	1.3	1.0
	社宅・寮	14	78.6	50.0	21.4	14.3	28.6	-	-
その他	16	81.3	62.5	62.5	43.8	50.0	-	-	
居住区別	東区	344	79.1	55.2	52.9	32.0	23.3	1.7	1.5
	博多区	209	78.9	43.1	37.3	35.9	21.1	1.0	0.5
	中央区	193	79.3	47.7	41.5	38.9	21.2	3.1	0.5
	南区	256	75.4	48.4	44.9	31.6	21.9	2.0	4.3
	城南区	143	73.4	47.6	45.5	23.8	21.7	3.5	0.7
	早良区	259	78.0	49.8	44.0	30.5	17.4	0.4	2.7
	西区	211	81.0	50.2	43.6	33.2	24.6	0.9	2.4
給水方法別	貯水槽式給水	459	74.9	44.7	46.4	55.1	17.9	1.5	0.9
	直結式給水	578	83.4	55.5	50.5	16.3	21.5	2.4	1.9
	井戸	13	61.5	38.5	30.8	-	7.7	-	23.1
	わからない	446	75.8	46.2	35.9	31.6	26.5	0.9	1.6

3 家庭で使用している飲用水について

(1) 飲用水の飲用方法

問 12 あなたは、ご家庭で、飲用水をどのような方法で飲んでいきますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

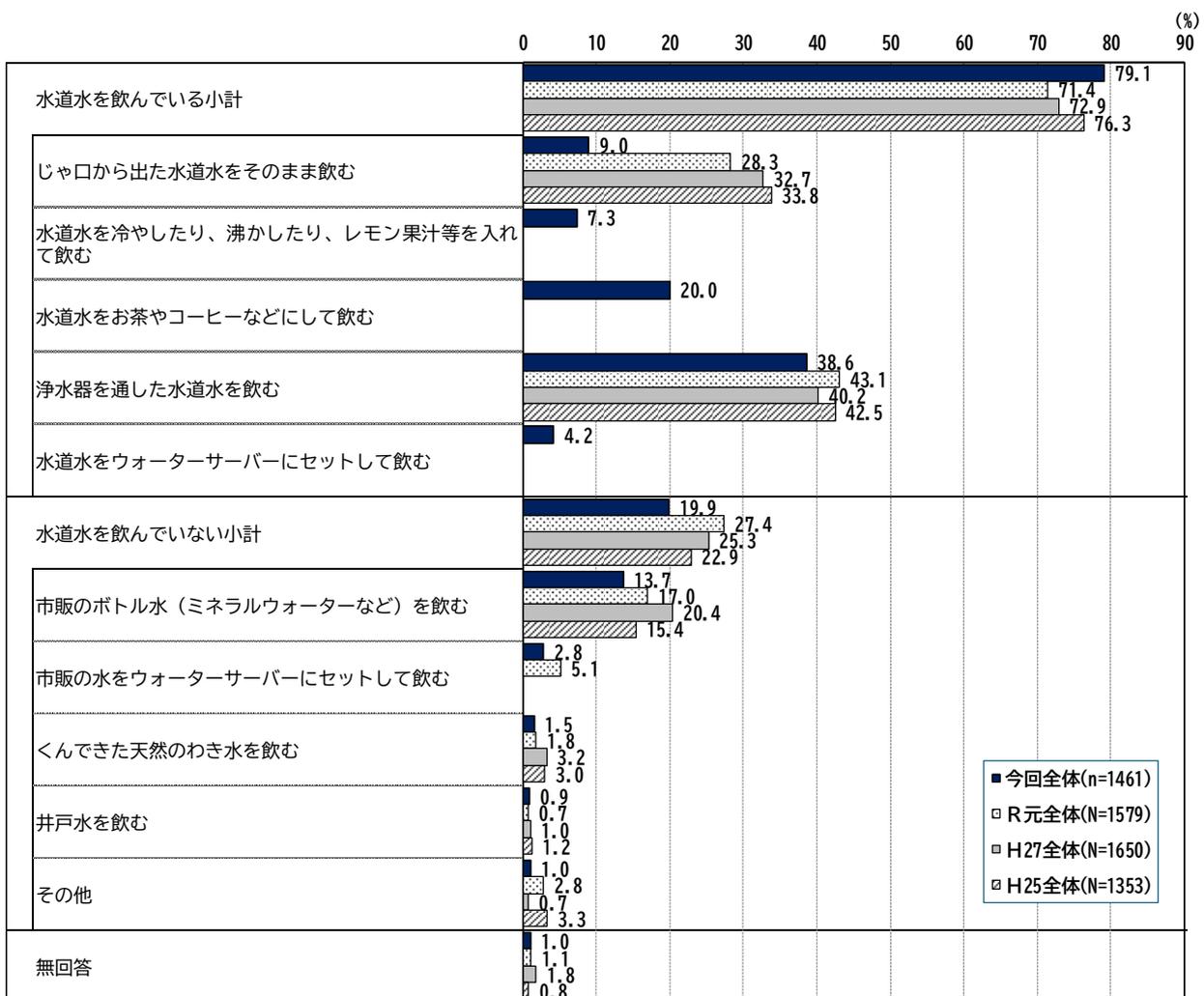
■全体結果と経年推移

家庭での飲用水の飲み方については、平成 27 年度以降「浄水器を通した水道水を飲む」が最も高くなっており、「市販のボトル水(ウォーターサーバーなど)を飲む」は、平成 27 年度以降減少傾向である。

「じゃ口から出た水道水をそのまま飲む」が、今回大幅な減少となっているが、これは過去の調査でこの選択肢を回答した人の一部が、今回は新たに追加した「水道水を冷やす、沸かす、レモン果汁等を入れて飲む」、「水道水をお茶やコーヒーなどにして飲む」という選択肢を選んだことによるものと考えられる。

水道水が元になっている飲用方法をあわせた『水道水を飲んでいる』グループは、79.1%で、前回調査より 7.7 ポイント増加し、水道水が元になっていない飲用方法をあわせた『水道水を飲んでいない』グループは 19.9%で 7.5 ポイント減少し、2割未満となっている。

【全体結果と経年推移】



※本設問は単数回答であるが、令和5年度は、選択肢の変更により、全体(1620)の9.8%(159)の複数回答があったため、集計上の全体標本数(N)を、複数回答を除いたn=1461として行った。

■属性別特徴

- 年代別で見ると、18～29 歳で「市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む」が他の年代に比べて高くなっている。
また、年代が上がるほど、『水道水を飲んでいる』が高くなっている。70 歳以上で、「水道水をそのまま飲んでいる」が最も高く、18～29 歳で、「市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む」が最も高くなっている。
- 同居人数別で見ると、3人～5人世帯で、「浄水器を通した水道水を飲む」が高くなっており、1人世帯と6人以上世帯で、「市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む」が高くなっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家(分譲マンションなど)で「浄水器を通した水道水を飲む」が他の住居形態に比べて高くなっている。
- 給水方法別で見ると、「じゃ口から出た水道水をそのまま飲む」は、どの給水方法でも、ほぼ同じ割合となっている。「貯水槽式給水」、「直結式給水」では『水道水を飲んでいる』が 8 割台以上となっており、「わからない」では、75.3%となっている。
- 水道水の安全性別で見ると、『安心』では、『水道水を飲んでいる』が 8 割台であり、『不安』では 5 割台となっている。
- 塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていることの認知状況別及び、国の基準より厳しい独自の水質目標を設定していることの認知状況別で見ると、いずれも、「知っている」が、『水道水を飲んでいる』割合が高くなっている。

【属性別飲用水の飲用方法】

(単位：%)

	サンプル数	水道水を飲んでいる小計	じゃ口から出た水道水をそのまま飲む	水道水を冷やしたり、沸かしたり、レモン果汁等を入れて飲む	水道水をお茶やコーヒーなどにして飲む	浄水器を通した水道水を飲む	水道水をウォーターサーバーにセットして飲む	水道水を飲んでいない小計	市販のボトル水（ミネラルウォーターなど）を飲む	市販の水をウォーターサーバーにセットして飲む	くんできた天然のわき水を飲む	井戸水を飲む	その他	無回答
全体	1461	79.1	9.0	7.3	20.0	38.6	4.2	19.9	13.7	2.8	1.5	0.9	1.0	1.0
性別	男性	598	79.9	11.2	6.4	22.7	35.6	4.0	18.8	12.9	2.5	2.0	0.7	1.3
	女性	842	78.4	7.2	8.0	18.1	40.6	4.5	20.9	14.3	3.1	1.2	1.1	0.8
年代別	18～29歳	157	71.3	10.2	7.0	15.9	35.0	3.2	27.9	24.8	2.5	0.6	-	0.6
	30代	200	78.0	6.0	7.5	23.5	33.0	8.0	20.5	15.5	3.0	1.0	-	1.5
	40代	282	76.3	4.3	6.4	18.1	41.5	6.0	22.8	15.6	5.0	0.7	0.4	1.1
	50代	278	81.0	8.3	8.3	19.1	43.5	1.8	18.7	11.5	2.5	1.8	1.1	1.8
	60代	227	82.0	7.9	6.2	20.3	42.3	5.3	17.7	9.7	3.5	1.8	1.8	0.9
	70歳以上	312	82.9	15.7	8.0	22.4	34.6	2.2	15.0	9.6	0.6	2.6	1.6	0.6
同居人数別	1人	263	75.0	10.6	12.2	20.2	27.8	4.2	24.0	18.6	2.7	0.8	1.1	0.8
	2人	523	77.7	9.6	6.9	19.9	38.4	2.9	21.4	14.3	2.7	2.3	1.0	1.1
	3人	325	81.5	8.6	4.3	21.2	43.1	4.3	17.5	11.7	2.8	1.5	0.9	0.6
	4人	251	82.5	8.4	5.6	19.9	43.0	5.6	16.8	11.2	3.6	0.4	-	1.6
	5人	64	85.9	3.1	10.9	17.2	51.6	3.1	12.6	6.3	3.1	1.6	1.6	-
	6人以上	27	70.3	3.7	11.1	14.8	22.2	18.5	25.9	18.5	-	3.7	3.7	-
住居形態別	持ち家（一戸建て）	448	81.7	10.7	6.9	18.8	40.8	4.5	17.0	10.3	1.8	2.0	2.7	0.2
	持ち家（分譲マンションなど）	385	81.0	5.7	6.2	18.7	48.3	2.1	17.9	12.2	2.9	1.0	-	1.8
	借家（一戸建て）	24	75.1	16.7	4.2	20.8	29.2	4.2	25.0	8.3	12.5	4.2	-	-
	賃貸の共同住宅	567	76.1	9.5	7.9	22.2	30.9	5.6	23.2	17.1	3.4	1.4	0.2	1.1
	社宅・寮	13	77.0	-	15.4	15.4	46.2	-	23.1	23.1	-	-	-	-
	その他	14	78.5	7.1	14.3	21.4	35.7	-	21.4	21.4	-	-	-	-
給水方法別	貯水槽式給水	418	81.7	7.7	7.2	23.0	40.0	3.8	17.4	10.3	2.6	2.4	0.2	1.9
	直結式給水	510	81.6	10.2	7.5	19.0	41.2	3.7	17.9	12.9	2.0	2.2	0.4	0.4
	井戸	13	7.7	7.7	-	-	-	-	76.9	-	7.7	-	69.2	-
	わからない	417	75.3	7.2	7.7	18.7	35.7	6.0	24.2	18.9	4.1	-	-	1.2
水道安全性	安心派	1358	81.2	9.6	7.1	21.0	39.3	4.2	18.3	12.5	2.6	1.3	0.9	1.0
	不安派	92	52.2	-	9.8	6.5	31.5	4.3	45.7	32.6	6.5	3.3	1.1	2.2
塩素付義	知っている	527	84.0	14.6	8.5	22.8	34.7	3.4	14.7	8.7	2.7	1.9	0.6	0.8
	知らない	925	76.2	5.8	6.6	18.4	40.8	4.6	23.1	16.6	2.9	1.3	1.1	1.2
目水標	知っている	243	83.2	14.4	10.7	23.5	30.9	3.7	15.2	9.1	3.7	0.8	1.2	0.4
	知らない	1207	78.2	7.7	6.5	19.3	40.4	4.3	21.1	14.7	2.7	1.7	0.8	1.2

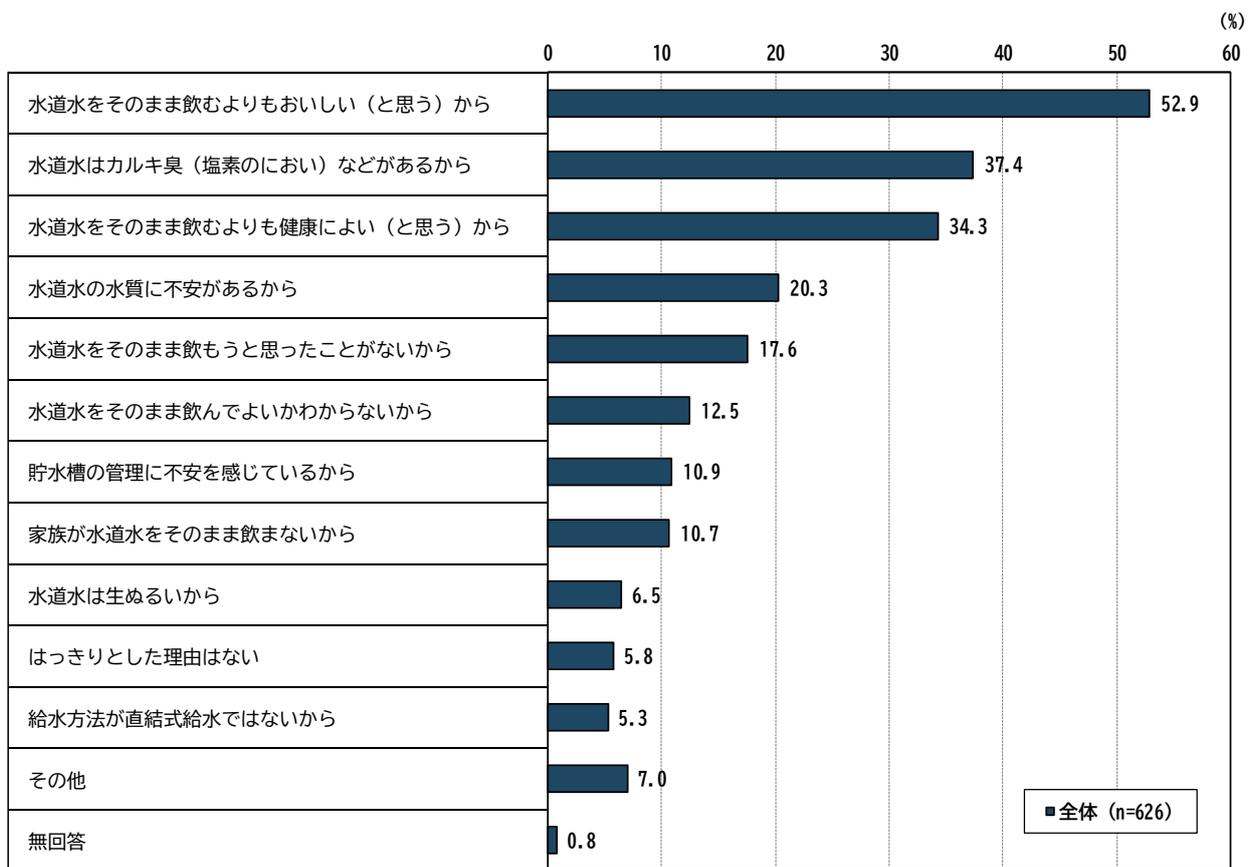
(2) 水道水に浄水器やウォーターサーバーを利用して飲用している理由

問 13 問 12 で「4 浄水器を通した水道水を飲む」、「5 水道水をウォーターサーバーにセットして飲む」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水をそのまま飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道水をそのまま飲まない理由としては、「水道水をそのまま飲むよりもおいしい(と思う)から」が52.9%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(37.4%)、「水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から」(34.3%)、「水道水の水質に不安があるから」(20.3%)となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 年代別、同居人数別、住居形態別、居住区別でみると、差はみられるものの、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 水道水の安全性別でみると、『不安』では、「水道水の水質に不安があるから」(75.8%)、「水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から」(63.6%)、「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(60.6%)などが高くなっている。
- 給水方法別でみると、「貯水槽式給水」、「直結式給水」、「わからない」のいずれも、上位3位が「水道水をそのまま飲むよりもおいしい(と思う)から」、「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」、

「水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から」となっている。

【属性別水道水に浄水器やウォーターサーバーを利用して飲用している理由】

(単位：%)

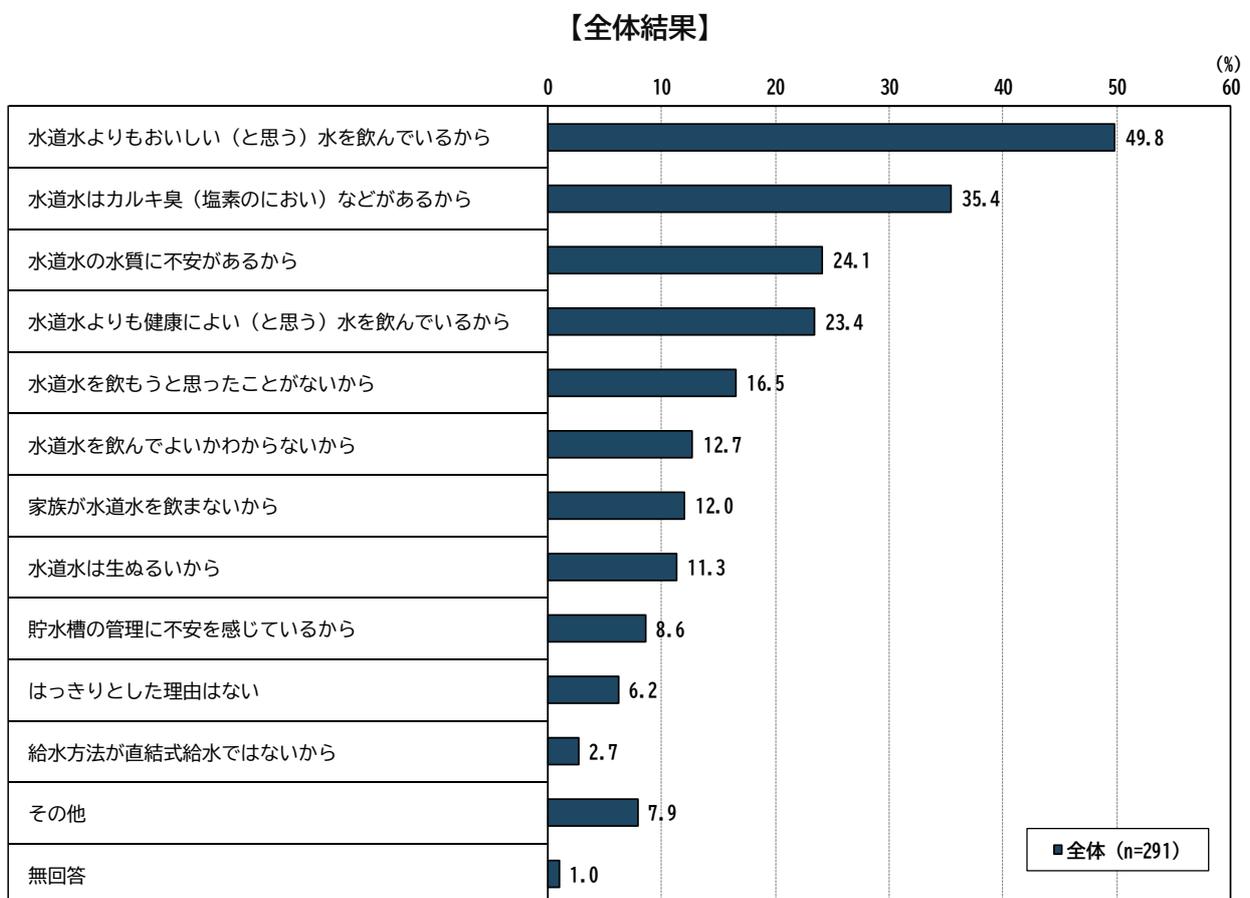
	サンプル数	水道水をそのまま飲むよりもおいしい(と思う)から	水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから	水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から	水道水の品質に不安があるから	水道水をそのまま飲むと、思ったことがないから	水道水をそのまま飲んでよいかわからないから	貯水槽の管理に不安を感じているから	家族が水道水をそのまま飲まないから	水道水は生ぬるいから	はっきりとした理由はない	給水方法が直結式給水ではないから	その他	無回答
全体	626	52.9	37.4	34.3	20.3	17.6	12.5	10.9	10.7	6.5	5.8	5.3	7.0	0.8
性別														
男性	237	51.5	38.0	33.3	19.0	14.3	9.7	8.0	12.2	8.0	7.6	3.8	6.8	-
女性	380	53.7	36.3	35.3	20.3	19.5	13.9	12.1	9.5	5.8	4.5	6.3	7.4	1.3
年代別														
18~29歳	60	41.7	30.0	26.7	28.3	21.7	26.7	8.3	20.0	6.7	6.7	5.0	5.0	-
30代	82	54.9	46.3	28.0	19.5	17.1	15.9	7.3	20.7	11.0	6.1	2.4	7.3	-
40代	134	49.3	35.8	23.1	17.9	20.9	9.0	9.7	6.7	5.2	4.5	3.7	10.4	-
50代	126	57.1	38.1	38.1	23.8	14.3	10.3	15.9	7.9	7.9	3.2	6.3	5.6	-
60代	108	56.5	32.4	34.3	25.9	12.0	8.3	13.9	8.3	5.6	8.3	7.4	7.4	0.9
70歳以上	115	53.9	40.9	52.2	10.4	20.9	13.0	7.8	8.7	4.3	6.1	6.1	5.2	3.5
同居人数別														
1人	84	53.6	36.9	28.6	17.9	16.7	17.9	19.0	2.4	7.1	7.1	6.0	8.3	1.2
2人	216	53.2	35.2	42.1	21.8	14.8	9.7	13.4	8.8	4.2	6.0	6.9	7.9	1.4
3人	154	53.2	42.9	34.4	19.5	17.5	12.3	9.1	13.0	7.1	3.9	5.8	6.5	0.6
4人	122	56.6	33.6	23.0	15.6	20.5	9.8	5.7	13.1	6.6	4.9	2.5	6.6	-
5人	35	42.9	40.0	34.3	37.1	28.6	25.7	-	22.9	11.4	8.6	2.9	5.7	-
6人以上	11	45.5	45.5	45.5	27.3	9.1	18.2	18.2	9.1	27.3	9.1	-	-	-
住居形態別														
持ち家(一戸建て)	203	53.2	37.4	42.9	16.7	12.3	10.3	0.5	10.3	6.9	5.9	-	7.4	1.0
持ち家(分譲マンションなど)	194	56.7	31.4	29.9	21.6	18.6	13.9	12.9	9.8	5.7	7.7	9.8	6.7	0.5
借家(一戸建て)	8	50.0	62.5	37.5	25.0	12.5	-	-	25.0	25.0	-	-	12.5	-
賃貸の共同住宅	207	48.8	42.5	31.4	22.7	22.2	14.5	18.8	10.6	6.8	3.4	6.3	7.2	1.0
社宅・寮	6	50.0	33.3	16.7	16.7	-	-	33.3	16.7	-	-	16.7	-	-
その他	5	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-
居住区別														
東区	135	51.1	34.8	36.3	20.0	14.1	13.3	14.1	6.7	8.1	4.4	2.2	6.7	1.5
博多区	78	47.4	37.2	28.2	17.9	14.1	12.8	12.8	5.1	9.0	10.3	7.7	7.7	1.3
中央区	80	66.3	36.3	27.5	13.8	15.0	15.0	8.8	11.3	2.5	2.5	5.0	10.0	1.3
南区	103	57.3	42.7	32.0	26.2	22.3	16.5	9.7	12.6	9.7	5.8	10.7	4.9	-
城南区	50	52.0	42.0	40.0	26.0	20.0	6.0	14.0	20.0	6.0	4.0	6.0	4.0	2.0
早良区	100	47.0	36.0	36.0	22.0	19.0	10.0	7.0	13.0	5.0	9.0	3.0	9.0	-
西区	78	51.3	34.6	42.3	16.7	19.2	10.3	10.3	11.5	3.8	2.6	3.8	6.4	-
意識水														
節水に心がけている派	572	53.8	37.9	34.8	20.5	17.1	12.2	11.2	10.5	7.0	5.9	5.4	6.8	0.9
節水に心がけていない派	42	45.2	28.6	23.8	19.0	23.8	9.5	7.1	14.3	2.4	2.4	2.4	11.9	-
安全性														
安心派	591	53.3	36.0	32.7	16.9	17.1	11.8	9.5	10.8	6.8	5.9	5.2	7.3	0.8
不安派	33	48.5	60.6	63.6	75.8	24.2	24.2	36.4	9.1	3.0	3.0	6.1	3.0	-
給水方法別														
貯水槽式給水	183	48.1	36.1	31.1	22.4	19.1	8.7	24.0	10.9	4.4	6.0	15.8	6.6	1.6
直結式給水	229	54.6	37.1	41.9	16.6	16.2	8.7	0.4	10.5	8.3	6.6	-	8.3	0.9
井戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
わからない	174	52.3	37.9	26.4	24.7	20.7	19.5	8.6	10.3	8.0	5.2	1.1	6.9	-

(3) 市販のボトル水やくんできた天然水を飲用する理由

問 14 問 12 で「6. 市販のボトル水（ミネラルウォーターなど）を飲む」「7. 市販の水をウォーターサーバーにセットして飲む」「8. くんできた天然のわき水を飲む」「9. 井戸水を飲む」「10. その他」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水を飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道水を飲まない理由としては、「水道水よりもおいしい（と思う）水を飲んでいるから」が 49.8%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭（塩素のにおい）などがあるから」（35.4%）、「水道水の水質に不安があるから」（24.1%）、「水道水よりも健康によい（と思う）水を飲んでいるから」（23.4%）となっている。



■属性別特徴

- 年代別で見ると、60 代以上では「水道水よりもおいしい（と思う）水を飲んでいるから」、「水道水よりも健康によい（と思う）水を飲んでいるから」、30 代以下では「水道水を飲もうと思ったことがないから」「水道水を飲んでよいかわからないから」が他の年代よりも高くなっている。
- 同居人数別、住居形態別、居住区別で見ると、差はみられるものの、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 水道水の安全性別で見ると、『不安』では、「水道水の水質に不安があるから」（64.3%）、「水道水はカルキ臭（塩素のにおい）などがあるから」（45.2%）が高くなっている。
- 給水方法別で見ると、「貯水槽式給水」、「直結式給水」、「わからない」のいずれも、1位が「水道水より

もおいしい(と思う)水を飲んでいるから」、2位が「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」となっており、「貯水槽式給水」の3位が、「水道水よりも健康によい(と思う)水を飲んでいるから」、「直結式給水」及び「わからない」の3位が「水道水の水質に不安があるから」となっている。

【属性別市販のボトル水やくんできた天然水を飲用する理由】

(単位：%)

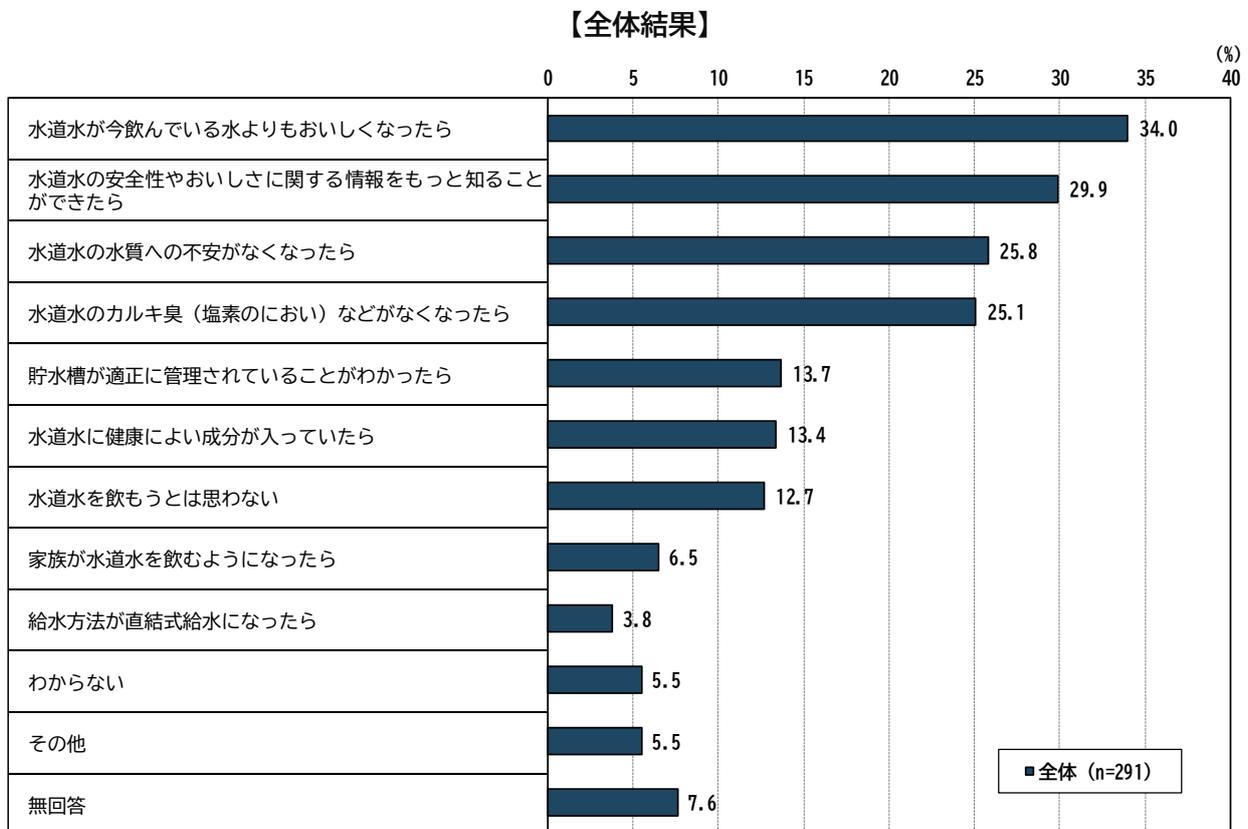
		サンプル数	水道水よりもおいしい(と思う)水を飲んでいるから	水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから	水道水の水質に不安があるから	水道水よりも健康によい(と思う)水を飲んでいるから	水道水を飲もうと思ったことがないから	水道水を飲んでよいかかわらないから	家族が水道水を飲まないから	水道水は生ぬるいから	貯水槽の管理に不安を感じているから	給水方法が直結式給水ではないから	はっきりとした理由はない	その他	無回答
全体		291	49.8	35.4	24.1	23.4	16.5	12.7	12.0	11.3	8.6	2.7	6.2	7.9	1.0
性別	男性	112	51.8	34.8	20.5	27.7	16.1	6.3	16.1	14.3	7.1	0.9	8.0	8.9	0.9
	女性	175	49.1	36.6	26.9	20.0	16.6	17.1	9.1	9.7	9.7	4.0	5.1	6.9	1.1
年代別	18～29歳	44	47.7	40.9	25.0	13.6	25.0	18.2	13.6	13.6	9.1	2.3	6.8	6.8	-
	30代	41	48.8	43.9	22.0	7.3	19.5	24.4	7.3	19.5	2.4	-	-	2.4	-
	40代	64	43.8	37.5	28.1	20.3	15.6	14.1	21.9	9.4	14.1	3.1	6.3	4.7	1.6
	50代	52	44.2	30.8	25.0	28.8	17.3	5.8	9.6	9.6	7.7	1.9	7.7	5.8	-
	60代	40	50.0	25.0	22.5	32.5	12.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5.0	12.5	20.0	-
	70歳以上	47	68.1	36.2	19.1	34.0	10.6	6.4	8.5	10.6	6.4	4.3	4.3	8.5	4.3
同居人数別	1人	63	46.0	42.9	31.7	19.0	22.2	12.7	1.6	6.3	7.9	1.6	6.3	11.1	1.6
	2人	112	53.6	29.5	24.1	27.7	15.2	8.9	14.3	12.5	13.4	3.6	6.3	6.3	1.8
	3人	57	42.1	35.1	21.1	21.1	15.8	14.0	15.8	10.5	7.0	5.3	5.3	7.0	-
	4人	42	50.0	33.3	19.0	23.8	14.3	21.4	14.3	14.3	-	-	7.1	4.8	-
	5人	8	50.0	62.5	25.0	-	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-
	6人以上	7	100.0	57.1	14.3	28.6	14.3	-	28.6	28.6	-	-	-	14.3	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	76	48.7	30.3	18.4	27.6	15.8	7.9	13.2	14.5	-	1.3	9.2	15.8	1.3
	持ち家(分譲マンションなど)	69	50.7	39.1	24.6	24.6	15.9	20.3	21.7	7.2	14.5	7.2	5.8	1.4	1.4
	借家(一戸建て)	6	66.7	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	賃貸の共同住宅	131	51.1	38.2	26.7	20.6	17.6	13.0	7.6	13.0	11.5	1.5	5.3	6.1	0.8
	社宅・寮	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	その他	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	東区	55	58.2	40.0	27.3	30.9	14.5	10.9	12.7	10.9	10.9	9.1	7.3	1.8	-
	博多区	52	50.0	32.7	26.9	36.5	21.2	11.5	15.4	7.7	9.6	1.9	3.8	3.8	-
	中央区	37	48.6	48.6	29.7	5.4	27.0	24.3	8.1	16.2	13.5	-	5.4	10.8	-
	南区	40	60.0	40.0	22.5	20.0	17.5	5.0	20.0	12.5	10.0	-	7.5	10.0	2.5
	城南区	27	37.0	18.5	14.8	25.9	14.8	11.1	7.4	11.1	3.7	-	7.4	18.5	3.7
	早良区	40	40.0	32.5	27.5	17.5	5.0	12.5	12.5	12.5	7.5	-	7.5	15.0	2.5
	西区	38	50.0	31.6	15.8	18.4	15.8	15.8	5.3	10.5	2.6	5.3	5.3	-	-
安水性水道水	安心派	248	52.0	33.9	16.9	24.2	16.1	13.7	12.1	13.3	4.8	2.4	6.5	8.5	1.2
	不安派	42	35.7	45.2	64.3	16.7	19.0	7.1	11.9	-	31.0	4.8	4.8	4.8	-
給水方法別	貯水槽式給水	73	58.9	32.9	21.9	24.7	11.0	12.3	12.3	6.8	19.2	8.2	5.5	5.5	1.4
	直結式給水	91	50.5	30.8	26.4	24.2	19.8	8.8	15.4	13.2	2.2	-	5.5	9.9	-
	井戸	10	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0	10.0	60.0	10.0
	わからない	101	48.5	41.6	26.7	20.8	17.8	17.8	8.9	13.9	6.9	-	5.9	2.0	1.0

(4) 水道水を飲むきっかけになると思うこと

問 15 問 12 で「6. 市販のボトル水（ミネラルウォーターなど）を飲む」「7. 市販の水をウォーターサーバーにセットして飲む」「8. くんできた天然のわき水を飲む」「9. 井戸水を飲む」「10. その他」と回答した方におたずねします。あなたが水道水を飲むきっかけになると思うことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道水を飲むきっかけになると思うこととしては、「水道水が今飲んでいる水よりもおいしくなったら」が34.0%と最も高くなっている。次いで「水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら」(29.9%)、「水道水の水質への不安がなくなったら」(25.8%)、「水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら」(25.1%)となっている。



■属性別特徴

- 性別で見ると、「水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら」(男性 19.6%－女性 36.6%)、「水道水の水質への不安がなくなったら」(男性 16.1%－女性 32.6%)、「貯水槽が適正に管理されていることがわかったら」(男性 8.0%－女性 17.7%)は女性が男性よりも高く、「水道水を飲もうとは思わない」(男性 17.0%－女性 9.7%)は男性が女性よりも高くなっている。
- 年代別で見ると、30代で「水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら」、「水道水の水質への不安がなくなったら」、60代以上で「水道水が今飲んでいる水よりもおいしくなったら」が4割台と高くなっている。
- 同居人数別で見ると、1人世帯では「水道水の水質への不安がなくなったら」、2人世帯では「水道水が今飲んでいる水よりもおいしくなったら」、3人世帯では「水道水の安全性やおいしさに関する情報を

もっと知ることができたら」、4人世帯では「水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら」が最も高くなっている。

- 水道水の安全性別でみると、『不安』では「水道水の水質への不安がなくなったら」が最も高くなっている。
- 給水方法別でみると、「直結式給水」及び「わからない」では、1位が「水道水が今飲んでいいる水よりもおいしくなったら」、2位が「水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら」、3位が「水道水の水質への不安がなくなったら」となっている。「貯水槽式給水」では、1位が「水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら」、2位が「貯水槽が適正に管理されることがわかたら」、3位が「水道水が今飲んでいいる水よりもおいしくなったら」となっている。

【属性別水道水を飲むきっかけになると思うこと】

(単位：%)

	サンプル数	水道水が今飲んでいいる水よりもおいしくなったら	水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら	水道水の水質への不安がなくなったら	水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら	貯水槽が適正に管理されていることがわかたら	水道水に健康によい成分が入っていることがわかたら	水道水を飲むとは思わない	家族が水道水を飲むようになったら	給水方法が直結式給水になったら	わからない	その他	無回答
全体	291	34.0	29.9	25.8	25.1	13.7	13.4	12.7	6.5	3.8	5.5	5.5	7.6
性別													
男性	112	36.6	19.6	16.1	23.2	8.0	11.6	17.0	7.1	3.6	9.8	5.4	4.5
女性	175	33.1	36.6	32.6	26.9	17.7	14.3	9.7	5.7	4.0	2.3	5.7	9.1
年代別													
18～29歳	44	36.4	29.5	29.5	27.3	11.4	15.9	9.1	6.8	4.5	9.1	2.3	4.5
30代	41	39.0	31.7	41.5	46.3	19.5	7.3	7.3	9.8	2.4	2.4	-	4.9
40代	64	28.1	31.3	28.1	21.9	17.2	14.1	14.1	10.9	3.1	7.8	4.7	7.8
50代	52	25.0	30.8	17.3	17.3	7.7	15.4	21.2	3.8	3.8	3.8	7.7	5.8
60代	40	40.0	22.5	25.0	17.5	17.5	12.5	7.5	5.0	5.0	2.5	12.5	7.5
70歳以上	47	42.6	34.0	17.0	25.5	10.6	14.9	12.8	2.1	4.3	4.3	6.4	12.8
同居人数別													
1人	63	27.0	23.8	30.2	27.0	14.3	14.3	12.7	1.6	4.8	7.9	6.3	12.7
2人	112	40.2	30.4	22.3	18.8	14.3	17.9	15.2	5.4	4.5	3.6	7.1	5.4
3人	57	33.3	38.6	29.8	26.3	14.0	10.5	10.5	12.3	5.3	5.3	5.3	1.8
4人	42	33.3	28.6	23.8	35.7	14.3	9.5	9.5	9.5	-	7.1	-	4.8
5人	8	25.0	12.5	25.0	37.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	12.5	25.0
6人以上	7	28.6	42.9	28.6	28.6	-	-	14.3	-	-	-	-	28.6
住居形態別													
持ち家(一戸建て)	76	32.9	32.9	21.1	19.7	1.3	11.8	10.5	5.3	2.6	5.3	10.5	9.2
持ち家(分譲マンションなど)	69	29.0	27.5	24.6	29.0	23.2	14.5	14.5	14.5	2.9	5.8	4.3	5.8
借家(一戸建て)	6	-	16.7	16.7	16.7	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-
賃貸の共同住宅	131	36.6	31.3	29.0	26.7	16.8	13.0	13.0	3.1	5.3	5.3	3.8	7.6
社宅・寮	3	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
その他	3	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
居住区別													
東区	55	36.4	29.1	30.9	32.7	14.5	18.2	10.9	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8
博多区	52	32.7	34.6	34.6	19.2	11.5	19.2	19.2	11.5	1.9	5.8	1.9	1.9
中央区	37	32.4	21.6	21.6	27.0	16.2	16.2	8.1	2.7	2.7	5.4	5.4	13.5
南区	40	35.0	25.0	17.5	17.5	17.5	10.0	17.5	10.0	2.5	2.5	10.0	17.5
城南区	27	25.9	25.9	22.2	29.6	11.1	7.4	18.5	3.7	-	11.1	11.1	7.4
早良区	40	37.5	37.5	22.5	22.5	10.0	7.5	10.0	10.0	-	5.0	10.0	7.5
西区	38	36.8	34.2	26.3	28.9	15.8	10.5	5.3	5.3	18.4	5.3	-	5.3
意節水													
節水に心がけている派	253	32.8	31.2	24.9	23.7	13.4	14.6	13.0	7.1	4.0	5.5	5.9	7.9
節水に心がけていない派	37	43.2	18.9	29.7	35.1	16.2	5.4	10.8	2.7	2.7	5.4	2.7	5.4
安水道性水													
安心派	248	37.1	30.6	22.2	25.8	12.9	13.3	11.3	7.3	2.8	5.2	4.8	7.7
不安派	42	16.7	26.2	47.6	21.4	19.0	14.3	19.0	2.4	9.5	7.1	9.5	7.1
水道行政													
満足している	62	35.5	22.6	17.7	24.2	9.7	11.3	14.5	6.5	1.6	9.7	6.5	3.2
どちらかといえば満足	205	34.6	32.2	27.3	23.9	14.1	14.6	10.7	7.3	3.9	3.9	5.4	8.8
どちらかといえば不満	16	25.0	31.3	43.8	37.5	25.0	6.3	25.0	-	6.3	12.5	-	6.3
不満である	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
給水方法別													
貯水槽式給水	73	24.7	23.3	23.3	31.5	26.0	11.0	16.4	9.6	9.6	6.8	1.4	5.5
直結式給水	91	44.0	34.1	25.3	17.6	3.3	15.4	9.9	7.7	-	3.3	6.6	5.5
井戸	10	-	10.0	10.0	20.0	-	-	10.0	-	20.0	10.0	50.0	10.0
わからない	101	36.6	33.7	30.7	28.7	15.8	14.9	12.9	5.0	1.0	5.9	2.0	7.9

4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて

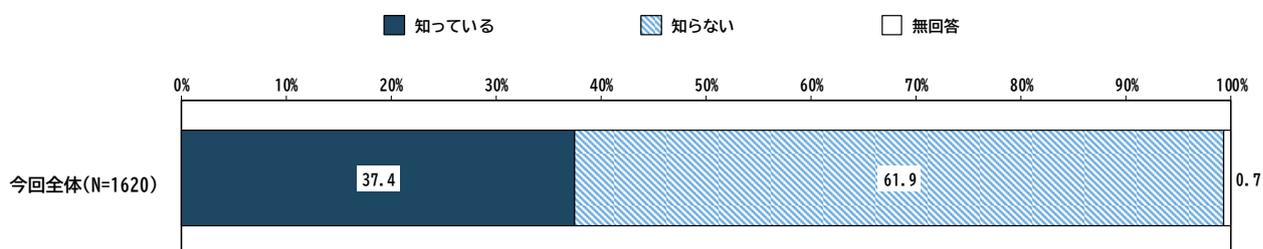
(1) 塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていることについて

問 16 衛生上の観点から水道水の安全性を保つため、浄水場で入れた消毒用の塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられています。あなたはこのことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道水の安全性を保つため、浄水場で入れた消毒用の塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていることについては、「知っている」は37.4%にとどまり、「知らない」が61.9%となっている。

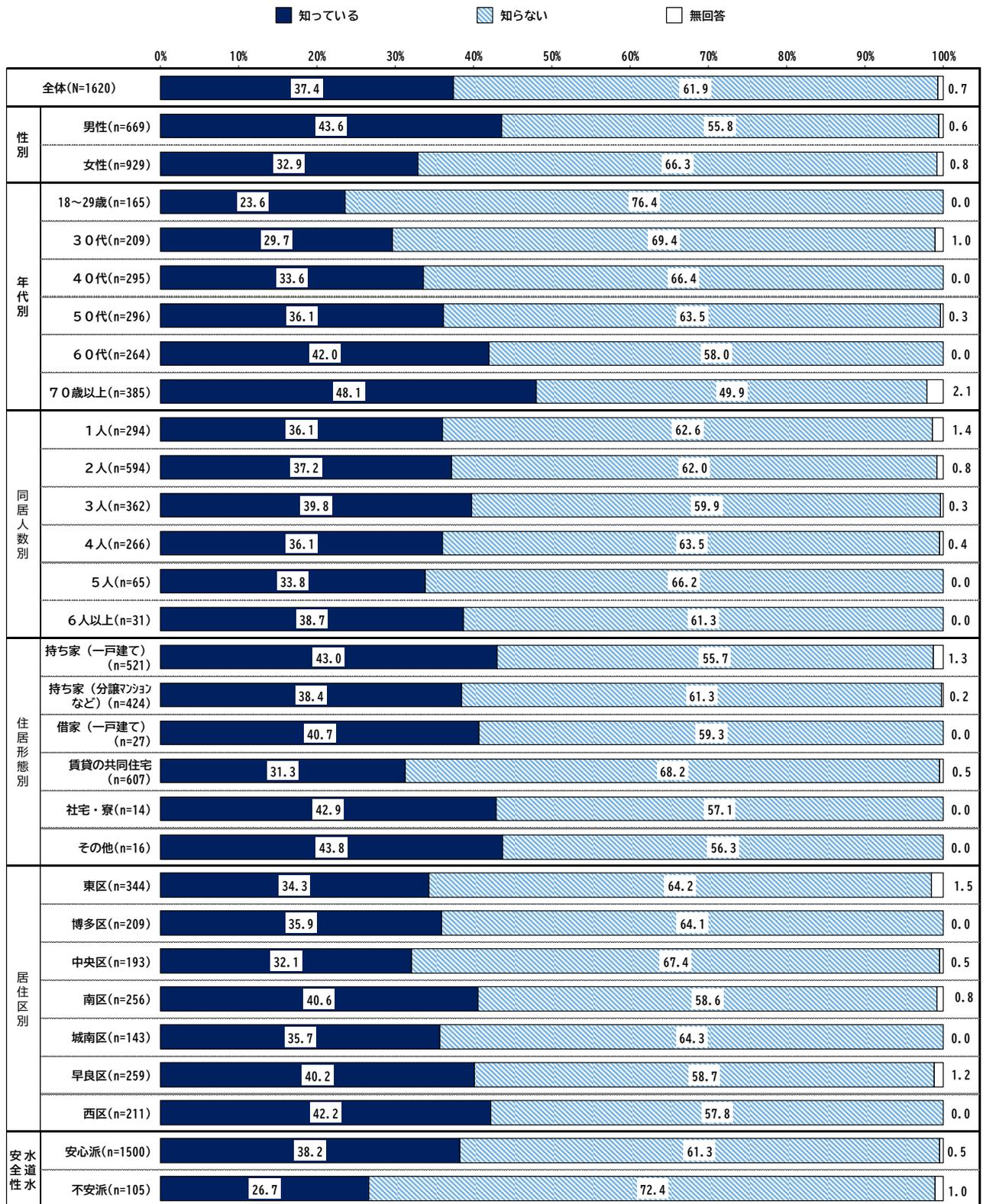
【全体結果】



■属性別特徴

- 性別で見ると、男性では「知っている」が43.6%であるが、女性は32.9%と、男性の方が10.7ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「知っている」が高くなっており、70歳以上では48.1%となっている。
- 同居人数別で見ると、大きな差はみられない。
- 住居形態別で見ると、賃貸の共同住宅で「知っている」が31.3%と低くなっている。
- 居住区別で見ると、西区、南区、早良区で「知っている」が4割台と高くなっている。
- 水道水の安全性別で見ると、『安心』では、「知っている」が、38.2%であるが、『不安』では、26.7%と、『安心』の方が11.5ポイント高くなっている。

【属性別塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていること】



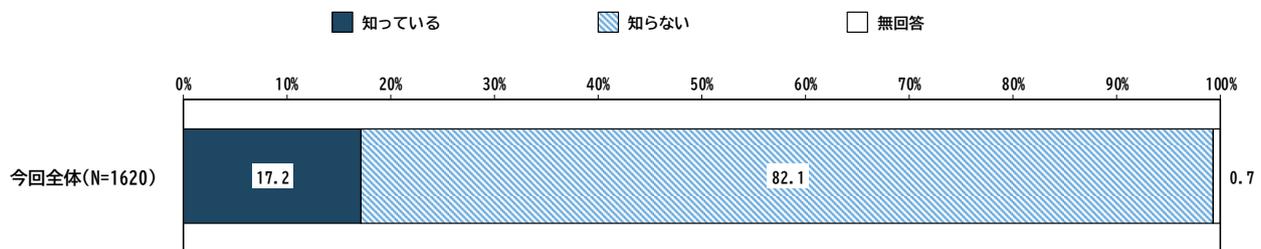
(2) 国の基準より厳しい独自の水質目標を設定していることについて

問 17 水道局では、水道水のおいしさを引き出すために、水の味をよくする成分（ミネラル分など）を保持したままお届けしています。一方で、水の味を損なう成分（残留塩素や有機物、かび臭物質など）については、国の水質基準等より厳しい独自の水質目標を設定し、可能な限り減らしています。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

国の水質基準等より厳しい独自の水質目標を設定していることについては、「知っている」は 17.2%にとどまり、「知らない」が 82.1%と多くなっている。

【全体結果】



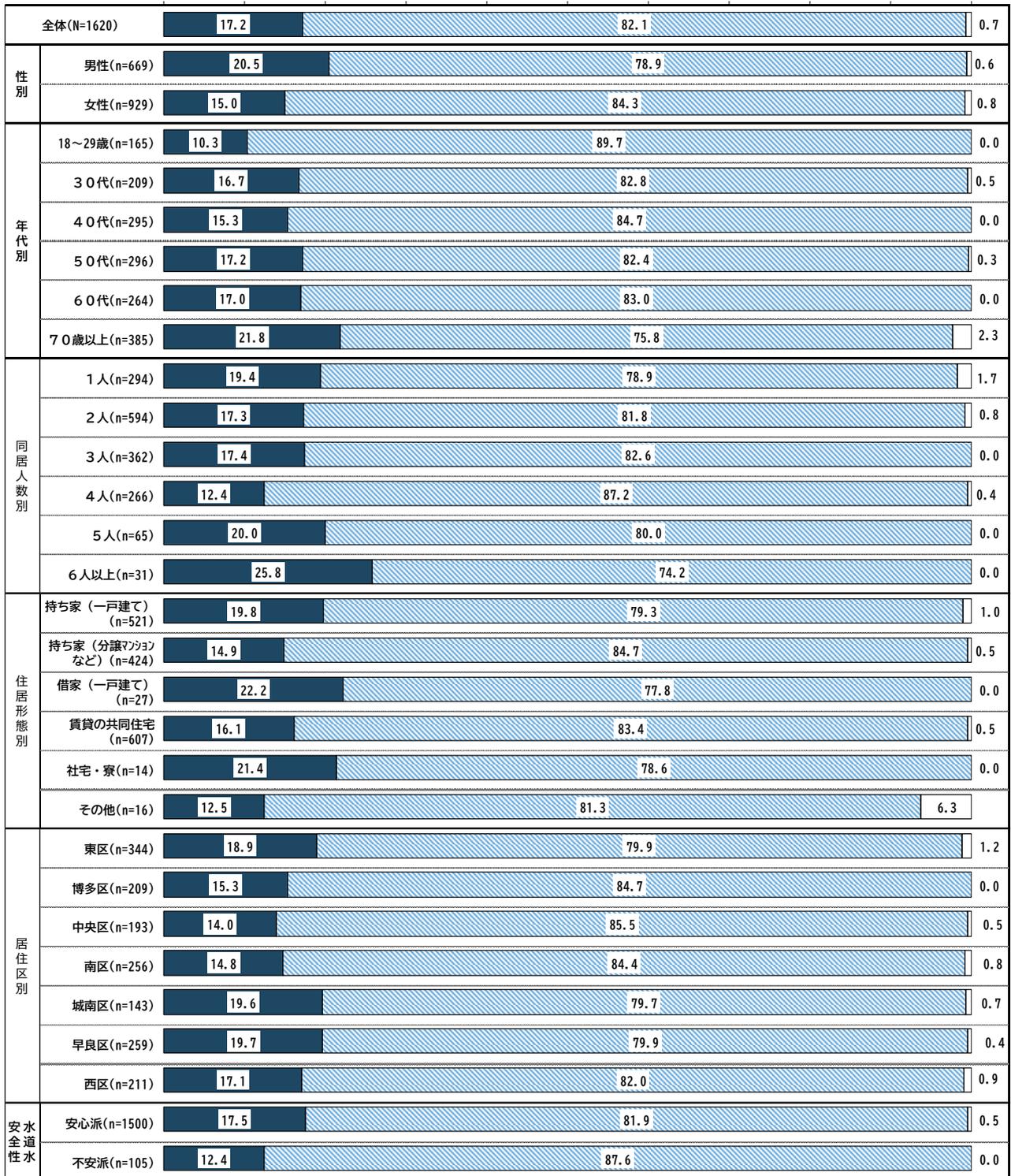
■属性別特徴

- 性別で見ると、男性では「知っている」が 20.5%であるが、女性は 15.0%と、男性の方が 5.5 ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「知っている」が高くなる傾向にある。
- 同居人数別で見ると、「知っている」は、4人世帯で最も低く、6人以上で最も高くなっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家（分譲マンションなど）、賃貸の共同住宅で「知っている」が1割台と低くなっている。
- 居住区別で見ると、大きな差はみられない。
- 水道水の安全性別で見ると、『安心』では、「知っている」が、17.5%と全体とほぼ同じ水準であるが、『不安』では、12.4%と、『安心』の方が 5.1 ポイント高くなっている。

【属性別国の基準より厳しい独自の水質目標を設定していること】

■ 知っている ■ 知らない □ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



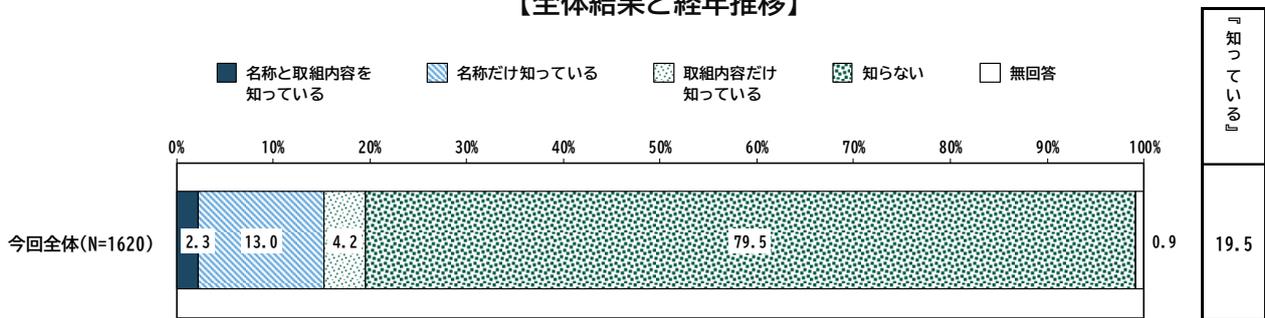
(3) 安全でおいしい水道水プロジェクトについて

問 18 水道局では、ひとりでも多くのお客さまが水道水にご満足いただけることを目標として、「安全でおいしい水道水プロジェクト」に取り組んでいます。あなたは「安全でおいしい水道水プロジェクト」のことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

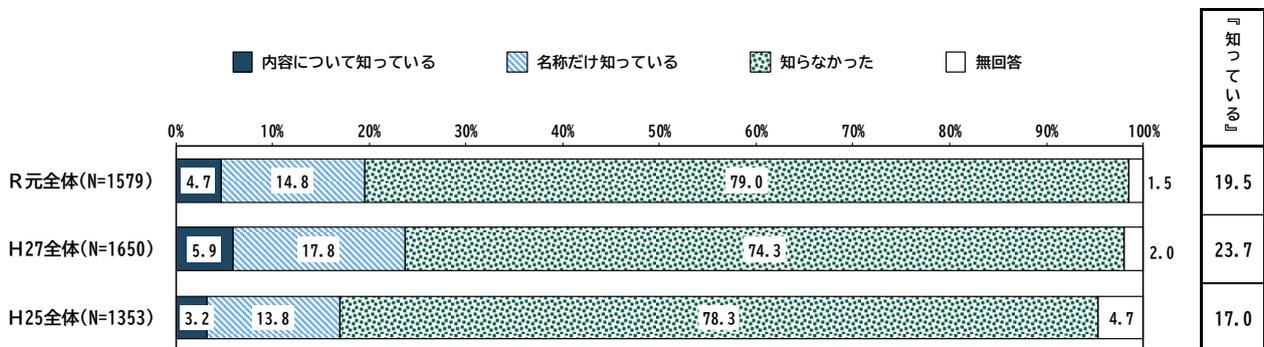
■全体結果

「安全でおいしい水道水プロジェクト」については、「名称と取組内容を知っている」が 2.3%、「名称だけ知っている」が 13.0%、「取組内容だけ知っている」が 4.2%となっており、これらを合計した『知っている』は 19.5%となっている。「知らない」は 79.5%となっている。

【全体結果と経年推移】



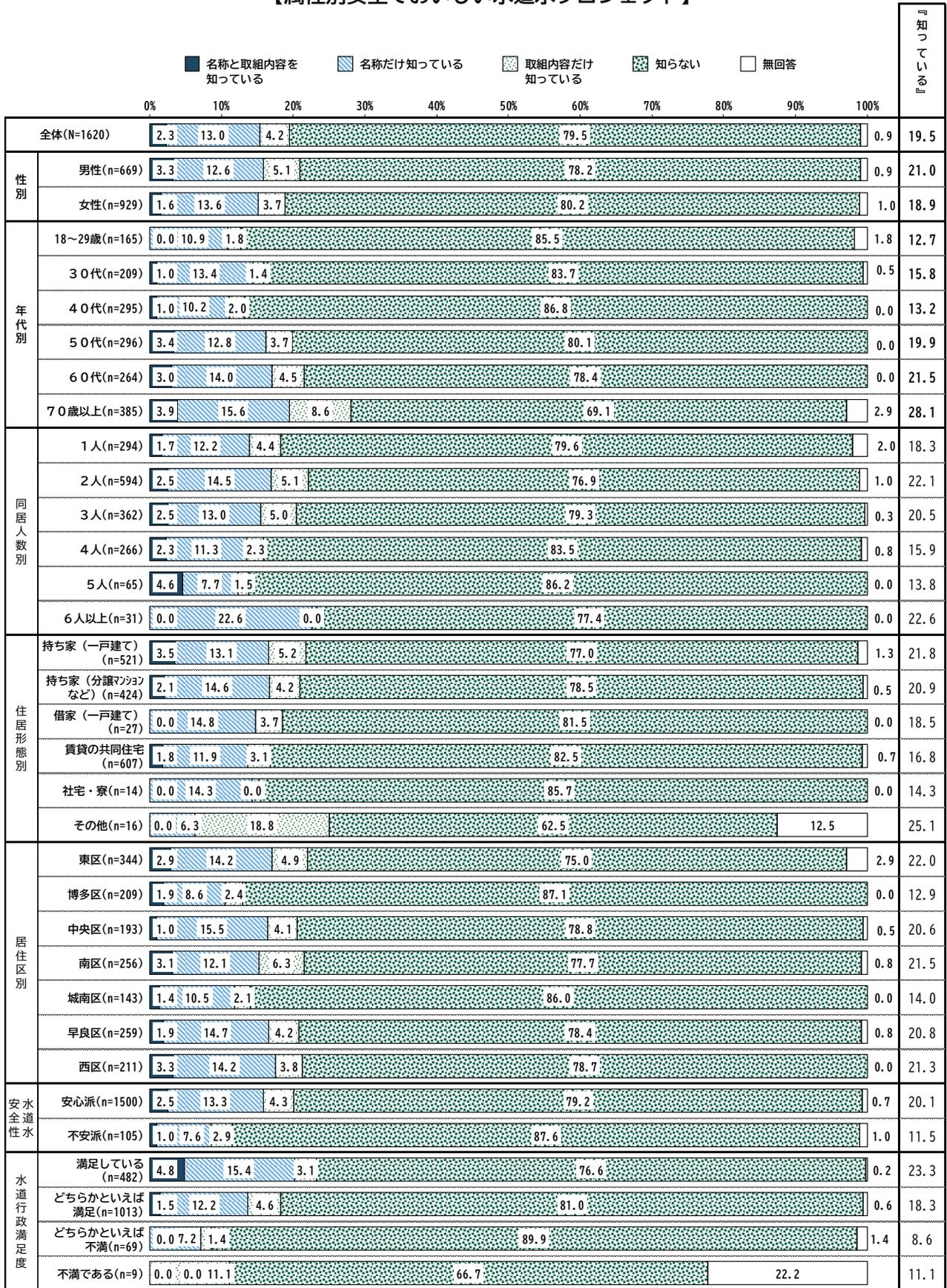
《参考：平成 25 年度から令和元年度の推移》



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど『知っている』が高くなる傾向にある。
- 同居人数別で見ると、2～5人では、人数が少なくなるほど、『知っている』が高くなる傾向にある。
- 住居形態別で見ると、借家や賃貸よりも持ち家で『知っている』が高くなっている。
- 居住区別で見ると、博多区、城南区で『知っている』が低くなっている。
- 水道水の安全性別で見ると、『不安』では『知っている』が 11.5%と、『安心』20.1%に比べて、8.6 ポイント低くなっている。
- 水道行政満足度別で見ると、「満足している」ほど『知っている』が高くなっている。

【属性別安全でおいしい水道水プロジェクト】



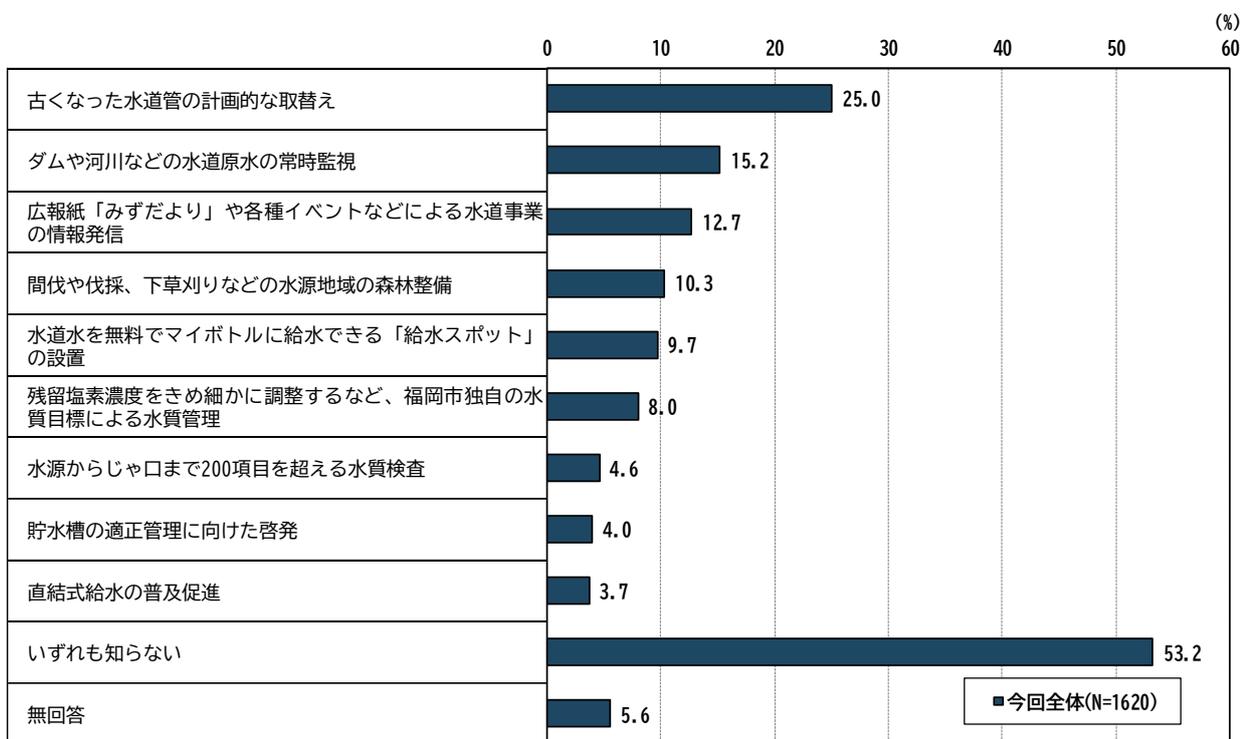
(4) 安全でおいしい水道水プロジェクトの具体的な取組みについて

問 19 次の「安全でおいしい水道水プロジェクト」の取組みの中から、知っているものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

「安全でおいしい水道水プロジェクト」の内容としては、「いずれも知らない」が53.2%と半数を超えている。具体的な内容としては、「古くなった水道管の計画的な取替え」(25.0%)をはじめとして、「ダムや河川などの水道原水の常時監視」(15.2%)、「広報紙「みずだより」や各種イベントなどによる水道事業の情報発信」(12.7%)、「間伐や伐採、下草刈りなどの水源地域の森林整備」(10.3%)が続いている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、年代が下がるほど「いずれも知らない」が高くなっている。
- 同居人数別で見ると、4人世帯、5人世帯で「いずれも知らない」が6割台と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、賃貸の共同住宅で「いずれも知らない」が6割台と高くなっている。
- 居住区別で見ると、博多区で「いずれも知らない」が6割台と高くなっている。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけていない』で「いずれも知らない」が7割台と高くなっている。
- 水道水の安全性別で見ると、『不安』で「いずれも知らない」が7割台と高くなっている。

【属性別安全でおいしい水道水プロジェクトの具体的な取組み】

(単位：%)

	サンプル数	古くなった水道管の計画的な 取替え	ダムや河川などの水道原水の 常時監視	広報紙「みずだより」や各種 イベントなどによる水道事業 の情報発信	間伐や伐採、下草刈りなどの 水源地域の森林整備	水道水を無料でマイボトルに の給水できる「給水スポット」 の設置	残留塩素濃度をきめ細かに調 整するなど、福岡市独自の水 質目標による水質管理	水源からじゃ口まで200項 目を超える水質検査	貯水槽の適正管理に向けた啓 発	直結式給水の普及促進	いずれも知らない	無 回 答	
全体	1620	25.0	15.2	12.7	10.3	9.7	8.0	4.6	4.0	3.7	53.2	5.6	
性別	男性	669	25.4	16.1	10.9	11.5	8.2	9.3	5.4	4.2	4.3	53.8	5.4
	女性	929	24.8	14.5	13.8	9.4	10.7	6.9	4.0	3.8	3.2	52.7	5.8
年代別	18～29歳	165	7.3	4.2	6.1	4.8	10.3	1.2	2.4	2.4	1.8	73.9	1.2
	30代	209	12.4	4.8	7.7	7.2	9.6	4.3	5.3	1.9	1.0	72.2	1.9
	40代	295	15.3	6.8	10.2	5.1	8.8	3.7	2.4	2.0	1.4	68.1	2.4
	50代	296	19.9	14.2	12.2	7.4	10.1	5.4	4.7	2.4	2.0	57.4	4.7
	60代	264	29.5	17.4	15.5	10.6	11.7	9.8	5.3	5.7	5.3	44.3	8.3
	70歳以上	385	47.5	31.4	18.4	20.3	8.6	16.9	6.2	7.3	8.1	25.7	10.9
同居人数別	1人	294	21.4	14.3	10.9	10.5	8.8	6.1	4.4	3.7	1.4	57.5	7.1
	2人	594	30.3	18.5	14.0	10.9	9.4	9.4	5.4	5.4	6.2	48.7	6.2
	3人	362	26.8	16.6	13.3	10.8	8.8	9.4	5.0	3.9	4.1	50.3	5.2
	4人	266	13.9	8.3	12.0	7.1	9.8	5.3	2.3	2.3	1.1	61.7	4.5
	5人	65	24.6	12.3	7.7	10.8	16.9	4.6	7.7	1.5	1.5	60.0	3.1
	6人以上	31	25.8	9.7	12.9	16.1	19.4	12.9	-	-	-	54.8	-
住居形態別	持ち家（一戸建て）	521	33.6	19.2	14.4	13.4	9.8	10.7	5.0	2.1	4.2	44.9	6.9
	持ち家（分譲マンションなど）	424	25.0	17.9	13.0	10.4	10.4	10.1	4.0	6.6	6.1	48.8	6.4
	借家（一戸建て）	27	33.3	14.8	7.4	11.1	7.4	3.7	3.7	7.4	3.7	51.9	-
	賃貸の共同住宅	607	17.1	9.9	10.9	7.4	8.9	4.3	4.6	3.6	1.6	63.8	4.0
	社宅・寮	14	7.1	7.1	-	7.1	14.3	-	-	-	-	78.6	-
	その他	16	31.3	18.8	31.3	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	-	43.8	12.5
居住区別	東区	344	27.9	17.2	16.6	10.2	14.0	7.6	5.8	4.7	3.8	50.6	6.4
	博多区	209	21.5	10.0	10.0	6.7	6.2	6.2	4.3	2.4	2.9	62.7	3.3
	中央区	193	24.9	14.0	14.5	7.3	6.2	6.7	2.6	7.3	3.1	53.4	7.8
	南区	256	24.2	15.2	11.7	9.8	10.9	9.8	4.7	3.1	5.1	52.3	6.3
	城南区	143	27.3	18.2	8.4	10.5	7.0	7.7	3.5	4.2	3.5	51.7	5.6
	早良区	259	25.1	15.8	10.8	13.9	8.5	7.7	5.0	3.1	3.9	52.9	3.9
	西区	211	22.7	15.6	13.3	12.8	11.4	10.0	4.7	3.3	3.3	51.2	6.2
意識	節水に心がけている派	1453	26.4	15.9	13.3	10.8	9.8	8.4	4.7	3.9	3.9	51.5	5.8
	節水に心がけていない派	129	11.6	10.1	4.7	3.9	5.4	3.9	2.3	4.7	3.1	72.9	1.6
水道水 安全性	安心派	1500	26.1	15.7	13.0	10.5	9.9	8.4	4.7	4.1	3.9	52.0	5.3
	不安派	105	9.5	7.6	5.7	2.9	4.8	1.9	2.9	1.9	-	72.4	9.5
水道行政 満足度	満足している	482	31.7	18.7	17.4	12.7	11.8	12.0	6.4	4.4	5.4	45.4	4.1
	どちらかといえば満足	1013	22.3	14.0	11.1	9.2	8.7	6.3	3.8	3.7	3.0	57.2	5.4
	どちらかといえば不満	69	15.9	8.7	7.2	8.7	11.6	2.9	4.3	2.9	2.9	56.5	11.6
	不満である	9	33.3	22.2	-	33.3	-	33.3	11.1	11.1	-	55.6	-

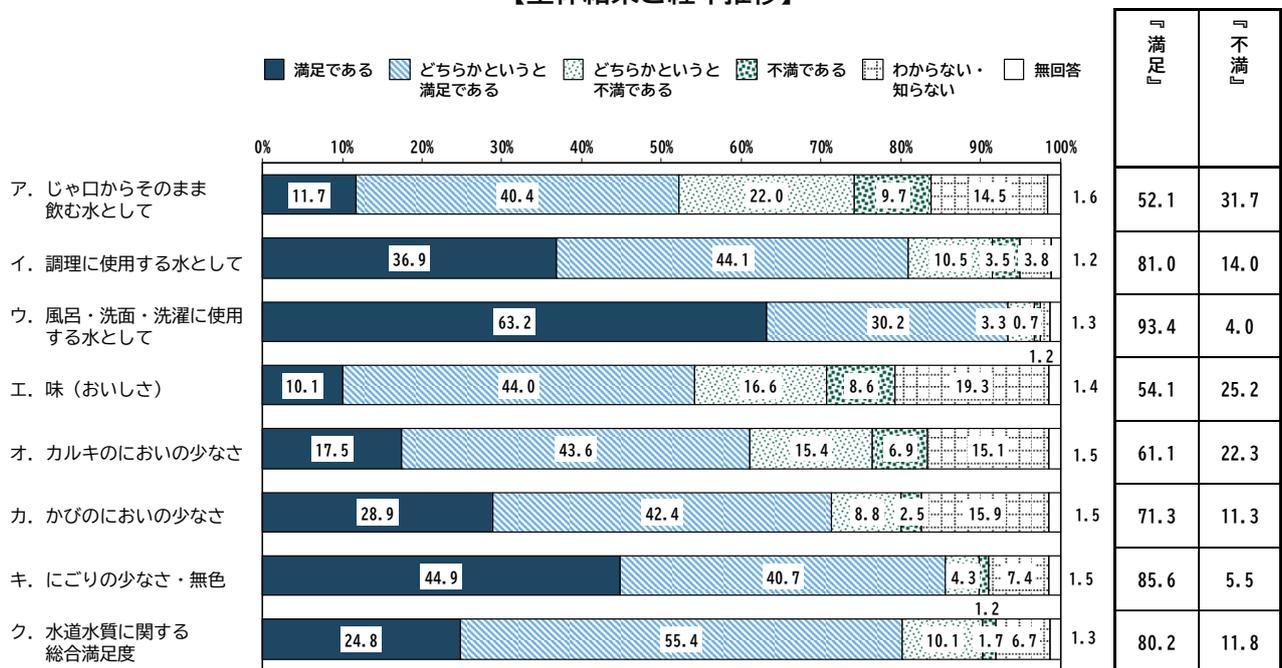
(5) 水道水に対する満足度

問 20 あなたは、水道水の味、におい、色などについてどの程度満足していますか。満足の程度について、お答えください。次のア～クの項目について、あてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道水に対する満足度について、「満足である」と「どちらかという満足である」を合わせた『満足』は、「水道水質に関する総合満足度」で80.2%となっている。各項目としては、「風呂・洗面・洗濯に使用する水として」が93.4%と最も高く、次いで「にごりの少なさ・無色」(85.6%)、「調理に使用する水として」(81.0%)となっている。

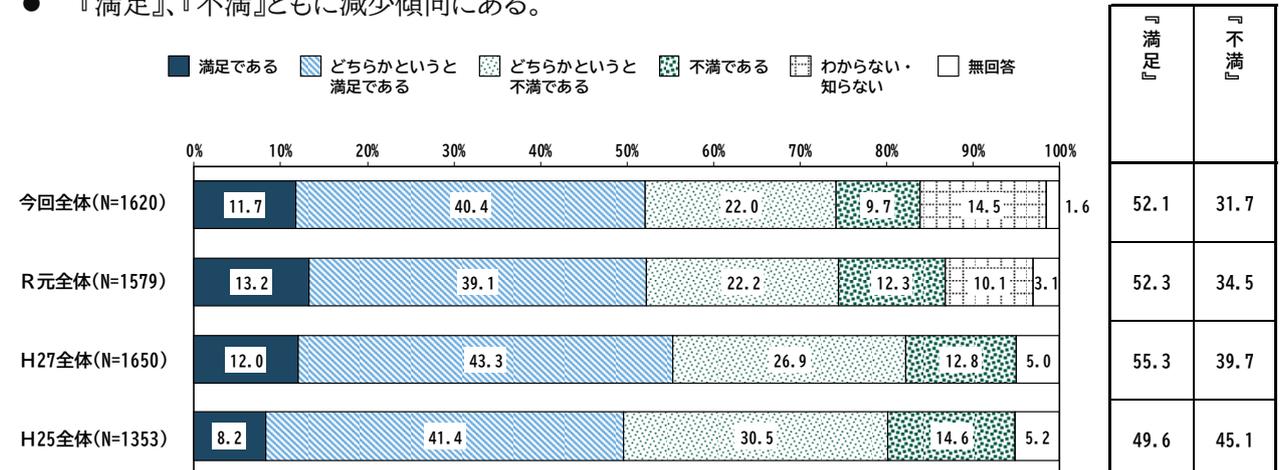
【全体結果と経年推移】



■経年推移

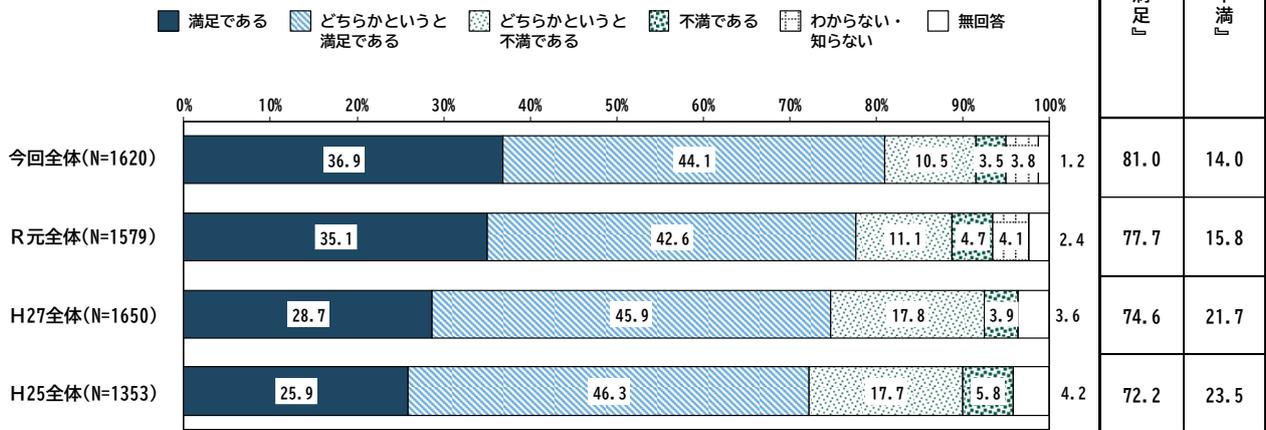
《じゃ口からそのまま飲む水として》

- 『満足』、『不満』ともに減少傾向にある。



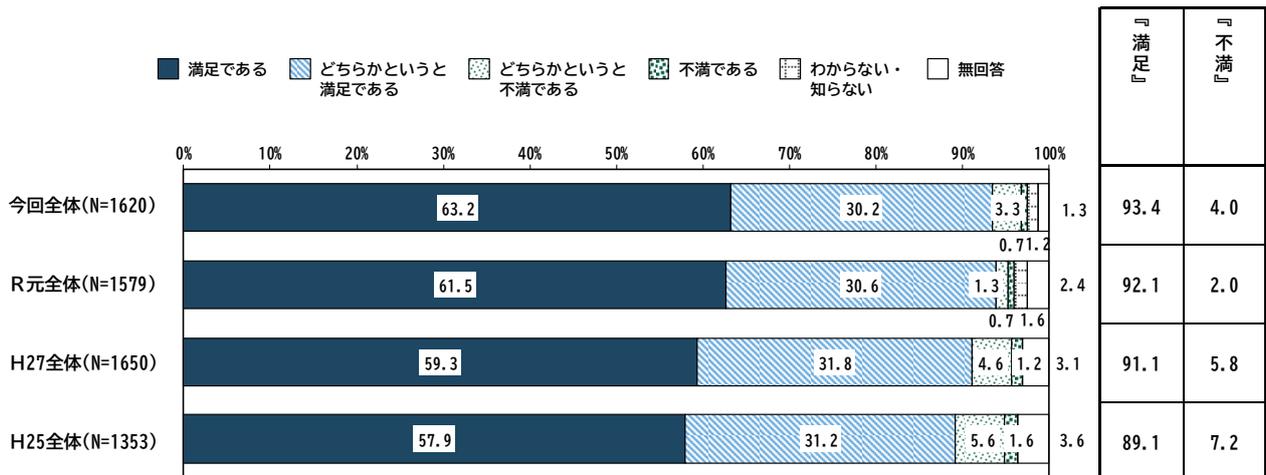
《調理に使用する水として》

- 『満足』は増加傾向、『不満』は減少傾向にある。



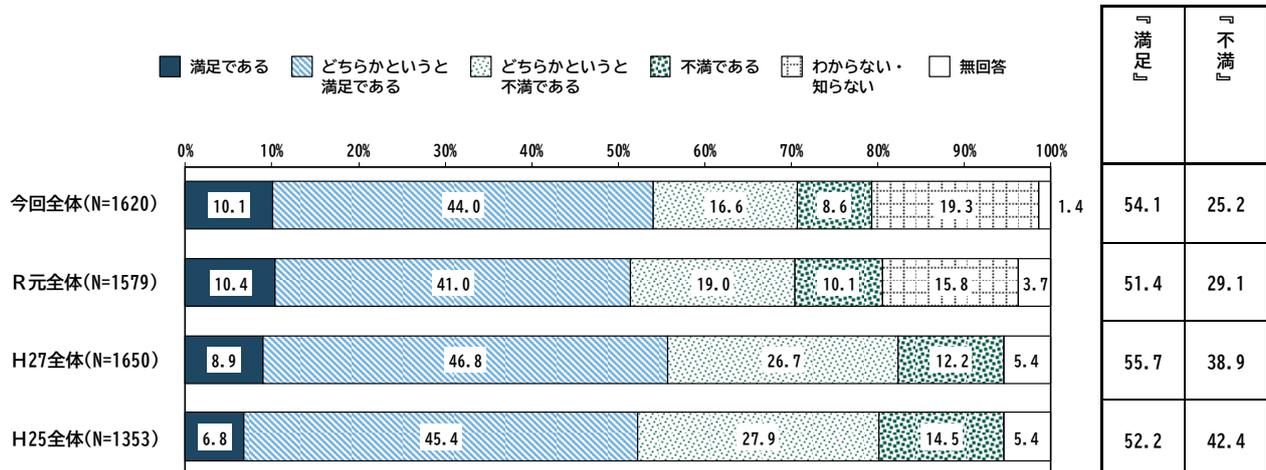
《風呂・洗面・洗濯に使用する水として》

- 『満足』は増加傾向にあり、『不満』は令和元年度まで減少していたが、今回は微増している。



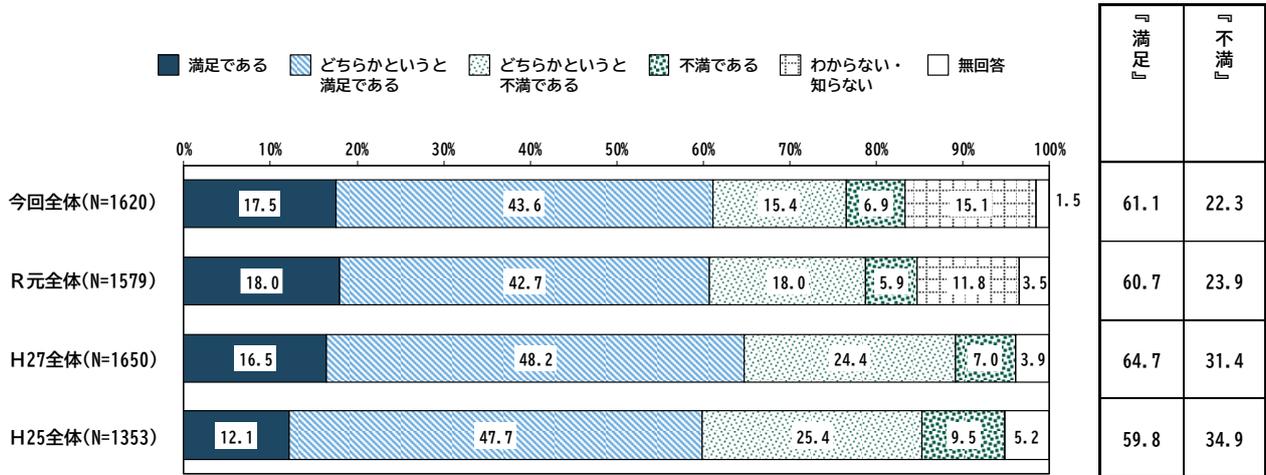
《味（おいしさ）》

- 『満足』は増減を繰り返しているが、『不満』は減少傾向にある。



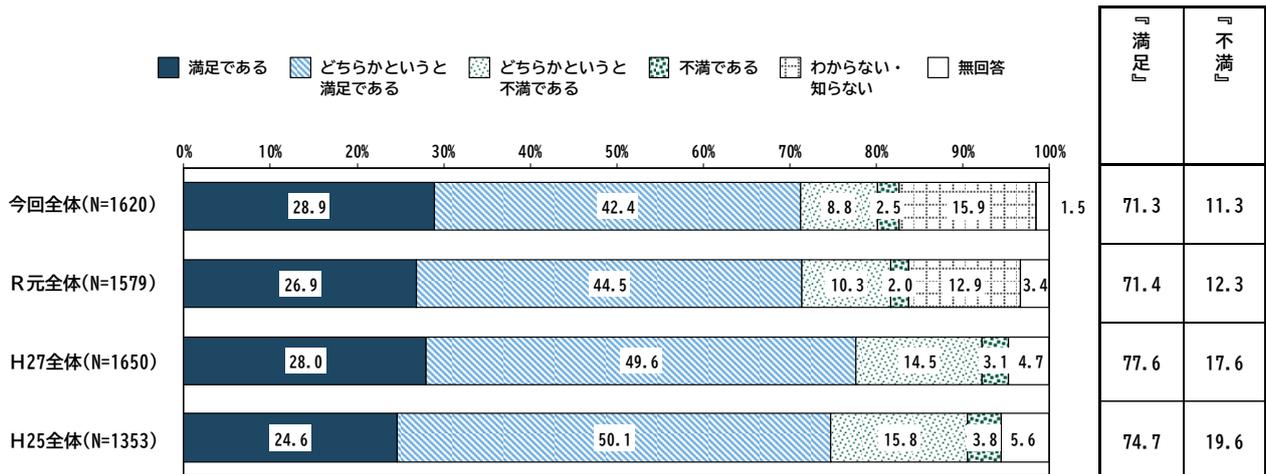
《カルキのにおいの少なさ》

- 『満足』は増減を繰り返しているが、『不満』は減少傾向にある。



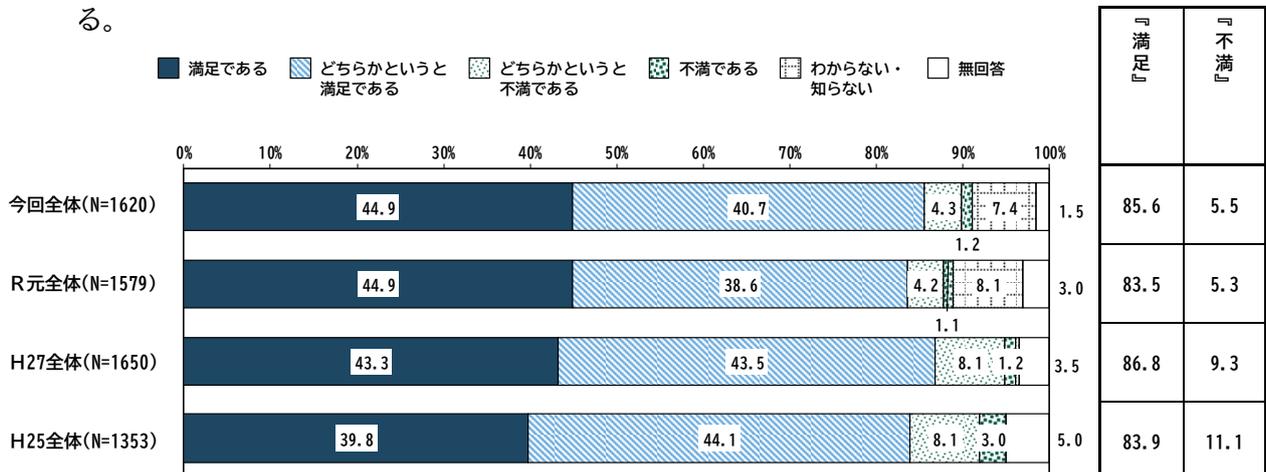
《かびのにおいの少なさ》

- 『満足』、『不満』ともに減少傾向にある。



《にごりの少なさ・無色》

- 『満足』は増減を繰り返している。『不満』は減少傾向にあったが、令和元年度とほぼ同水準となっている。



5 水道料金について

(1) 水道料金と下水道使用料の合算支払いについて

問 21 あなたは、水道料金を下水道使用料と合算してお支払いいただいていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

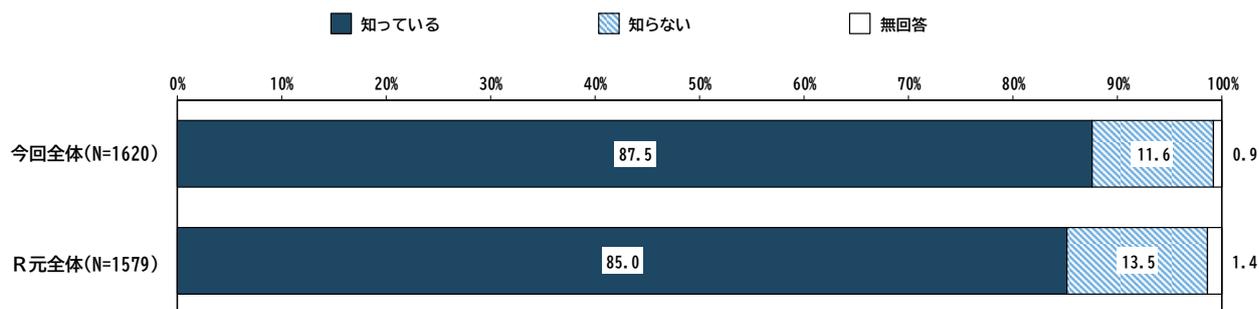
■全体結果

水道料金を下水道使用料と合算した支払いとなっていることについては、「知っている」が87.5%、「知らない」が11.6%となっている。

■経年推移

「知っている」は、令和元年度の85.0%から87.5%に増加している。

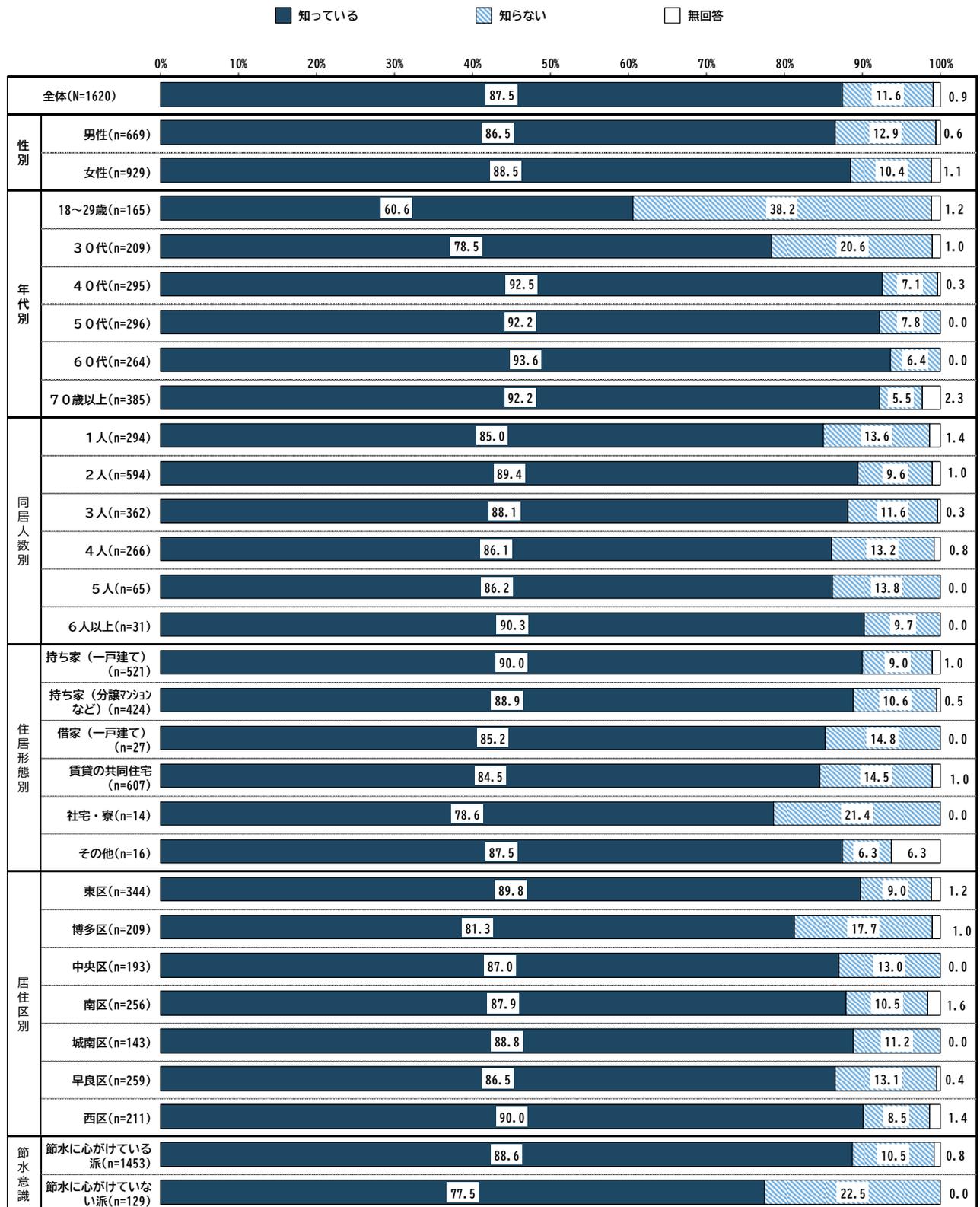
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、「知っている」が18～29歳で60.6%、30代で78.5%と低くなっている。
- 同居人数別で見ると、大きな差はみられない。
- 住居形態別で見ると、持ち家よりも借家、賃貸の共同住宅で「知っている」が低くなっている。
- 居住区別で見ると、博多区で「知っている」が低くなっている。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけている』で、「知っている」が88.6%で、『節水に心がけていない』の77.5%より、11.1ポイント高くなっている。

【属性別水道料金と下水道使用料の合算支払い】



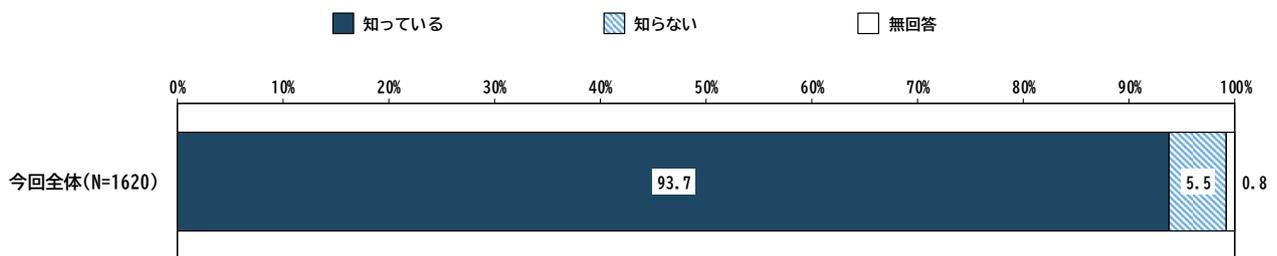
(2) 水道料金等の請求が2か月ごとであることについて

問 22 あなたは、水道料金等の請求が原則2か月ごとであることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道料金等の請求が原則2か月ごとであることについては、「知っている」が 93.7%、「知らない」が 5.5%となっている。

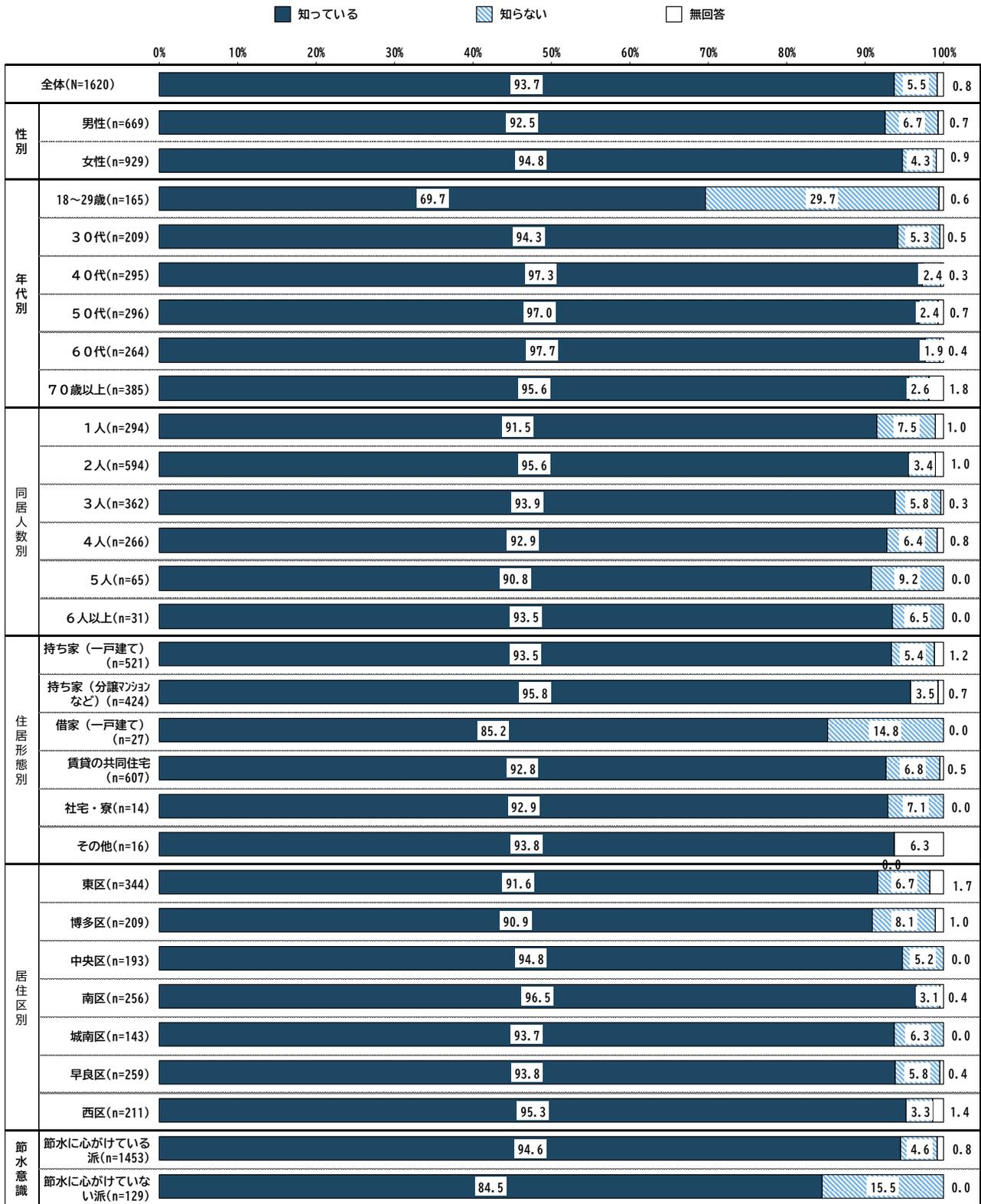
【全体結果】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、18～29歳で「知っている」が69.7%と低くなっている。
- 同居人数別で見ると、大きな差はみられない。
- 住居形態別で見ると、借家(一戸建て)で「知っている」が85.2%と低くなっている。
- 居住区別で見ると、大きな差はみられない。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけている』では、「知っている」が94.6%で、『節水に心がけていない』の84.5%より、10.1ポイント高くなっている。

【属性別水道料金等の請求が2か月ごとであること】



(3) 水道料金等の把握状況

問 23 あなたのご家庭でお支払いいただいている水道料金等を把握していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

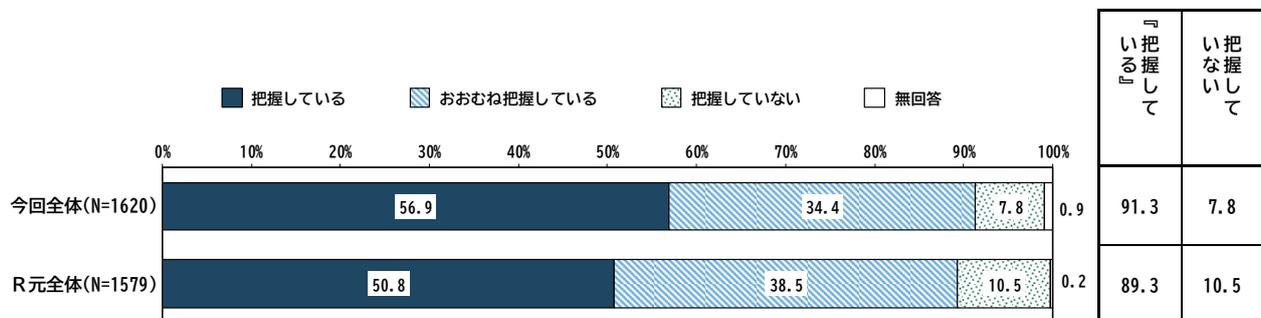
■全体結果

家庭で支払っている水道料金等の把握については、「把握している」が56.9%、「おおむね把握している」が34.4%、「把握している」と「おおむね把握している」と合わせた『把握している』は、91.3%となっており、「把握していない」が7.8%となっている。

■経年推移

「把握している」が令和元年度の50.8%から56.9%に増加している。

【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、女性では「把握している」が63.2%であるが、男性では48.1%と低くなっている。
- 年代別で見ると、18～29歳では「把握している」は31.5%にとどまっているが、年代が上がるとともに高くなる傾向にあり、60代以上では6割台となっている。
- 同居人数別で見ると、「把握している」は1人世帯で67.0%と最も高く、6人以上世帯で48.4%と最も低くなっている。
- 住居形態別で見ると、借家(一戸建て)で「把握している」が63.0%と高くなっている。
- 居住区別で見ると、大きな差はみられない。
- 水道水の安全性別で見ると、大きな差はみられない。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけている』では、「把握している」が、58.3%であるが、『節水に心がけていない』は41.1%と低くなっている。

【属性別水道料金等の把握状況】

		把握状況				『把握している』	『把握していない』					
		把握している	おおむね把握している	把握していない	無回答							
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体(N=1620)		56.9	34.4	7.8	0.9	91.3	7.8					
性別	男性(n=669)	48.1	40.8	10.2	0.9	88.9	10.2					
	女性(n=929)	63.2	29.8	6.1	0.9	93.0	6.1					
年代別	18～29歳(n=165)	31.5	37.0	29.7	1.8	68.5	29.7					
	30代(n=209)	51.2	41.1	7.2	0.5	92.3	7.2					
	40代(n=295)	58.0	34.6	7.1	0.3	92.6	7.1					
	50代(n=296)	55.7	38.5	5.7	0.0	94.2	5.7					
	60代(n=264)	65.9	29.2	4.5	0.4	95.1	4.5					
	70歳以上(n=385)	64.9	29.6	3.4	2.1	94.5	3.4					
同居人数別	1人(n=294)	67.0	26.5	5.1	1.4	93.5	5.1					
	2人(n=594)	56.2	36.5	6.4	0.8	92.7	6.4					
	3人(n=362)	52.8	36.7	9.9	0.6	89.5	9.9					
	4人(n=266)	53.8	34.6	10.9	0.8	88.4	10.9					
	5人(n=65)	60.0	27.7	12.3	0.0	87.7	12.3					
	6人以上(n=31)	48.4	48.4	3.2	0.0	96.8	3.2					
住居形態別	持ち家(一戸建て)(n=521)	54.3	37.0	7.9	0.8	91.3	7.9					
	持ち家(分譲マンションなど)(n=424)	56.1	35.1	8.3	0.5	91.2	8.3					
	借家(一戸建て)(n=27)	63.0	29.6	7.4	0.0	92.6	7.4					
	賃貸の共同住宅(n=607)	59.0	32.5	7.7	0.8	91.5	7.7					
	社宅・寮(n=14)	64.3	21.4	7.1	7.1	85.7	7.1					
	その他(n=16)	68.8	18.8	6.3	6.3	87.6	6.3					
居住区別	東区(n=344)	57.0	33.1	8.7	1.2	90.1	8.7					
	博多区(n=209)	56.5	34.4	8.1	1.0	90.9	8.1					
	中央区(n=193)	54.4	37.8	6.7	1.0	92.2	6.7					
	南区(n=256)	57.4	35.5	6.3	0.8	92.9	6.3					
	城南区(n=143)	54.5	37.1	8.4	0.0	91.6	8.4					
	早良区(n=259)	59.8	31.3	8.5	0.4	91.1	8.5					
	西区(n=211)	56.9	33.6	8.1	1.4	90.5	8.1					
水道性	安心派(n=1500)	56.8	34.9	7.6	0.7	91.7	7.6					
	不安派(n=105)	58.1	31.4	9.5	1.0	89.5	9.5					
水道行政満足度	満足している(n=482)	64.3	27.4	8.1	0.2	91.7	8.1					
	どちらかといえば満足(n=1013)	54.4	37.5	7.3	0.8	91.9	7.3					
	どちらかといえば不満(n=69)	43.5	43.5	13.0	0.0	87.0	13.0					
	不満である(n=9)	66.7	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3					
節水意識	節水に心がけている派(n=1453)	58.3	34.2	6.7	0.8	92.5	6.7					
	節水に心がけていない派(n=129)	41.1	41.1	17.8	0.0	82.2	17.8					

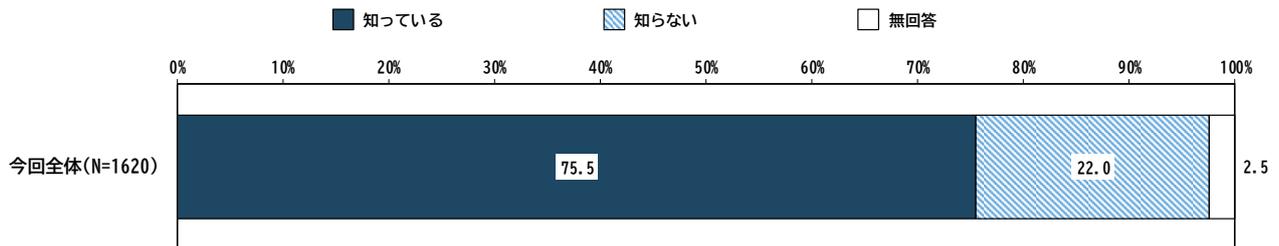
(4) 水道料金が全国一律でないことについて

問 24 あなたは、水道料金が全国一律でないことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。(あてはまる番号に1つだけ○印)

■全体結果

水道料金が全国一律でないことについては、「知っている」が75.5%、「知らない」が22.0%となっている。

【全体結果】



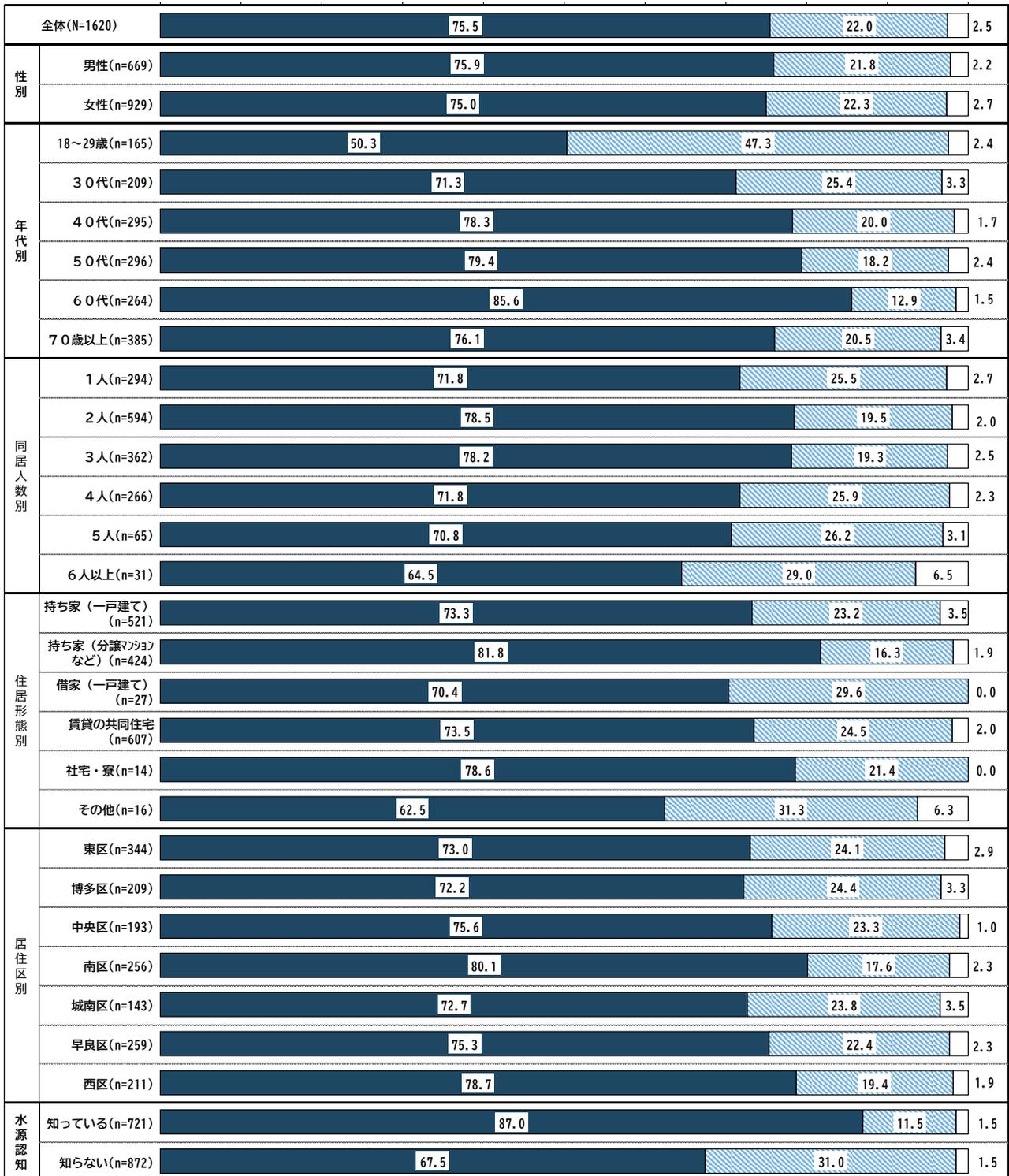
■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、18～29歳で「知っている」が50.3%と低く、年代が上がるとともに高くなり、60代では85.6%となっている。
- 同居人数別で見ると、2人以上世帯では人数が増えるほど「知っている」は低くなっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家(分譲マンションなど)で「知っている」が81.8%と高くなっている。
- 居住区別で見ると、南区で「知っている」が80.1%と高くなっている。
- 水源(福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること)認知別で見ると、「市域外に頼っていることを知っている」では、水道料金が全国一律でないことを「知っている」が87.0%、「市域外に頼っていることを知らない」では水道料金が全国一律でないことを「知っている」が67.5%で19.5ポイントの差となっている。

【属性別水道料金が全国一律でないこと】

知っている
 知らない
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



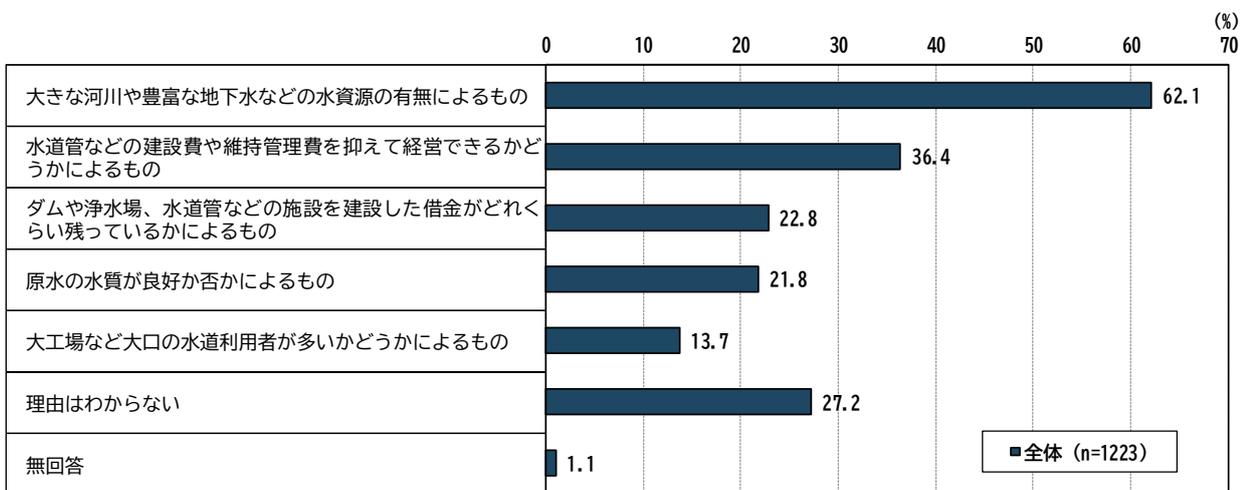
(5) 水道料金が全国一律でない理由

問 25 問 24 で「1. 知っている」と回答した方におたずねします。水道料金が全国一律でない理由について、知っていることをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道料金が全国一律でない理由としては、「大きな河川や豊富な地下水などの水資源の有無によるもの」が62.1%と最も高くなっている。次いで「水道管などの建設費や維持管理費を抑えて経営できるかどうかによるもの」(36.4%)、「理由はわからない」(27.2%)となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別でみると、「理由はわからない」は女性が 32.0%、男性が 20.7%と女性の方が高く、具体的な理由では、いずれの項目においても男性の方が女性よりも高くなっている。
- 年代別でみると、「理由はわからない」は年代が下がると高い傾向にあるが、具体的な理由は、年代が上がるほど高くなる傾向にある。
- 同居人数別でみると、4人以上の世帯で「理由はわからない」が3割を超えるようになる。
- 住居形態別でみると、借家(一戸建て)で「理由はわからない」が47.4%と高くなっている。
- 居住区別でみると、大きな差はみられない。
- 節水意識別でみると、『節水に心がけていない』で「理由はわからない」が45.7%と高くなっている。
- 水道水の安全性別でみると、『不安』で「理由はわからない」が44.1%と高くなっている。
- 水道行政満足度別でみると、大きな差はみられない。

【属性別水道料金が全国一律でない理由】

(単位：%)

		サンプル数	ど大きな水資源の豊富な地下水の	水道管などの建設費や維持管理を抑えることができるもの	ダムや浄水場、下水道などの施設を建設した借金が多額に上っている	原水の質が良好か否かによるもの	大工場など大口の水道利用者が多いかどうかによるもの	理由はわからない	無回答
全体		1223	62.1	36.4	22.8	21.8	13.7	27.2	1.1
性別	男性	508	68.1	44.3	28.0	26.8	15.6	20.7	1.0
	女性	697	57.5	30.4	19.2	18.1	12.3	32.0	1.1
年代別	18～29歳	83	44.6	27.7	13.3	16.9	8.4	39.8	1.2
	30代	149	42.3	21.5	14.1	18.1	12.1	49.0	-
	40代	231	51.1	30.3	15.2	14.3	9.1	38.1	0.9
	50代	235	62.6	35.7	27.2	20.0	14.5	25.1	0.9
	60代	226	75.2	41.6	23.0	27.4	14.2	16.8	-
	70歳以上	293	74.7	47.1	32.1	28.3	18.4	14.0	2.7
同居人数別	1人	211	55.9	36.5	23.7	26.5	13.3	29.9	1.9
	2人	466	69.7	40.3	25.5	24.7	15.7	21.5	0.6
	3人	283	62.9	37.8	24.0	20.5	13.8	27.2	1.1
	4人	191	52.4	28.3	15.7	13.6	11.0	34.6	1.0
	5人	46	52.2	23.9	17.4	13.0	4.3	34.8	2.2
	6人以上	20	45.0	20.0	15.0	20.0	15.0	50.0	-
住居形態別	持ち家（一戸建て）	382	69.6	40.6	25.7	23.3	13.4	22.0	2.1
	持ち家（分譲マンションなど）	347	64.6	36.3	22.2	21.3	14.7	22.8	0.6
	借家（一戸建て）	19	36.8	31.6	15.8	15.8	15.8	47.4	-
	賃貸の共同住宅	446	54.0	32.1	20.9	20.9	12.6	34.8	0.7
	社宅・寮	11	54.5	36.4	18.2	18.2	18.2	36.4	-
	その他	10	80.0	60.0	30.0	40.0	20.0	10.0	-
居住区別	東区	251	61.0	39.0	24.7	22.3	15.5	25.5	2.0
	博多区	151	60.3	35.1	18.5	19.9	11.9	30.5	0.7
	中央区	146	65.1	31.5	21.2	19.2	14.4	24.0	2.1
	南区	205	64.4	37.6	27.3	25.4	12.7	26.3	-
	城南区	104	61.5	33.7	21.2	26.0	17.3	27.9	1.0
	早良区	195	60.0	34.9	21.5	18.5	12.8	32.8	-
	西区	166	62.0	39.2	22.3	22.3	11.4	24.1	1.8
節水意識	節水に心がけている派	1122	63.4	37.3	23.1	22.7	13.8	25.8	1.0
	節水に心がけていない派	81	44.4	27.2	19.8	12.3	11.1	45.7	1.2
水道安全性	安心派	1151	62.8	36.8	22.9	22.1	13.7	26.3	1.1
	不安派	68	47.1	27.9	20.6	16.2	10.3	44.1	-
水道行政満足度	満足している	366	60.9	40.2	22.1	26.8	14.5	27.3	0.5
	どちらかといえば満足	778	62.3	34.6	23.5	20.1	13.2	27.4	1.3
	どちらかといえば不満	45	66.7	33.3	17.8	17.8	11.1	20.0	-
	不満である	6	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	-

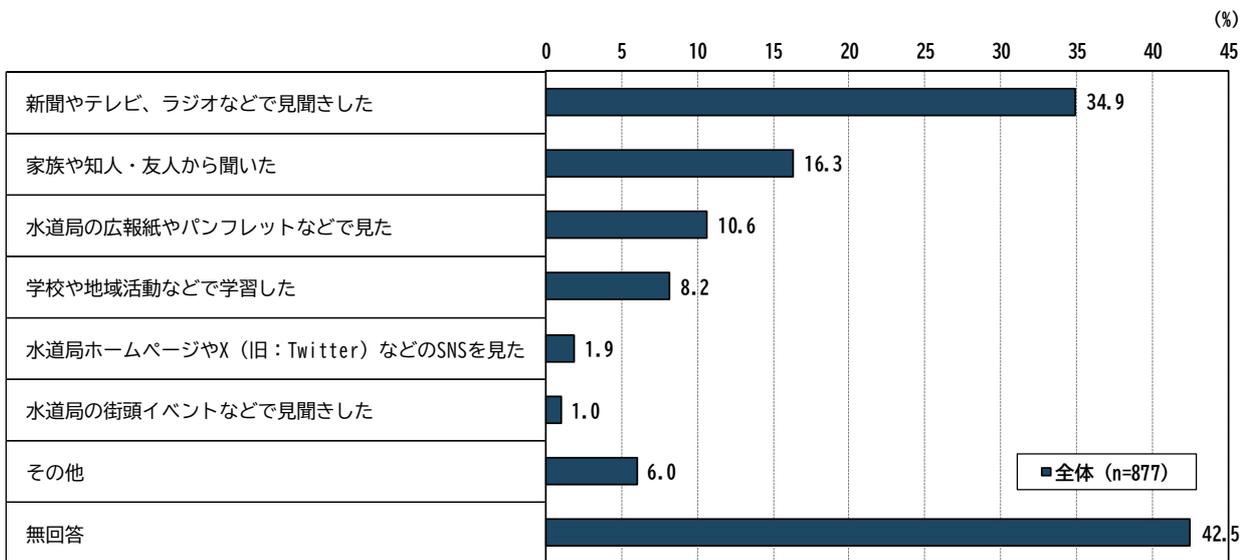
(6) 水道料金が全国一律でないことの認知経路

問 26 問 25 で「6. 理由はわからない」以外を回答した方におたずねします。このことをどのようにして知りましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道料金が全国一律でない理由の認知経路としては、「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」が 34.9%と最も高くなっている。次いで「家族や知人・友人から聞いた」(16.3%)、「水道局の広報紙やパンフレットなどで見た」(10.6%)となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」は高くなる傾向にある。また、18～29 歳では「学校や地域活動などで学習した」が高くなっている。

【属性別水道料金が全国一律でないことの認知経路】

(単位：%)

	サンプル数	新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした	家族や知人・友人から聞いた	水道局の広報紙やパンフレットなどで見た	学校や地域活動などで学習した	水道局ホームページやXのSNSを見た	水道局の街頭イベントなどで見聞きした	その他	無回答
全体	877	34.9	16.3	10.6	8.2	1.9	1.0	6.0	42.5
性別	男性	398	37.2	13.1	12.3	9.3	1.3	8.0	42.0
	女性	466	33.0	19.1	9.4	7.5	0.9	4.5	42.7
年代別	18～29歳	49	22.4	20.4	4.1	24.5	4.1	4.1	38.8
	30代	76	30.3	22.4	5.3	9.2	-	7.9	35.5
	40代	141	31.2	24.8	6.4	5.7	0.7	8.5	41.1
	50代	174	35.1	12.1	6.3	8.0	0.6	7.5	45.4
	60代	188	35.1	13.3	9.6	7.4	2.1	6.4	43.6
	70歳以上	244	40.2	14.3	20.1	7.0	1.6	3.3	43.4
同居人数別	1人	144	36.1	14.6	13.2	7.6	-	4.9	40.3
	2人	363	35.8	16.5	12.4	7.7	1.7	5.2	43.8
	3人	203	34.5	16.7	6.9	7.9	1.0	7.9	42.4
	4人	123	33.3	18.7	9.8	10.6	0.8	6.5	40.7
	5人	29	31.0	10.3	3.4	10.3	-	10.3	44.8
	6人以上	10	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	40.0
住居形態別	持ち家（一戸建て）	290	35.9	16.2	13.1	7.9	2.1	7.6	41.7
	持ち家（分譲マンションなど）	266	36.8	15.4	10.5	7.9	0.8	5.6	42.5
	借家（一戸建て）	10	40.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0	40.0
	賃貸の共同住宅	288	31.6	17.7	8.0	8.3	0.3	5.2	43.8
	社宅・寮	7	28.6	-	-	42.9	-	-	28.6
	その他	9	44.4	22.2	22.2	-	-	-	33.3
居住区別	東区	182	40.7	18.1	14.3	9.3	1.1	8.2	38.5
	博多区	104	26.9	12.5	8.7	10.6	1.0	6.7	47.1
	中央区	108	33.3	17.6	11.1	5.6	1.9	7.4	38.9
	南区	151	31.8	15.9	9.9	9.9	2.0	6.6	43.7
	城南区	74	32.4	12.2	17.6	4.1	1.4	2.7	47.3
	早良区	131	36.6	14.5	5.3	10.7	-	6.1	43.5
	西区	123	37.4	21.1	8.9	4.9	2.4	2.4	42.3
意識	節水に心がけている派	821	34.7	16.6	11.0	7.9	1.1	6.0	42.6
	節水に心がけていない派	43	41.9	16.3	4.7	11.6	-	9.3	34.9
水道水安全性	安心派	835	34.9	16.3	10.7	8.3	1.1	6.0	42.4
	不安派	38	36.8	15.8	7.9	5.3	-	7.9	44.7
水道行政満足度	満足している	264	34.5	18.2	12.9	10.6	2.3	5.7	40.9
	どちらかといえば満足	555	34.4	16.0	9.9	7.4	0.5	6.5	42.9
	どちらかといえば不満	36	41.7	8.3	2.8	5.6	-	5.6	47.2
	不満である	4	25.0	-	50.0	-	-	-	50.0

6 水道局の取組みについて

(1) 給水方法

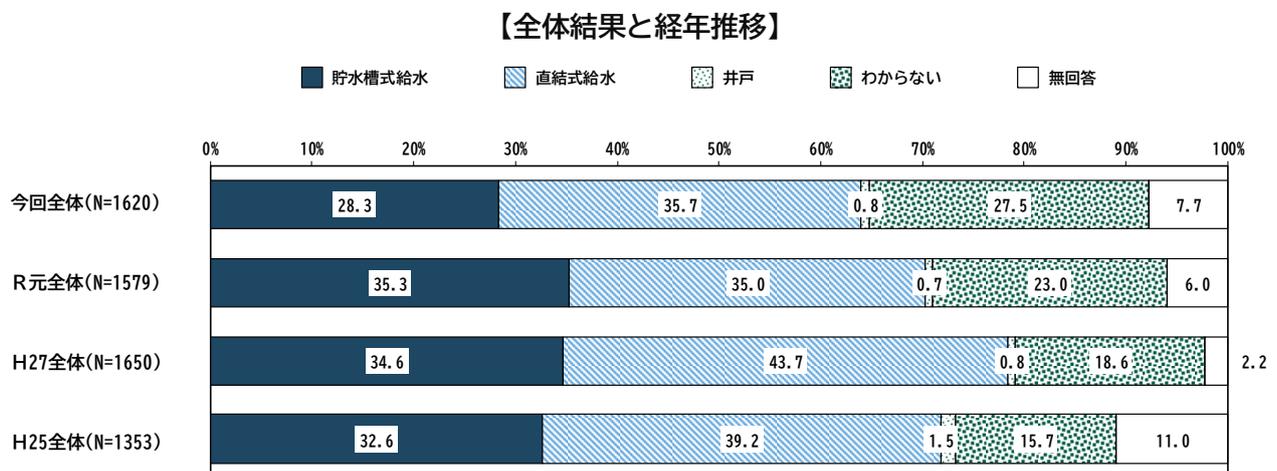
問 27 あなたがお住まいの住宅は、どの給水方法ですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

■全体結果

住宅の給水方法としては、「直結式給水」が 35.7%と最も高く、次いで「貯水槽式給水」が 28.3%、「井戸」が 0.8%となっている。また、「わからない」が 27.5%となっている。

■経年推移

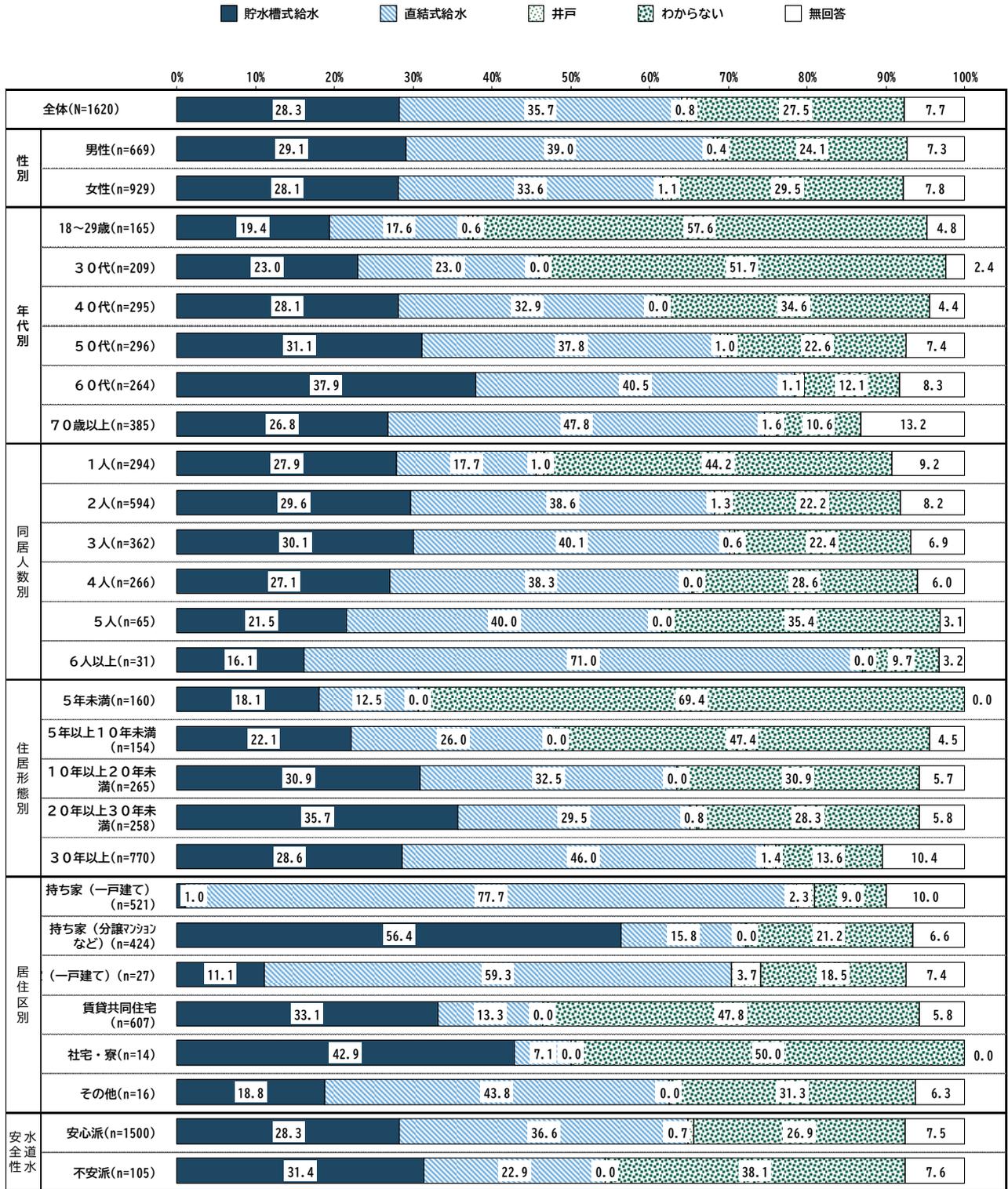
「わからない」が平成 25 年度の 15.7%から増加傾向にあり、今回調査では 27.5%に増加している。



■属性別特徴

- 年代別で見ると、年代が上がるほど、給水方法を把握しており、最も把握していないのは 18～29 歳で 57.6%となっている。
- 同居人数別で見ると、給水方法を最も把握していないのは、一人世帯で 44.2%となっている。
- 居住年数別で見ると、居住年数が長いほど、給水方法を把握しており、最も把握していないのは、5年未満で 69.4%となっている。
- 住居形態別で見ると、給水方法を最も把握していないのは、賃貸の共同住宅で 47.8%となっている。

【属性別給水方法】



(2) 給水方法の認知経路

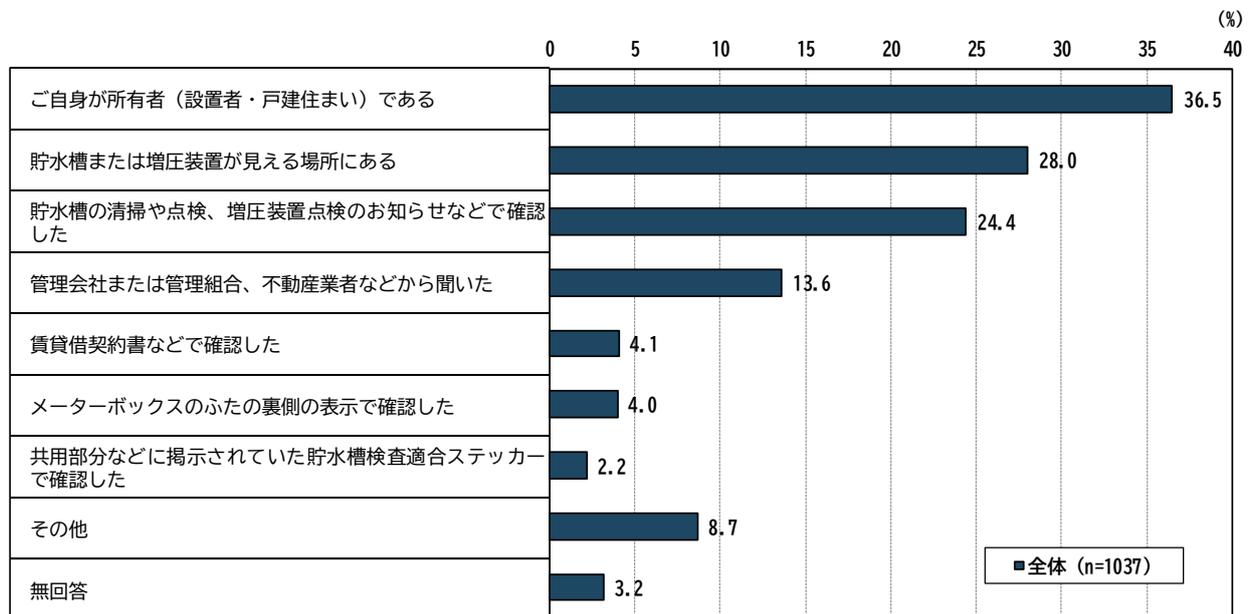
問 27 の給水方法で「1. 貯水槽式給水」「2. 直結式給水」と回答した方

問 28 あなたは「1. 貯水槽式給水」「2. 直結式給水」の給水方法をどのようにして知りましたか。
次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

給水方法の認知経路としては、「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」が 36.5%と最も高くなっている。次いで「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」(28.0%)、「貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した」(24.4%)となっている。

【給水方法の認知経路】



■属性別特徴

- 年代別でみると、30代以上では、いずれも上位3位が「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」、「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」、「貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した」となっている。18～29歳では、1位が「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」であり、他の世代の1位である「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」が4位となっている。
- 住居形態別でみると、持ち家(一戸建て)では、「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」が最も高く、85.9%となっている。持ち家(共同住宅)及び賃貸(共同住宅)で、35%以上の上位は、「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」、「貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した」がいずれも上位2位で、持ち家(共同住宅)では、「管理会社または管理組合、不動産業者などから聞いた」が3位となっている。
- 給水方法別でみると、貯水槽式給水で、50%以上の上位は、「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」、「貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した」が上位2位で、直結式給水では、「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」が62.8%と最も高くなっている。

【属性別給水方法の認知経路】

(単位：%)

	サンプル数	ご自身が所有者（設置者・戸建住まい）である	貯水槽または増圧装置が見える場所にある	貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した	共用部分などに掲示されている貯水槽検査適合ステッカー	管理会社または管理組合、不動産業者などから聞いた	賃貸借契約書などで確認した	メーターボックスのふたの裏側の表示で確認した	その他	無回答	
全体	1037	36.5	28.0	24.4	2.2	13.6	4.1	4.0	8.7	3.2	
性別	男性	456	38.6	27.0	23.9	2.6	15.8	5.0	3.3	9.2	2.6
	女性	573	35.1	28.8	25.0	1.9	11.5	3.5	4.5	8.2	3.7
年代別	18～29歳	61	18.0	31.1	23.0	-	4.9	9.8	4.9	26.2	3.3
	30代	96	30.2	26.0	21.9	3.1	13.5	13.5	3.1	10.4	1.0
	40代	180	31.1	30.6	20.6	1.7	13.3	3.3	4.4	10.0	1.7
	50代	204	36.3	28.9	22.1	1.5	12.7	2.9	2.0	9.8	2.0
	60代	207	33.3	31.4	30.4	2.9	17.4	4.3	1.9	4.8	3.9
	70歳以上	287	48.4	23.0	25.1	2.8	13.6	1.0	6.6	5.6	5.2
居住年数別	5年未満	49	18.4	40.8	24.5	2.0	8.2	12.2	4.1	8.2	4.1
	5年以上10年未満	74	24.3	35.1	23.0	-	17.6	5.4	4.1	10.8	2.7
	10年以上20年未満	168	29.2	24.4	25.6	2.4	14.3	5.4	1.8	13.1	3.0
	20年以上30年未満	168	28.6	36.3	25.6	1.2	17.3	4.8	3.0	10.1	1.8
	30年以上	574	44.3	24.4	23.7	2.8	12.4	2.8	4.9	6.6	3.7
住居形態別	持ち家（一戸建て）	410	85.9	2.0	0.7	-	1.0	-	5.9	6.1	2.9
	持ち家（分譲マンションなど）	306	6.2	48.0	45.4	4.2	35.0	3.3	1.0	7.8	2.3
	借家（一戸建て）	19	15.8	5.3	-	-	-	31.6	15.8	21.1	15.8
	賃貸の共同住宅	282	0.4	45.0	36.5	3.2	9.9	9.2	3.5	12.1	3.9
	社宅・寮	7	-	57.1	42.9	-	14.3	14.3	-	-	-
	その他	10	30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	-	10.0	30.0	-
給水方法別	貯水槽式給水	459	3.5	56.9	51.4	4.8	18.3	3.7	1.1	3.9	2.6
	直結式給水	578	62.8	5.0	2.9	0.2	9.9	4.5	6.2	12.5	3.6
	井戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 貯水槽の清掃・点検

問 27 の給水方法で「1. 貯水槽式給水」と回答した方

問 29 あなたがお住まいの住宅では、貯水槽の清掃・点検が行われていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

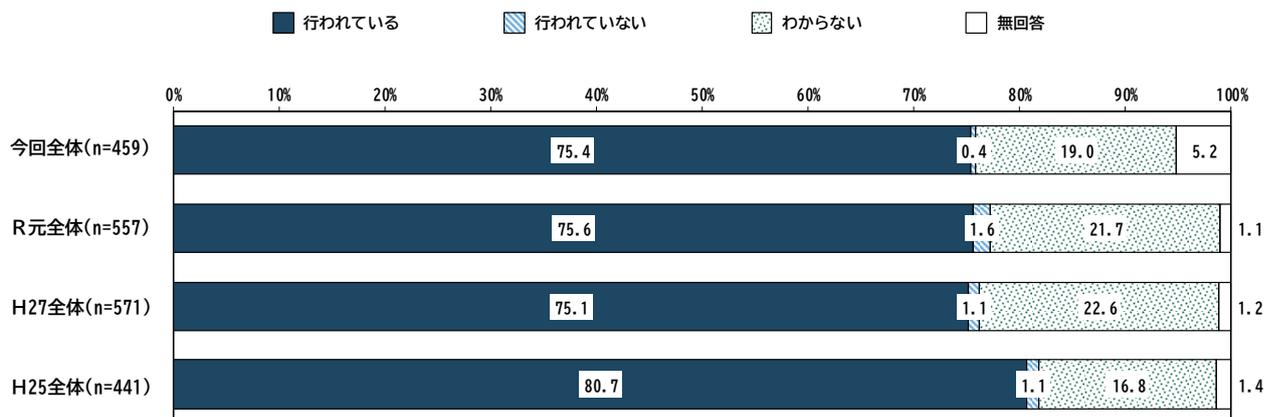
■全体結果

清掃・点検状況について、「行われている」が75.4%、「行われていない」が0.4%、「わからない」が19.0%となっている。

■経年推移

「行われている」は、平成 25 年度では 80.7%であったが、平成 27 年度以降は 75%台で推移している。

【全体結果と経年推移】



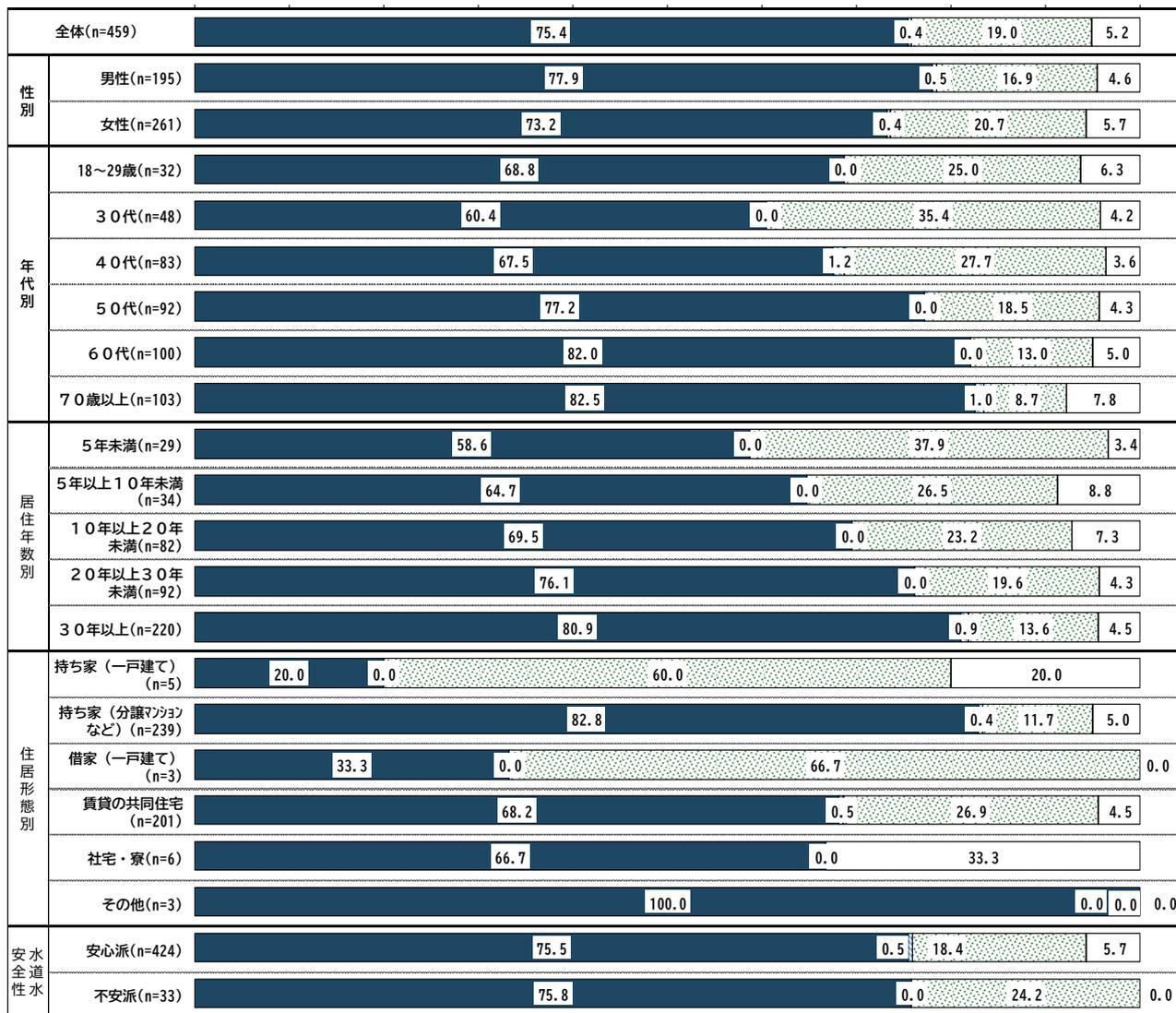
■属性別特徴

- 年代別で見ると、年代が上がるほど、点検状況を把握しており、最も把握していないのは30代で、35.4%となっている。
- 居住年数別で見ると、居住年数が長いほど、点検状況を把握しており、最も把握していないのは、5年未満で、37.9%となっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家(共同住宅)では、82.8%が、賃貸(共同住宅)では、68.2%が清掃・点検が行われていることを把握している。

【属性別貯水槽の清掃・点検】

行われている
 行われていない
 わからない
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(4) 福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること

問 30 あなたは、福岡市で使用している水のおよそ3分の1を筑後川から導水するなど、水源の多くを市域外に頼っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

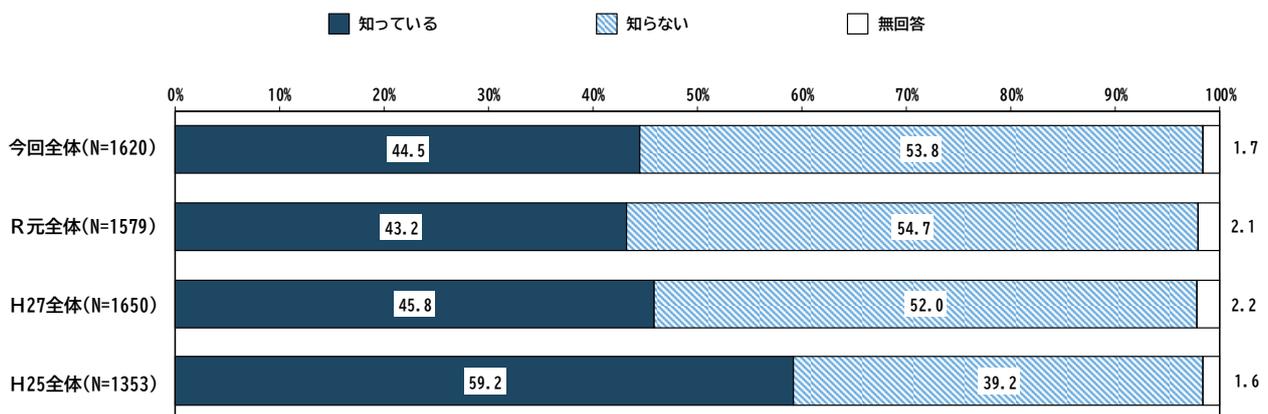
■全体結果

福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることについては、「知っている」が44.5%、「知らない」が53.8%と、ほぼ二分化されている。

■経年推移

「知っている」は、平成25年度の59.2%から平成27年度は45.8%に減少したが、その後は、横ばいで推移している。

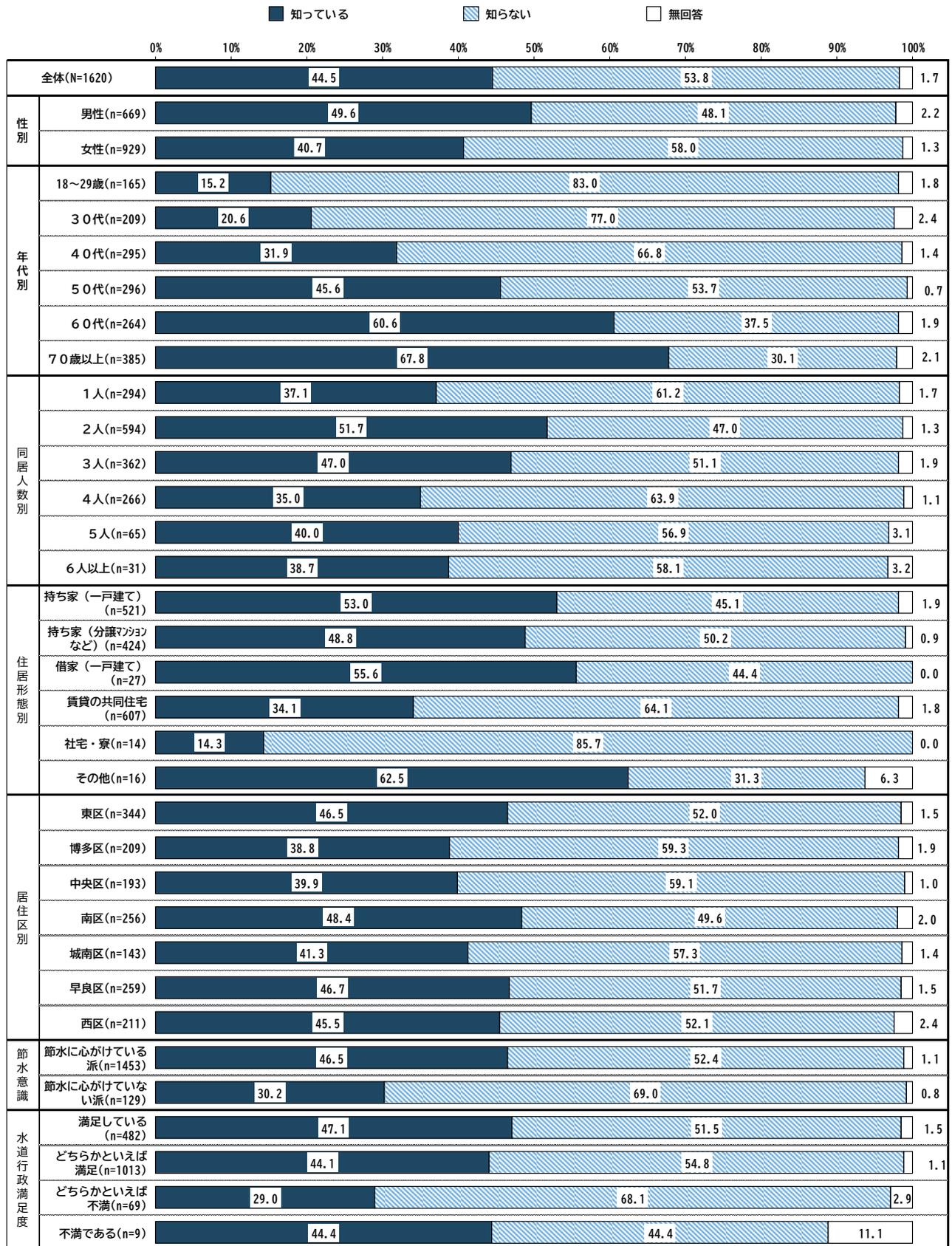
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、男性では「知っている」が49.6%であるが、女性では40.7%、男性よりも8.9ポイント低くなっている。
- 年代別で見ると、18～29歳では「知っている」が15.2%であるが、年代が上がるほど高くなり、70歳以上では67.8%となっている。
- 同居人数別で見ると、2人世帯で「知っている」が51.7%と、半数を超えている。
- 住居形態別で見ると、賃貸の共同住宅で「知っている」が34.1%と低くなっている。
- 居住区別で見ると、博多区、中央区で「知っている」が4割を下回っている。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけている』では「知っている」は46.5%であるが、『節水に心がけていない』では30.2%と、16.3ポイント低くなっている。
- 水道行政満足度別で見ると、「どちらかといえば不満」で「知っている」が29.0%と低くなっている。

【属性別福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること】



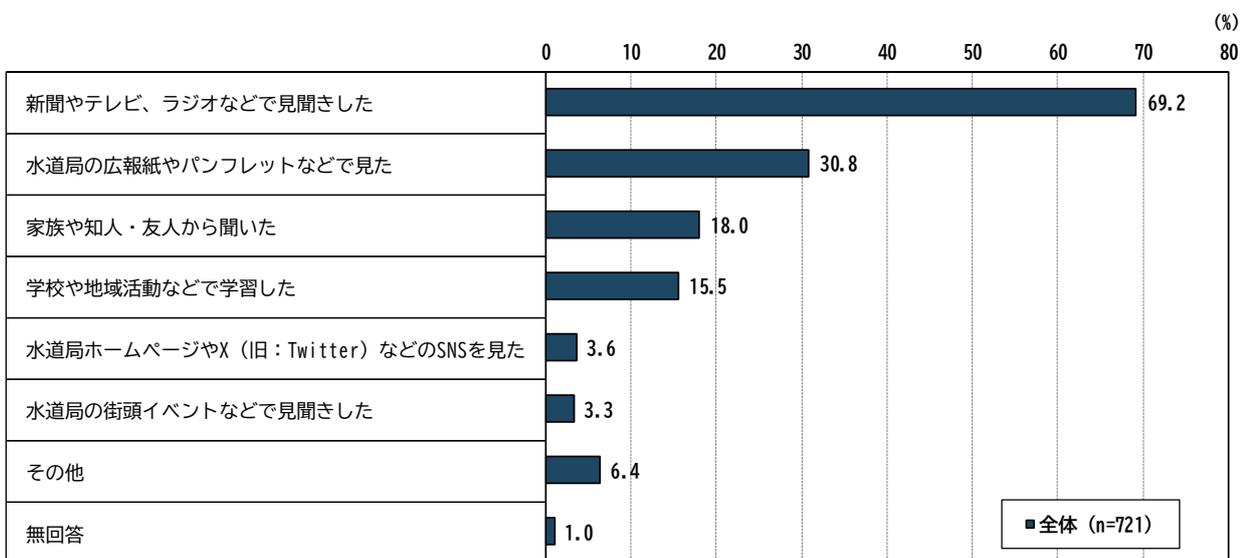
(5) 市域外に頼っていることの認知経路

問31 問30で「1.知っている」と回答した方に、おたずねします。あなたは、どのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることの認知経路としては、「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」が69.2%と最も高くなっている。次いで「水道局の広報紙やパンフレットなどで見た」(30.8%)、「家族や知人・友人から聞いた」(18.0%)、「学校や地域活動などで学習した」(15.5%)となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別でみると、女性では「家族や知人・友人から聞いた」は 20.9%であるが、男性では 14.5%、女性の方が 6.4 ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、年代が上がるほど「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」、「水道局の広報紙やパンフレットなどで見た」が高くなり、年代が下がるほど「学校や地域活動などで学習した」が高くなっている。
- 同居人数別、住居形態別、居住区別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 水道水の安全性別でみると、「水道局の広報紙やパンフレットなどで見た」(『安心』31.4% - 『不安』17.6%)は『安心』で高く、「家族や知人・友人から聞いた」(『安心』17.7% - 『不安』26.5%)は『不安』で高くなっている。

【属性別市域外に頼っていることの認知経路】

(単位：%)

	サンプル数	新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした	水道局の広報紙やパンフレットなどで見た	家族や知人・友人から聞いた	学校や地域活動などで学習した	水道局ホームページやX(旧：Twitter)などのSNSを見た	水道局の街頭イベントなどで見聞きした	その他	無回答
全体	721	69.2	30.8	18.0	15.5	3.6	3.3	6.4	1.0
性別									
男性	332	72.0	30.7	14.5	17.2	2.7	3.6	7.2	0.9
女性	378	67.2	31.2	20.9	14.3	4.5	3.2	5.3	1.1
年代別									
18～29歳	25	40.0	4.0	16.0	48.0	4.0	4.0	4.0	-
30代	43	53.5	18.6	20.9	27.9	4.7	2.3	9.3	-
40代	94	58.5	21.3	22.3	19.1	4.3	2.1	8.5	1.1
50代	135	63.7	23.7	23.0	18.5	3.0	3.0	7.4	0.7
60代	160	75.6	30.6	15.0	14.4	1.9	4.4	5.6	0.6
70歳以上	261	77.4	42.9	15.7	8.0	4.6	3.4	5.4	1.5
同居人数別									
1人	109	63.3	31.2	17.4	11.0	2.8	2.8	9.2	0.9
2人	307	73.3	37.5	18.2	16.3	3.6	4.2	5.9	0.7
3人	170	68.8	24.7	15.9	14.1	4.7	2.4	6.5	1.8
4人	93	60.2	20.4	25.8	17.2	3.2	3.2	4.3	1.1
5人	26	73.1	34.6	7.7	26.9	3.8	3.8	7.7	-
6人以上	12	83.3	25.0	16.7	16.7	-	-	8.3	-
住居形態別									
持ち家(一戸建て)	276	69.2	34.4	18.8	17.0	3.6	3.6	6.2	1.1
持ち家(分譲マンションなど)	207	71.5	32.4	18.4	14.5	2.9	2.9	5.8	0.5
借家(一戸建て)	15	66.7	13.3	26.7	20.0	-	-	6.7	-
賃貸の共同住宅	207	66.7	25.1	16.4	15.0	4.3	3.4	7.2	1.4
社宅・寮	2	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
その他	10	80.0	50.0	20.0	-	-	10.0	-	-
居住区別									
東区	160	71.9	31.3	21.3	20.0	3.1	5.0	8.1	1.3
博多区	81	63.0	27.2	12.3	12.3	2.5	2.5	13.6	1.2
中央区	77	70.1	31.2	19.5	7.8	-	2.6	6.5	-
南区	124	68.5	35.5	19.4	18.5	4.8	4.0	4.0	1.6
城南区	59	76.3	30.5	8.5	13.6	5.1	-	6.8	-
早良区	121	65.3	29.8	23.1	12.4	5.0	4.1	2.5	1.7
西区	96	70.8	29.2	14.6	17.7	4.2	2.1	5.2	-
意識									
節水に心がけている派	675	69.9	31.3	18.2	15.9	3.9	3.3	6.2	0.9
節水に心がけていない派	39	59.0	20.5	12.8	10.3	-	5.1	10.3	2.6
安心性									
安心派	684	69.3	31.4	17.7	15.6	3.7	3.5	6.0	0.9
不安派	34	70.6	17.6	26.5	11.8	2.9	-	8.8	2.9
満足度									
水道行政									
満足している	227	68.3	34.4	18.5	14.1	4.8	2.6	7.0	1.3
どちらかといえば満足	447	70.0	29.5	17.4	16.8	3.1	4.0	6.3	0.9
どちらかといえば不満	20	60.0	5.0	35.0	15.0	5.0	-	5.0	-
不満である	4	75.0	75.0	-	-	-	-	-	-

(6) 水源地域での森林の保全活動や交流事業について

問 32 あなたは、福岡市が水源地域（朝倉市・日田市・吉野ヶ里町などや、福岡市内の曲淵ダム・長谷ダムなど）で、森林の保全活動や交流事業を行っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

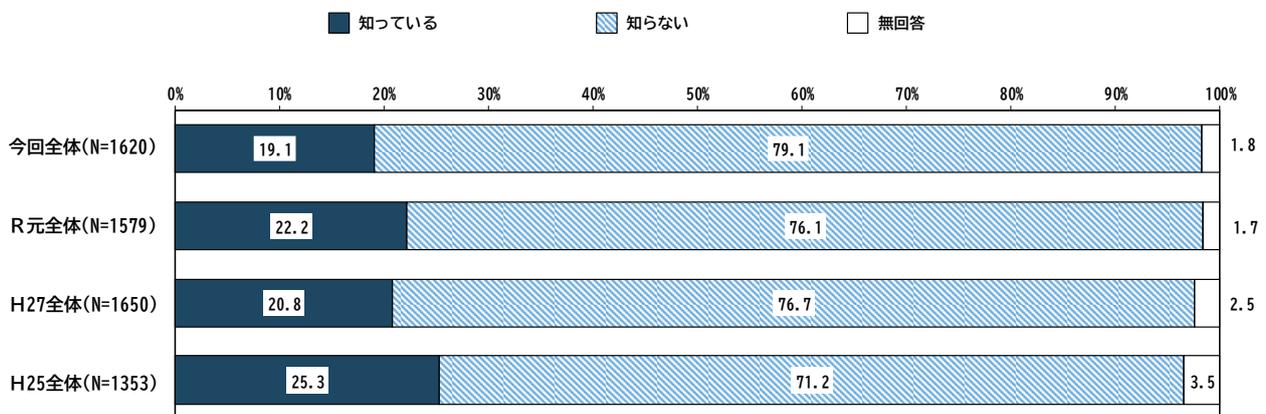
■全体結果

福岡市が水源地域で森林の保全活動や交流事業を行っていることについては、「知っている」が19.1%にとどまり、「知らない」が79.1%となっている。

■経年推移

今回、「知っている」は19.1%と、令和元年度に比べて3.1ポイント減少し、2割を下回っている。

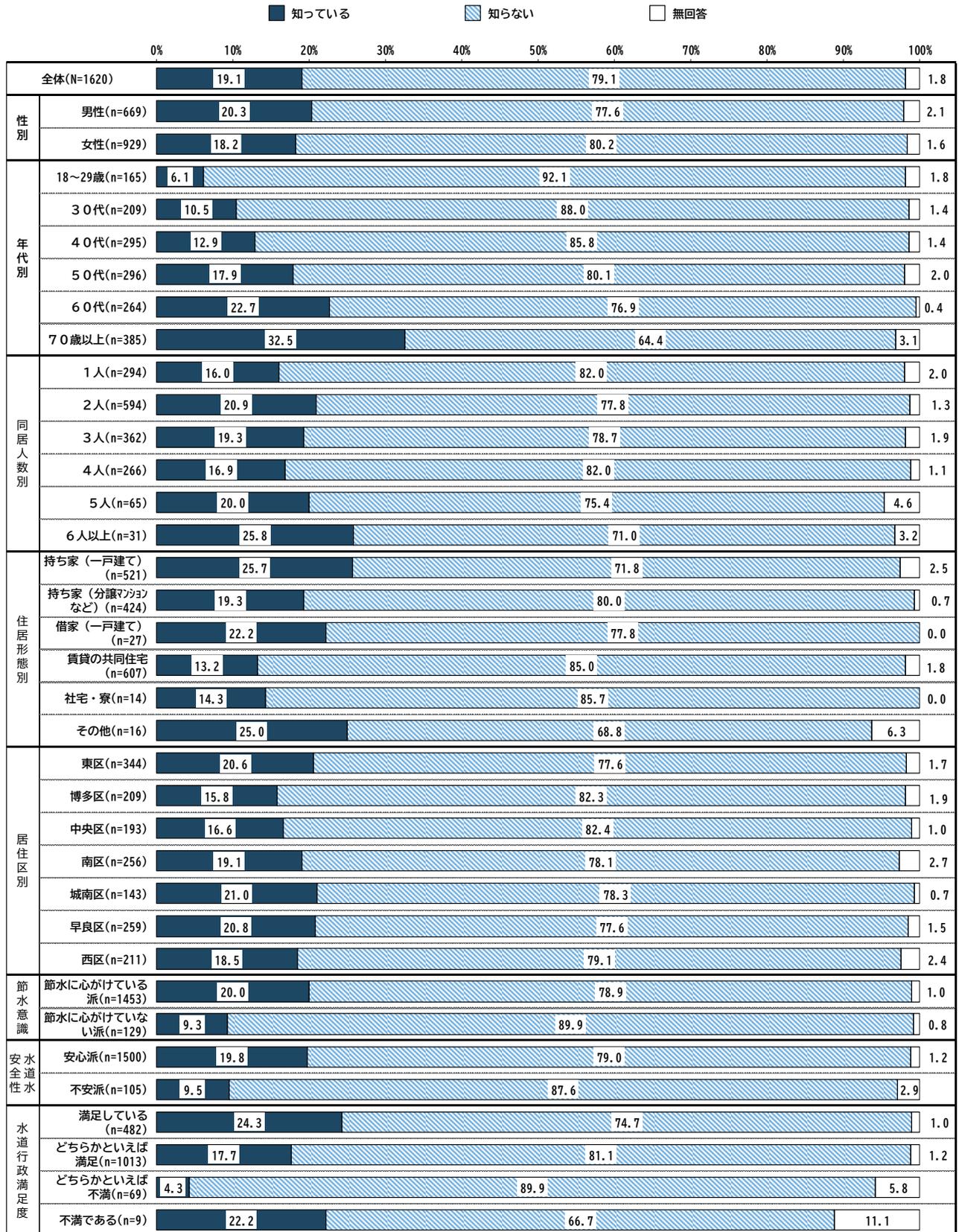
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、18～29歳では「知っている」が6.1%で最も低く、年代が上がるほど高くなり、70歳以上では32.5%となっている。
- 同居人数別で見ると、6人以上世帯で「知っている」が25.8%と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、賃貸の共同住宅で「知っている」が13.2%と低くなっている。
- 居住区別で見ると、博多区、中央区で「知っている」がやや低くなっている。
- 節水意識別で見ると、『節水に心がけている』では「知っている」は20.0%であるが、『節水に心がけていない』では9.3%と、10.7ポイント低くなっている。
- 水道水の安全性別で見ると、『安心』では「知っている」は19.8%であるが、『不安』では9.5%と、10.3ポイント低くなっている。

【属性別水源地域での森林の保全活動や交流事業】



(7) 森林の保全活動や交流事業への参加経験

問 33 問 32 で「1.知っている」と回答した方に、おたずねします。あなたは、森林の保全活動や交流事業に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

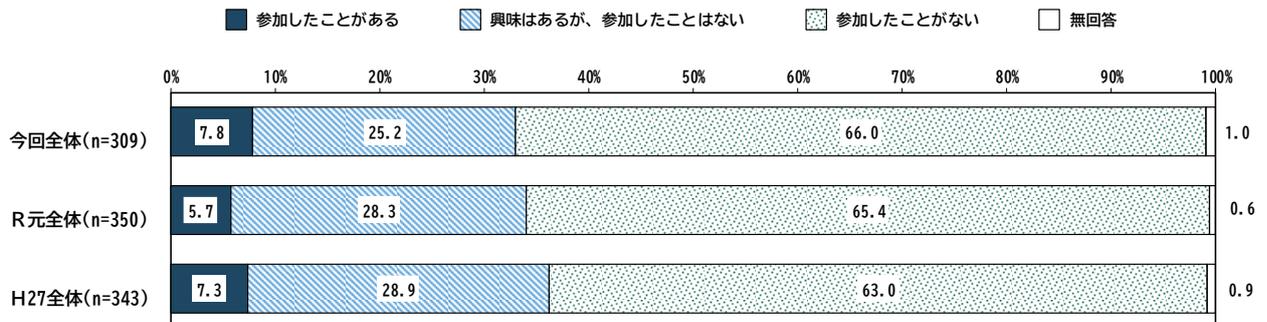
■全体結果

森林の保全活動や交流事業への参加経験については、「参加したことがある」は 7.8%と少なく、「興味はあるが、参加したことはない」が 25.2%、「参加したことがない」が 66.0%となっている。

■経年推移

「参加したことがある」はほぼ横ばいで推移しているが、「興味はあるが、参加したことはない」は減少傾向にある。

【全体結果と経年推移】

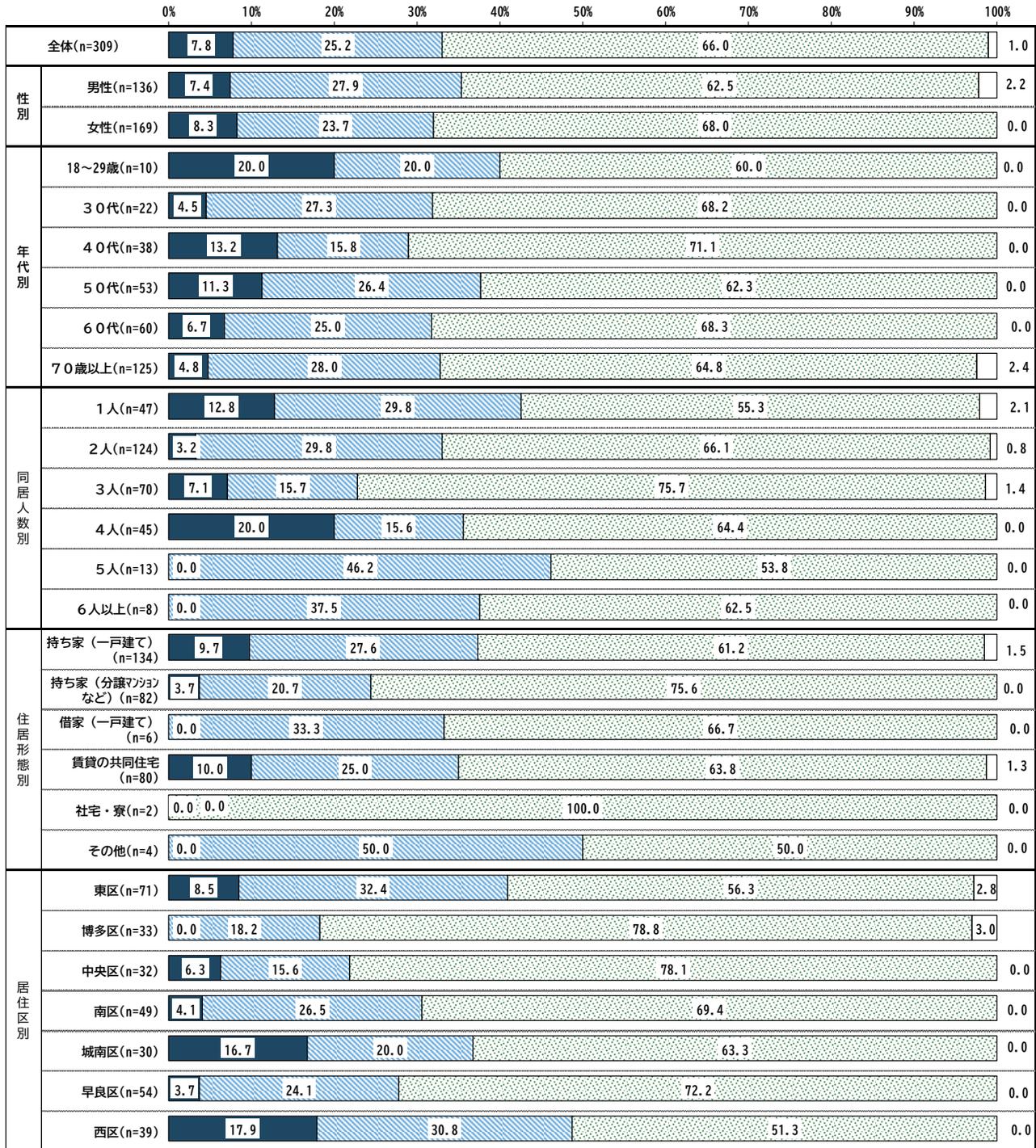


■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、40・50代で「参加したことがある」が1割台と高くなっている。
- 同居人数別で見ると、4人世帯で「参加したことがある」が 20.0%と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家(一戸建て)、賃貸の共同住宅で「参加したことがある」が約1割と高くなっている。
- 居住区別で見ると、西区、城南区で「参加したことがある」が1割台と高くなっている。

【属性別森林の保全活動や交流事業の認知経路】

■ 参加したことがある ▨ 興味はあるが、参加したことはない ▩ 参加したことがない □ 無回答



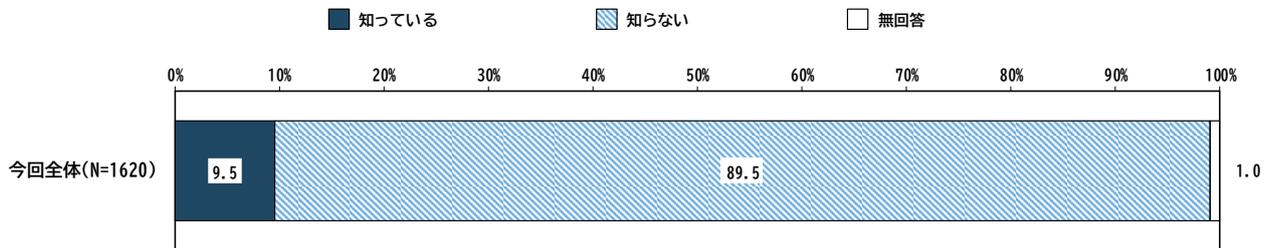
(8) 飲む海水について

問 34 水道局では、水の大切さや水源地域・流域への感謝の気持ちを伝えるため、市役所1階カフェで、「飲む海水」（海水淡水化水）を販売（1本140円）し、1本につき100円を、森林と水を守るための植樹の苗木代として活用しています。あなたは、「飲む海水」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

「飲む海水」については、「知っている」は9.5%と少なく、「知らない」が89.5%となっている。

【全体結果と経年推移】

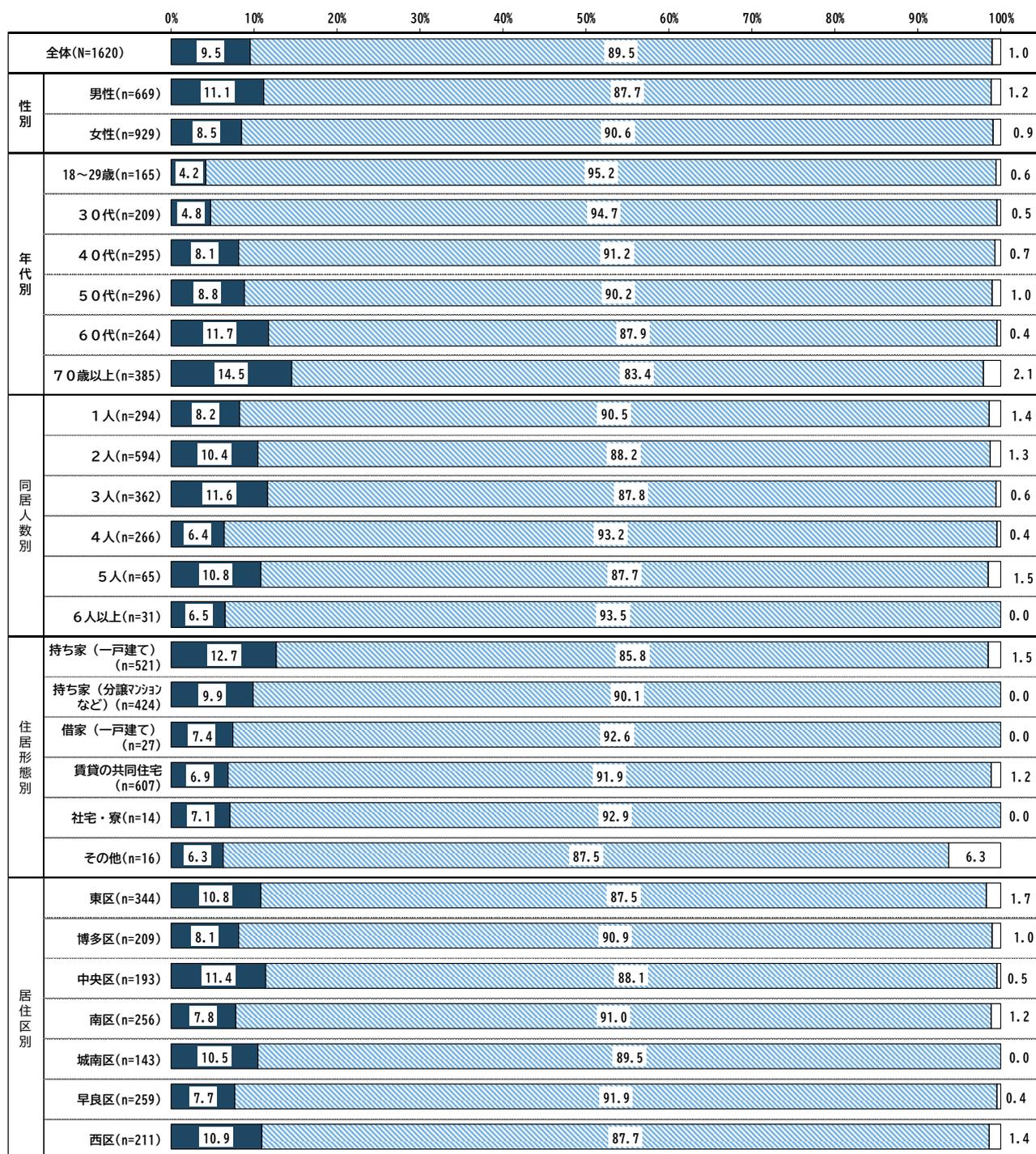


■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「知っている」が高くなっている。
- 同居人数別で見ると、2人・3人・5人世帯で「知っている」が1割台と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、持ち家（一戸建て）で「知っている」が1割台と高くなっている。
- 居住区別で見ると、大きな差はみられない。

【属性別飲む海水】

■ 知っている ■ 知らない □ 無回答



(9) 水道局お客さまセンターに電話した経験

問 35 あなたは、水道局お客さまセンターに電話されたことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

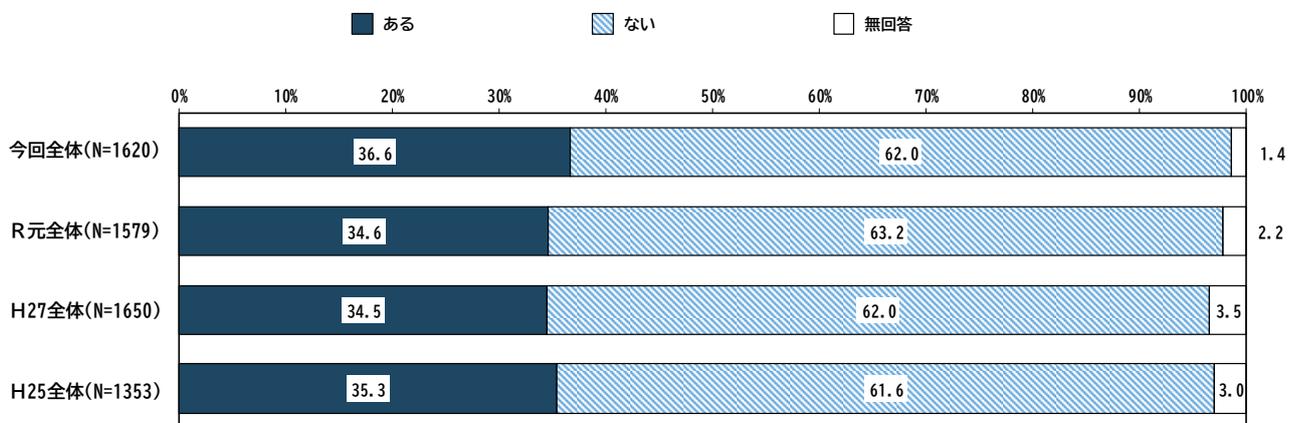
■全体結果

水道局お客さまセンターに電話した経験については、「ある」が36.6%、「ない」が62.0%となっている。

■経年推移

平成25年度以降、ほぼ横ばいで推移している。

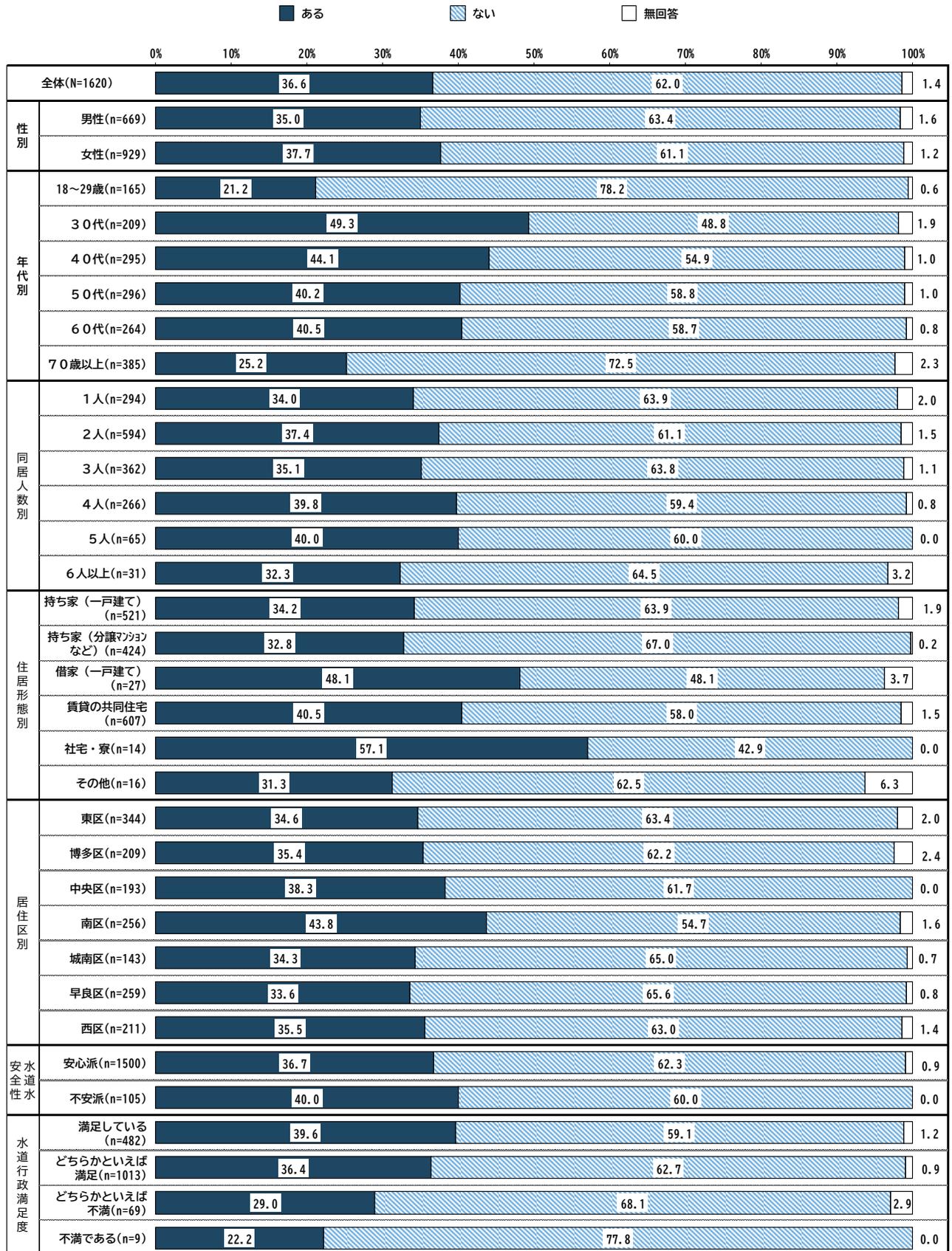
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、18～29歳で「ある」が21.2%と低いが、30代で49.3%と最も高く、年代が上がるとともに低くなり、70歳以上では25.2%となっている。
- 同居人数別で見ると、6人以上世帯で「ある」が32.3%と低くなっている。
- 住居形態別で見ると、借家(一戸建て)で「ある」が48.1%と高くなっている。
- 居住区別で見ると、南区で「ある」が43.8%と高くなっている。
- 水道水の安全性別で見ると、大きな差はみられない。
- 水道行政満足度別で見ると、「満足している」ほど「ある」が高くなっている。

【属性別水道局お客さまセンターに電話した経験】



(10) 水道局お客さまセンターの電話対応満足度

問 36 問 35 で「1. ある」と回答した方へおたずねします。お客さまセンターの電話対応はいかがでしたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

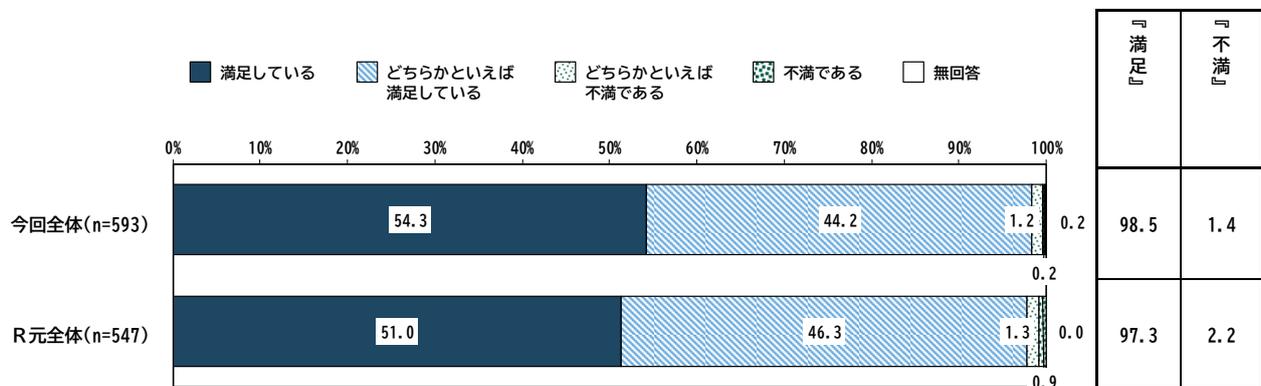
■全体結果

お客さまセンターの電話対応については、「満足している」が 54.3%、「どちらかといえば満足している」が 44.2%となっており、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合計した『満足』は 98.5%となっている。一方、『不満』は 1.4%（「不満である」0.2%、「どちらかといえば不満である」1.2%）と少なくなっている。

■経年推移

令和元年度とほぼ同水準で推移している。

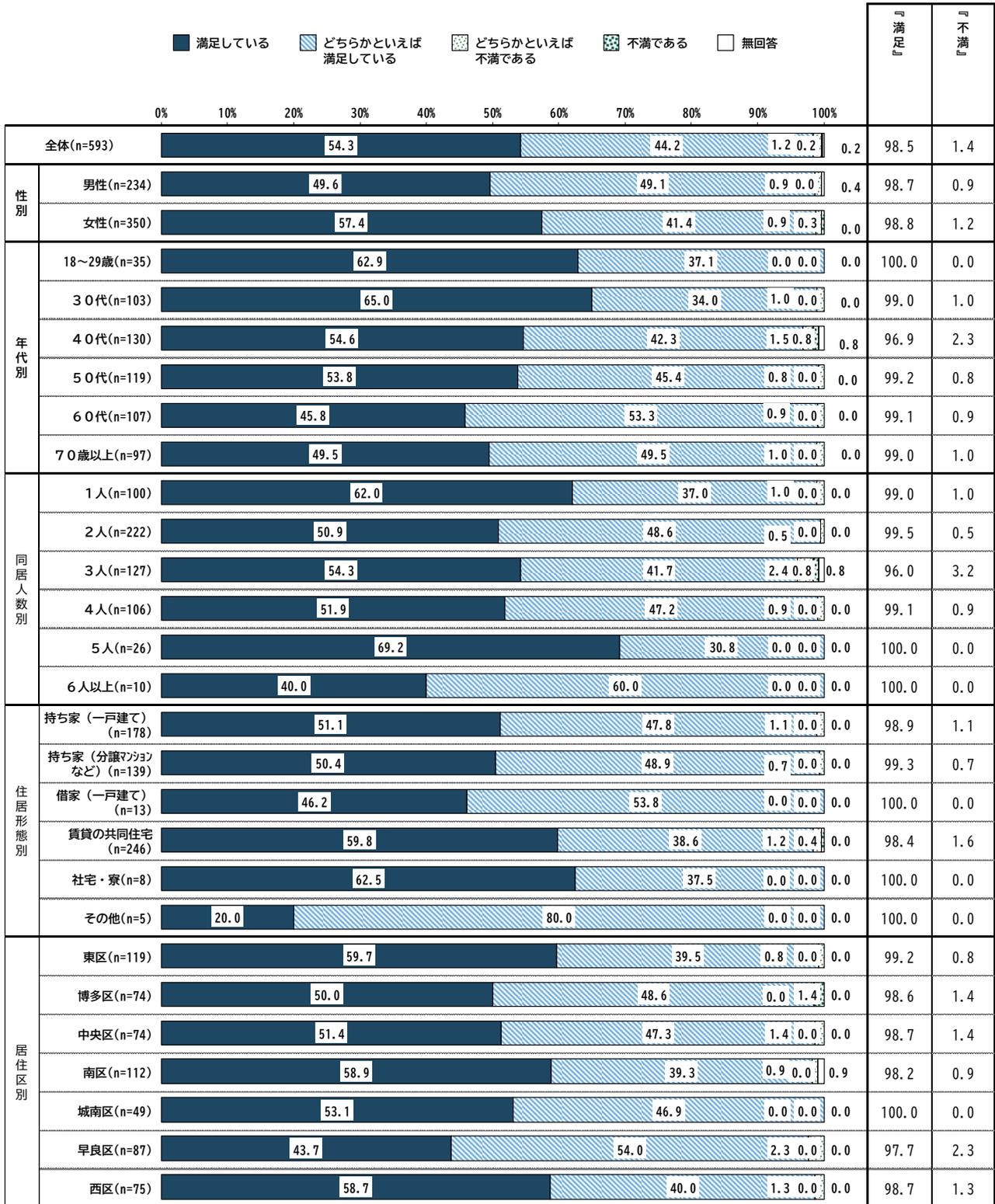
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、『満足』には差はみられないが、「満足している」は女性では 57.4%であるが、男性では 49.6%となっており、女性の方が 7.8 ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、『満足』には差はみられないが、「満足している」は年代が下の層で高くなっている傾向にある。
- 同居人数別で見ると、『満足』には差はみられないが、「満足している」は1人・5人世帯で、6割台と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、『満足』には差はみられないが、「満足している」は借家（一戸建て）で5割を下回っている。
- 居住区別で見ると、『満足』には差はみられないが、「満足している」は早良区で4割台と低くなっている。

【属性別水道局お客さまセンターの電話対応満足度】



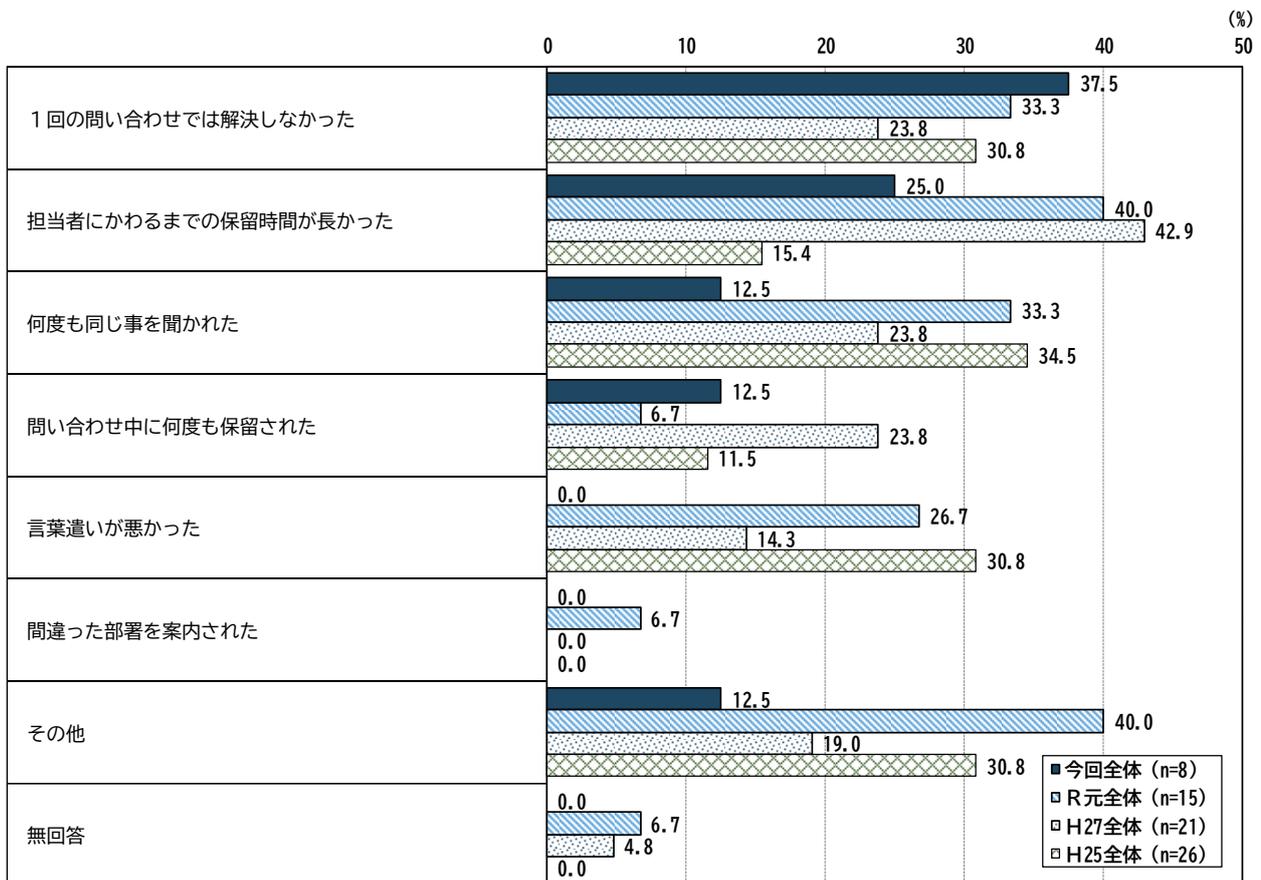
(11) 水道局お客さまセンターの電話対応が不満な理由

問 37 問 36 で「3.どちらかといえば不満である」「4.不満である」と回答した方へおたずねします。あなたが満足していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道局お客さまセンターの電話対応が不満な理由としては、「1回の問い合わせでは解決しなかった」(37.5%)をはじめとして、「担当者にかわるまでの保留時間が長かった」(25.0%)、「何度も同じ事を聞かれた」(12.5%)、「問い合わせ中に何度も保留された」(12.5%)などがあげられている。

【全体結果と経年推移】



(12) 国際貢献の取組みについて

問 38 水道局では、一人でも多くの人々が安全な水道水を使えるように、節水型都市づくりを通じてつちかした水の有効利用に関する高い技術（世界トップの漏水防止技術など）を活かし、開発途上国に対する技術協力（職員の派遣、研修生の受入れなど）を実施しています。この国際貢献の取組みについて、あなたの考えに近いものをお答えください。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

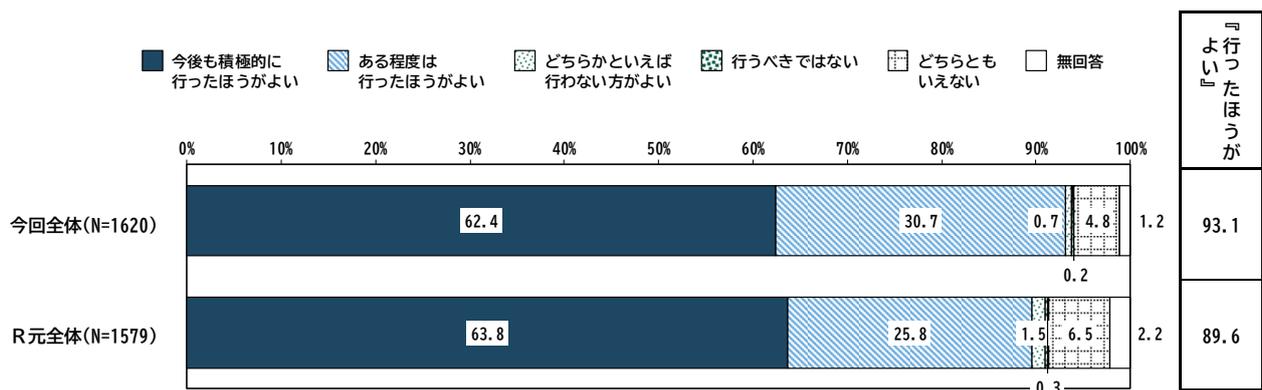
■全体結果

水道局の国際貢献の取組みについては、「今後も積極的に行ったほうがよい」が62.4%と最も多く、「ある程度は行ったほうがよい」の30.7%を加えると、『行ったほうがよい』は、93.1%と高くなっている。

■経年推移

『行ったほうがよい』は、令和元年度の89.6%から93.1%に3.5ポイント増加している。

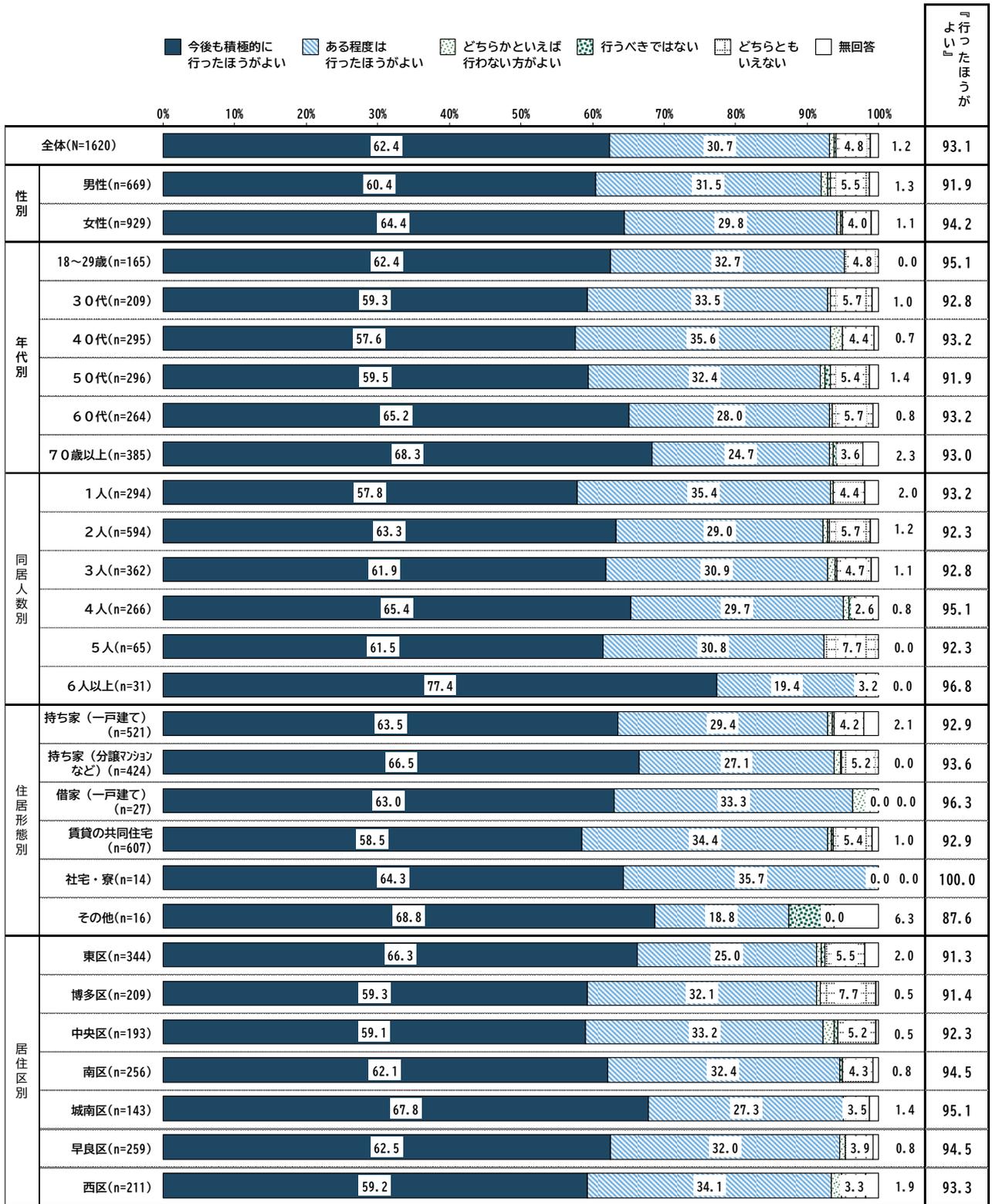
【全体結果と経年推移】



■属性別特徴

- 性別で見ると、大きな差はみられない。
- 年代別で見ると、『行ったほうがよい』には大きな差はみられないが、「今後も積極的に行ったほうがよい」は、18～29歳、60代以上で6割台と高くなっている。
- 同居人数別で見ると、『行ったほうがよい』には大きな差はみられないが、「今後も積極的に行ったほうがよい」は、6人以上世帯で77.4%と高くなっている。
- 住居形態別で見ると、『行ったほうがよい』には大きな差はみられないが、「今後も積極的に行ったほうがよい」は、唯一、賃貸の共同住宅で5割台と低くなっている。
- 居住区別で見ると、『行ったほうがよい』には大きな差はみられないが、「今後も積極的に行ったほうがよい」は、城南区で67.8%と最も高くなっている。

【属性別国際貢献の取組み】



※「どちらかといえば行わないほうがよい」、「行うべきではない」はいずれも1%台以下と数値が小さく、表示するとグラフが見づらくなるため表示していない。

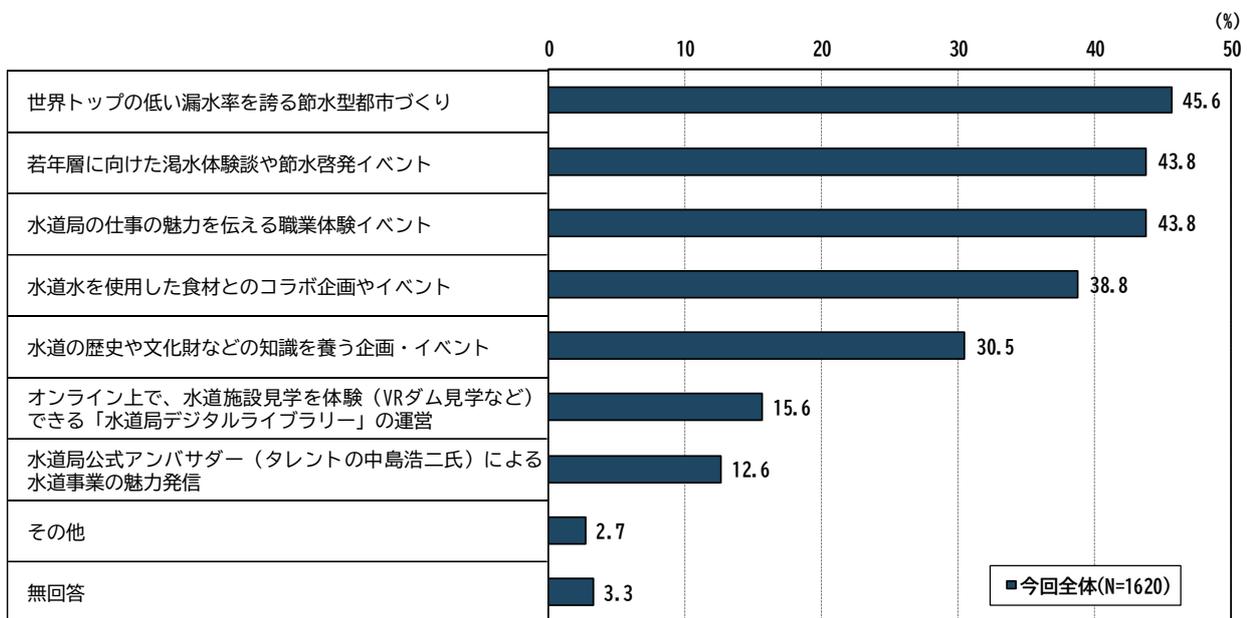
(13) 引き続き力を入れて取り組んでほしいこと

問 39 福岡市の水道は、令和5年3月1日に創設100周年を迎えました。その節目を記念し、イベントやマスメディアを通じて、安全でおいしい水道水のPRや、水を無駄にしない水道局の取り組みなどを発信してきました。これまでの水道局の取り組みの中から、引き続き力を入れて取り組んでほしいことについて、次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

水道局の取り組みの中で引き続き力を入れて取り組んでほしいこととしては、「世界トップの低い漏水率を誇る節水型都市づくり」が45.6%と最も高くなっている。次いで「若年層に向けた湯水体験談や節水啓発イベント」(43.8%)、「水道局の仕事の魅力を伝える職業体験イベント」(43.8%)、「水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント」(38.8%)、「水道の歴史や文化財などの知識を養う企画・イベント」(30.5%)となっている。

【全体結果】



■属性別特徴

- 性別でみると、男性の方が高いのは、「世界トップの低い漏水率を誇る節水型都市づくり」(男性 50.4%－女性 42.1%)、女性の方が高いのは「水道局の仕事の魅力を伝える職業体験イベント」(男性 40.1%－女性 46.6%)、「水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント」(男性 35.4%－女性 41.4%)となっている。
- 年代別でみると、年代が上の方で高くなっているのは「世界トップの低い漏水率を誇る節水型都市づくり」、「若年層に向けた湯水体験談や節水啓発イベント」、「水道の歴史や文化財などの知識を養う企画・イベント」、逆に、年代が下の方で高くなっているのが、「水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント」である。
- 同居人数別、住居形態別、居住区別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 節水意識別、水道水の安全性別でみると、最も差が大きいのは、「若年層に向けた湯水体験談や節水啓発イベント」で、『節水に心がけている』、『安心』の方が、割合が高くなっている。

【属性別引き続き力を入れて取り組んでほしいこと】

(単位：%)

	サンプル数	世界トップの低い漏水率を誇る節水型都市づくり	若年層に向けた漏水体験談や節水啓発イベント	水道局の仕事の魅力を伝える職業体験イベント	水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント	水道の歴史や文化財などの知識を養う企画・イベント	オンライン上で、水道施設見学を体験（VRダム見学など）できる「水道局デジタルライブラリー」の運営	水道局公式アンバサダー（タレントの中島浩二氏）による水道事業の魅力の発信	その他	無回答	
全体	1620	45.6	43.8	43.8	38.8	30.5	15.6	12.6	2.7	3.3	
性別	男性	669	50.4	45.3	40.1	35.4	32.4	13.9	13.0	2.8	3.1
	女性	929	42.1	43.2	46.6	41.4	29.4	16.8	12.4	2.4	3.2
年代別	18～29歳	165	38.2	38.2	41.2	51.5	21.2	15.8	10.9	4.8	1.2
	30代	209	38.3	39.7	48.3	45.0	24.9	15.8	7.2	3.8	2.4
	40代	295	37.6	42.4	49.8	42.4	25.8	18.3	14.9	2.7	2.0
	50代	296	48.3	40.5	39.9	42.2	29.4	17.2	15.9	3.4	1.7
	60代	264	51.9	46.2	40.2	35.2	40.2	15.2	12.5	1.1	2.3
	70歳以上	385	52.5	50.6	43.6	27.3	35.6	12.5	12.2	1.6	7.5
同居人数別	1人	294	48.3	44.2	40.5	38.1	34.4	15.3	11.2	2.0	4.1
	2人	594	49.3	44.9	39.7	36.9	31.3	14.5	13.5	2.5	3.9
	3人	362	45.6	45.3	43.9	35.9	27.9	17.1	14.1	4.1	2.8
	4人	266	38.7	38.0	54.1	49.2	28.9	16.9	13.2	1.5	1.1
	5人	65	30.8	53.8	52.3	29.2	27.7	16.9	4.6	1.5	4.6
	6人以上	31	38.7	29.0	45.2	51.6	29.0	9.7	6.5	6.5	6.5
住居形態別	持ち家（一戸建て）	521	46.6	46.1	42.6	36.9	34.0	15.4	12.3	3.1	4.0
	持ち家（分譲マンションなど）	424	48.6	45.3	46.9	34.9	32.8	17.0	13.2	2.6	2.4
	借家（一戸建て）	27	40.7	33.3	51.9	37.0	29.6	7.4	3.7	-	7.4
	賃貸の共同住宅	607	42.8	42.0	42.0	42.8	27.0	15.7	13.0	2.1	3.0
	社宅・寮	14	42.9	42.9	50.0	35.7	28.6	7.1	7.1	7.1	-
	その他	16	50.0	31.3	56.3	56.3	-	12.5	12.5	6.3	6.3
居住区別	東区	344	46.2	43.9	50.0	38.4	29.4	14.8	10.2	2.9	3.2
	博多区	209	40.2	44.0	46.4	38.8	33.0	14.4	13.9	2.4	3.3
	中央区	193	50.8	42.0	40.4	36.8	30.1	16.6	11.4	3.1	3.6
	南区	256	45.3	41.4	40.2	40.2	34.0	17.2	12.5	2.7	2.3
	城南区	143	46.9	46.2	39.9	42.0	26.6	18.2	13.3	2.1	5.6
	早良区	259	42.9	47.9	41.3	39.0	29.0	12.7	13.9	1.5	3.1
	西区	211	48.3	42.2	44.5	37.4	30.8	17.1	14.2	3.8	2.8
意識水	節水に心がけている派	1453	46.8	45.1	44.2	38.1	31.1	15.5	12.7	2.3	3.0
	節水に心がけていない派	129	35.7	31.8	41.9	45.7	25.6	17.8	11.6	5.4	3.9
安水全道性水	安心派	1500	45.8	44.5	44.1	38.9	30.6	15.4	12.8	2.5	3.1
	不安派	105	45.7	36.2	40.0	35.2	29.5	17.1	9.5	5.7	2.9

(14) 水道局の取組みに関する情報の周知方法

問 40 あなたは、問 39 のような水道局の取組みに関する情報をどのような方法で知らせてほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

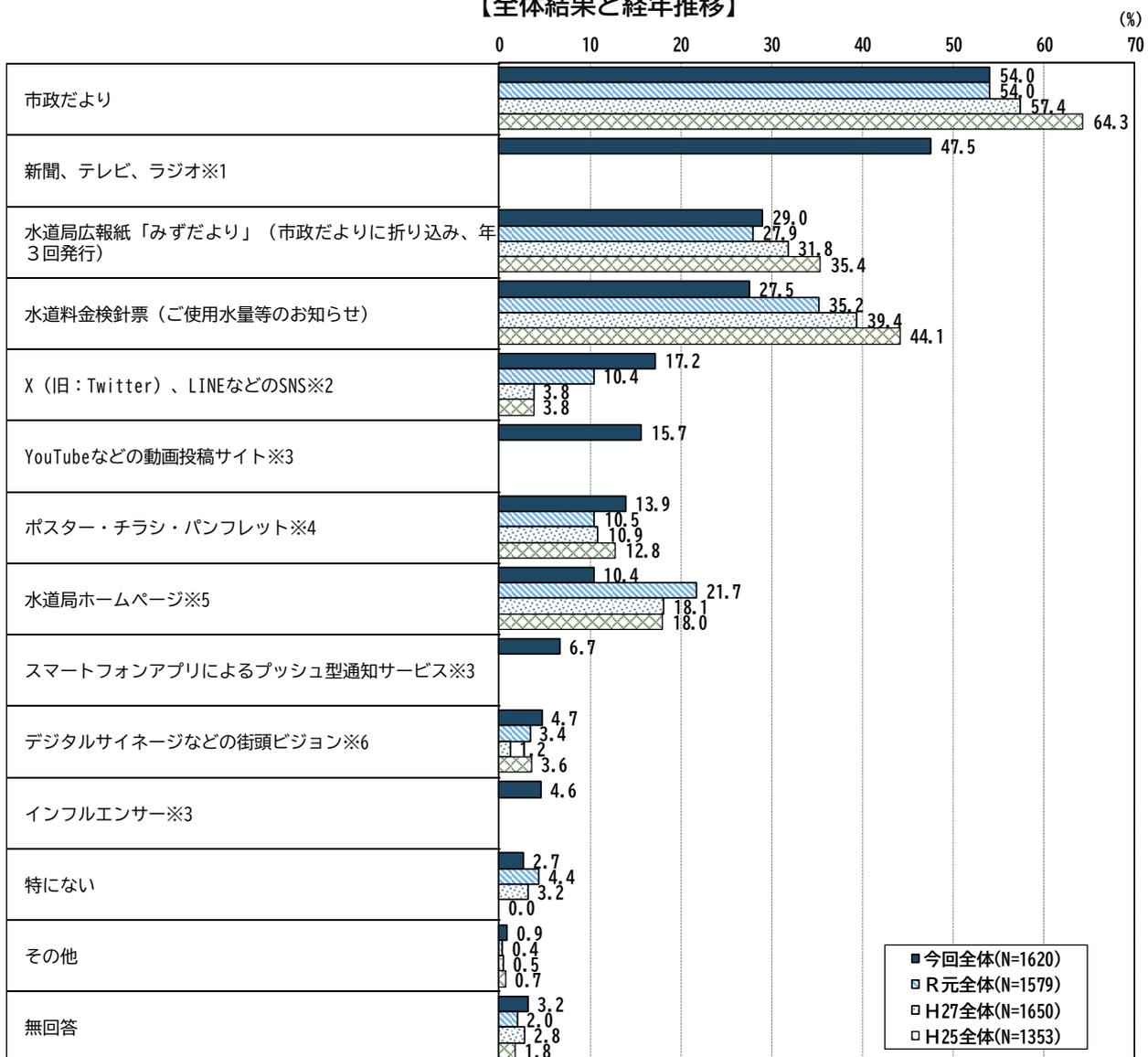
■全体結果

水道局の取組みに関する情報の周知方法としては、「市政だより」が 54.0%と最も高くなっている。次いで「新聞、テレビ、ラジオ」(47.5%)、「水道局広報紙「みずだより」(市政だよりに折り込み、年3回発行)」(29.0%)、「水道料金検針票(ご使用水量等のお知らせ)」(27.5%)となっている。

■経年推移

今回、大幅に選択肢を見直したため、過去の調査との正確な比較は難しいが、今後は、「X(旧:Twitter)、LINE などの SNS」、「YouTube などの動画投稿サイト」、「スマートフォンアプリによるプッシュ型通知サービス」などによる周知が重要になってくるものと思われる。

【全体結果と経年推移】



- ※1 令和元年度以前は「新聞」「テレビ」「ラジオ」それぞれ単独であったが、今回ひとつに統合
- ※2 令和元年度、平成27年度はSNS (twitterやfacebookなど)、平成25年度はSNS
- ※3 今回から追加
- ※4 令和元年度以前は「チラシ・パンフレット」
- ※5 令和元年度以前は「ホームページ(携帯電話版を含む)」
- ※6 令和元年度以前は「デジタルサイネージ(街頭ビジョン、街角の電光掲示板)」

■属性別特徴

- 性別でみると、大きな差はみられない。
- 年代別でみると、年代が上の方で高くなっているのは「市政だより」、「新聞、テレビ、ラジオ」、「水道局広報紙「みずだより」(市政だよりに折り込み、年3回発行)」、逆に、年代が下の方で高くなっているのが、「X(旧:Twitter)、LINEなどのSNS」、「YouTubeなどの動画投稿サイト」である。
- 同居人数別、住居形態別、居住区別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。

【属性別水道局の取組みに関する情報の周知方法】

(単位：%)

		サンプル数	市政だより	新聞、テレビ、ラジオ	水道局広報紙「みずだより」(市政だよりに折り込み、年3回発行)	水道料金検針票(ご使用水量等のお知らせ)	X(旧:Twitter)、LINEなどのSNS	YouTubeなどの動画投稿サイト	ポスター・チラシ・パンフレット	水道局ホームページ	スマートフォンアプリによるプッシュ型通知サービス	街頭デジタルサイネージなどの街頭ビジョン	インフルエンサー	特にない	その他	無回答
全体		1620	54.0	47.5	29.0	27.5	17.2	15.7	13.9	10.4	6.7	4.7	4.6	2.7	0.9	3.2
性別	男性	669	53.1	47.2	29.4	23.9	17.5	18.8	13.8	12.4	6.0	4.8	5.8	2.8	0.9	3.6
	女性	929	54.8	47.9	29.2	29.8	17.0	13.5	14.1	8.8	7.0	4.6	3.6	2.5	0.9	3.0
年代別	18～29歳	165	17.0	33.9	11.5	20.6	44.8	30.3	13.9	10.9	13.9	6.7	13.9	6.7	0.6	3.0
	30代	209	39.2	29.7	19.6	25.4	33.5	24.9	15.8	5.7	9.1	12.4	10.5	4.3	2.4	1.9
	40代	295	46.4	46.4	19.7	29.5	26.1	21.4	14.6	10.2	10.2	4.7	4.4	1.7	1.7	2.7
	50代	296	53.0	46.3	25.7	29.1	11.1	13.5	13.5	14.5	5.7	5.1	3.7	3.4	0.7	3.7
	60代	264	64.0	61.4	39.0	22.3	6.8	13.3	15.5	12.1	4.5	3.8	1.5	1.1	-	1.1
	70歳以上	385	77.9	55.3	44.7	32.5	1.8	3.6	11.2	8.6	2.1	-	0.3	1.0	0.3	5.2
同居人数別	1人	294	45.2	42.9	25.5	26.9	20.1	17.0	14.3	11.6	8.2	6.1	6.5	3.7	0.3	4.8
	2人	594	59.1	50.2	34.2	26.9	11.3	13.5	13.0	10.4	5.7	3.9	2.2	3.4	1.0	2.7
	3人	362	58.0	50.3	26.5	26.8	17.7	14.6	14.1	10.8	6.4	4.1	4.7	1.7	0.6	3.3
	4人	266	51.5	42.5	26.7	31.6	25.6	18.4	15.4	8.3	8.6	6.0	5.6	1.1	1.1	2.6
	5人	65	38.5	46.2	16.9	29.2	20.0	20.0	13.8	10.8	6.2	1.5	9.2	3.1	3.1	4.6
	6人以上	31	48.4	58.1	38.7	9.7	25.8	25.8	12.9	9.7	3.2	9.7	12.9	-	-	-
住居形態別	持ち家(一戸建て)	521	61.6	50.1	34.2	30.3	11.3	13.2	11.5	10.4	6.0	2.3	4.6	2.5	0.8	4.0
	持ち家(分譲マンションなど)	424	55.9	52.8	30.4	24.3	16.5	14.4	16.7	11.6	5.2	5.2	1.9	1.9	0.7	3.1
	借家(一戸建て)	27	48.1	51.9	11.1	25.9	18.5	22.2	18.5	3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	-	-
	賃貸の共同住宅	607	46.6	41.5	24.2	27.8	23.2	18.6	13.5	9.9	8.6	6.8	6.1	3.1	1.0	2.3
	社宅・寮	14	42.9	28.6	28.6	21.4	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	-	7.1	-	7.1	-
	その他	16	56.3	62.5	37.5	18.8	6.3	6.3	18.8	12.5	6.3	-	6.3	-	-	12.5
居住区別	東区	344	52.3	49.4	29.1	29.7	17.2	16.0	16.0	11.3	7.8	4.4	4.9	2.9	0.6	3.5
	博多区	209	51.2	40.7	23.4	28.7	22.0	18.7	16.7	9.1	9.1	6.2	6.7	1.9	1.9	2.4
	中央区	193	53.4	46.6	23.8	29.0	16.1	13.5	13.0	10.4	5.7	7.3	2.1	3.6	-	3.6
	南区	256	56.6	49.2	34.0	25.0	15.6	14.5	12.1	11.7	6.6	3.5	5.1	1.6	0.8	3.5
	城南区	143	55.2	46.9	31.5	21.0	14.0	21.7	9.1	14.7	7.7	4.9	2.8	2.8	0.7	4.2
	早良区	259	59.5	47.1	30.1	26.3	17.4	13.5	14.3	8.1	4.6	3.1	5.0	3.5	1.2	1.9
	西区	211	50.2	50.7	30.3	29.9	17.5	14.7	13.3	8.5	5.7	4.7	4.3	1.9	0.9	3.8

(15) 特に知りたい水道に関する情報

問 41 あなたが、特に知りたい水道に関する情報は何か。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

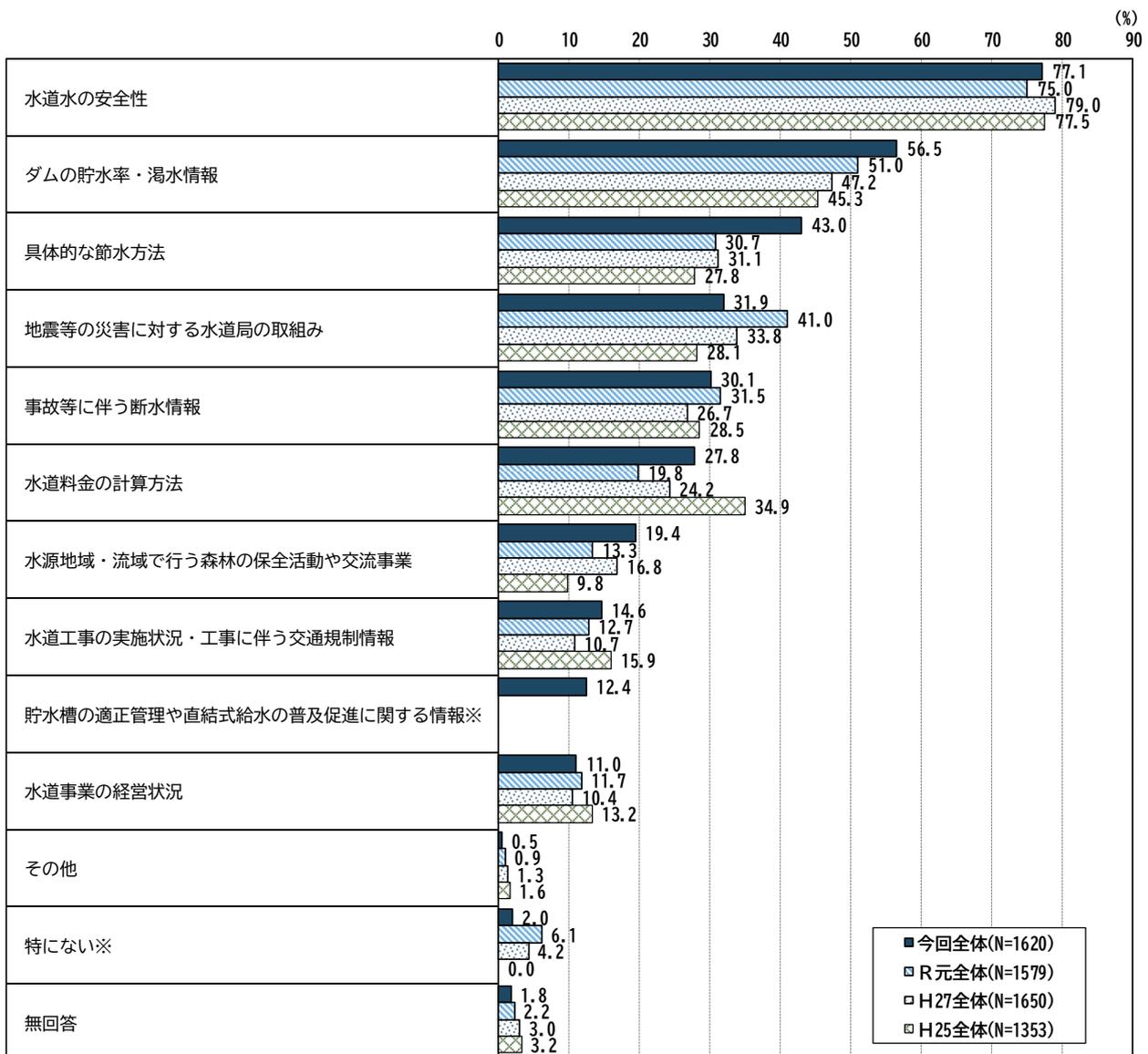
■全体結果

特に知りたい水道に関する情報としては、「水道水の安全性」が 77.1%と最も高くなっている。次いで「ダム
の貯水率・渇水情報」(56.5%)、「具体的な節水方法」(43.0%)、「地震等の災害に対する水道局の取組み」
(31.9%)、「事故等に伴う断水情報」(30.1%)となっている。

■経年推移

「ダム
の貯水率・渇水情報」、「具体的な節水方法」の増加傾向がうかがえるものの、全体的な傾向にはあまり
大きな変化はみられない。

【全体結果と経年推移】



※ 今回から追加

■属性別特徴

- 性別でみると、女性では「具体的な節水方法」が48.0%であるが、男性は36.8%、女性の方が11.2ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、年代が上の方で高くなっているのは「ダム貯水率・漏水情報」、逆に、年代が下の方で高くなっているのが、「具体的な節水方法」、「水道料金の計算方法」である。
- 同居人数別でみると、4人以上世帯では「具体的な節水方法」が5割台と高くなっている。
- 住居形態別、居住区別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 水道水の安全性別でみると、『不安』では「水道水の安全性」が82.9%で『安心』76.9%より高くなっている。
- 水道行政満足度別でみると、「どちらかといえば不満」では「水道水の安全性」が69.6%と最も高く、次いで「水道料金の計算方法」が43.5%となっている。

【属性別特に知りたい水道に関する情報】

(単位：%)

	サンプル数	水道水の安全性	ダム貯水率・漏水情報	具体的な節水方法	地震等の災害に対する水道局の取組み	事故等に伴う断水情報	水道料金の計算方法	水源地域・流域で行う保全活動や森林の保全	水道工事の実施状況・情報	直結式給水の普及促進に関する情報	貯水槽の適正管理や進捗に関する情報	水道事業の経営状況	その他	特になし	無回答
全体	1620	77.1	56.5	43.0	31.9	30.1	27.8	19.4	14.6	12.4	11.0	0.5	2.0	1.8	
性別	男性	669	74.9	58.9	36.8	29.3	30.0	27.4	18.8	16.6	12.4	14.3	0.6	3.0	1.9
	女性	929	78.7	55.0	48.0	34.0	30.6	27.8	20.0	13.1	12.7	8.8	0.4	1.3	1.6
年代別	18～29歳	165	78.8	23.0	43.0	32.1	29.1	35.8	9.7	9.7	5.5	6.7	-	3.6	-
	30代	209	79.9	48.3	50.7	35.9	34.9	34.4	20.6	13.9	11.0	13.9	-	2.9	0.5
	40代	295	74.2	55.3	49.5	29.8	29.8	32.9	16.6	16.3	10.8	10.5	0.3	2.7	0.7
	50代	296	75.0	64.2	39.9	25.3	32.4	27.0	21.6	14.5	14.5	13.9	0.7	1.4	1.0
	60代	264	81.1	63.3	41.7	35.6	28.8	25.0	25.8	15.9	17.8	10.6	1.1	1.9	0.8
	70歳以上	385	76.1	65.7	37.7	34.3	27.8	19.5	19.2	15.1	12.2	10.1	0.5	0.8	5.2
同居人数別	1人	294	73.8	52.7	37.8	30.3	33.0	23.1	18.0	13.3	14.3	9.2	0.3	2.4	2.4
	2人	594	80.6	63.0	40.2	34.7	31.3	26.1	21.9	16.3	16.0	12.5	0.5	2.2	1.2
	3人	362	76.8	56.1	43.1	29.3	29.3	26.0	19.9	13.8	10.8	12.4	1.1	1.1	1.9
	4人	266	76.7	51.1	52.3	29.7	25.2	38.0	17.3	14.3	6.8	9.4	-	1.9	1.9
	5人	65	67.7	43.1	50.8	38.5	35.4	32.3	12.3	9.2	9.2	9.2	-	3.1	1.5
	6人以上	31	71.0	48.4	58.1	35.5	25.8	29.0	16.1	16.1	3.2	6.5	-	3.2	3.2
住居形態別	持ち家（一戸建て）	521	74.5	59.1	44.1	32.8	26.3	26.9	22.5	17.5	5.0	12.7	1.0	2.3	2.9
	持ち家（分譲マンションなど）	424	80.0	63.9	42.9	33.5	31.6	24.3	19.6	13.7	17.2	11.3	0.5	2.1	0.9
	借家（一戸建て）	27	77.8	63.0	37.0	29.6	25.9	29.6	22.2	25.9	7.4	7.4	-	-	-
	賃貸の共同住宅	607	78.1	48.9	42.5	30.8	32.3	31.5	16.3	12.0	15.8	9.4	0.2	1.6	1.0
	社宅・寮	14	64.3	28.6	42.9	14.3	35.7	14.3	28.6	14.3	7.1	14.3	-	7.1	-
	その他	16	75.0	81.3	56.3	31.3	37.5	25.0	25.0	31.3	18.8	18.8	-	-	6.3
居住区別	東区	344	79.4	59.0	46.8	33.4	30.5	27.9	23.0	17.4	16.0	14.2	0.6	2.9	2.6
	博多区	209	78.9	54.1	47.8	31.6	29.7	31.6	13.9	14.8	10.5	7.2	0.5	1.0	1.0
	中央区	193	78.2	54.9	37.3	30.1	30.1	19.2	18.7	17.1	13.0	13.0	1.6	2.6	2.6
	南区	256	74.6	56.6	39.8	34.0	30.9	24.6	19.1	7.8	14.5	9.8	0.8	0.8	1.2
	城南区	143	74.1	59.4	37.1	30.1	32.2	28.7	23.1	14.0	14.7	9.1	-	2.1	2.1
	早良区	259	74.5	56.4	45.6	29.3	30.5	32.4	20.5	16.2	10.4	8.9	-	3.1	1.5
	西区	211	79.1	54.5	43.1	33.6	28.0	28.9	16.6	14.2	6.6	13.7	-	0.9	0.9
意識節水	節水に心がけている派	1453	78.2	57.5	44.5	32.3	30.0	27.7	19.7	14.8	12.3	11.4	0.5	1.5	1.6
	節水に心がけていない派	129	68.2	50.4	29.5	27.9	33.3	28.7	17.1	15.5	13.2	7.8	0.8	4.7	1.6
安全水	安心派	1500	76.9	56.9	43.9	32.1	30.3	27.4	19.2	14.6	11.9	11.2	0.5	1.7	1.7
	不安派	105	82.9	50.5	33.3	29.5	27.6	35.2	21.0	15.2	20.0	10.5	1.0	3.8	1.9
水道行政満足度	満足している	482	76.1	60.8	45.0	32.4	36.5	21.8	21.8	14.7	11.6	8.5	0.4	1.7	0.2
	どちらかといえば満足	1013	79.9	57.2	43.4	32.4	28.4	30.5	19.1	14.5	12.5	12.0	0.4	1.9	0.5
	どちらかといえば不満	69	69.6	42.0	37.7	27.5	27.5	43.5	15.9	21.7	18.8	20.3	1.4	4.3	-
	不満である	9	77.8	44.4	55.6	33.3	22.2	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	-	-

7 水道行政への評価について

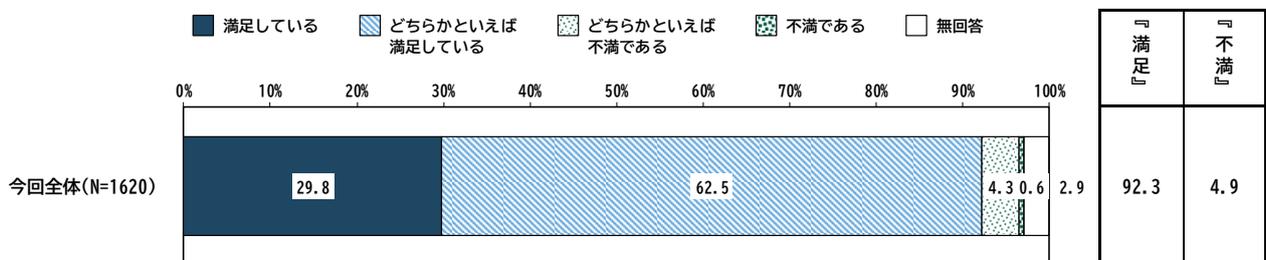
(1) 水道行政の総合的満足度

問 42 あなたは、現在の福岡市の水道行政を総合的にみてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

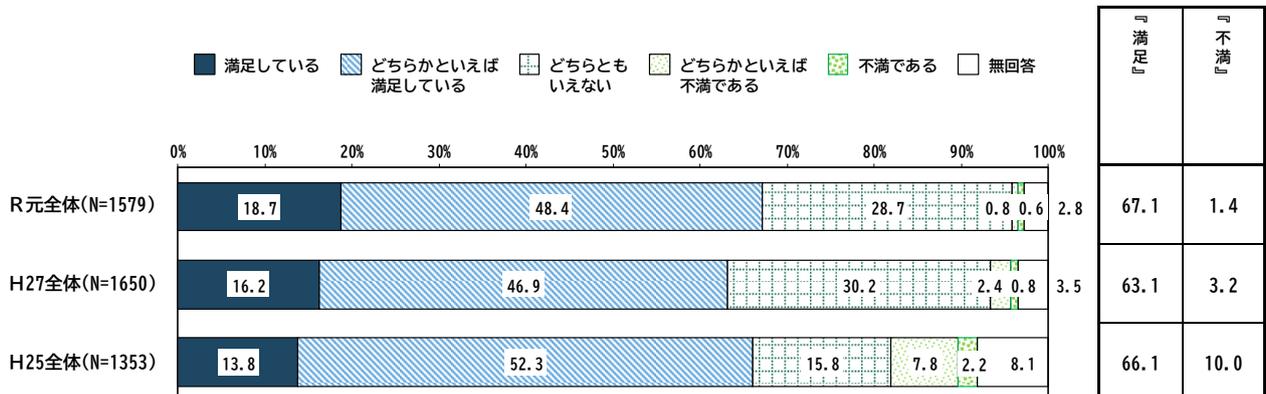
■全体結果と経年比較

現在の福岡市の水道行政の総合的な満足度としては、「満足している」が 29.8%、「どちらかといえば満足している」が 62.5%、両者を合計した『満足』は 92.3%となっている。一方、『不満』は 4.9%（「不満である」0.6%+「どちらかといえば不満である」4.3%）と低くなっている。今回調査では、前回調査まで選択肢にあった「どちらともいえない」を削除しており、『満足』と『不満』の経年変化が大きくなっている。令和元年度まで「どちらともいえない」と回答していた人の大半が、『満足』に回答した結果となっている。

【全体結果と経年推移】



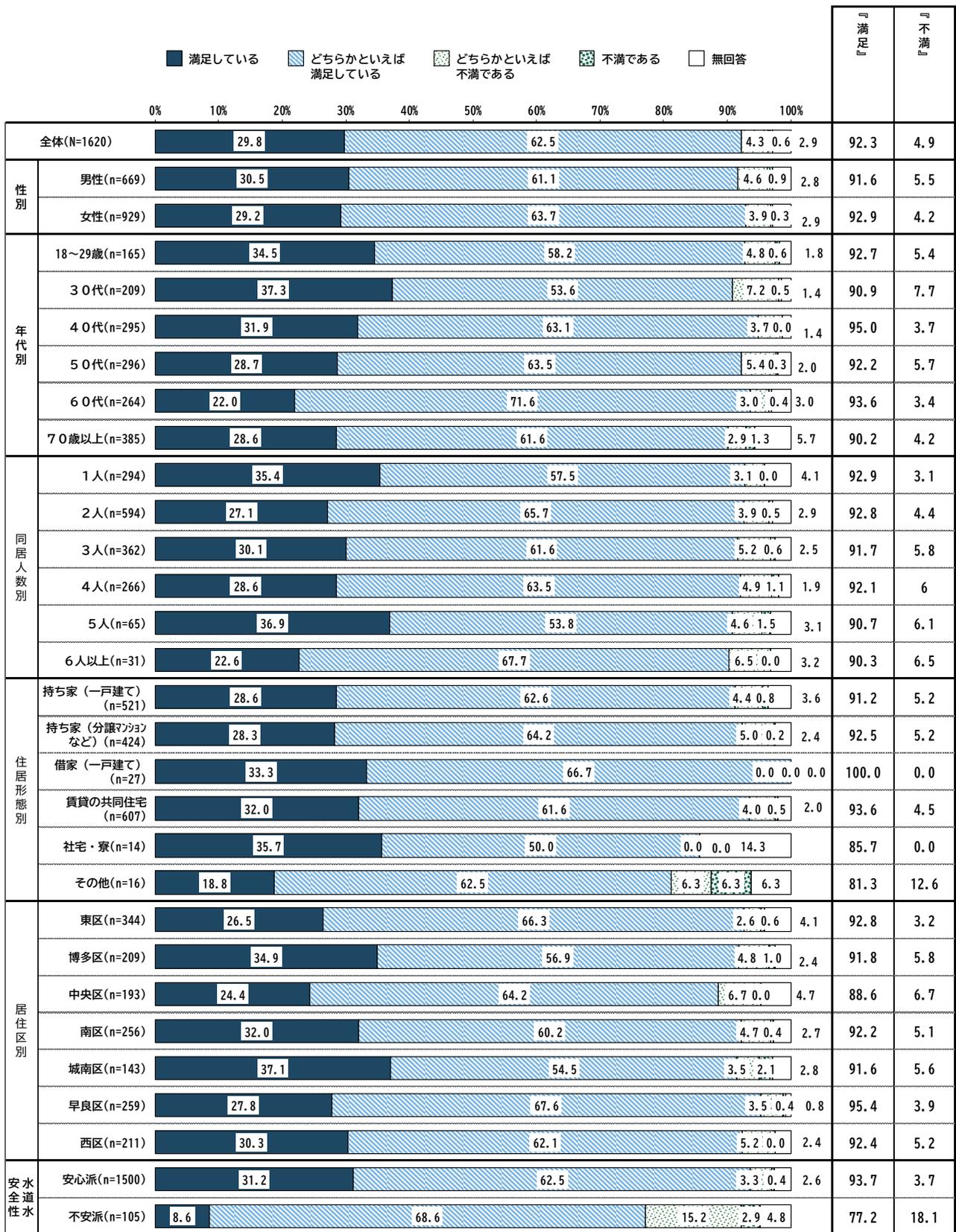
《平成 25 年度から令和元年度の推移》



■属性別特徴

- 性別でみると、大きな差はみられない。
- 年代別でみると、年代別でみると、『満足』には大きな差はみられないが、「満足している」は、60 代以下では年代が下がるほど高くなる傾向にある。
- 同居人数別、住居形態別でみると、傾向として指摘できるような特徴的な差はみられない。
- 居住区別でみると、唯一、中央区で『満足』が8割台と低くなっている。
- 水道水の安全性別でみると、『満足』は、『安心』で 93.7%、『不安』で 77.1%と 16.6 ポイント『安心』が高くなっている。

【属性別水道行政の総合的満足度】



(2) 各種取組みに対する満足度

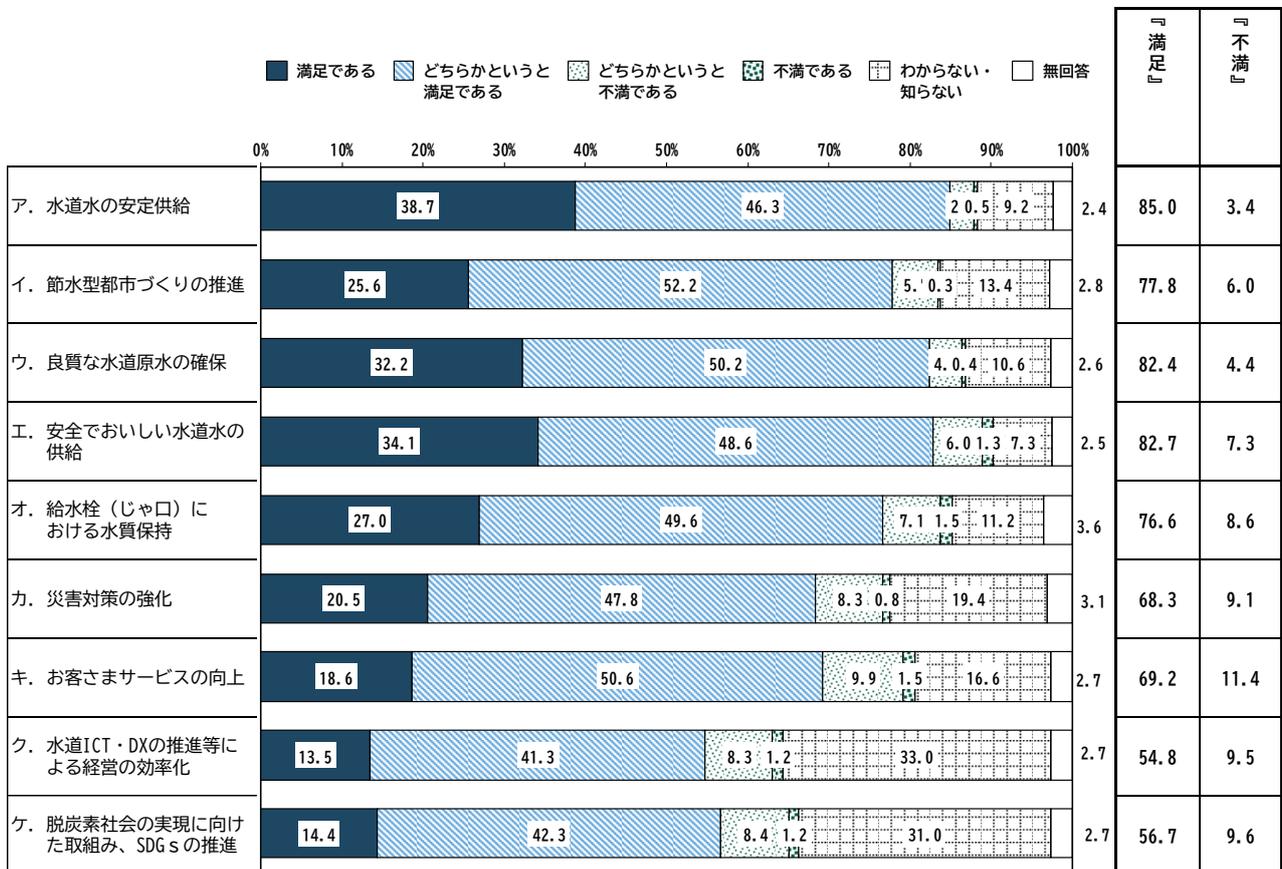
問 43 あなたは、現在の水道局の取組みについて、どの程度満足していますか。次のア～ケの項目についてあてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

■全体結果

現在の水道局の取組みについて、「満足である」と「どちらかという満足である」を合わせた『満足』は、「水道水の安定供給」が 85.0%と最も高く、「安全でおいしい水道水の供給」(82.7%)、「良質な水道原水の確保」(82.4%)も8割台と高くなっている。

『満足』の割合が低いのは、「水道 ICT・DX の推進等による経営の効率化」(54.8%)や「脱炭素社会の実現に向けた取組み、SDGsの推進」(56.7%)で5割台の満足度になっている。

【全体結果】



(N=1620)

(3) 今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと

問 44 あなたが、福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいことについて、次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

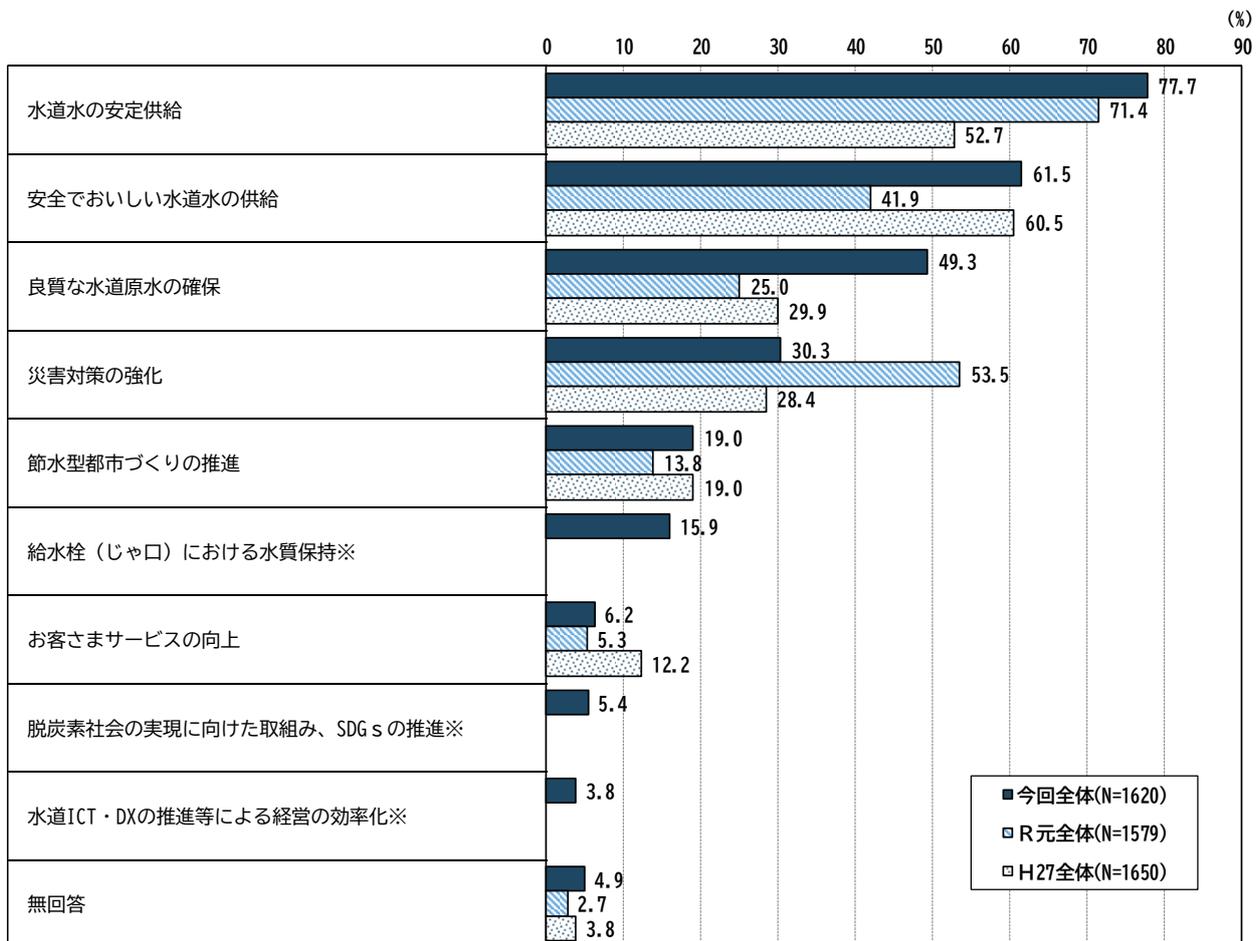
■全体結果

今後、重点的に力を入れて取り組んでほしい水道行政としては、「水道水の安定供給」が77.7%と最も高くなっている。次いで「安全でおいしい水道水の供給」(61.5%)、「良質な水道原水の確保」(49.3%)、「災害対策の強化」(30.3%)となっている。

■経年推移

上位項目では調査年度により割合にばらつきがみられ、一定の傾向となっていないが、「水道水の安定供給」は一貫して増加傾向にある。

【全体結果と経年推移】



※ 今回から追加

■属性別特徴

- 年代別で見ると、年代が上がるほど、「水道水の安定供給」、「良質な水道原水の確保」の割合が高くなっている。
- 水道行政満足度別で見ると、『満足している』で、「水道水の安定供給」が高くなっている。

【属性別今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと】

(単位：%)

	サンプル数	水道水の安定供給	安全でおいしい水道水の供給	良質な水道原水の確保	災害対策の強化	節水型都市づくりの推進	給水栓（じゃ口）における水質保持	お客さまサービスの向上	脱炭素社会の実現に向けた取り組み、SDGsの推進	水道ICT・DXの推進等による経営の効率化	無回答	
全体	1620	77.7	61.5	49.3	30.3	19.0	15.9	6.2	5.4	3.8	4.9	
性別	男性	669	78.2	60.5	50.1	30.0	18.8	13.5	6.6	4.5	6.0	5.4
	女性	929	77.5	62.3	48.7	30.7	19.4	17.8	5.9	6.1	2.2	4.6
年代別	18～29歳	165	63.6	58.8	44.8	30.3	17.0	20.0	10.3	7.3	3.0	4.8
	30代	209	70.8	61.2	43.5	24.9	21.1	16.7	12.9	6.7	5.7	5.3
	40代	295	75.9	62.7	48.8	34.6	20.3	17.6	8.5	6.1	3.1	1.7
	50代	296	80.7	62.2	47.0	34.1	18.2	13.5	4.1	3.7	5.7	4.1
	60代	264	80.7	63.3	57.2	25.0	19.3	16.7	3.4	4.5	4.2	5.3
	70歳以上	385	84.2	60.3	50.9	30.9	18.2	14.0	2.6	5.5	1.8	7.8
同居人数別	1人	294	74.8	61.9	49.7	31.6	17.7	17.3	6.5	6.1	2.0	4.1
	2人	594	82.0	63.5	50.0	30.3	16.3	16.7	4.9	5.4	4.4	4.7
	3人	362	77.3	64.1	47.8	26.8	21.8	14.1	6.4	5.0	3.6	6.6
	4人	266	74.4	56.8	50.4	32.3	19.9	14.3	7.5	5.6	5.3	4.1
	5人	65	70.8	53.8	46.2	36.9	26.2	16.9	7.7	6.2	1.5	4.6
	6人以上	31	71.0	54.8	41.9	32.3	25.8	22.6	9.7	3.2	-	6.5
住居形態別	持ち家（一戸建て）	521	80.0	62.2	47.4	32.1	19.4	13.6	5.0	4.4	4.6	6.5
	持ち家（分譲マンションなど）	424	81.4	63.7	51.9	29.7	20.0	14.4	5.9	6.6	3.1	3.3
	借家（一戸建て）	27	66.7	55.6	55.6	33.3	11.1	7.4	11.1	7.4	7.4	7.4
	賃貸の共同住宅	607	73.6	59.8	48.8	29.8	18.6	19.9	7.1	5.4	3.1	4.4
	社宅・寮	14	71.4	57.1	50.0	35.7	21.4	-	7.1	7.1	14.3	-
その他	16	81.3	56.3	50.0	18.8	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5	
居住区別	東区	344	79.1	60.2	51.5	30.8	17.7	14.8	7.6	6.4	3.5	5.5
	博多区	209	79.4	64.6	53.1	26.3	17.2	16.7	7.7	2.9	4.3	3.3
	中央区	193	76.2	60.6	50.8	35.8	18.1	22.8	4.1	5.2	2.1	2.6
	南区	256	80.9	60.9	47.3	28.1	18.8	12.9	5.9	7.4	5.1	4.7
	城南区	143	74.8	60.1	45.5	30.1	21.0	13.3	4.9	3.5	4.2	7.0
	早良区	259	76.8	61.4	48.6	28.2	23.2	13.5	5.4	6.6	3.1	5.8
西区	211	74.4	63.5	46.0	34.6	17.1	19.4	6.6	4.3	4.3	5.7	
水道行政満足度	満足している	482	80.9	63.5	50.2	29.0	20.5	12.0	6.8	5.0	3.9	3.3
	どちらかといえば満足	1013	78.5	61.6	50.0	30.9	19.2	17.3	5.8	4.9	3.5	4.6
	どちらかといえば不満	69	60.9	58.0	39.1	31.9	13.0	23.2	10.1	10.1	10.1	10.1
	不満である	9	66.7	22.2	55.6	33.3	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1

8 福岡市の水道行政に対する意見・要望

福岡市の水道行政について、自由に意見・要望を記入してもらったところ、全体で 307 人の方から様々な意見・要望があげられた。それぞれの意見・要望を内容ごとに分類すると、以下のようになっている。なお、ひとつの意見が色々な分野に渡る場合、主な意見・要望と思われる分野に分類した。

これら意見・要望の中から、主なものを抜粋すると、以下のようになる。なお、抜粋は原文のままである。

(1) 水道水の水質について (62 件) 抜粋

① 安全性 (満足・要望) (16 件)

- 世界のいろいろな国で不衛生な水を飲んで飲んだり、遠くから水を運んだりしているニュースを見るたびに、日本はとても恵まれていると思います。蛇口をひねるだけで安全・安心な水が飲めるのです。昔はカルキ臭かったり、少しさびたりしていましたが、今はとてもきれいです。水道に携わる方々のおかげだと感謝して、この豊かな国のありがたさを忘れないように大事に使っていこうと思います。ありがとうございました。
- 2 年前より水の味が良くなった気がします。これからも頑張ってください。
- 市政だよりで水に関する情報を得ています。子ども達はペットボトルで水を飲んでいますが、私は蛇口から水道水を飲んで飲んでいます。お風呂の残り水も植木にかけたり、雑巾がけをしたりしています。今後も続けていきます。安心して使用しています。
- 水道水をそのまま飲む。調理に使うと、やはり、お茶、コーヒーはカルキが多少あるため、浄水器を使用すると味は間違いなく違うのは事実だと思います。気になるかどうかは、個人の差だと思いますが。
- 福岡市の水道水には一定の満足あり。それ以上を望むのでウォーターサーバーにしています。
- 3 年前まで東京に住んでいたのですが、そこの(荒川区)水道水の方がおいしかったです。何が違うのかはわかりませんが、直飲みは少なくなっているのかもしれませんが、同じ程度の味になったらなと思いました。

② おいしい (24 件)

- いつもおいしい水をありがとうございます。知らない情報が知れて勉強になりました。水源地域に頼って水が確保できている事を、もっと多くの人に知ってもらえるといいなと思いました。ありがとうございました。
- いつもおいしい水をありがとうございます。蛇口をひねるとおいしい水が出てくるのは当たり前のことではなくて、感謝しないといけないと思う時があります。日常でも水道を意識しておいしく頂く(体に入れる物として)機会(料理、カフェタイム)など増やしたいと思います。
- 蛇口から出る水がおいしいのは、様々な取り組みがなされている結果だと深く理解する事ができました。引き続きおいしい水をよろしく願います。
- いつも安全なお水を供給して頂きありがとうございます。福岡県に居住したばかりですが、とてもお水がおいしく満足しています。これからも水質の安定、向上に向けて頑張ってください。
- 水道水がそのまま飲めるくらいおいしいなと思います。いつもありがとうございます。

③ おいしくない (2 件)

- 日常的にあまり注意や関心を持っていなかった事に、今回改めて気がつきました。東京から福岡に戻って 30 年過ぎましたが、戻って直ぐは福岡の水道水があまりおいしくなかった印象があり、すぐ浄水器を取り付け現在も使っています。

- 水は肌で感じる事が多く、実家や旅行で温泉など地方に行くと、顔を洗ったりお風呂で肌に刺さるような感覚を感じたことがないし、しっとりするのに、福岡でお風呂に入ると刺さるような感じがあり、薬で何とかしていると感じるので、飲み水も直接飲もうと思わない。

④ 臭い（塩素・かび）（9件）

- 以前は時折カルキ臭い日がありましたが、最近はほとんど感じたことがありません。あの臭いが出た日はお茶やコーヒーに使用できなくて困るので、この状況が継続される事を望んでいます。
- 基本的には安心と信頼はありますが、以前、数ヶ月前異臭を感じた際に（結果的には安全な数値との発表でしたが、原因は藻である事を含めて）利用者の問い合わせ等が寄せられた段階で、調査中であつても途中経過の発表が必要です。我々利用者の安心を得る一步だと思います。
- 同じ南区から南区へ転居したのですが、カルキの量が以前住んでいた所より多いのは何故でしょうか。水質が悪いのでしょうか。

⑤ 貯水槽（3件）

- 直結式給水の普及を促進してほしい。貯水槽は不安なので、国の助成があれば直結式給水が可能になるのかと思います。

⑥ 不安（6件）

- きれいなおいしい水も家庭の蛇口に来るまでの水道管の安全、保全が心配。家庭内の水道管のチェックが出来るとよいと思う。蛇口回りのさびなども気になる。水道管から漏れているのか、道路からあふれる水などもニュースなど含めて気になる。水がもったいないし、道路の陥没なども心配。
- 私たち市民に安全でおいしい水を供給できるように、日々管理や検査など大変ご苦労がোধりだと思ひます。とても感謝しております。良い水でも水道管の老朽化で心配しております。
- 福岡に引っ越してきて、福岡の水道に関してのいろいろな取り組みを見て素晴らしいと思ひていますが、私の周りでは水がおいしくないとか、汚いとか聞くことが多々あります。何故なのでしょう。そういう噂がなくなっておいしく飲める水となつたらいいと思ひます。

⑦ その他（2件）

- 水道の蛇口やシャワーヘッドに白いカスが付着し、2～3ヶ月に1回は針等で削っている。カスが付着しない方法はないのでしょうか。
- 風呂の鏡が水のカルシウムの影響なのかうろこ状になります。地域性でしょうか。食事に使う水としては大満足しています。

（2）水道料金・下水道料金について（40件）抜粋

① 高い（33件）

- 安定供給、安心できる水質とてもありがたいです。一番は水道料金、下水料金が少しでも安くなつてほしいです。
- 以前、住んでいた地域と比較して、福岡市は料金が高いため悲しいと思ひていました。しかし、いろいろな活動がされていることがわかり、今回のアンケートをしてみても良かったです。
- 水道局の方々が頑張つて、より安全・安心な水を皆さんに届けて頂けることに感謝します。今後もさらに良い方向に行くようお願いします。水道料金があまり上がらないようお願いします。
- 水道料金が全国一律でないことを知りませんでした。全国平均からしたら高いのか、低いのか、適切な価格帯なのか知りたいと思ひます。福岡市は水道料金が高い。

② 下水道（3件）

- 下水道料金を安くしてほしいです。
- 下水道を払わない県もあるのでそうなってほしい。
- 水道料金について。下水道使用量については植木に水をまいたりしていますので半分でよいと思います。

③ その他・要望（4件）

- 水道料金の見方などきちんとわかる物があれば、もっと節水できるのではないかと思う。例えば台所でどれくらい使っている。洗面所でこのくらい使っているとわかる物があれば、わかりやすくいいなと思う。電気だとブレーカーがあるような感じで。
- 水道料金は2ヶ月に1回ではなく1ヶ月毎がいいです。水道料金が高くなる時間帯も知りたいです。水道水でOKな事、まただめなこと。水道水は身体にいいのか知りたいです。

（3）情報提供・PR活動について（34件）抜粋

① 情報提供の方法・情報提供の内容（28件）

- スマホ等余り使用できませんので、従来の広報誌等は引き続き提供お願いします。
- 私たち市民のために、良質な水道水を届けて頂き、ありがとうございます。福岡市の水道水はそのまま飲んでもいいのかなど単純な事ですが、X、インスタ、YouTube等で発信してもらえるとわかりやすいです。
- 私は福岡市の水道水はいつもそのまま飲んでいきます。もっと水道水の安全性をPRして、高い水のペットボトルなど買わなくてよいよう、水道水の方が安全性が高いのでよろしくお願いします。
- 水について余り考えた事がなかった。安心して飲める事に感謝します。水道水プロジェクト、水道行政についても全く知らなかった。市政だよりやメディアなどより、もう少し関心を持ちたいと思いました。これからも発信をよろしくお願いします。
- 福岡市の水は安心して飲めると思います。以前、天神や博多駅で街頭キャンペーンを見かけて、ごみネットなどもらえて関心を持つきっかけになると思っていました。

② イベント・見学会（6件）

- 子どもの小学校のイベントで浄水場見学をしました。その時、水道水の安全性についてや、施設についてどのように浄水するのか指導を受けて帰ってきました。指導を受けたことを、親、兄弟に熱心に語っていました。とても印象深かったようです。コロナによって、下の兄弟は見学がなくなってしまったのがすごく残念でした。今後も続けてほしいです。
- なんとなく自然に水を頂いていますが、直接水について学ぶ機会も少ないので、地域でイベントなどがあれば多く水について学べるのではないかと思います。

（4）喝水・節水について（20件）抜粋

① 喝水・断水（11件）

- 2度の喝水を経験しています。水の大切さありがたさを実感しています。これからも安全でおいしい水を飲めるようよろしくお願いします。
- 蛇口をひねれば水が出る、そんな当たり前の事がもしなくなったら。平成6年の喝水で当たり前が当たり前でない事が身にしみました。当時、子どもはまだ赤ん坊で苦労しました。これからも水の安定供給、災害対策等よろしくお願いします。

- 昭和 53 年の大渇水は強く記憶に残っており、忘れる事はありません。安心して飲める水道水を安定して供給して頂いている現在に感謝しています。また節水には常に心がけています。

② 節水 (9 件)

- ダムの貯水率を見る(映像など)と、より一層節水に努めますので、知ることは大切だと思います。いつも安全・安心な水をありがとうございます。
- 最近、世界的に異常気象であるため、ダム等の水源確保に不安を感じています。節水はもちろんですが、水不足となった場合の方が一の対策について、広報等を通じて知らせしてほしい。

(5) 老朽化対策、災害対策 (9 件) 抜粋

① 老朽化対策 (7 件)

- 老朽化した水道管の計画的な更新を切に望みます。計画的断水はこちらも準備できますが、突発的な断水は本当に困るので。
- 安心・安全な水の供給をお願いします。古い水道管の保守点検や、管の入替工事大変だと思いますが、よろしくをお願いします。

② 災害化対策 (2 件)

- 日本人はきれいな水が出る事が当たり前と認識しているが、浄水場など関係各所にて働いている方々のおかげです。ありがとうございます。災害が起こった時に始めて気づかされるかもしれない人だらけだと思う。しかし、災害時などでも安定した水の供給ができる事が理想なのかなとも思います。食事、風呂、洗濯、トイレ等のあらゆるものにおいて水は欠かせないものです。今後ともよろしくをお願いします。

(6) 脱炭素、SDGs、自然・環境対策等 (9 件) 抜粋

- SDGs に力を入れて地球環境を守ってほしいです。
- いつも安全な水道水を提供して頂き感謝しています。福岡市の水道水は十分おいしいと思いますので「安全でおいしい水道水プロジェクト」の残留塩素の管理など労力を掛けず、再生エネルギーの活用等、脱炭素社会に向けた取り組みに力を入れてほしいです。

(7) 民営化反対 (7 件) 抜粋

- カルキ臭さが減った事に関し、満足している。水道行政が民間企業へ移行しない事を願う。
- 福岡市の水道行政には努力していると思います。市の責任として、引き続き安心で安全良質な水道水を供給し続けてほしいと願います。決して民営化させないように。さらに水道 ICT、DX をより推進させ、経営の効率化を努力して下さい。

(8) 国際貢献・経営努力について (31 件) 抜粋

① 職員の対応等 (4 件)

- 引っ越しが多かったため、何度かお客様センターに電話したことがありますが、毎回とても対応が良かったです。水道料金が上がった時(親を引き取ったため)も「前回よりも増えています」とメモを入れて下さったり、ちょっとした事ですが嬉しく思います。
- 家族の人数に変化があり、水道の使用量が増えた際に、検針員の方からご指摘を頂きました。丁寧な対応が素晴らしいと思います。安全な水道水を供給する事は、市民の健康を守る大切な役割ですので、今後ともよろしくごお願い致します。

② 国際貢献（1件）

- 海外への飲み水を確保できるように、工事等を行っておられる情報を聞いた事があります。常にきれいな水を使える生活環境に、改めて感謝していかねければと感じた瞬間でもありました。きれいな水を遠くまで汲みに行っている子ども達が、嬉しそうに笑顔で飲んでいる姿は、とても嬉しく良いことをしているなと思いました。予算の限界等あるかと思いますが、これからも頑張ってください。

③ サービス向上・要望等（19件）

- ネットで水道料金や、使用料を確認できたらいいなと思います。節水方法と、どれくらい何もしないのと変わるのかもっと知りたいです。
- ペットボトルのミネラルウォーターよりも、安全で安心であるという事と、安価である事を若年層世代にもっと知ってほしい。

④ その他（7件）

- 水道工事の件。工事をしょっちゅうする所(道路)と全くしない所(道路)どうなっているのか疑問に思っています。
- 日頃よりダム情報や天気情報については気になっております。

(9) アンケートについて（28件）抜粋

- いつもおいしくてきれいな水を提供して頂き、ありがとうございます。また、このようなアンケートを通じて水道局の活動に興味を持ちました。
- 何も知らずに当たり前に使っている水道。たくさんの方が考えて成り立っていると感じました。知らない事だらけでしたがこれからは関心が持てるように、地域の情報にも耳を傾けたいと思います。安心・安全な水を届けてくれてありがとうございます。
- 今まで当たり前の感覚で水道水を使っていましたが、今回のアンケートで大切な水道水と確認しました。世界各国の水不足をなんとなく見ていましたが現在の状況では、私は本当に水の大切さ、お仕事のご苦労に感謝致します。ありがとうございます。
- 今回アンケートに回答する機会を得て改めて水道について考えました。毎日蛇口をひねれば水が出てくる事への感謝の気持ちがわくと共に、何気なく使っている水について、もっとよく知る必要性も感じました。これからはもう少し気をつけて行きたいと思います。ありがとうございました。

(10) 感謝・満足等（67件）

- 安全な水道水を供給して頂きありがとうございます。水は生きるために必要不可欠なものなのでいつも安全に水道水を利用できる事に感謝しております。今後ともよろしく願います。
- 雨水やため水などそのままでは飲めない水を、きれいで安全な状態で蛇口をひねればいつでも飲めるし、使えるという環境を整えて下さっている水道関係の方々の努力に頭が下がる思いです。知らなかったですませるのではなく、感謝の気持ちを忘れず、これからも水道を利用させて頂きます。ありがとうございます。
- 水資源が少なく、人口は多い福岡市で、水を安定供給できる事は素晴らしいと思っています。社会インフラのお仕事は目立たないうえ、できる事が当たり前と思われがちですが、安全な水を供給して頂きありがたく思います。これからもどうぞよろしく願います。
- 福岡市水道局の皆様のおかげで、いつも安心して水を利用することができています。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。これからも活動を継続され、未来の子ども達の生活にも安心・安全な水の供給を期待しております。

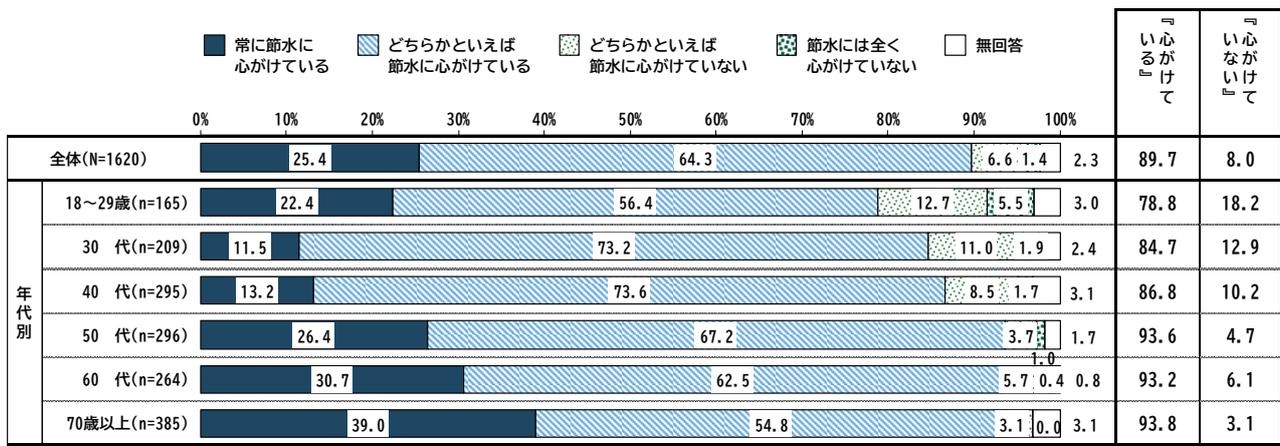
Ⅲ アンケート調査の結果について

公益財団法人福岡アジア都市研究所 主任研究員 畠山 尚久

1 節水に関する意識について

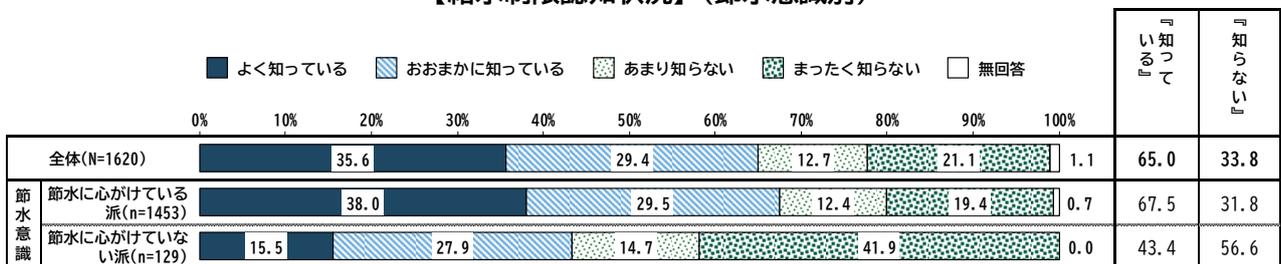
節水についての意識は、「常に節水に心がけている」、「どちらかといえば節水に心がけている」を合計した『心がけている』が約9割(89.7%)で、ほとんどの市民は、日常的に節水を心がけている。令和元年度調査までは『心がけている』の割合が低下傾向であったが、今回調査では、平成 25 年度調査に近い水準まで回復した。年代が上がるほど節水を『心がけている』の割合が高く、50 代以上で特に高い。

【節水についての意識】(年代別)



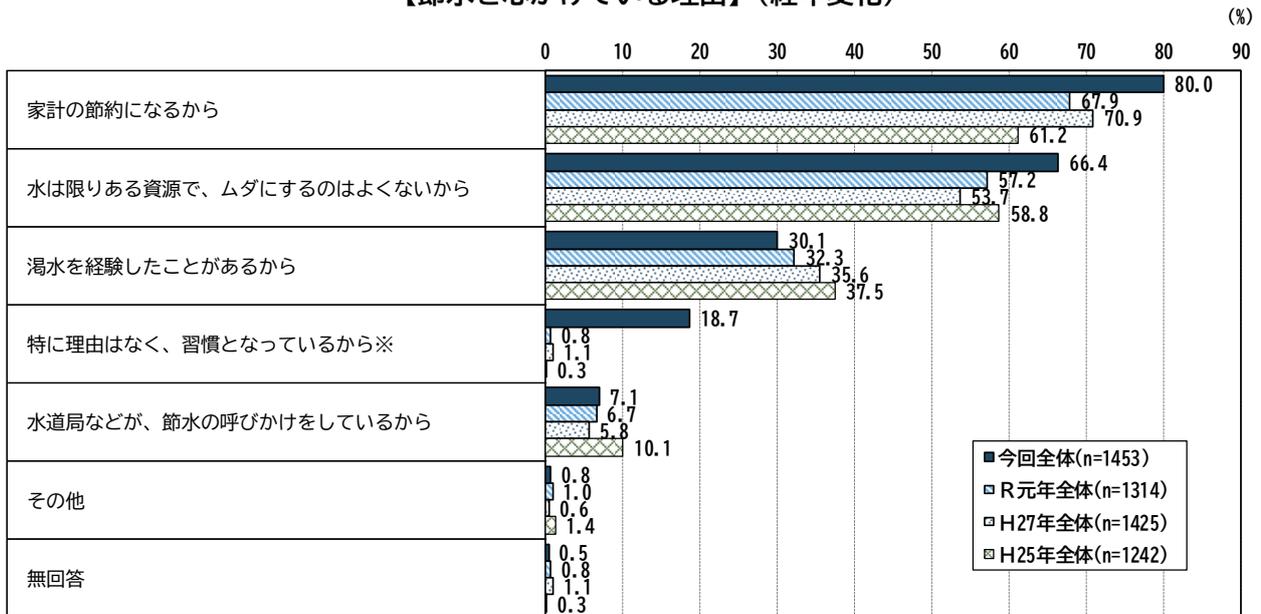
昭和 53 年と平成 6 年の福岡市渇水時の給水制限の認知状況で、「よく知っている」、「おおまかに知っている」を合計した『知っている』(全体で 65.0%)の割合は、年代による差が大きく、また、昭和 53 年と平成 6 年の給水制限の認知経路が「経験した」が 74.4%で最も多いことから、このときの経験が、日常的な節水意識に大きく影響しているとみられる。また、節水意識と給水制限の認知度の相関関係を見ると、『節水に心がけている』人は、『節水に心がけていない』人よりも、給水制限の認知度が 24.1 ポイントも高くなっている。

【給水制限認知状況】(節水意識別)



節水を『心がけている』理由は、「家計の節約になるから」(80.0%)が、「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」(66.4%)より高くなっており、節水意識より水道代の節約を理由とする人が多い。「渇水を経験したことがあるから」(30.1%)が、経験者の高齢化とともに、過去の調査から減少が続いていることや、昨今の物価高騰の影響などから、水道代の節約が、より意識されるようになったといえる。

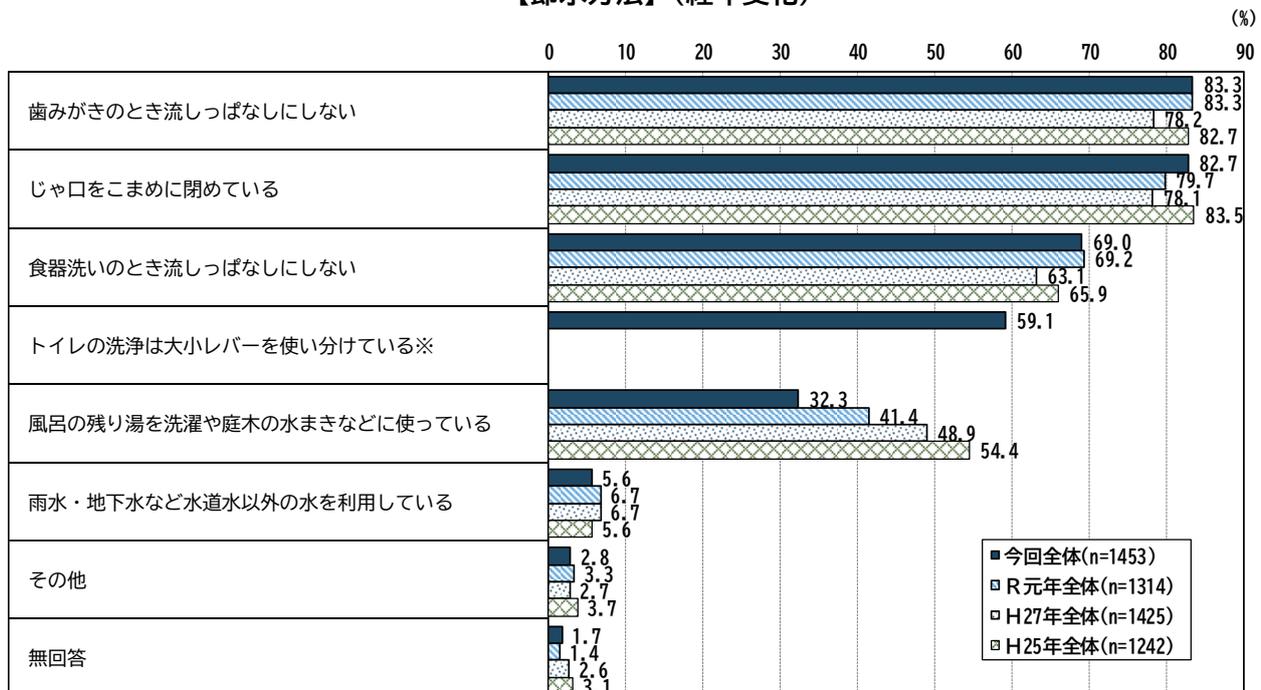
【節水を心がけている理由】（経年変化）



※ 令和元年度までは「特に理由はない」

節水方法は、「歯みがきのとき流しっぱなしにしない」(83.3%)、「じゃ口をこまめに閉めている」(82.7%)、「食器洗いのとき流しっぱなしにしない」(69.0%)などが多く、水道を流しっぱなしにしないことが徹底されている。「風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている」(32.3%)は、過去の調査から一貫して減少しており、残り湯の再利用が市民の節水意識とあまり結び付かなくなっている。

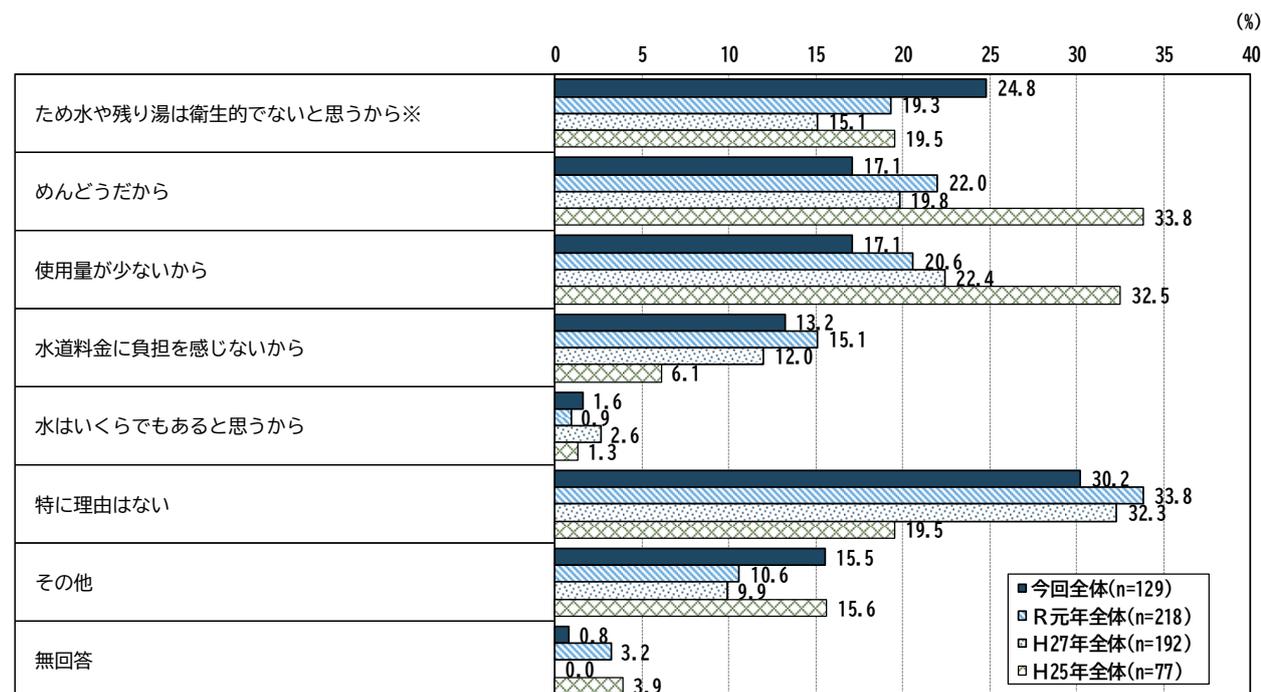
【節水方法】（経年変化）



※ 今回追加した選択肢

節水を『心がけていない』の理由は、「特にない」(30.2%)が最も多く、水は当たり前にあるという意識が根強いが、「ため水や残り湯は衛生的でないと思うから」(24.8%)が過去の調査から大きく増加しており、衛生的な意識の高まりが、節水意識にも影響している可能性がある。

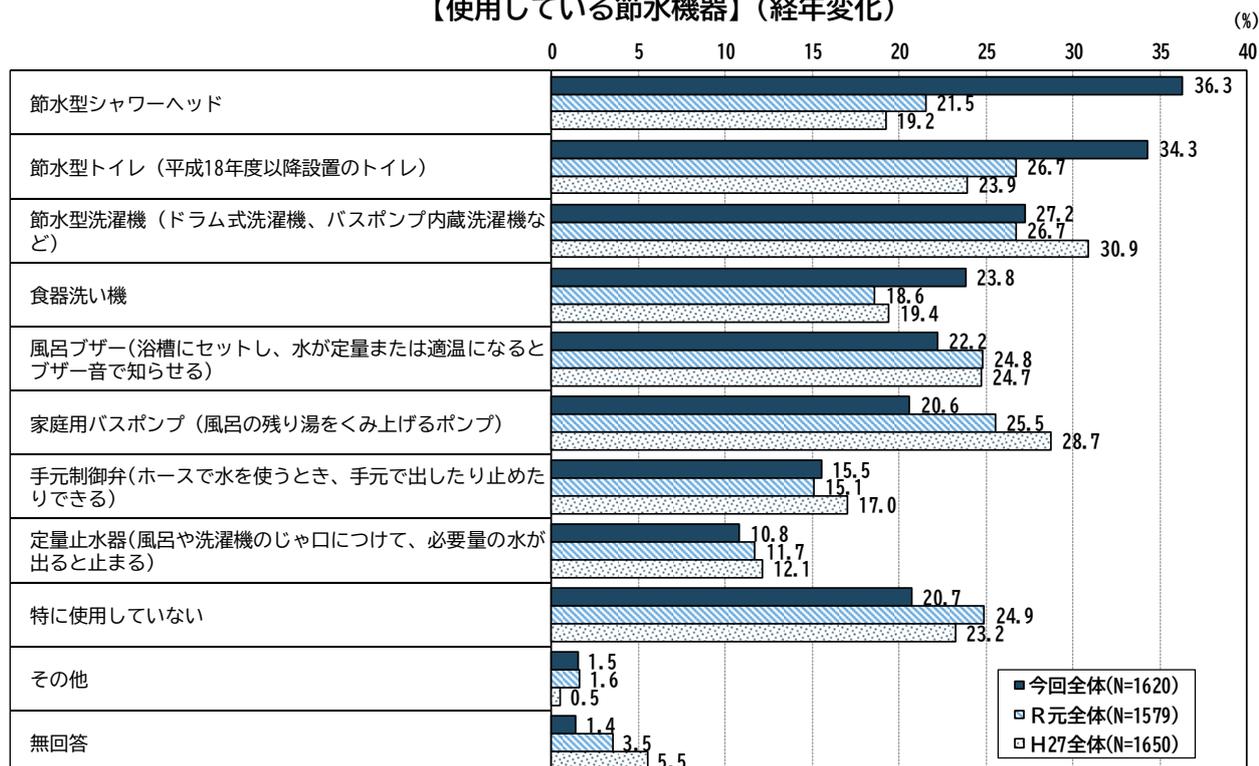
【節水を心がけていない理由】（経年変化）



※ 令和元年度以前は「非衛生的だから」

家庭で使用している節水機器は、「節水型シャワーヘッド」が36.3%と前回より14.8ポイント増加しており、「節水型トイレ(平成18年度以降設置のトイレ)」も34.3%と前回より7.6ポイント増加している。このほか、「節水型洗濯機(ドラム式洗濯機、バスポンプ内蔵洗濯機など)」(27.2%)、「食器洗い機」(23.8%)、「風呂ブザー(浴槽にセットし、水が定量または適温になるとブザー音で知らせる)」(22.2%)などもやや多い。家電メーカー等も節水型商品の開発により競争力を高めており、節水機器の選択肢が増えていることも背景にあると考えられる。

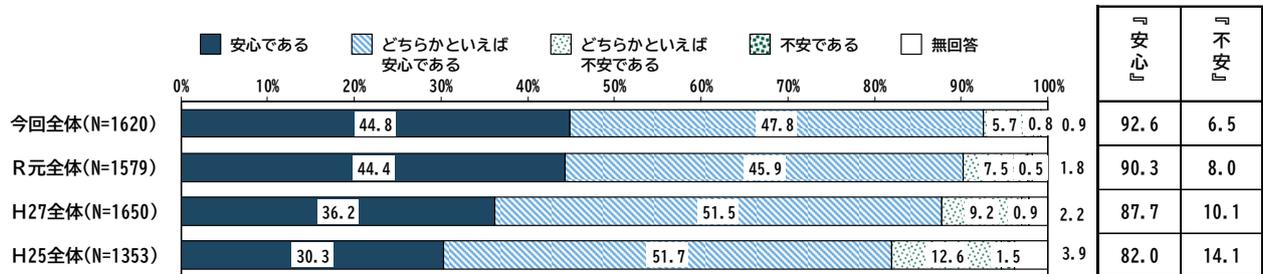
【使用している節水機器】（経年変化）



2 水道水に関する意識について

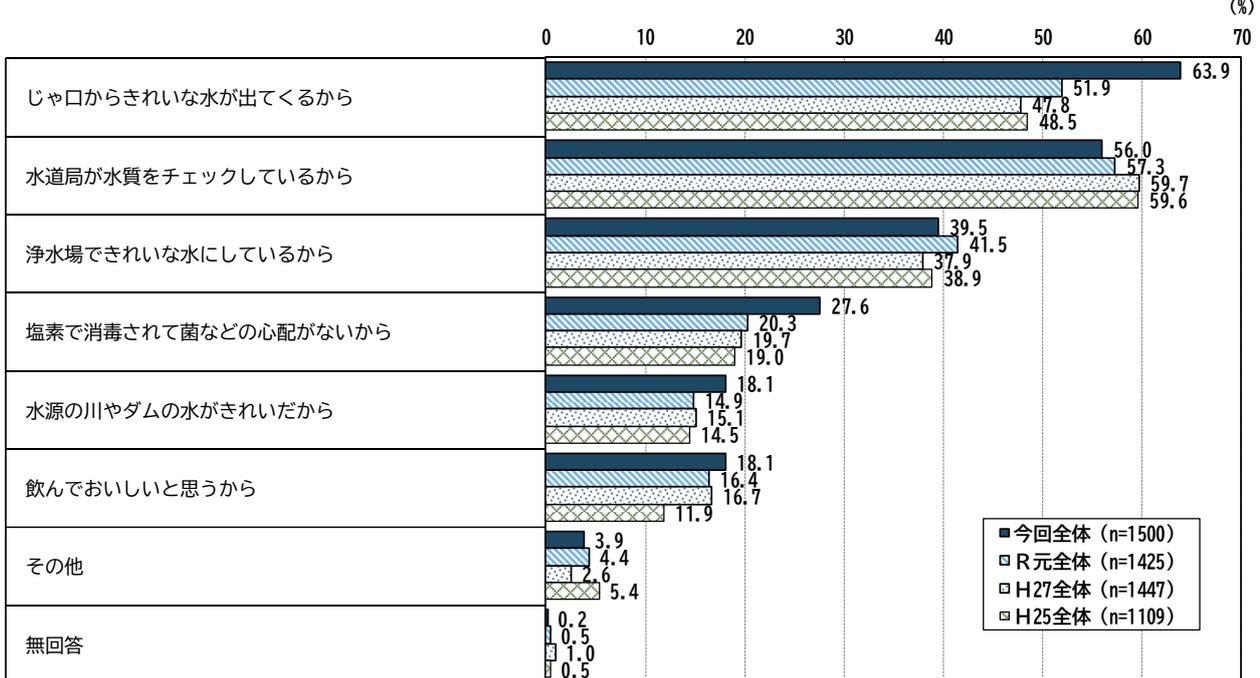
福岡市の水道水の安全性は、「安心である」、「どちらかといえば安心である」を合計した『安心』の割合は92.6%で、高い安全評価となっている。より高い評価の「安心である」の割合は、過去の調査から一貫して高まっており、さまざまな安全への取組みと、その情報発信の効果が広がっていることを示している。

【水道水の安全性】（経年変化）



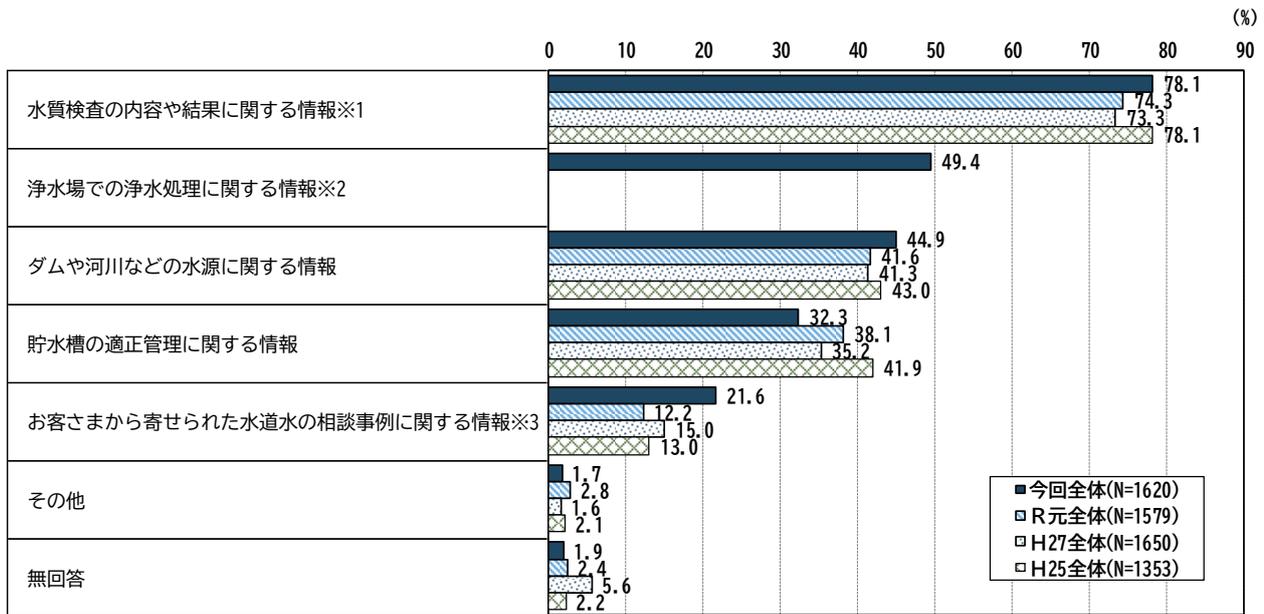
水道水が安心と思う理由は、「じゃ口からきれいな水が出てくるから」(63.9%)、「水道局が水質をチェックしているから」(56.0%)が主な理由となっており、福岡市の水道水管理に対する信頼の高さがうかがえる。「塩素で消毒されて菌などの心配がないから」(27.6%)は、過去の調査から増加を続けており、塩素消毒に対する理解は確実に進んでいる。

【水道水が安心と思う理由】（経年変化）



水道水に、より安心感を得るために望む情報は、「水質検査の内容や結果に関する情報」(78.1%)が最も多く、水質に関する情報発信の重要性が示されている。「浄水場での浄水処理に関する情報」(49.4%)、「ダムや河川などの水源に関する情報」(44.9%)など、より上流での安全管理に関する情報なども、安心感を高めることにつながる。このほか、貯水槽式給水では、「貯水槽の適正管理に関する情報」の発信も重要とみられている。

【水道水により安心感を得るための情報】（経年変化）

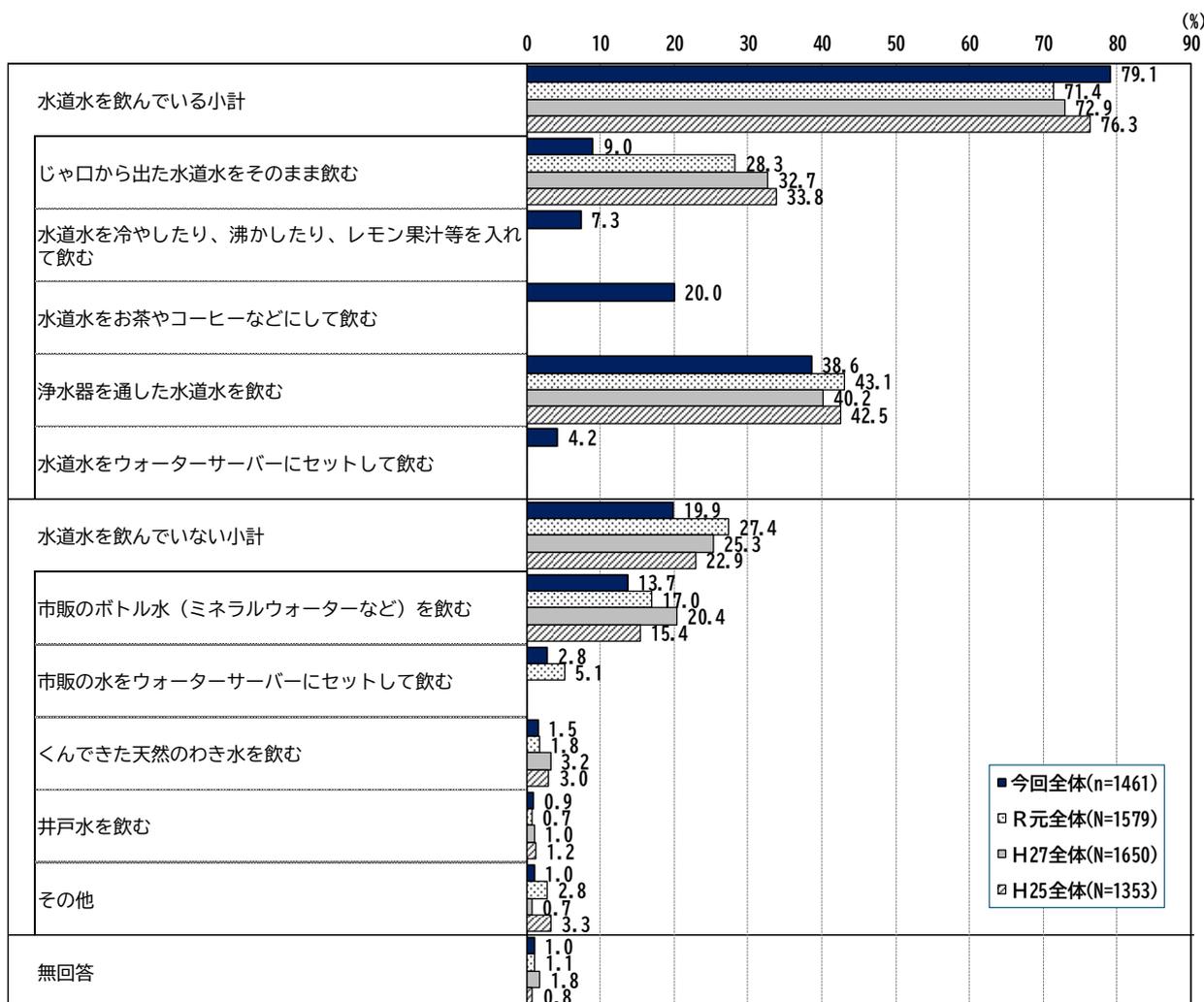


- ※1 令和元年度以前は「福岡市が実施している水質検査の結果に関する情報」
- ※2 今回から追加
- ※3 令和元年度以前は「過去にお客さまから寄せられた水道水に関する相談事例」

3 家庭で使用している飲用水について

家庭での飲用水の飲み方は、「水道水をお茶やコーヒーなどにして飲む」や「浄水器を通した水道水を飲む」などを合わせた『水道水を飲んでいる』が79.1%と多く、「市販のボトル水などを飲む」など『水道水以外』を飲用水として利用するのは2割未満(19.9%)となっている。

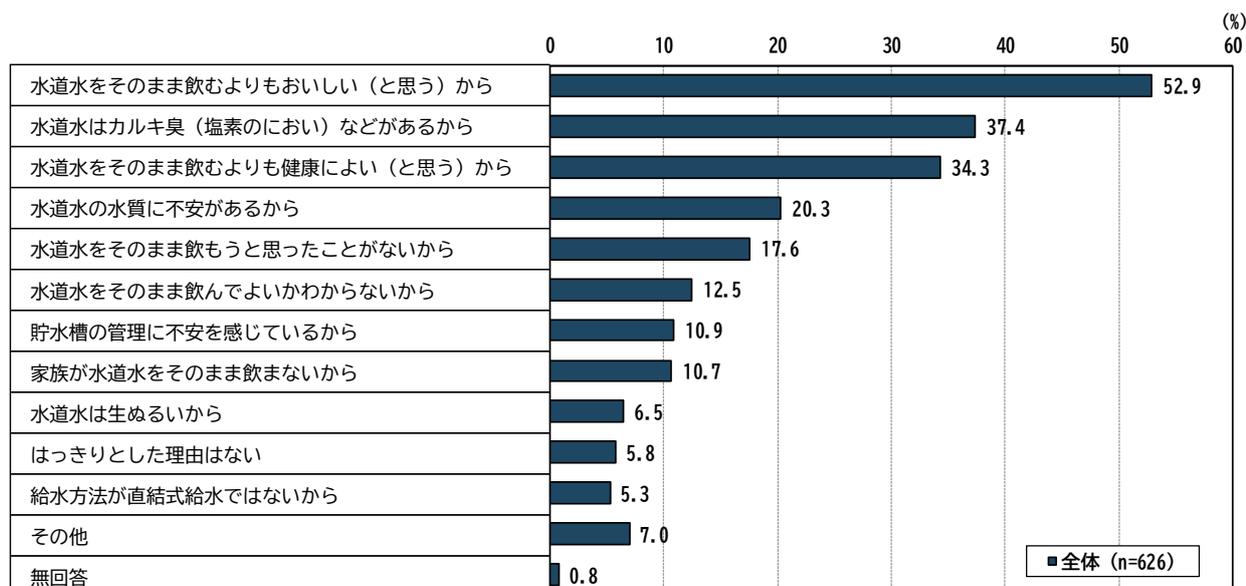
【家庭での飲用水の飲み方】（経年変化）



※本設問は単数回答であるが、令和5年度は、選択肢の変更により、全体（1620）の9.8%（159）の複数回答があったため、集計上の全体標本数（N）を、複数回答を除いたn=1461として行った。

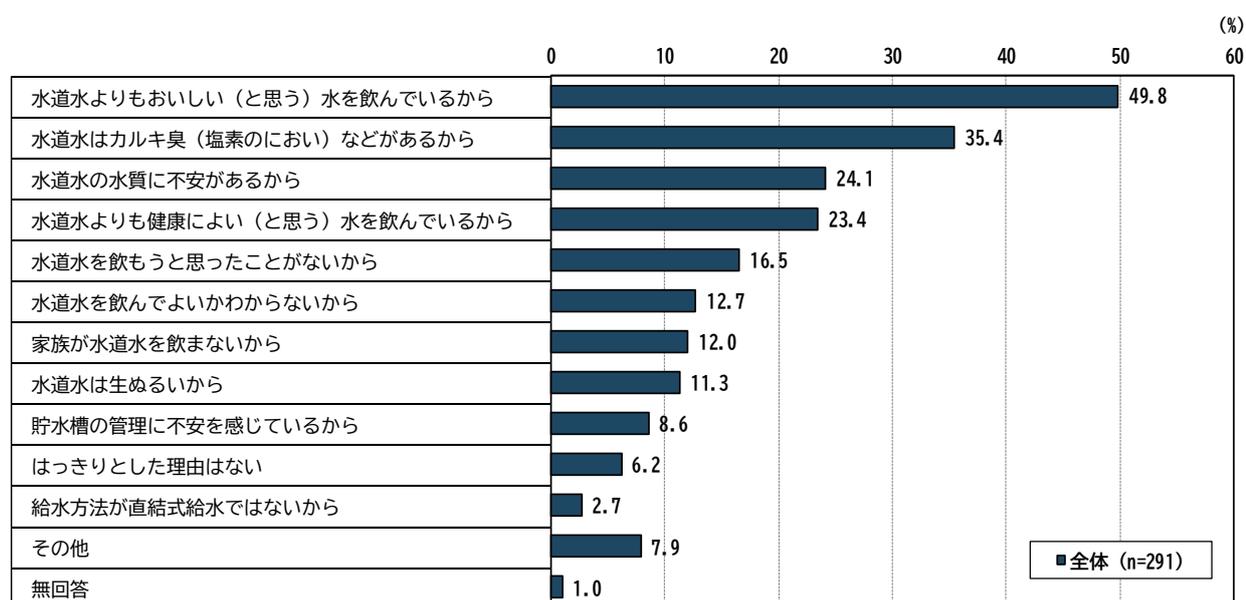
浄水器等を通した水道水を飲用に使用する理由は、「水道水をそのまま飲むよりもおいしい（と思う）から」（52.9%）、「水道水はカルキ臭（塩素のにおい）などがあるから」（37.4%）、「水道水をそのまま飲むよりも健康によい（と思う）から」（34.3%）などが多く、水道水の安全性は、高い評価を得ている（前述）中で、おいしさやおい、健康面への配慮などから、より安全でおいしいと感じられる水を求めており、市民の飲用水に対する意識やこだわりの高さがうかがえる。また一方で、「水道水の水質に不安があるから」（20.3%）、「そのまま飲んでよいかかわからないから」（12.5%）など、十分な情報を持たないまま、漠然とした不安を持ち飲用を避けている人も一定割合みられる。

【浄水器等を通した水道水を飲用に使用する理由】



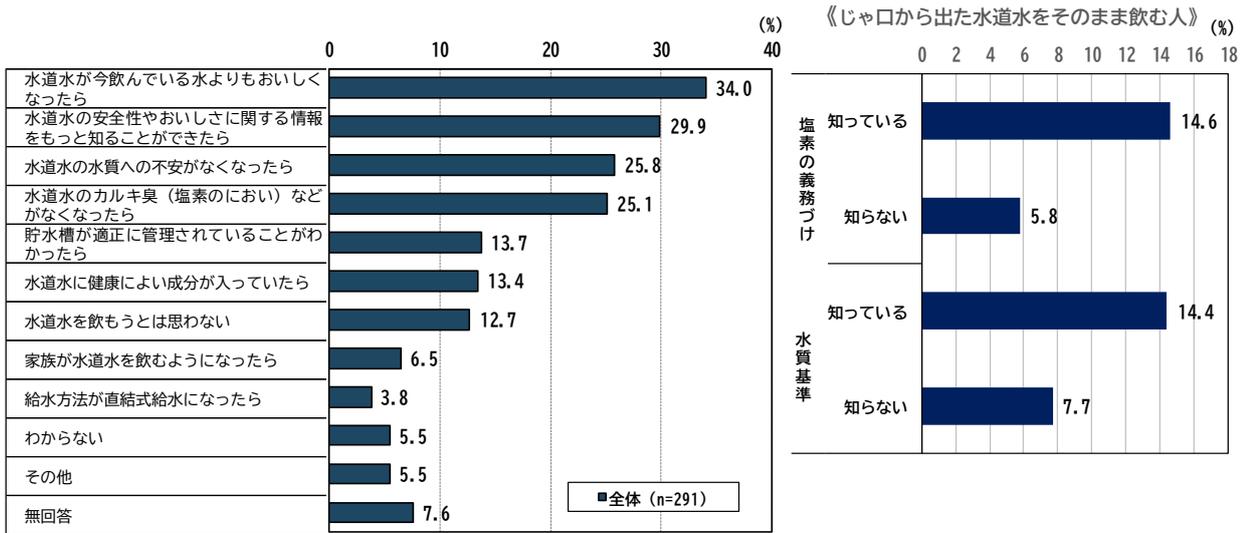
飲用に市販のボトル水等を利用する人の水道水を飲まない理由も、「水道水よりもおいしい（と思う）水を飲んでいるから」（49.8%）、「水道水はカルキ臭（塩素のにおい）などがあるから」（35.4%）、「水道水の水質に不安があるから」（24.1%）、「水道水よりも健康によい（と思う）水を飲んでいるから」（23.4%）など、浄水器等を使用する理由と同様の傾向となっている。

【飲用に市販のボトル水等を利用する人の水道水を飲まない理由】



水道水を飲まない人が、水道水を飲むきっかけになると思うことは、「水道水が今飲んでいる水よりもおいしくなったら」（34.0%）、「水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら」（29.9%）、「水道水の水質への不安がなくなったら」（25.8%）などが多く、水道水に対して不安を感じる人などが、『浄水器等を通した水道水を飲用派』と『水道水以外飲用派』に分かれる状況となっている。水道水をそのまま飲んでいる人のうちじゃ口まで一定量の塩素が義務付けられていることや、国より厳しい独自の水質基準を定めていることを知っている人の割合が、知らない人の割合よりも多いことから引き続き、水道水の安全性や、消毒による殺菌の効果など、より安心感を高める情報発信に努めていくことが重要である。

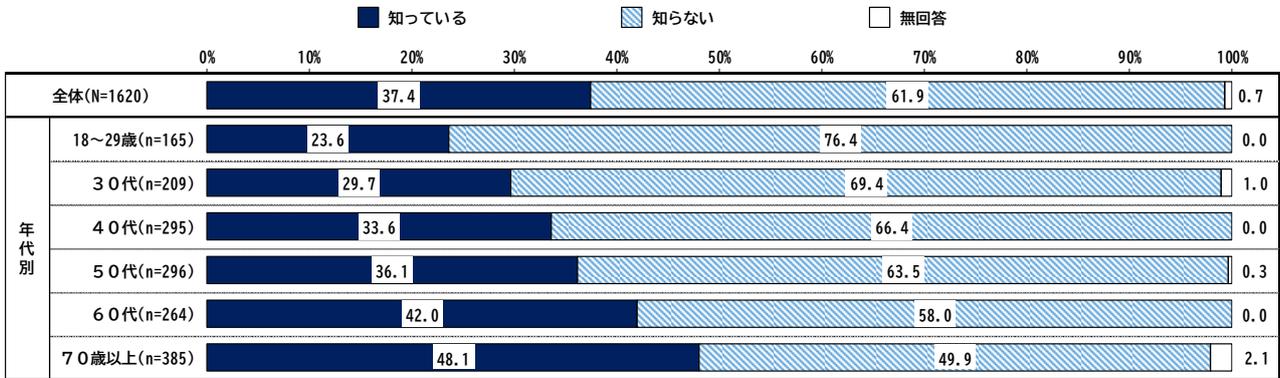
【水道水を飲まない人が水道水を飲むきっかけになると思うこと】



4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて

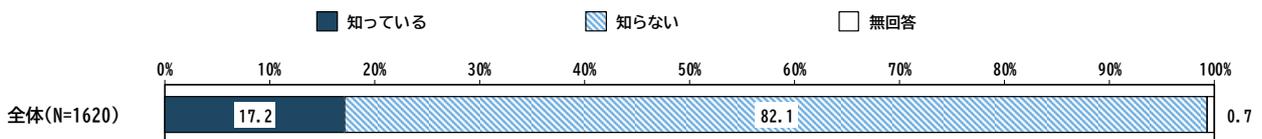
水道水の安全性を保つため、浄水場で入れた消毒用の塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられていることの認知状況は、「知っている」(37.4%)に対し、「知らない」(61.9%)の割合が高い。若い人などを中心に知らない人は依然として多いが、年齢とともに「知っている」の割合は高くなり、いずれかのタイミングで、この情報に接する機会があったものと考えられる。

【年代別水道水の塩素基準認知状況】(年代別)



福岡市が、国の水質基準等より厳しい独自の水質目標を設定していることは、「知っている」(17.2%)に対し、「知らない」(82.1%)の割合が高く、年齢による差も小さい。福岡市独自の取組みとして、さらに認知が広がることで、市民の水道水に対する信頼度の向上が見込まれる。

【国の水質基準等より厳しい福岡市独自水質目標の認知状況】

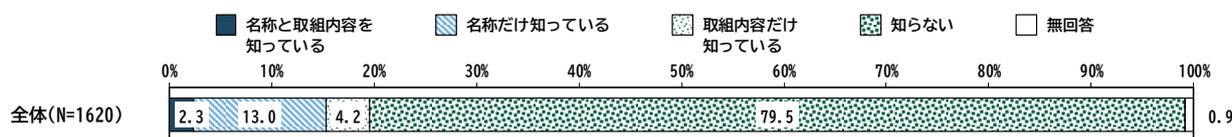


「安全でおいしい水道水プロジェクト」は、「名称と取組内容を知っている」、「名称だけ知っている」、「取組内容だけ知っている」を合計した『知っている』が約2割(19.5%)、「知らない」が約8割(79.5%)で、認知は十分ではない。また、安全でおいしい水道水プロジェクトの具体的な取組みについても、「いずれも知らない」が半数を超え最も高く、認知度が低くなっている。一方で、これらプロジェクトなどの取組みで供給される福岡市の水道水に対する満足度は、「水道水質に関する総合満足度」は80.2%と、高い水準である。さらなる満足度の向上のため、安全でおいしい水道水の安定的な供給のために日常的に取り組んでいる活動について、個々の内容や意義を常に発信し、市民の水道水への理解促進や信頼度を高めていくことが重要となる。

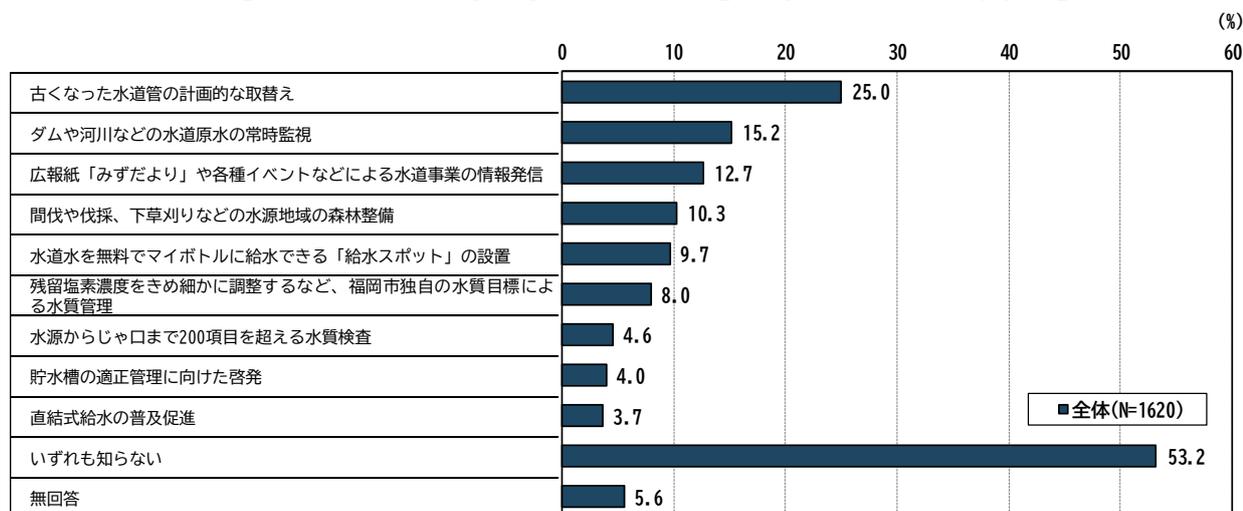
水道水に対する満足度を項目別でみると、「満足である」と「どちらかという満足である」を合計した『満足』の割合が高い項目は、「風呂・洗面・洗濯に使用する水として」(93.4%)、「にごりの少なさ・無色」(85.6%)、「調理に使用する水として」(81.0%)などである。これに対し、「不満である」と「どちらかという不満である」を合計した『不満』の割合が高い項目は、「じゃ口からそのまま飲む水として」(31.7%)、「味(おいしさ)」(25.2%)などであるが、これらは「わからない・知らない」の割合も比較的高く、十分な理解がないまま『満足』に至っていない状況もうかがえる。

過去の調査と比較すると、「じゃ口からそのまま飲む水として」の『満足』の割合はやや高まるとともに、『不満』は減少傾向にあり、徐々に理解は進んでいる状況であり、さらなる情報発信と水道水への理解が深まることで、そのまま飲むことに対する抵抗も薄れると考えられる。このほか「調理に使用する水として」の『満足』の割合は高まり、『不満』は確実に解消しつつある。「風呂・洗面・洗濯に使用する水として」、「味(おいしさ)」、「カルキのにおいの少なさ」、「かびのにおいの少なさ」、「にごりの少なさ・無色」は、いずれも『不満』感は低下傾向にあり、安全でおいしい水道水としての認識は、着実に広まりつつあるといえる。

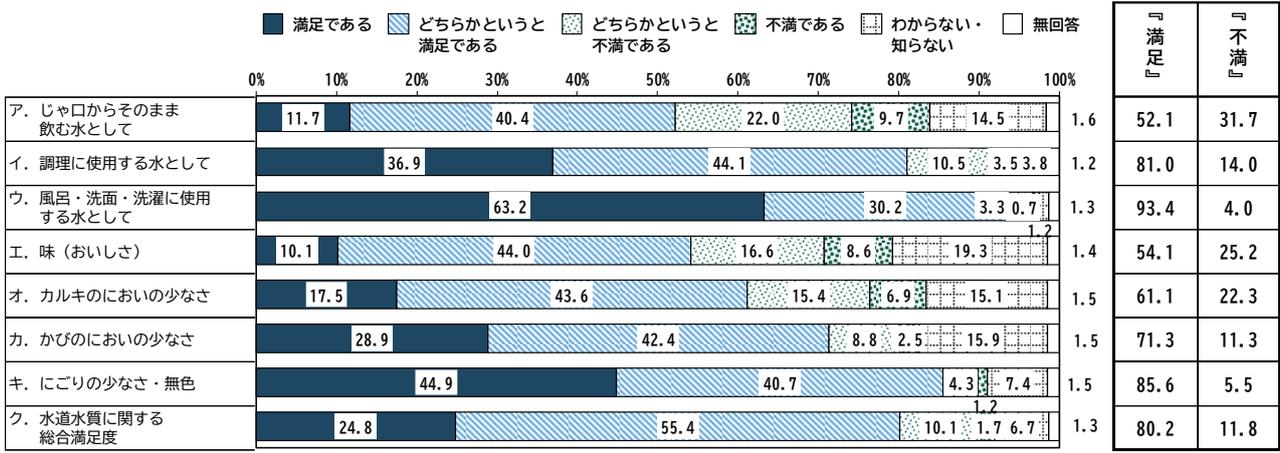
【安全でおいしい水道水プロジェクトの認知状況】



【「安全でおいしい水道水プロジェクト」の中で知っている取組み】



【水道水に対する満足度】

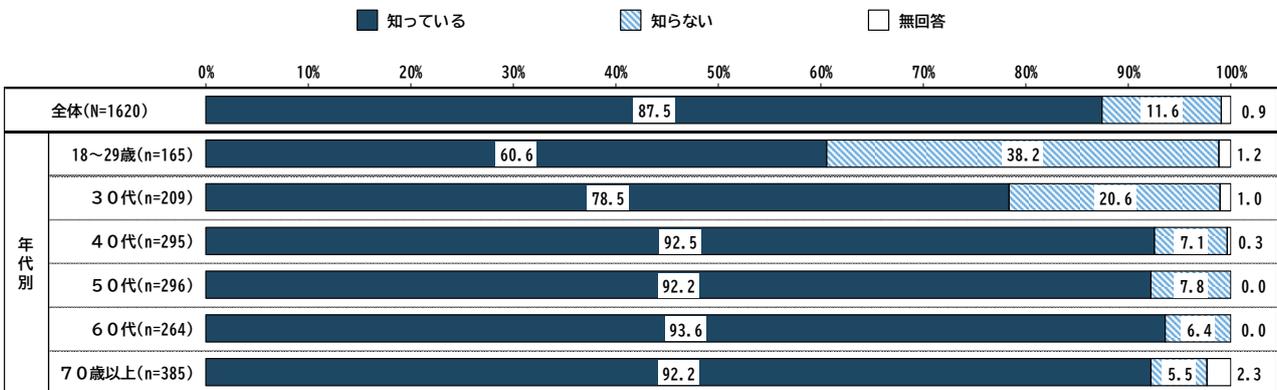


(N=1620)

5 水道料金について

水道料金を下水道使用料と合算した支払いとなっていることは、「知っている」が 87.5%で、18～29 歳など一部の若い人を除き、ほとんどの人に認知されている。水道料金等の請求が原則2か月ごとであることも、「知っている」が 93.7%で認知度は高い。水道料金を、「把握している」、「おおむね把握している」を合計した『把握している』は91.3%で、ほとんどの人は把握している。実際に払う水道料金や払い方に対する認知度は高い。

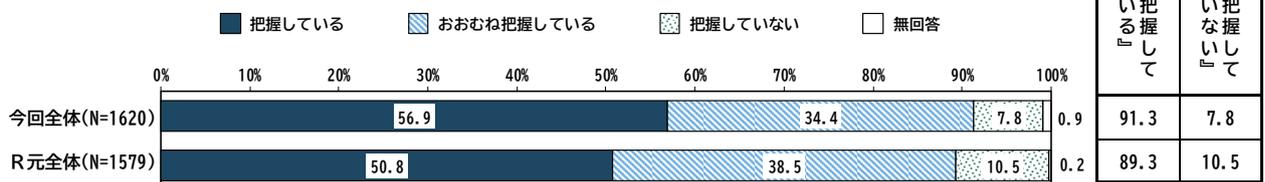
【水道料金と下水道使用料金の合算支払いの認知状況】



【水道料金の請求が2か月ごとであることの認知状況】



【水道料金等の把握状況】（経年変化）

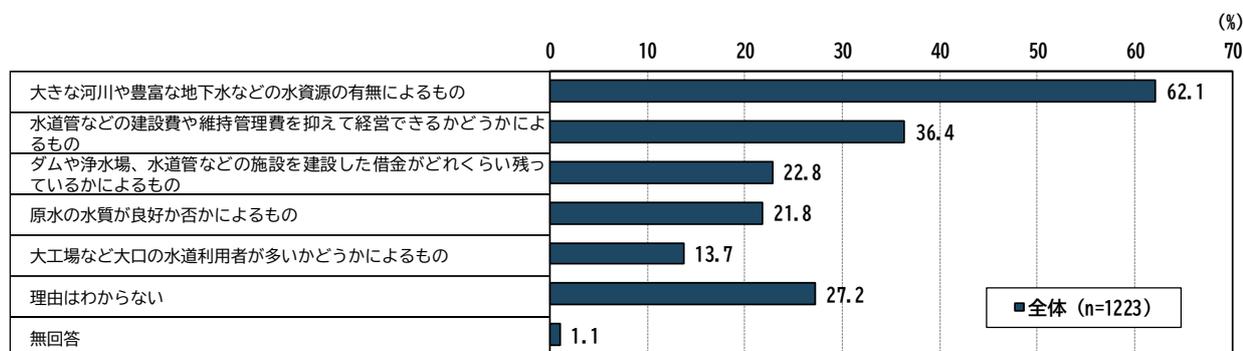


一方、水道料金が全国一律でないことは、「知っている」(75.5%)に対し、「知らない」(22.0%)で、水道料金に関する他の質問項目に比べ、やや認知度が低い。水道料金が全国一律でない理由の認知度は、「大きな河川や豊富な地下水などの水資源の有無によるもの」(62.1%)が最も多く、水資源の豊かさが水道料金を左右することへの理解は進んでいる。このほか、「水道管などの建設費や維持管理費を抑えて経営できるかどうかによるもの」(36.4%)もやや多い。水道料金が全国一律でないことの認知経路は、「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」(34.9%)が多いが、18～29歳では「学校や地域活動などで学習した」が多い。

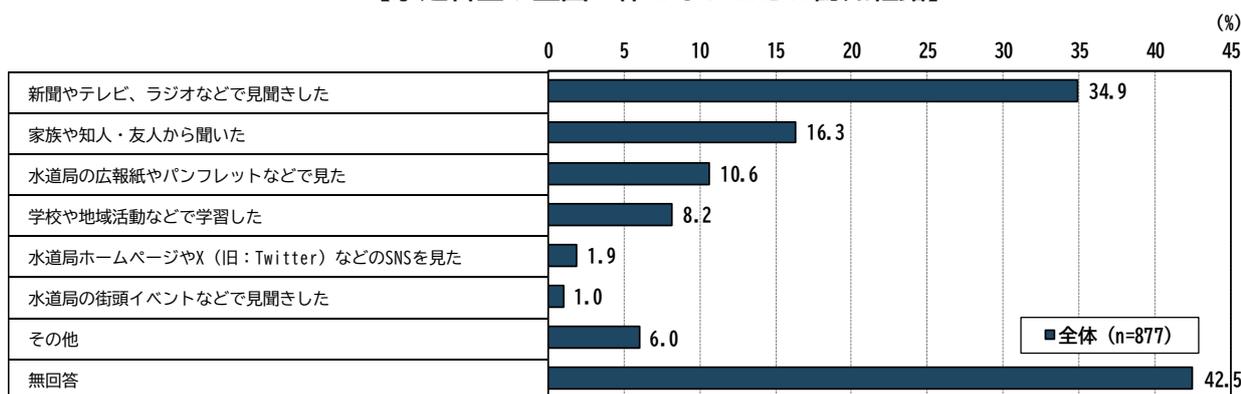
【水道料金が全国一律でないことの認知状況】



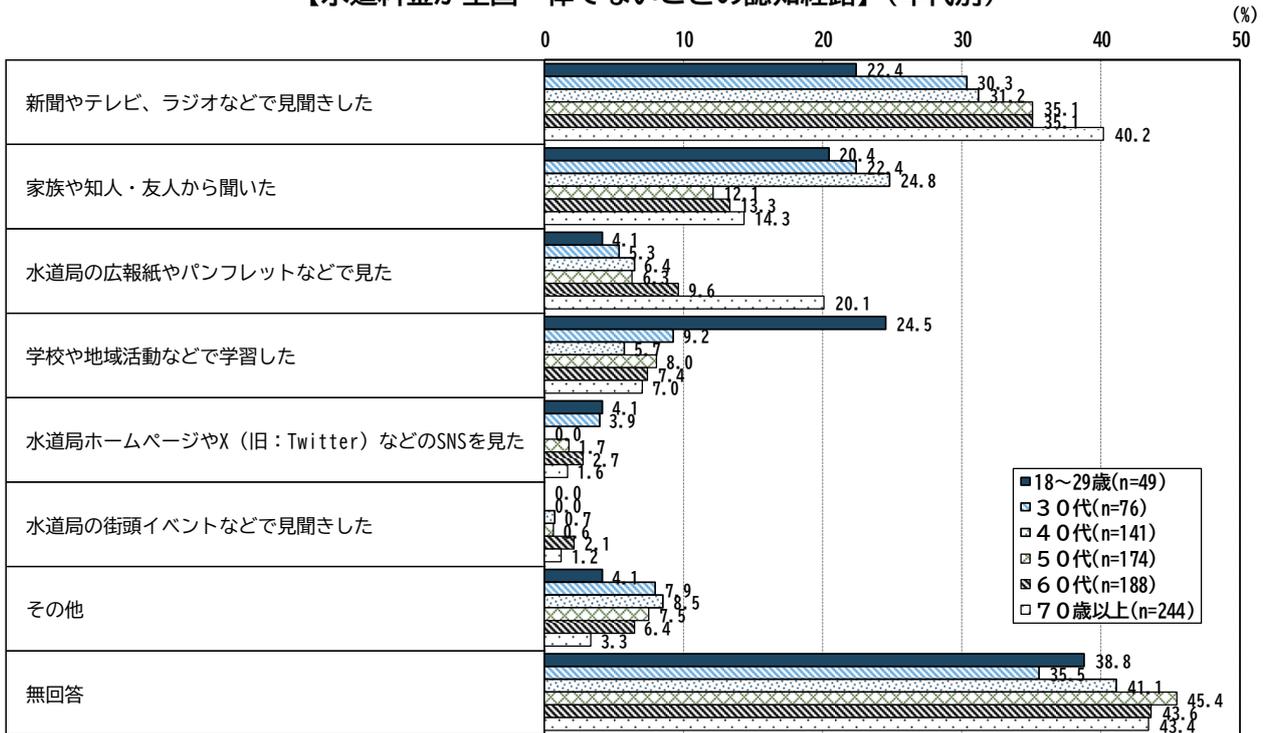
【水道料金が全国一律でない理由】



【水道料金が全国一律でないことの認知経路】



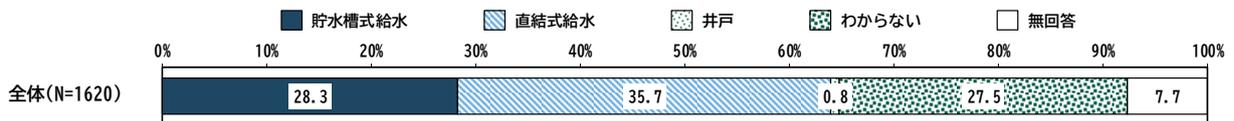
【水道料金が全国一律でないことの認知経路】(年代別)



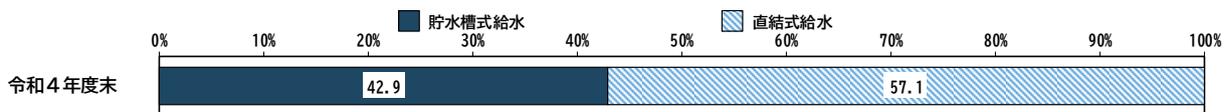
6 水道局の取組みについて

住宅の給水方法を把握している割合は、大きく「直結式給水」(35.7%)、「貯水槽式給水」(28.3%)に分かれるが、「わからない」(27.5%)の割合が高まる傾向にあり、賃貸の共同住宅居住者などを中心に、普段、給水方法を意識することがない人も多い。

【給水方法】

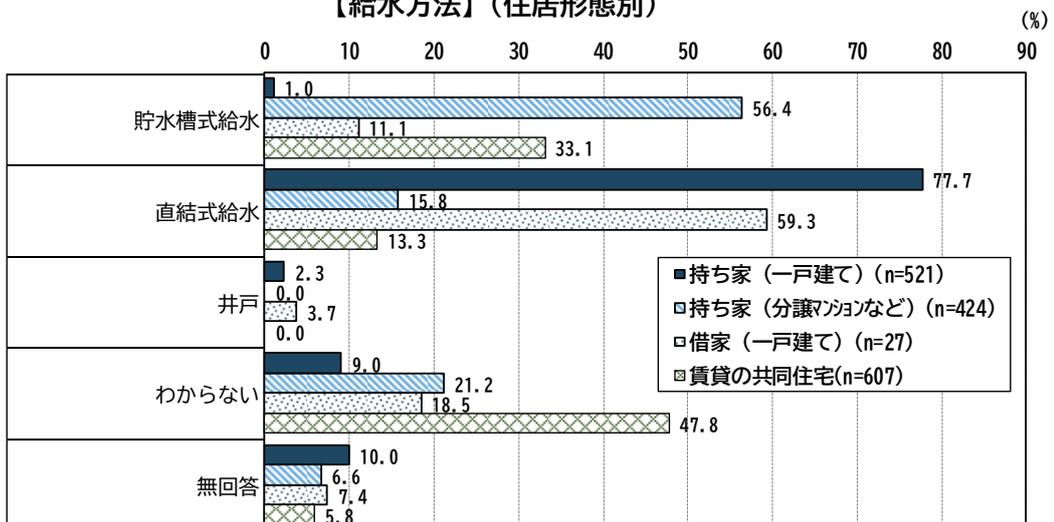


《参考》福岡市の給水方式の割合



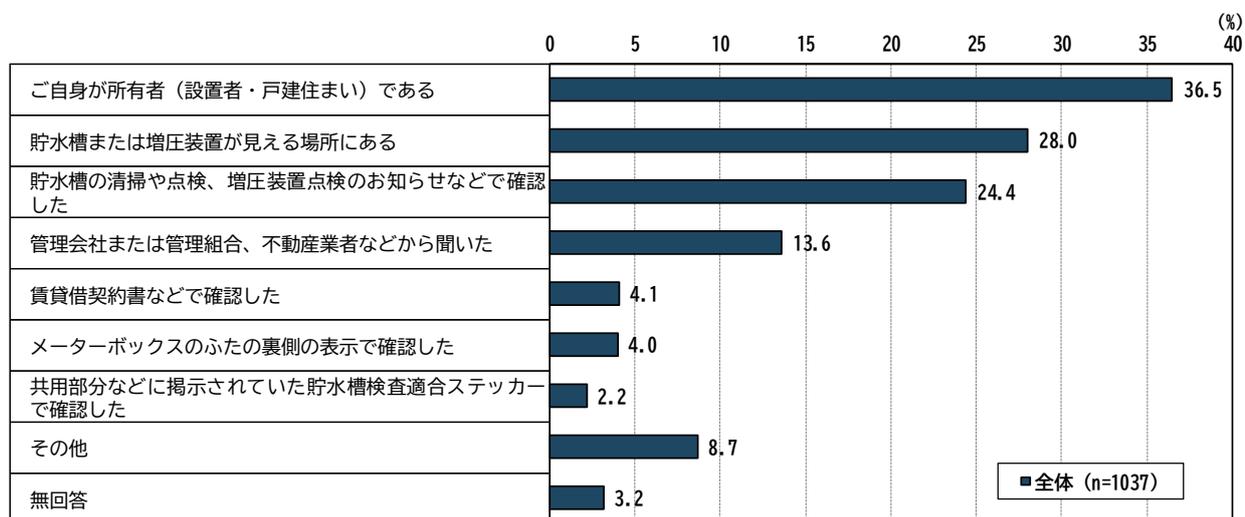
※令和4年度 福岡市給水契約戸数より

【給水方法】(住居形態別)

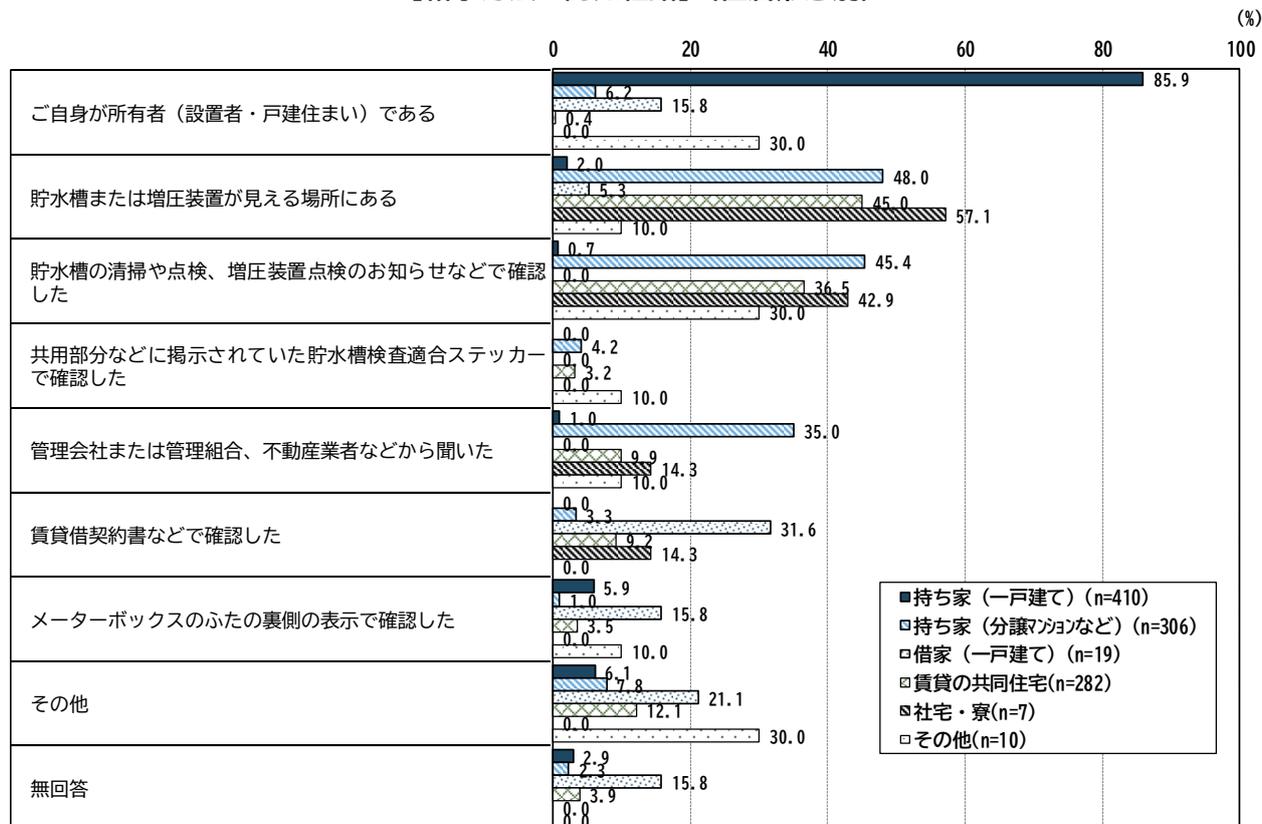


給水方法の認知経路は、「ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である」(36.5%)、「貯水槽または増圧装置が見える場所にある」(28.0%)、「貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した」(24.4%)などが多く、戸建住まいは、特に意識することなく「直結式給水」と認知しているほか、「貯水槽式給水」の場合は、目に見える貯水槽が認知するきっかけとなっている。

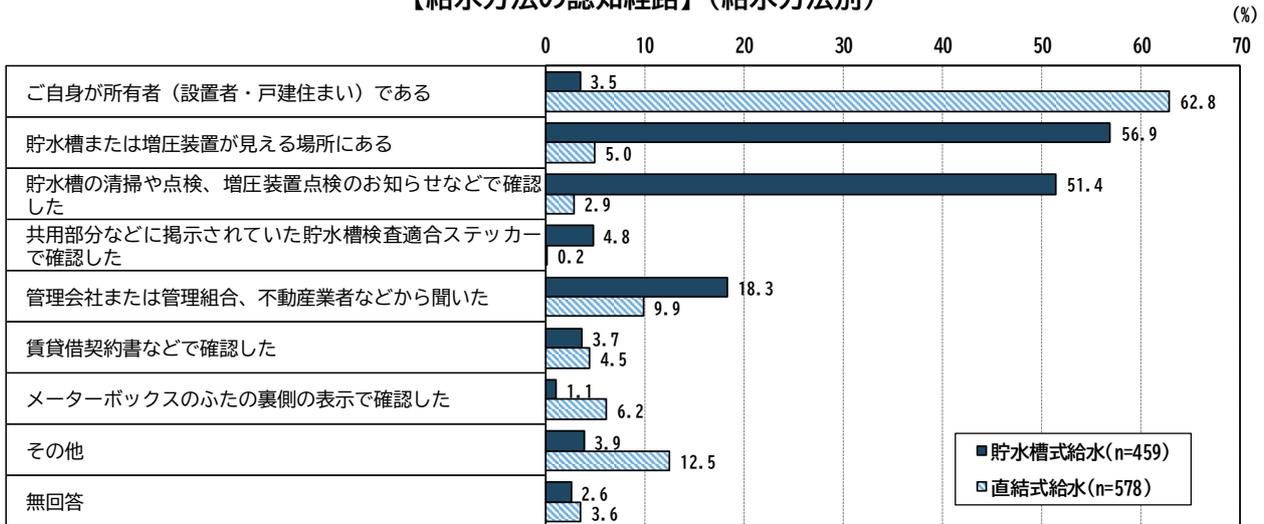
【給水方法の認知経路】



【給水方法の認知経路】(住居形態別)



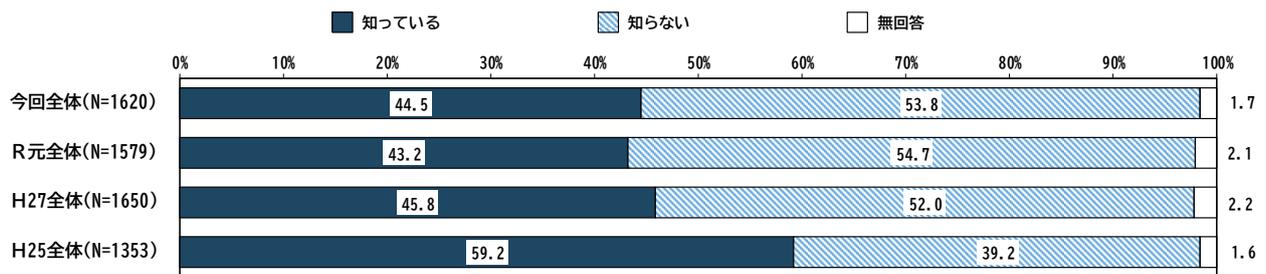
【給水方法の認知経路】（給水方法別）



貯水槽の清掃・点検の認知は、給水方法が「貯水槽式給水」の場合、「行われている」(75.4%)の割合が高いものの、「わからない」が 2 割近く(19.0%)みられ、一定数においては普段あまり意識されていない状況がうかがえる。

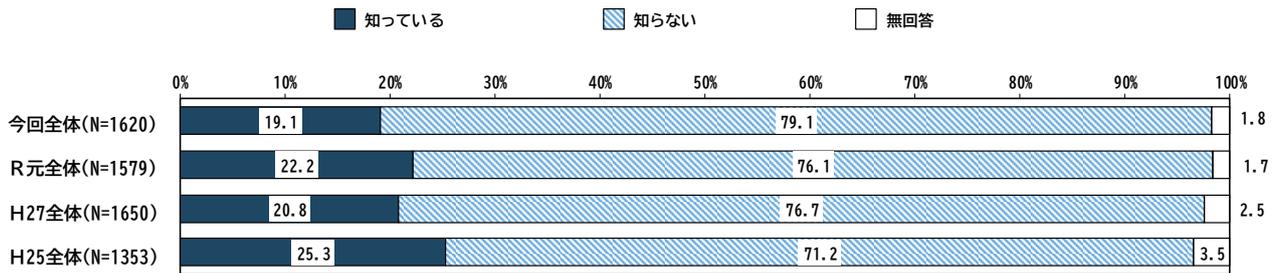
福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることは、「知っている」(44.5%)に対し、「知らない」(53.8%)と二分化しており、令和元年度調査同様、過去の調査から「知らない」が上昇傾向にある。年代が上がるほど「知っている」の割合が高くなり、過去の湧水を経験していない若い人などは、福岡市の水資源の情報に接したことがない人が多い状況がうかがえる。「知っている」人の認知経路は、「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」(69.2%)が主流であるが、「水道局の広報紙やパンフレットなどで見た」(30.8%)も一定数みられ、福岡市からの情報発信の効果がみられる。

【福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることの認知状況】（経年変化）

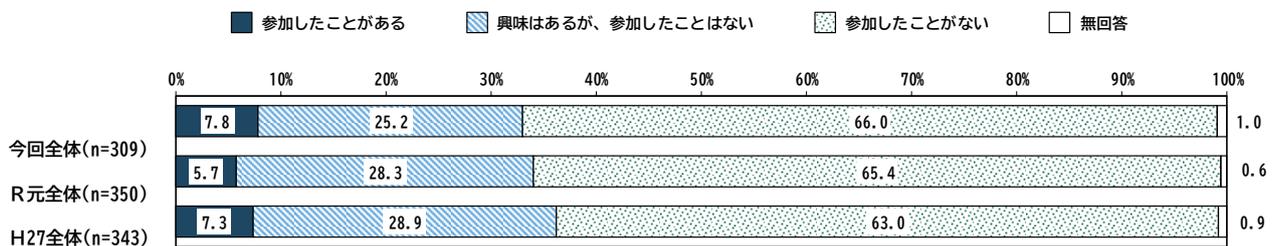


福岡市が水源地域で森林の保全活動や交流事業を行っていることは、「知っている」(19.1%)に対し、「知らない」(79.1%)と、認知度は十分でない。過去の調査と比較しても「知らない」の割合は上昇傾向にある。事業は長く続けられているにも関わらず、認知度が低下傾向であることは、他のさまざまな情報に埋もれ、忘れられている可能性もあり、安全でおいしい水道水の安定的な供給のための重要な取組みとして、その意義を、改めて情報発信し、若い人を含む多くの人に、さらに知ってもらうことが重要となる。「知っている」人の森林の保全活動や交流事業への参加経験は 7.8%と少なく、「参加したことがない」が 66.0%で主流であるものの、「興味はあるが、参加したことはない」が 25.2%と、参加意欲自体は低くなく、事業のイベント情報に接することで、参加のきっかけにつながることを期待される。このほか、「飲む海水」は、「知っている」(9.5%)に対し、「知らない」(89.5%)と、認知度は低い。

【水源地域での森林の保全活動や交流事業の認知状況】（経年変化）

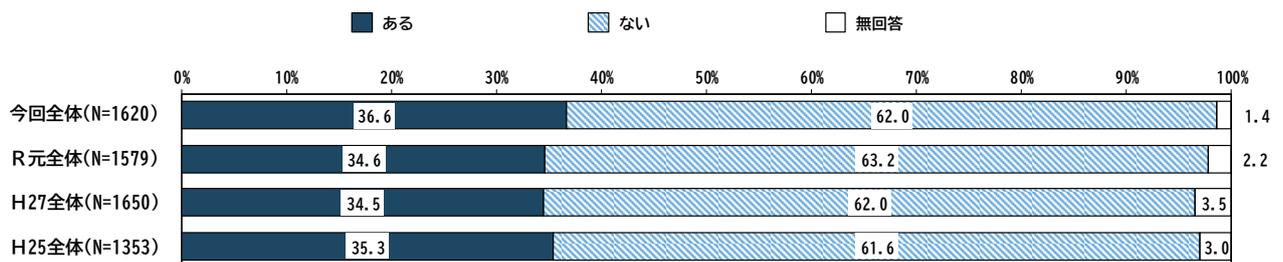


【水源地域での森林の保全活動や交流事業への参加状況】（経年変化）

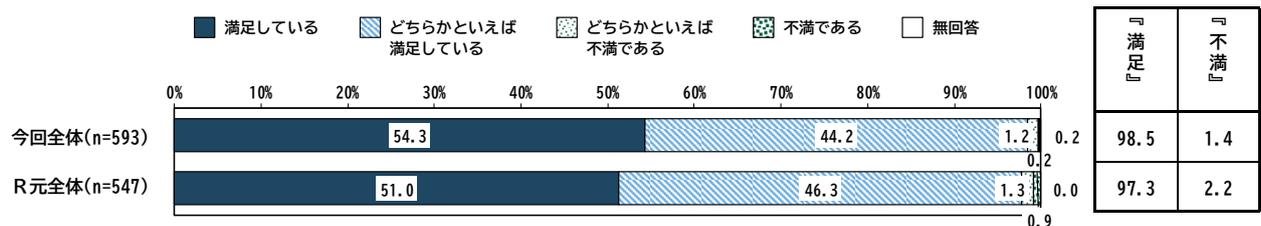


水道局お客さまセンターに電話した経験は、「ある」が36.6%、「ない」が62.0%となっている。過去の調査と比較しても、大きな変化はなく、何らかの用件がある人が電話しているものとみられる。「ある」のお客さまセンターの電話対応は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合計した『満足』は98.5%と非常に高い。

【水道局お客さまセンターに電話した経験】（経年変化）

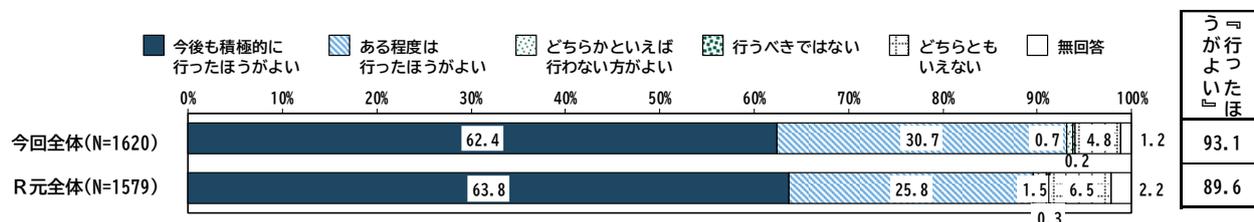


【水道局お客さまセンターの満足度】（経年変化）



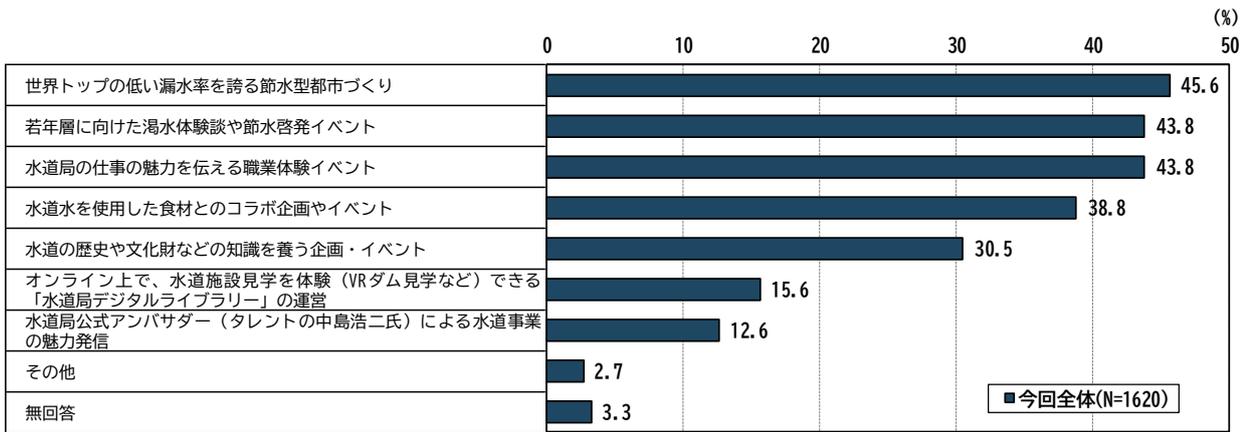
水道局が行う国際貢献の取組みは、「今後も積極的に行ったほうがよい」、「ある程度は行ったほうがよい」を合計した『行った方がよい』は 93.1%と、国際貢献活動に対する評価は高く、令和元年度調査からも上昇しており、意義に対する理解が深まっている。

【国際貢献の取組みについて】（経年変化）

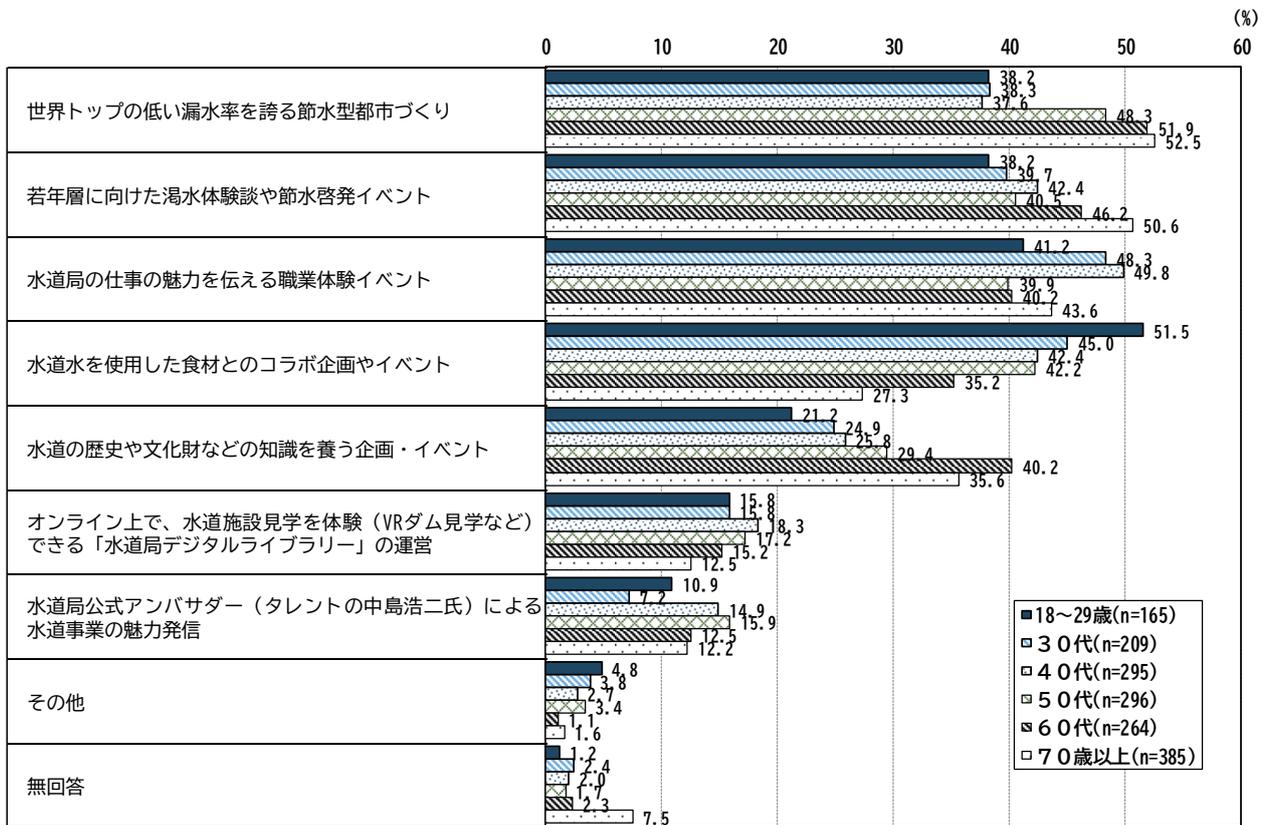


水道局の取組みの中で引き続き力を入れて取り組んでほしいことは、「世界トップの低い漏水率を誇る節水型都市づくり」(45.6%)、「若年層に向けた湯水体験談や節水啓発イベント」(43.8%)、「水道局の仕事の魅力を伝える職業体験イベント」(43.8%)、「水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント」(38.8%)などが多い。福岡市がこれまで力を入れてきた節水型都市づくりや、その啓発活動の重要性が広く認識されており、過去の経験を踏まえた福岡市だからこそできる取組みとして、今後も力を入れるべきとみられている。一方で若い人には、「水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント」が多く、イベントなどを通して、若い人が福岡市の水道水に関心を持つきっかけづくりが求められる。

【引き続き力を入れて取り組んでほしいこと】

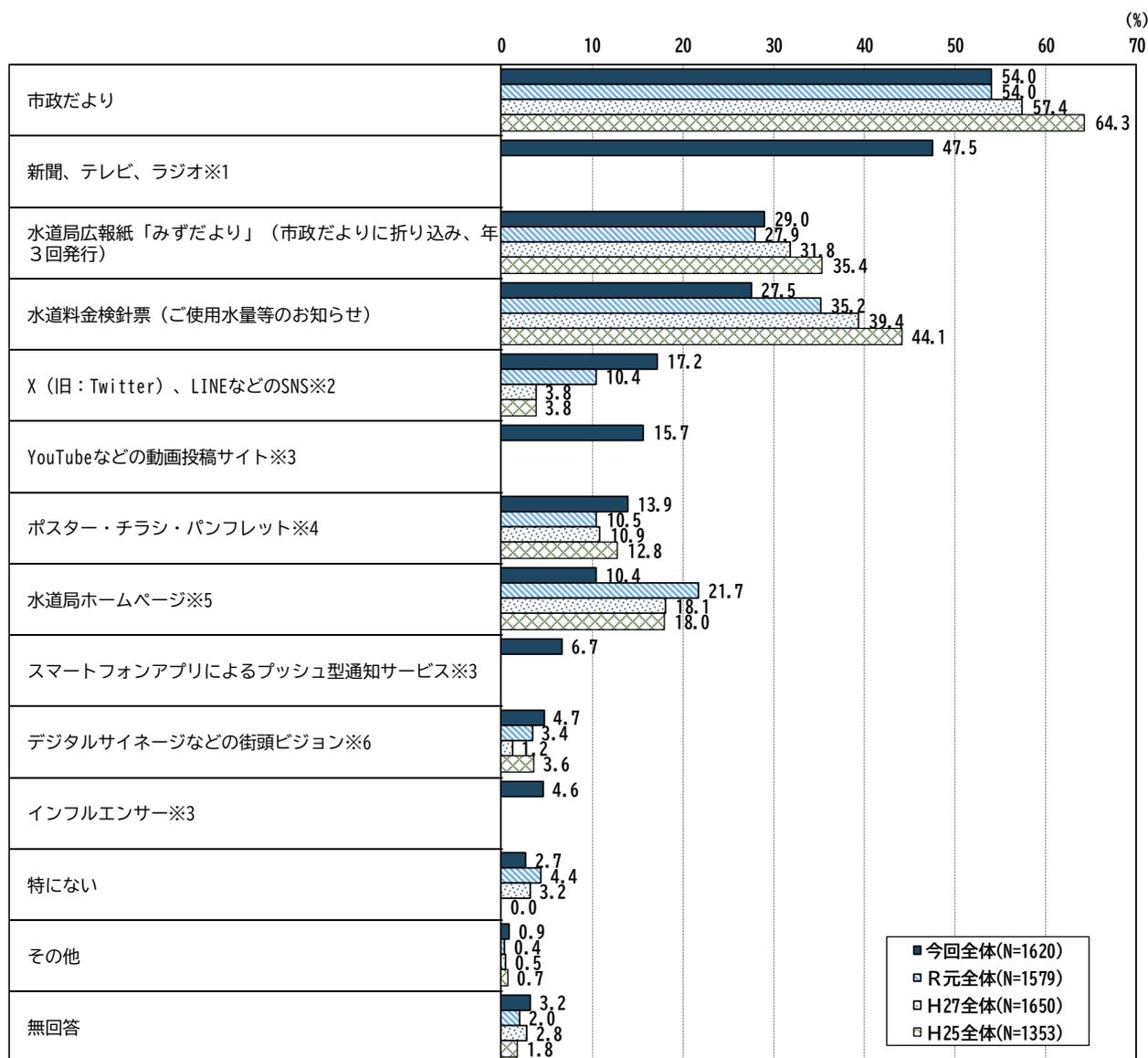


【引き続き力を入れて取り組んでほしいこと】（年代別）



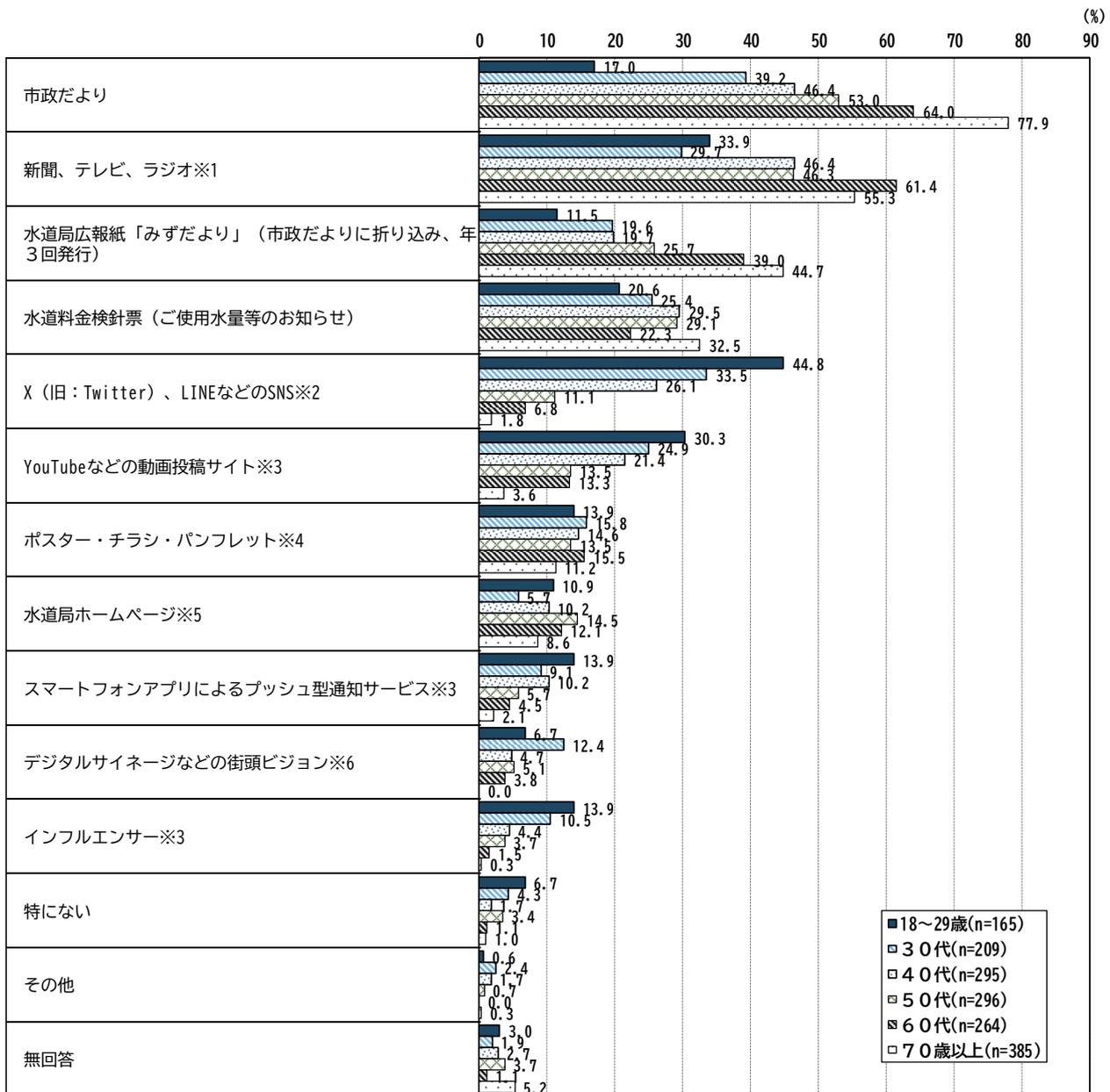
水道局の取組みに関する情報の周知方法は、「市政だより」(54.0%)、「新聞、テレビ、ラジオ」(47.5%)などが多い。年代別には、「市政だより」、「新聞、テレビ、ラジオ」、「水道局広報紙みずだより」は、年代が上の方で接触率が高いものの、過去の調査からは減少傾向で、今後は、若い人に対する情報発信も含め、さまざまなメディアの活用が求められる。

【水道局の取組みに関する情報の周知方法】(経年変化)



※1 令和元年度以前は「新聞」「テレビ」「ラジオ」それぞれ単独であったが、今回ひとつに統合
 ※2 令和元年度、平成27年度はSNS(twitterやfacebookなど)、平成25年度はSNS
 ※3 今回から追加
 ※4 令和元年度以前は「チラシ・パンフレット」
 ※5 令和元年度以前は「ホームページ(携帯電話版を含む)」
 ※6 令和元年度以前は「デジタルサイネージ(街頭ビジョン、街角の電光掲示板)」

【水道局の取組みに関する情報の周知方法】（年代別）



※1 令和元年度以前は「新聞」「テレビ」「ラジオ」それぞれ単独であったが、今回ひとつに統合

※2 令和元年度、平成27年度はSNS（twitterやfacebookなど）、平成25年度はSNS

※3 今回から追加

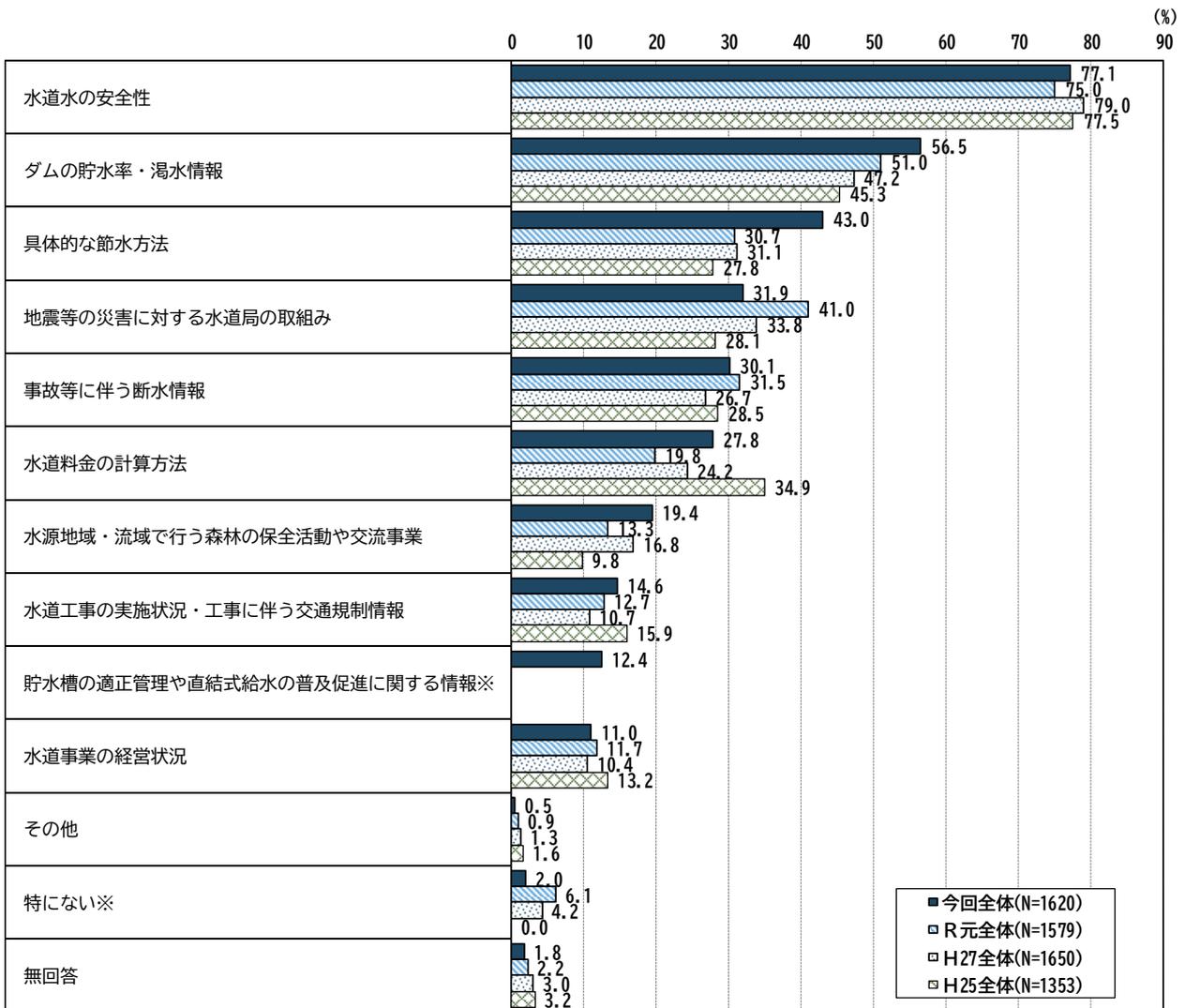
※4 令和元年度以前は「チラシ・パンフレット」

※5 令和元年度以前は「ホームページ（携帯電話版を含む）」

※6 令和元年度以前は「デジタルサイネージ（街頭ビジョン、街角の電光掲示板）」

特に知りたい水道に関する情報は、「水道水の安全性」(77.1%)が高く、過去の調査と比較しても、市民の関心が最も高いのは安全性である。このほか「ダムの貯水率・渇水情報」(56.5%)、「具体的な節水方法」(43.0%)、「地震等の災害に対する水道局の取組み」(31.9%)、「事故等に伴う断水情報」(30.1%)なども多い。

【特に知りたい水道に関する情報】(経年変化)

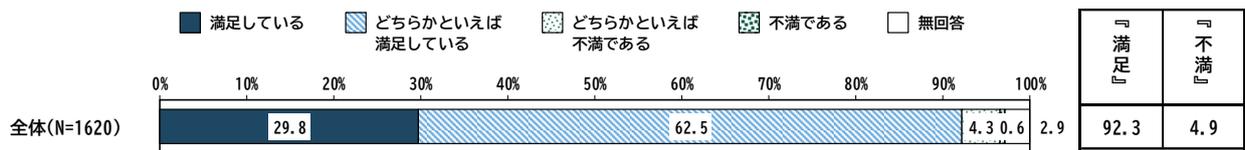


※ 今回から追加

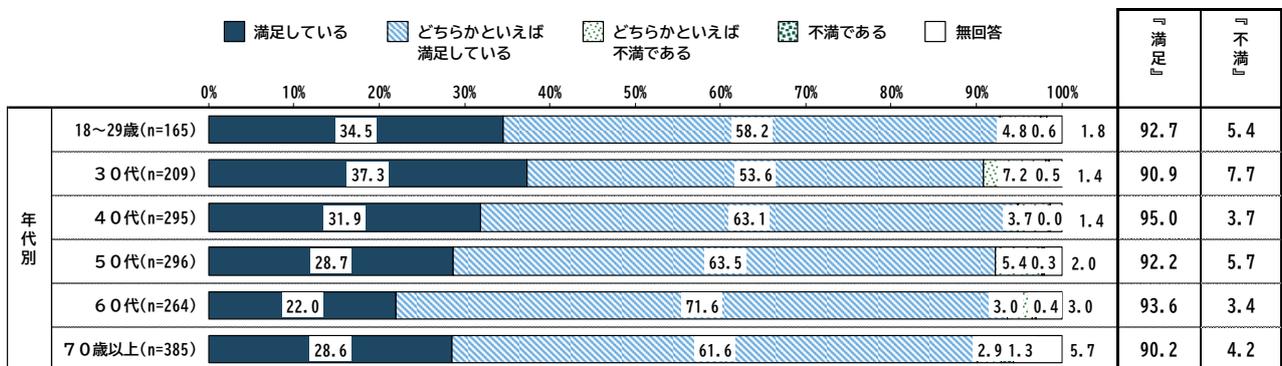
7 水道行政への評価について

現在の福岡市の水道行政の総合的な満足度は、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合計した『満足』は 92.3%と高い評価である。より満足度の高い「満足している」は、60代以下では年代が下がるほど高くなる傾向にあり、福岡市の水道水に関する情報認知度が比較的低い若い人でも、「満足している」の割合が高いことは、普段水道水を利用する際に、不満なく、満足して使用できている状況がうかがえる。

【水道行政の総合的満足度】

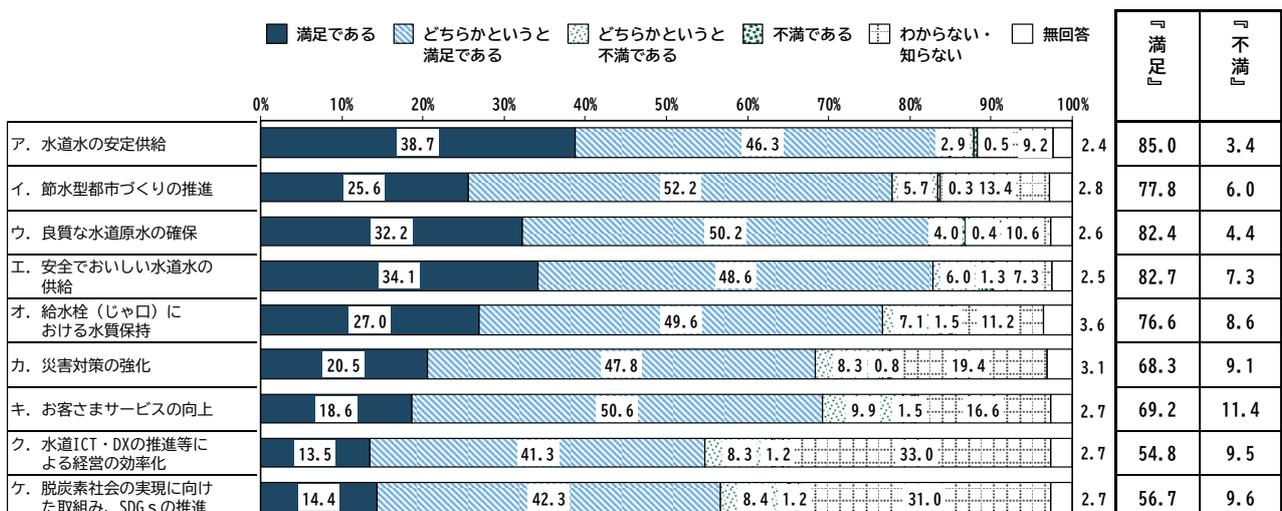


【水道行政の総合満足度】（年代別）



項目別にみると、「満足である」と「どちらかという満足である」を合計した『満足』の割合が高い項目は、「水道水の安定供給」(85.0%)、「安全でおいしい水道水の供給」(82.7%)、「良質な水道原水の確保」(82.4%)などで、安全で良質な水道水の安定的な供給への評価は高い。

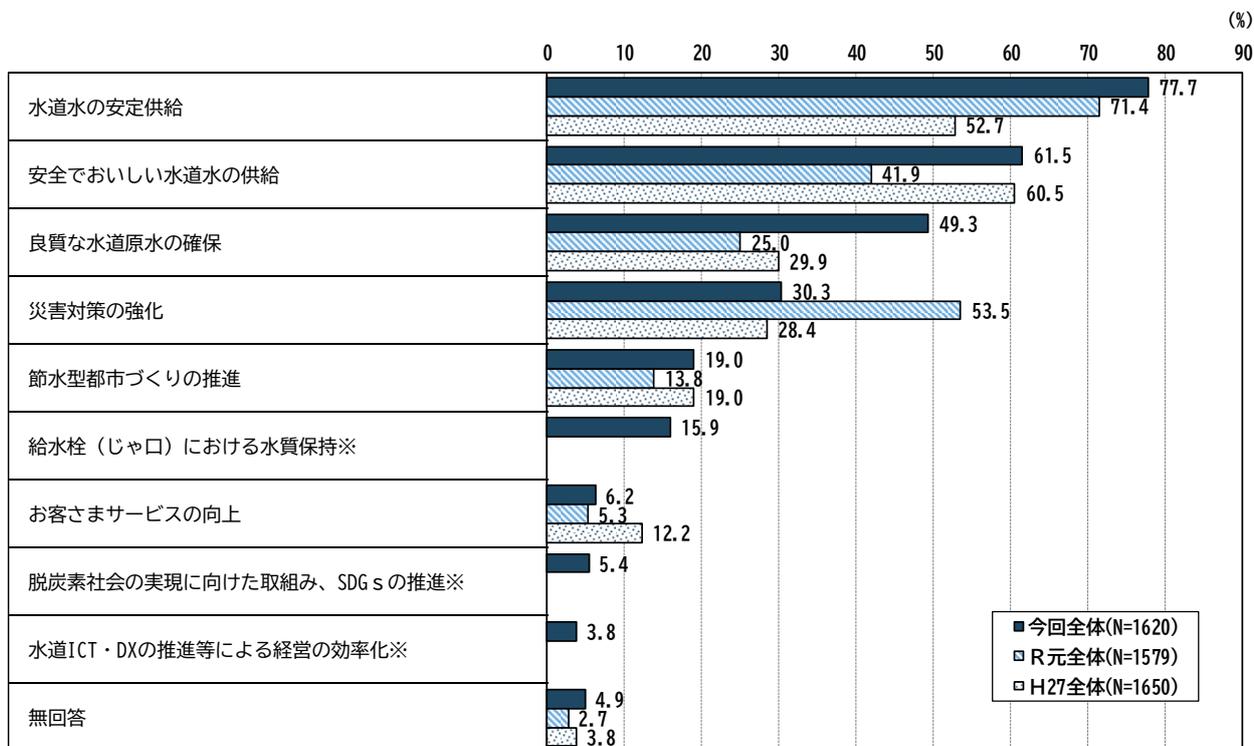
【各種取組みに対する満足度】



(N=1620)

今後、重点的に力を入れて取り組んでほしい水道行政は、「水道水の安定供給」(77.7%)、「安全でおいしい水道水の供給」(61.5%)、「良質な水道原水の確保」(49.3%)など、現在評価されている安全で良質な水道水の安定的な供給という水道事業の基本となる取組みに、今後も力を入れていくべきとみられている。このほか、「災害対策の強化」(30.3%)など、不測の事態への備えも重視されている。

【今後重点的に力を入れて取り組んでほしいこと】(経年変化)



※ 今回から追加

IV 調査票

※調査票の設問番号とⅡ 調査結果の設問番号は異なる箇所がある。

福岡市の水道に関するお客さまアンケート

～趣旨及びご協力をお願い～

福岡市水道局は、『みなさまから信頼される水道』を基本理念に掲げ、将来にわたって安全で良質な水道水の安定的な供給と、より満足度の高いサービスを目指しています。

このアンケート調査は、住民基本台帳から無作為に選んだ3千人の方に、水道に関する評価やご意見をお伺いし、今後の参考とさせていただくものです。

ご記入いただいた内容は、統計的に処理し、個人に関する情報を公表したり、本調査以外の目的で使用したりすることはございません。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年11月

福岡市水道事業管理者
坂本 秀和

《回答にあたってのお願い》

- ◆アンケートは、封筒のあて名のご本人様がご回答ください。
- ◆回答方法は、郵送、またはインターネットからの回答のどちらかをお選びください。

※インターネットでの回答は、右側の二次元コードを読み込み、または、下記URLへアクセスいただきご回答ください(11月17日(金)まで)。

〈回答用URL〉<https://www.c-pass.jp/suidoukyoku>

- ◆回答の際は、設問ごとの説明に従って、あてはまる番号を選択してください。
- ◆選択肢の中で「その他」を選ばれたときは、()内に具体的な内容をご回答ください。
- ◆郵送による回答の場合、ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、11月17日(金)までに投函してください。
- ◆回答にご協力いただいた方には、クオカード500円分を贈呈させていただきます。ご希望の方は、別紙の記入カードを調査票とともに返信用封筒にご同封ください。インターネットからの回答の場合は、入力欄に必要事項をご入力いただき、申し込みをお願いいたします。ただし、希望者多数の場合は、抽選とさせていただきますのでご了承ください。

(当選の発表は賞品の発送(令和5年12月上旬)をもってかえさせていただきます)

《調査に関するお問い合わせ先》

福岡市水道局総務部総務課広報聴係
電話:092-483-3139 FAX:092-482-1376
電子メールアドレス:somu.WB@city.fukuoka.lg.jp
住所:福岡市博多区博多駅前1丁目28-15



未来へ、つなぐ。



ANNIVERSARY
福岡市水道100周年

おかげさまで令和5年3月1日に、水道創設100周年を迎えました。

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

(1) あなたの性別は。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

(2) あなたの年齢は。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 18～29歳 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70歳以上

(3) あなたがお住まいの区は。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 東区 2. 博多区 3. 中央区 4. 南区 5. 城南区 6. 早良区
7. 西区

(4) あなたを含む家族(一緒にお住まいの方)の人数は。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

(4) で2人以上と回答した方におたずねします。

(4-1) あなたが現在同居している家族は。 (あてはまる番号すべてに○印)

1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生
5. 専門学校生・短大生・高専生 6. 大学・大学院生
7. 65歳以上の人 8. 上記(1～7)以外の人

(5) あなたが福岡市に住んでいる年数は通算で何年になりますか。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満 5. 30年以上

(6) あなたがお住まいの住宅は。 (あてはまる番号に1つだけ○印)

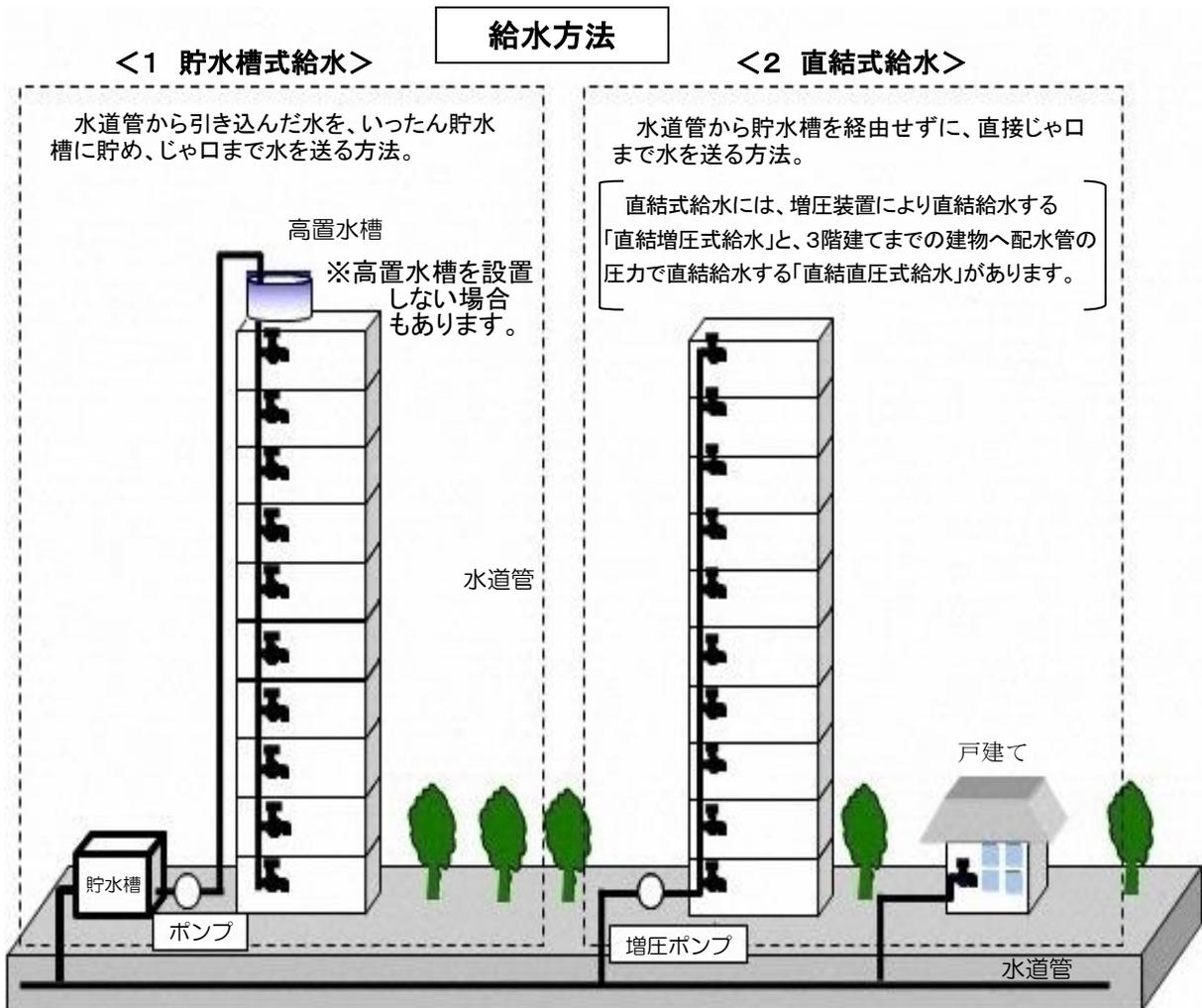
1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(分譲マンション・アパートなど)
3. 借家(一戸建て) 4. 賃貸の共同住宅(マンション・アパートなど)
5. 社宅・寮 6. その他

(7) 福岡市には貯水槽を利用する共同住宅（マンション等）が多く（共同住宅の半数程度）あることから、水道局では、貯水槽の適正管理の啓発に取り組んでいます。あなたがお住まいの住宅は、どの給水方法ですか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

1. 貯水槽式給水	2. 直結式給水	3. 井戸	4. わからない
-----------	----------	-------	----------

次ページ 問1へお進みください

4 ページ 問3へお進みください



給水方法についておたずねします。

【2ページの(7)の給水方法で「1.貯水槽式給水」「2.直結式給水」と回答した方】

問1 あなたは「1.貯水槽式給水」「2.直結式給水」の給水方法をどのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. ご自身が所有者(設置者・戸建住まい)である
2. 貯水槽*または増圧装置*が見える場所にある(*印は、下の写真を参照)
3. 貯水槽の清掃や点検、増圧装置点検のお知らせなどで確認した
4. 共用部分などに掲示されていた貯水槽検査適合ステッカーで確認した
5. 管理会社または管理組合、不動産業者などから聞いた
6. 賃貸借契約書などで確認した
7. メーターボックスのふたの裏側の表示で確認した
8. その他(具体的に:)



FRP(繊維強化プラスチック)製の例



【2ページの(7)の給水方法で「1.貯水槽式給水」と回答した方】

問2 あなたがお住まいの住宅では、貯水槽の清掃・点検が行われていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 行われている
2. 行われていない
3. わからない

あなたの節水に関する意識などについておたずねします。

【全員におたずねします。】

問3 あなたは、節水についてどのような意識をお持ちですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 常に節水に心がけている

2. どちらかといえば節水に心がけている

→ 問4へお進みください

3. どちらかといえば節水に心がけていない

4. 節水には全く心がけていない

→ 問6へお進みください

問4 問3で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。あなたが、節水に心がけている理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから

2. 家計の節約になるから

3. 水道局などが、節水の呼びかけをしているから

4. 渇水を経験したことがあるから

5. 特に理由はなく、習慣となっているから

6. その他(具体的に:)

問5 問3で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。あなたが、日頃心がけている節水方法は何か。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. じゃ口をこまめに閉めている

2. トイレの洗浄は大小レバーを使い分けている。

3. 風呂の残り湯を洗濯や庭木の水まきなどに使っている

4. 歯みがきのとき流しっぱなしにしない

5. 食器洗いのとき流しっぱなしにしない

6. 雨水・地下水など水道水以外の水を利用している

7. その他(具体的に:)

問6 問3で「3. どちらかといえば節水に心がけていない」「4. 節水には全く心がけていない」と回答した方におたずねします。あなたが、節水に心がけていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. めんどうだから

2. 使用量が少ないから

3. ため水や残り湯は衛生的でないと思うから

4. 水はいくらでもあると思うから

5. 水道料金に負担を感じないから

6. 特に理由はない

7. その他(具体的に:)

【全員におたずねします。】

問7 あなたのご家庭で使用している節水機器は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 家庭用バスポンプ（風呂の残り湯をくみ上げるポンプ）
2. 風呂ブザー（浴槽にセットし、水が定量または適温になるとブザー音で知らせる）
3. 定量止水器（風呂や洗濯機のじゃ口につけて、必要量の水が出ると止まる）
4. 手元制御弁（ホースで水を使うとき、手元で出したり止めたりできる）
5. 食器洗い機
6. 節水型シャワーヘッド
7. 節水型トイレ（平成18年度以降設置のトイレ）
8. 節水型洗濯機（ドラム式洗濯機、バスポンプ内蔵洗濯機など）
9. 特に使用していない
10. その他（具体的に： _____ ）

問8 あなたは、昭和53年と平成6年に、福岡市で大渇水となり長期間の給水制限があったことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|---------------|-----------------------|
| 1. よく知っている | 2. おおまかに知っている | → 問9 へお進みください |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない | → 問10 へお進みください |

問9 問8で「1. よく知っている」「2. おおまかに知っている」と答えた方におたずねします。あなたは、2度の大渇水による給水制限があったことをどのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 経験した
2. 家族や知人・友人から聞いた
3. 学校や地域活動などで学習した
4. 新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした
5. 水道局の広報紙やパンフレットなどで見た
6. 水道局ホームページやX(旧:Twitter)などのSNSを見た
7. 水道局の街頭イベントなどで見聞きした
8. その他（具体的に： _____ ）

【全員におたずねします。】

問 13 水道水に、より安心感を得るため、どのような情報の充実を望まれますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. ダムや河川などの水源に関する情報
2. 浄水場での浄水処理に関する情報
3. 水質検査の内容や結果に関する情報
4. お客さまから寄せられた水道水の相談事例に関する情報
5. 貯水槽の適正管理に関する情報
6. その他(具体的に:)

ご家庭で主に使っている飲用水についておたずねします。

【全員におたずねします。】

問 14 あなたは、ご家庭で、飲用水をどのような方法で飲んでいますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。※飲用水とは、直接飲む水やお茶などに使う水のことです。料理用の水などは含みません。

☆水道水を飲んでいる方(主な飲み方を「1」～「5」から1つ選んでください。)

1. じゃ口から出た水道水をそのまま飲む
2. 水道水を冷やしたり、沸かしたり、レモン果汁等を入れて飲む
3. 水道水をお茶やコーヒーなどにして飲む

→問 18 へお進みください

4. 浄水器を通した水道水を飲む
5. 水道水をウォーターサーバーにセットして飲む

→問 15 へお進みください

☆水道水以外を飲んでいる方(主な飲用水を「6」～「10」から1つ選んでください。)

6. 市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む
7. 市販の水をウォーターサーバーにセットして飲む
8. くんできた天然のわき水を飲む
9. 井戸水を飲む
10. その他(具体的に:)

→問 16 へお進みください

問 15 問 14 で「4」、「5」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水をそのまま飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから
2. 水道水は生ぬるいから
3. 水道水の水質に不安があるから
4. 貯水槽の管理に不安を感じているから
5. 給水方法が直結式給水ではないから
6. 水道水をそのまま飲むよりもおいしい(と思う)から
7. 水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から
8. 家族が水道水をそのまま飲まないから
9. 水道水をそのまま飲んでよいかわからないから
10. 水道水をそのまま飲もうと思ったことがないから
11. はっきりとした理由はない
12. その他(具体的に:)

⇒次ページ**問 18**へお進みください

問 16 問 14 で「6」～「10」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水を飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから
2. 水道水は生ぬるいから
3. 水道水の水質に不安があるから
4. 貯水槽の管理に不安を感じているから
5. 給水方法が直結式給水ではないから
6. 水道水よりもおいしい(と思う)水を飲んでいるから
7. 水道水よりも健康によい(と思う)水を飲んでいるから
8. 家族が水道水を飲まないから
9. 水道水を飲んでよいかわからないから
10. 水道水を飲もうと思ったことがないから
11. はっきりとした理由はない
12. その他(具体的に:)

問 17 問 14 で「6」～「10」と回答した方におたずねします。あなたが水道水を飲むきっかけになると思うことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 水道水のカルキ臭(塩素のにおい)などがなくなったら
2. 水道水の水質への不安がなくなったら
3. 貯水槽が適正に管理されていることがわかったら
4. 給水方法が直結式給水になったら
5. 水道水が今飲んでいる水よりもおいしくなったら
6. 水道水に健康によい成分が入っていたら
7. 水道水の安全性やおいしさに関する情報をもっと知ることができたら
8. 家族が水道水を飲むようになったら
9. 水道水を飲むとは思わない
10. わからない
11. その他(具体的に:)

安全でおいしい水道水プロジェクトなどについておたずねします。

【全員におたずねします。】

問 18 衛生上の観点から水道水の安全性を保つため、浄水場で入れた消毒用の塩素がじゃ口まで一定量保たれるように義務付けられています。あなたはこのことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問 19 水道局では、水道水のおいしさを引き出すために、水の味をよくする成分(ミネラル分など)を保持したままお届けしています。一方で、水の味を損なう成分(残留塩素や有機物、かび臭物質など)については、国の水質基準等より厳しい独自の水質目標を設定し、可能な限り減らしています。あなたはこのことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問 20 水道局では、ひとりでも多くのお客さまが水道水にご満足いただけることを目標として、「安全でおいしい水道水プロジェクト※」に取り組んでいます。あなたはこのプロジェクトのことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 名称と取組内容を知っている
2. 名称だけ知っている
3. 取組内容だけ知っている
4. 知らない

※「安全でおいしい水道水プロジェクト」とは

安全でおいしい水道水を「つくる」「届ける」、水道水のよさを積極的に「PR」することを基本方針としており、お客さまの生活の質の向上に貢献できるような取組みを進めています。

問 21 次の「安全でおいしい水道水プロジェクト」の取組みの中から、知っているものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 間伐や伐採、下草刈りなどの水源地域の森林整備
2. ダムや河川などの水道原水の常時監視
3. 水源からじゃ口まで 200 項目を超える水質検査
4. 残留塩素濃度をきめ細かに調整するなど、福岡市独自の水質目標による水質管理
5. 古くなった水道管の計画的な取替え
6. 貯水槽の適正管理に向けた啓発
7. 直結式給水の普及促進
8. 広報紙「みずだより」や各種イベントなどによる水道事業の情報発信
9. 水道水を無料でマイボトルに給水できる「給水スポット」の設置
10. いずれも知らない

問 22 あなたは、水道水の味、におい、色などについてどの程度満足していますか。満足の程度について、お答えください。次のア～クの項目について、あてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	満 足 度				
	満足である	どちらかという 満足である	どちらかという 不満である	不満である	わからない・ 知らない
ア～ク それぞれ横に回答してください。					
※回答例 ○○○○○	5	④	3	2	1
ア. じゃ口からそのまま飲む水として	5	4	3	2	1
イ. 調理に使用する水として	5	4	3	2	1
ウ. 風呂・洗面・洗濯に使用する水として	5	4	3	2	1
エ. 味(おいしさ)	5	4	3	2	1
オ. カルキのにおいの少なさ	5	4	3	2	1
カ. かびのにおいの少なさ	5	4	3	2	1
キ. にごりの少なさ・無色	5	4	3	2	1
ク. 水道水質に関する総合満足度	5	4	3	2	1

水道料金についておたずねします。

問 23 あなたは、水道料金を下水道使用料と合算してお支払いいただいていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

問 24 あなたは、水道料金等の請求が原則2か月ごとであることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

問 25 あなたのご家庭でお支払いいただいている水道料金等を把握していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 把握している 2. おおむね把握している 3. 把握していない

問 26 あなたは、水道料金が全国一律でないことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 知っている → **問 27**へお進みください
2. 知らない → **問 29**へお進みください

問 27 問 26 で「1. 知っている」と回答した方におたずねします。水道料金が全国一律でない理由について、知っていることをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 大きな河川や豊富な地下水などの水資源の有無によるもの(水資源に恵まれていない場合、ダムの建設や他地域からの受水などが必要になり、経費が増える)
2. 原水の水質が良好か否かによるもの(良好でない場合、浄化のための薬品費、動力費などの経費が増える)
3. ダムや浄水場、水道管などの施設を建設した借金がどれくらい残っているかによるもの(借金が多い場合、長期間にわたって償還する必要がある)
4. 水道管などの建設費や維持管理費を抑えて経営できるかどうかによるもの(自治体の面積が広い場合は建設費などの経費がかさみ、人口密度が低い場合は経営の効率が低下する)
5. 大工場など大口の水道利用者が多いかどうかによるもの(大口の利用者が多ければ水道事業の経営が安定し、家庭用の料金を低めに抑えることができる)
6. 理由はわからない → **問 29**へお進みください

問 28 問 27 で「6. 理由はわからない」以外を回答した方におたずねします。このことをどのようにして知りましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 家族や知人・友人から聞いた
2. 学校や地域活動などで学習した
3. 新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした
4. 水道局の広報紙やパンフレットなどで見た
5. 水道局ホームページや X(旧:Twitter)などの SNS を見た
6. 水道局の街頭イベントなどで見聞きした
7. その他(具体的に:)

水道局の取組みについておたずねします。

【全員におたずねします。】

問 29 あなたは、福岡市で使用している水のおよそ3分の1を筑後川から導水するなど、水源の多くを市域外に頼っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---|-------------|----------|
| 1. 知っている | → | 問 30 | へお進みください |
| 2. 知らない | → | 問 31 | へお進みください |

問 30 問 29 で「1. 知っている」と回答した方に、おたずねします。あなたは、どのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 家族や知人・友人から聞いた
2. 学校や地域活動などで学習した
3. 新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした
4. 水道局の広報紙やパンフレットなどで見た
5. 水道局ホームページや X(旧:Twitter)などの SNS を見た
6. 水道局の街頭イベントなどで見聞きした
7. その他(具体的に:)

【全員におたずねします。】

問 31 あなたは、福岡市が水源地域（朝倉市・日田市・吉野ヶ里町などや、福岡市内の曲淵ダム・長谷ダムなど）で、森林の保全活動や交流事業を行っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---|-------------|----------|
| 1. 知っている | → | 問 32 | へお進みください |
| 2. 知らない | → | 問 33 | へお進みください |

問 32 問 31 で「1.知っている」と回答した方に、おたずねします。あなたは、森林の保全活動や交流事業に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 参加したことがある
2. 興味はあるが、参加したことはない
3. 参加したことがない

【全員におたずねします。】

問 33 水道局では、水の大切さや水源地域・流域への感謝の気持ちを伝えるため、市役所1階カフェで、「飲む海水」（海水淡水化水）を販売（1本140円）し、1本につき100円を、森林と水を守るための植樹の苗木代として活用しています。あなたは、「飲む海水」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問 34 あなたは、水道局お客さまセンター（引越しの連絡や水道料金のお支払い方法などの電話受付）に電話されたことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---|-------------|----------|
| 1. ある | → | 問 35 | へお進みください |
| 2. ない | → | 問 37 | へお進みください |

問 35 問 34 で「1.ある」と回答した方へおたずねします。お客さまセンターの電話対応はいかがでしたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------|-------------------|---|-------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | → | 問 37 | へお進みください |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | → | 問 36 | へお進みください |

問 36 問 35 で「3.どちらかといえば不満である」「4.不満である」と回答した方へおたずねします。あなたが満足していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 1回の問い合わせでは解決しなかった
2. 担当者にかわるまでの保留時間が長かった
3. 何度も同じ事を聞かれた
4. 問い合わせ中に何度も保留された
5. 言葉遣いが悪かった
6. 間違った部署を案内された
7. その他(具体的に:)

【全員におたずねします。】

問 37 水道局では、一人でも多くの方が安全な水道水を使えるように、節水型都市づくりを通じてつちかかった水の有効利用に関する高い技術（世界トップの漏水防止技術など）を活かし、開発途上国に対する技術協力（職員の派遣、研修生の受入れなど）を実施しています。

この国際貢献の取組みについて、あなたの考えに近いものをお答えください。次の中からあてはまるものを 1つだけ 選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 今後も積極的に行ったほうがよい | 2. ある程度は行ったほうがよい |
| 3. どちらかといえば行わないほうがよい | 4. 行うべきではない |
| 5. どちらともいえない | |

問 38 福岡市の水道は、令和5年3月1日に創設100周年を迎えました。その節目を記念し、イベントやマスメディアを通じて、安全でおいしい水道水のPRや、水を無駄にしない水道局の取組みなどを発信してきました。これまでの水道局の取組みの中から、引き続き力を入れて取り組んでほしいことについて、次の中からあてはまるものを 3つまで 選び、番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 水道水を使用した食材とのコラボ企画やイベント
(グルメ雑誌の水道水特集や水道水をつかったコーヒー出展イベントなど) |
| 2. 若年層に向けた渇水体験談や節水啓発イベント
(ラジオでの渇水体験談紹介や商業施設での節水呼びかけイベントなど) |
| 3. 水道局の仕事の魅力を伝える職業体験イベント
(小学生を対象とした水道局のお仕事体験イベント) |
| 4. 水道の歴史や文化財などの知識を養う企画・イベント
(博物館などで行う企画展示や水道にまつわる文化財(曲淵ダムや平尾浄水場跡)を活用したイベントなど) |
| 5. 世界トップの低い漏水率※を誇る節水型都市づくり
(配水調整システムのしくみやICT技術を活用した漏水調査の紹介など) |
| 6. オンライン上で、水道施設見学を体験(VR ダム見学など)できる「水道局デジタルライブラリー」の運営 ⇒水道局ホームページ掲載中 |
| 7. 水道局公式アンバサダー(タレントの中島浩二氏)による水道事業の魅力発信
(マスメディアと連携した広報や街頭イベントなど) |
| 8. その他(具体的に:) |

※「漏水率」とは:家庭などへ配水される水量のうち、水道管から漏れる水量の割合。

問 39 あなたは、問 38 のような水道局の取組みに関する情報をどのような方法で知らせてほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 水道局広報紙「みずだより」(市政だよりに折り込み、年3回発行)
2. 市政だより
3. 新聞、テレビ、ラジオ
4. 水道局ホームページ
5. スマートフォンアプリによるプッシュ型通知サービス
6. X(旧:Twitter)、LINE などの SNS
7. YouTube などの動画投稿サイト
8. デジタルサイネージなどの街頭ビジョン
9. ポスター・チラシ・パンフレット
10. 水道料金検針票(ご使用水量等のお知らせ)
11. インフルエンサー
12. 特にない
13. その他(具体的に:)

問 40 あなたが、特に知りたい水道に関する情報は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 水道水の安全性
2. ダムの貯水率・渇水情報
3. 水源地域・流域で行う森林の保全活動や交流事業
4. 具体的な節水方法
5. 地震等の災害に対する水道局の取組み
6. 水道工事の実施状況・工事に伴う交通規制情報
7. 事故等に伴う断水情報
8. 水道事業の経営状況
9. 水道料金の計算方法
10. 貯水槽の適正管理や直結式給水の普及促進に関する情報
11. その他(具体的に:)
12. 特にない

水道行政への評価についておたずねします。

問 41 あなたは、現在の福岡市の水道行政を総合的にみてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

1. 満足である
2. どちらかといえば満足である
3. どちらかといえば不満である
4. 不満である

問 42 あなたは、現在の水道局の取組みについて、どの程度満足していますか。次のア～ケの項目についてあてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

ア～ケ それぞれ横に回答してください。	満 足 度				
	満足である	どちらかという 満足である	どちらかという 不満である	不満である	わからない・ 知らない
※回答例 ○○○○○	5	④	3	2	1
ア. 水道水の安定供給 (新たな水源である五ヶ山ダムの供用開始や老朽化した水道管の計画的な更新など)	5	4	3	2	1
イ. 節水型都市づくりの推進 (漏水防止対策による水の有効利用や広報活動による節水意識の継承など)	5	4	3	2	1
ウ. 良質な水道原水の確保 (水質浄化機能を持つ森林の保全活動や水源地域・流域との連携・協力など)	5	4	3	2	1
エ. 安全でおいしい水道水の供給 (水質検査の充実やきめ細かな水質管理など)	5	4	3	2	1
オ. 給水栓(じゃ口)における水質保持 (直結式給水の普及促進や貯水槽の適正管理の啓発など)	5	4	3	2	1
カ. 災害対策の強化 (地震に強い配水管への更新や大規模災害に備えた他都市との相互応援体制の強化など)	5	4	3	2	1
キ. お客さまサービスの向上 (料金支払いの利便性の向上や水道に関する積極的な広報など)	5	4	3	2	1
ク. 水道 ICT・DX の推進等による経営の効率化 (ICT 技術を活用した浄水場や水道管の維持管理の実証実験など)	5	4	3	2	1
ケ. 脱炭素社会の実現に向けた取組み、SDGsの推進 (ダムや浄水場の再生可能エネルギー設備やEV車の導入拡大など)	5	4	3	2	1

問 43 あなたが、福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいことについて、次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 水道水の安定供給
(老朽化した水道管やダム・浄水場設備の計画的な更新など)
2. 節水型都市づくりの推進
(漏水防止対策による水の有効利用や広報活動による節水意識の継承など)
3. 良質な水道原水の確保
(水質浄化機能を持つ森林の保全活動や水源地域・流域との連携・協力など)
4. 安全でおいしい水道水の供給
(水質検査の充実やきめ細かな水質管理など)
5. 給水栓(じゃ口)における水質保持
(直結式給水の普及促進や貯水槽の適正管理の啓発など)
6. 災害対策の強化
(地震に強い配水管への更新や大規模災害に備えた他都市との相互応援体制の強化など)
7. お客さまサービスの向上
(スマートフォン決済導入による利便性の向上や水道に関する積極的な広報など)
8. 水道 ICT・DX の推進等による経営の効率化
(水道料金等のウェブサービス機能向上や ICT 技術を活用した浄水場や水道管の維持管理など)
9. 脱炭素社会の実現に向けた取組み、SDGsの推進
(ダムや浄水場の再生可能エネルギー設備や EV 車の導入拡大など)

問 44 福岡市の水道行政に関してご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力いただき、ありがとうございました～

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、11月17日(金)までに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。

令和5年度

福岡市の水道に関するお客さまアンケート調査報告書

令和6年3月 発行

発行／福岡市水道局総務部総務課

福岡市博多区博多駅前1丁目 28-15

TEL: 092-483-3139

FAX: 092-482-1376

somu.WB@city.fukuoka.lg.jp